

1994年1月1日発行(通巻294号) 毎月1日発行 昭和64年3月20日第3種郵便物認可
MFJ ライディング 臨時増刊
1994 MFJ MOTORCYCLE SPORTS RULES

国内競技規則書

1994年版



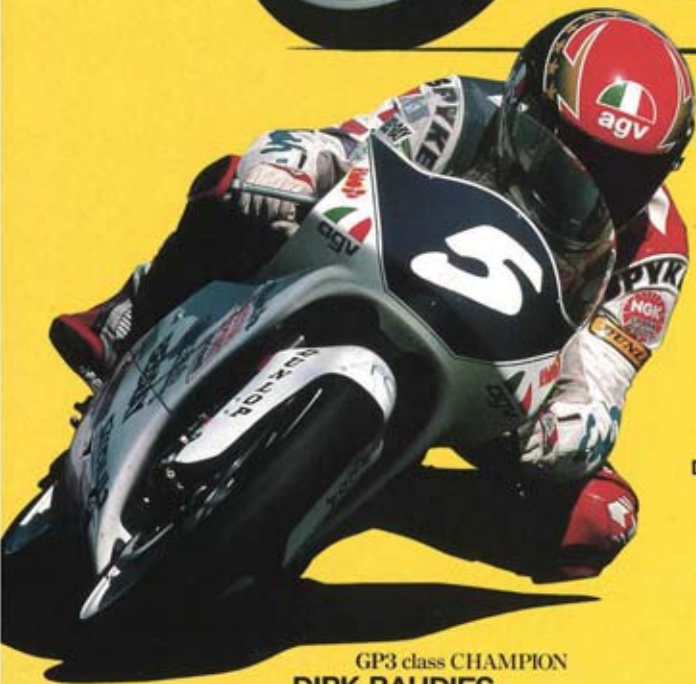
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会



オートレース公益
資金補助事業

WIN THE DOUBLE CHAMPIONSHIPS

GP2 class CHAMPION
TETSUYA HARADA
TEAM TELKOR YAMAHA VALES
YAMAHA TZ250M



GP3 class CHAMPION
DIRK RAUDIES
TEAM EUROPA RAUDIES
HONDA RS125R

ダンロップタイヤ装着車が
'93ロードレース世界選手権において
2クラス(GP-2&GP-3)を制覇。

Dunlop's winning ways continued at the 1993 Road Race World Championship, where machines using Dunlop tyres claimed victory in classes GP-2 and GP-3. Dunlop motorcycle tyres offer superior performance and perfect response to your maneuvering. In Grand Prix competition—where tyres are subjected to incredibly harsh demands—Dunlop tyres really excel. That's why you'll find Dunlop in the winner's circle at so many Grand Prix events.

 **DUNLOP**
DRIVING TO THE FUTURE

新製品



洗濯機仕様。

洗える・着替える。

ツーリング後の汗だらけの内装、いつまでも残る鼻をつく臭いとは、もうおさらば。

そういえば、身に着けるもので、洗えないもの着替えられないものは、ヘルメットだけでした。

〈ASTRO-FS〉の内装は、いわばヘルメットの肌着。

手軽に洗えて、すぐ乾く。取り扱っても簡単。新しいものにも交換できます。

洗いたてのTシャツのような清潔感が、ヘルメットをかぶる度に得られるのです。

システム内装は、システムパッドや丸洗い内装を考案してきたアライの集大成ともいえるもの。

もう汗臭さは、永遠にヘルメットからなくなりました。強く精悍なASTROは、内側から大きく進化します。



洗濯機で洗う時は、洗濯ネットに入れて洗い、クレードルパッドは、裏地だけを洗ってください。

CRADLE-PAD

●クレードルパッド

耳の位置を正確に調査し、耳たぶを押さずに解放感をもたせる。耳の上、下部まで一体にホールドさせることにより、ヘルメット下側のフィット感をより安定させ、今まで以上の新感覚の快適心地をもたらす。それがクレードルパッド。もちろん裏地が外せるので、洗濯機で簡単に洗うこともできる。



●新しい内装は裏地をかけたも履きも圧迫しない

INNER-PAD

●システム内装

サイドクッション、天竺パッドだけでなく、ネックパッドまでもが簡単に外したり付けたりできるよになった。手洗いや容易く、汚れたなと思ったらすぐシャブシャブ洗えるのがいい。もちろんすぐ乾く。交換用の内装セットも揃えることもできる。



●エアロフラップ

よりワイドになったエアロフラップ。アコ下からの冷たい巻き込み風をシャットアウトする機能が進歩した。

●二段階ニューマウスシャッター

エア流入量を大幅に増し、息苦しさやシールド裏面の曇りを防ぐ。二段階のシャッターで、エアの調節ができる。また、新しいノーズスティアフレクターはエアの流れを整える働きがある。

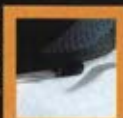


●スーパーアドシス

ヘルメットをかぶったままで、ホルダーを外さずにシールドが交換できるスーパーアドシス。スピーディなワンタッチでシールドの水切りや、クリアー、スモークの交換も楽に行える。

●テミストポジション付きシールドロック機構

シールド内に微量の空気を流すことにより、曇りを防ぐテミストポジションを備えたシールドロック機構。



Astro FS

●機種名:ASTRO-FS●機体:GLC(コンプレックス・ラミネート・コンストラクション)●規格:SNR1990、JIS C種●内装:システム内装、クレードルパッド(裏パッド裏取り可能・特許出願中)●シールド:スーパーアドシス標準装備(特許出願中)●色:白、黒、Vメタリック、キャンディ・レッド、キャンディ・ブルー●サイズ:(S3-S4)、(S5-S6)、(S7-S8)、(S9-S10)、(S11-S12)

●価格:¥36,500 (消費税は含まれていません)



●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。 直通TEL0481645-3661 株式会社アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-2 TEL0481641-3625-7

'94 TZR 250R SP VERSION

- 3XV ●Engine Type: Water-cooled, 2-stroke, crankcase reed valve 90° V-twin
- Displacement: 249cc
- Max. Power: 40ps/9,000rpm
- Max. Torque: 3.5kg-m/7,500rpm
- Dry Weight: 128kg
- Coloring: Bluish White Cocktail

¥895,000

ますます白熱するSPレースシーンで、新旋風を巻き起こしているマシンがある。YAMAHA TZR250R SP VERSION。クラス最軽量の乾燥重量と高次元のコントロールビリティを武器に、レーシーかつコンペティティブなパワー特性が、SPライダー達を震撼し続けた。そして今、幾多もの勝利のなかで鍛え抜かれたテクノロジーに鮮烈なストロボブラッシュパターンのニューカラーをまとめて、'94バージョンが最前線に躍り出る。常に頂点の走りを追求する。そのウイニング・スペックに妥協はない。走れば走るほど研ぎすまされていくレーシング・パフォーマンス。ふたたび'94フロント・ローへ。

●TZR250R SPバージョン/TZR250RSの資料請求に関するお問い合わせは、ヤマハモーターサイクルHOTLINE

☎0120-319-819へどうぞ。

予約受付中
限定500台



●ウイングリアアーム

高いねじり剛性と横剛性をもつウイングリアアーム。より一層のコーナリング性能の向上を達成するとともに、ワンタッチチェーンブラー装置により、高いメンテナンス性を実現している。



幾つもの勝利のコーナー

'94 TZR 250

¥699,000 ●3XV ●Engine Type: Water-cooled, 2-stroke, crankcase reed valve 90° V-twin ●Displac

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スロー・インクダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。

●価格にメーカー希望小売価格(税込)が記載されています。●価格には消費税は含まれていません。●価格には送料は含まれていません。●価格には保証料は含まれていません。●価格にはオプション料金は含まれていません。

●アルミデルタボックスフレーム

YZRのテクノロジーが投入されたアルミデルタボックスフレーム。ヘッドパイプ、タンクレール部をTZと同仕様としたきわめて高い剛性は、高い運動性と幅広い対応力を生みだす。

●フラットタイプYPVS

TZから移植されたフラットタイプYPVS。シリンダーの排気ポート部にフラットバルブを採用し、排気タイミングを常に最適な状態に保つ。'94では新たに排気ポート形状をリファイン。ピークパワー付近の戦闘的な高速性能にさらに磨きをかけている。

●上下独立式吸気システム

上下気筒への最適な充満効率を可能にする新キャブレターレイアウト。'94では新たにエアクリナーとのジョイント形状をモディファイ。キャブレターへの吸気をよりスムーズにし、12,000rpmを超えたオーバーレブ域でも振打ちのない回転の伸びをさらに向上させた。

●クラスNo.1のパワーウェイトレシオ

クラス最軽量の乾燥重量126kgを達成。加速、減速、S字やシケインでの切り返し、コーナーでの立ち上がりなどで抜群の運動性を発揮する。優れたCd値とともに、ウイニングランへの大いなるアドバンテージとなる。

●ビギンバックリンク式モクロスサスペンション
リアクッションのバンプストップラバーを変更。コーナリングや加速時などの高荷重域での操縦安定性をさらに高めている。

●倒立フロントフォーク

TZR定評の41mm倒立フロントフォーク。フロント回りの安定性に大きく寄与し、さらなるタイムアップをめざした果敢な走りをサポートする。

ウイニング・スペック'94。

を抜けて、さらに磨かれた'94TZR250R SP仕様デビュー。

RS SP仕様にテール・トゥ・ノーズだ。 '94TZR250RS登場。

ement: 249cc ● Max. Power: 40ps / 8,500rpm ● Max. Torque: 3.6kg-m / 7,000rpm ● Dry Weight: 126kg ● Coloring: Bluish White Cocktail

●エンジンオイルは指定されています。●消費税は別記計算のうえに申し付けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカーオプションで遠征費を別途お見積りします。●Y1000高160mmです。

Y.E.S.S.

スポーツバイク・ライフを大きく広げるイエスです。

●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS SYSTEMの略。モーターサイクルがプレゼントしてくれる限りなく大きな遊びの世界を、もっと積極的に、もっと愉快に楽しもうと生まれたクラブです。●サマーフェスティバル、バイクレース、レースなどへの参加のお誘いや、さまざまな施設の利用割引など、特典もいろいろ。さらに、UC/VISA提携カードもあります。●入会のお問い合わせ、お申し込みはY.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店、またはヤマハ・モーターサイクル HOT LINE 0120-310-010へどうぞ。



YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

RSS Racing Service Shop

風林火山

疾きこと風の如し
作かなること木の如し
畏ること火の如し
動かざること山の如し

疾きこと

動かざること
山の如し。

作かなること
木の如し。

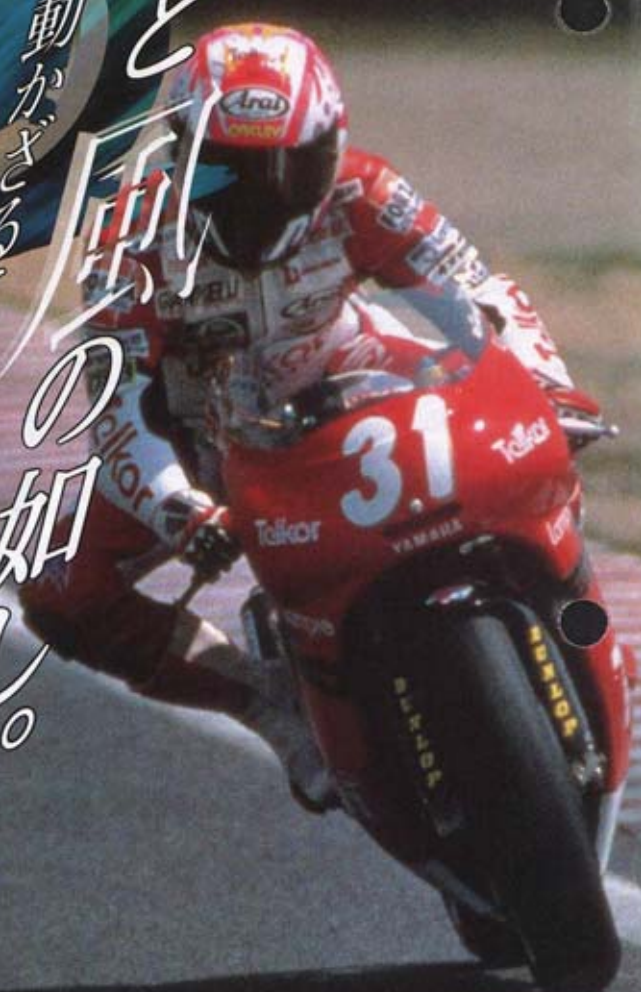


'94 TZR250



TZR125

※写真は参考のためにカラーリングされています。
※改良のため、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。

コンペモデル(レース専用車)

最新の**RSS**のキットパーツ

は**RSS**で扱っています



コンペモデルに関する御相談は技術
と信頼の**RSS**をおすすめします。
あ近くの**RSS**に御相談下さい。

北海道地区

YSP 札幌南 RR 北海道札幌市南区南陽町1丁目7番1 TEL.011-563-6071	YSP 札幌東 MX 北海道札幌市東区東山町2丁目7番1 TEL.011-763-0816	YOU SHOP サイクロ MX 北海道札幌市中央区南一条西5丁目1 TEL.011-691-6289	YOU SHOP SHIMA MX 北海道札幌市東区東山町1丁目1番 TEL.011-562-6419	YSP 札幌西 MX 北海道札幌市西区南一条西1丁目10-21 TEL.011-662-6526	YOU SHOP 平岸 RR 北海道札幌市東区平岸1丁目7番10番 TEL.011-611-7673	新ミカホ スポーツ MX 北海道札幌市東区東山町2丁目7番1 TEL.011-742-9697	YSP 札幌中央 RR・MX・TR 北海道札幌市中央区南一条西10丁目22 TEL.011-641-1980	YSP ショップトヨキ MX 北海道札幌市中央区南一条西10丁目27 TEL.011-641-7828	天沼モーターズスポーツ RR 北海道札幌市東区東山町2丁目7番1 TEL.011-753-5888	はいくはうす サンラッド RR 北海道札幌市中央区南一条西15丁目5番1 TEL.011-624-9467	YOU SHOP 藤木 MX 北海道札幌市東区東山町2丁目7番11 TEL.011-743-3122	北広オート 村松商会 RR 北海道札幌市東区東山町15丁目10番 TEL.011-372-1313	オートフレンド北海道 RR 北海道札幌市東区東山町1丁目2 TEL.011-23-3886	YOU SHOP アサヒ MX 北海道札幌市東区東山町2丁目7番23 TEL.011-642-6362	YSP 小樽 RR・MX 北海道小樽市南町1丁目12番1号 TEL.0134-33-3071	ザウルス SAPPORO RR 北海道札幌市東区東山町2丁目7番3-5 TEL.011-723-4349	藤沢オートサイクル RR 北海道札幌市東区東山町10丁目13 TEL.011-67-3639	YSP 滝夫 MX 北海道札幌市東区東山町2丁目7番 TEL.011-23-3636	ガレーチ ワークス TR 北海道札幌市東区東山町15丁目15番1号 TEL.011-23-4171	狭野村商会 MX 北海道札幌市東区東山町1丁目1-3 TEL.011-62-4886	新オート小樽 製造 RR・MX・TR 北海道札幌市東区東山町1丁目1-43 TEL.011-662-3323	YSP 旭川 MX 北海道旭川市南一条7丁目7番33 TEL.0146-61-6686	YOU SHOP 世紀屋 RR 北海道旭川市南一条7丁目7番33 TEL.0146-69-0207	バイク屋 じゃらめ RR 北海道旭川市東一条14番4丁目8 TEL.0146-33-8978	MCプロショップZIP RR 北海道旭川市東一条12丁目7番 TEL.0146-54-5261	F'P'it オオツキ RR 北海道旭川市東一条12丁目7番20番5 TEL.0146-51-2300	新ショップ ワークス RR・MX 北海道旭川市東一条12丁目7番20番5 TEL.0146-51-2300	YOU SHOP キノシタ MX 北海道旭川市東一条12丁目7番20番5 TEL.0146-51-2300	YOU SHOP ほうけんしゃ MX 北海道旭川市東一条12丁目7番20番5 TEL.0146-51-2300	YOU SHOP オカジャSS MX 北海道旭川市東一条12丁目7番20番5 TEL.0146-51-2300	YSP 帯広 RR 北海道帯広市南一条7丁目10番1 TEL.0132-271-9333	YSP 山形南 MX 山形県山形市南一条1丁目1番1 TEL.0236-31-9175	YSP 山形西 RR・MX 山形県山形市西一条1丁目1番1 TEL.0236-44-1316	モトショップ ワンバウ MX 山形県山形市南一条1丁目7番10番 TEL.0236-34-9623	YSP 酒田 MX 山形県酒田市新町1丁目1番1 TEL.0234-23-2332	YSP 郡山中央 RR・MX 福島県郡山市中央1丁目1番1 TEL.0249-39-0206	YSP 福島南 RR 福島県福島市南一条1丁目1番1 TEL.0249-46-1316	YSP 福島北 RR・MX 福島県福島市北一条1丁目1番1 TEL.0249-46-2533	新OXレーシング東北 RR 福島県福島市南一条1丁目1番1 TEL.0249-12-1251	群馬本輪車商会 RR・MX 群馬県高崎市南一条1丁目1番1 TEL.0274-22-1148	大倉オート MX 群馬県高崎市南一条1丁目1番1 TEL.0274-22-1148	太平オート TR 群馬県高崎市南一条1丁目1番1 TEL.0274-22-1148	YSP 大館 RR 秋田県大館市南一条1丁目1番1 TEL.0186-49-2317	モトショップ菊地 MX 秋田県大館市南一条1丁目1番1 TEL.0186-74-2357	新スポーツファルム RR・MX 茨城県水戸市南一条1丁目1番1 TEL.0286-47-5276	YOU SHOP タカノ RR・MX 茨城県水戸市南一条1丁目1番1 TEL.0286-76-2338	YSP つくば学院 RR・MX 茨城県つくば市南一条1丁目1番1 TEL.0297-76-2338	ヤマモーターサイクル MX 茨城県つくば市南一条1丁目1番1 TEL.0297-76-2338	新オートショップ大井 RR・MX 茨城県つくば市南一条1丁目1番1 TEL.0297-76-2338	新井原商会 MX 茨城県つくば市南一条1丁目1番1 TEL.0297-76-2338	中島モーターズ RR 茨城県つくば市南一条1丁目1番1 TEL.0297-76-2338	YOU SHOP MOTO MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	カシマレーシング RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	オートショップ坂 MX・TR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	新モトショップタカハシ RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	バイクショップ竹沢 MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	新小島屋三商店 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 前橋 RR・MX・TR 群馬県前橋市南一条1丁目1番1 TEL.0273-21-4375	ARSオガダ RR 群馬県前橋市南一条1丁目1番1 TEL.0273-21-4375	YSP 大宮中央 MX 埼玉県大宮市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	サイクルロードレー RR・MX 埼玉県大宮市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	オートショップアカシ RR・MX 埼玉県大宮市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	大島オートサービス RR 埼玉県大宮市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	YOU SHOP M-FACTORY RR 埼玉県大宮市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	YSP 川口北 RR 埼玉県川口市北一条1丁目1番1 TEL.043-58-9885	YSP 与野 RR 埼玉県川口市南一条1丁目1番1 TEL.043-58-9885	YSP 川越東 MX 埼玉県川口市東一条1丁目1番1 TEL.043-58-9885	バイクショップカズ RR・MX 埼玉県川口市南一条1丁目1番1 TEL.043-58-9885	YSP 上福岡南 MX 埼玉県上福岡市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	YSP 蓮原 RR・MX 埼玉県蓮原市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	YSP 谷原 RR 埼玉県蓮原市南一条1丁目1番1 TEL.049-662-3735	YSP 東松山 MX 埼玉県東松山市南一条1丁目1番1 TEL.0483-54-6488	金城サイクルミサト RR 埼玉県東松山市南一条1丁目1番1 TEL.0483-54-6488	スポーツショップフクシマ RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YOU SHOP KAME MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	ビクトルレー RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 貝塚 MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	越川モーターズ16号店 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 千葉北 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 習志野 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	オートショップクラウド RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	COヨシノ RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	スガヤオートサービス RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	オートショップ平井 RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 松戸中央 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	野田ヤマハ MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 川西 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 足立中央 MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	株村上製作所 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	MC5イイヤマ MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YOU SHOP ヨルカ RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	ピットレーシングストアリアル RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 京葉 MX・TR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	新オートショップサノ RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	モトバイクショップ MX・TR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 葛飾馬 RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	新モトワイス RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 谷原 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	MHプロダクツ RR・MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 上板橋 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 成増 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	新モトサロン MX 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	ハヤシカスタム RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 目黒中央 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	スポーツプラザ忠男 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 大森 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 大塚 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885	YSP 大塚 RR 千葉県市川市南一条1丁目1番1 TEL.0476-41-8885
--	--	--	--	---	---	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	---	---	---	--	---	---	--	--	---	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	---	--	---	---	---	--	--	---	---	---	--	--	--	---	---	---	--	---	--	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---	---	--	---	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---	--	--	--	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	---

※ 各ショップの取扱区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示してあります。

93年度認定店 (93年9月現在)

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

●T2250、T2125は運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●T2250、T2125は道路を走行できません。道路を走行し、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。●公道、社内の境内、公園、海浜、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところで、人が自由に出入りできることは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

YAMAHA ヤマハ発動機株式会社

RSS Racing Service Shop

風林火山

疾きこと風の如し

静かなること木の如し

燃えること火の如し

動かさること山の如し

静かなること

動かさること
山の如し。

'94 TY250Z

※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。

RSS Racing Service Shop

風林火山

疾きこと風の如し
静かなること林の如し
侵ること火の如し
動かざること山の如し

侵ること火の如し

動かざること山の如し。

静かなること林の如し。

*改良のため、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。



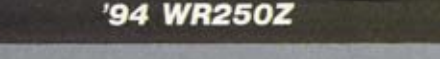
'94 YZ250



'94 YZ80



'94 YZ80LW (ラージホイール)



'94 WR250Z

- | | | | |
|---|--|---|---|
| YSP 観音野 AA
京都府京都市左京区観音崎西町5丁目3-1
TEL.075-882-1313 | モトスポーツ マルタ AA
福岡県福岡市東区東2-218
TEL.078-34-1873 | ライダーズホムカ AA-MX-TR
高知県高知市山崎町2-218
TEL.087-28-5294 | YSP 筑後 AA-MX
福岡県大牟田市大字東町799-1
TEL.0943-22-5389 |
| トムス TR
京都府京都市北区南河原下町11-3
TEL.075-491-8982 | YSP 和歌山 AA-TR
和歌山県和歌山市中央町1丁目2番
TEL.0734-28-0790 | ワープ田中オート MX
兵庫県高砂市高砂町233-4
TEL.08542-2-1157 | モト・ボーイ MX
福岡県大牟田市大字 / 高砂2-2-1
TEL.0944-67-1781 |
| MOTO HOUSE POSITION MX
京都府京都市中京区東三条1丁目154
TEL.0752-5-1885 | YSP 神戸灘 AA-MX
兵庫県神戸市東灘区西宮町3-5-12
TEL.078-843-2187 | 四国地区 | REIRA SPORTS AA
福岡県北九州市小倉南区法興町2丁目20-9
TEL.093-951-6872 |
| 加ノモーターサイクル AA-MX
京都府京都市伏見区下鳥羽1丁目15
TEL.075-622-0225 | YSP 神戸東 AA-MX
兵庫県神戸市東灘区高島町1丁目7-6
TEL.078-451-0885 | YSP 香川 AA-MX
香川県高松市大丸町2343-6
TEL.0879-32-9825 | オートショップワークス AA
福岡県北九州市八幡区福屋町2丁目9-9
TEL.093-673-9872 |
| 松本モーターース TR
京都府京都市伏見区深草河原 / 734-8
TEL.075-613-7144 | YSP 西神戸 AA
兵庫県神戸市西区西神戸町1丁目2
TEL.078-574-2501 | 大林モーターース MX
香川県高松市山崎町1丁目1045
TEL.0877-18-2967 | モーターランドファミモ AA
福岡県福岡市東区東門前1丁目27
TEL.092-417-0284 |
| オートショップ小西 MX
京都府京都市中京区中町1丁目28-13
TEL.0754-22-3818 | YOU SHOP PART II AA
兵庫県神戸市中央区西宮町東丁281-24
TEL.078-251-0280 | バイクショップのぞき AA-MX
香川県高松市東町1丁目130-3
TEL.0879-34-1853 | YSP 行機 TR
福岡県福岡市東区東3丁目82-10
TEL.0932-3-8885 |
| バイクハウス ファースト MX
京都府京都市中京区 / 530-9
TEL.0754-24-5810 | イシイ モーターサイクル AA
兵庫県神戸市東灘区西宮町2-45
TEL.07852-2384 | YSP 倉橋 AA
香川県高松市山崎町1144-1
TEL.0879-35-1881 | YSP 小倉北 AA
福岡県北九州市小倉北区東区東町2丁目25
TEL.093-941-4763 |
| YSP 長岡 MX
京都府京都市中京区南町14-21
TEL.075-254-0388 | MOTO SHOP ALFA MX-TR
兵庫県高砂市高砂町1丁目10-11
TEL.085-498-3834 | YSP 五色台 AA-MX
香川県高松市五色町490-1
TEL.0878-61-5855 | YSP 大分中央 AA-MX
大分県大分市下丁881-3
TEL.0975-68-6566 |
| 香ナカキ ホンダ MX
京都府京都市上京区東山町277-1
TEL.075-24-7111 | バルス AA
兵庫県高砂市高砂町2丁目10-105
TEL.085-492-5333 | YSP 徳島西 MX
徳島県徳島市西丁1丁目19
TEL.0886-32-0187 | 香小コンパレション AA-MX
大分県大分市北下丁881-3
TEL.0975-68-6566 |
| 新田田モーターース TR
京都府京都市中京区南町14-21
TEL.075-254-0388 | 香イタミ カワサキ MX-TR
兵庫県伊丹市南谷町南 / 53-1
TEL.0737-77-0818 | YSP 徳島中央 AA-MX
徳島県徳島市高砂町1丁目19-4
TEL.0886-32-0382 | 土屋オート AA-MX
大分県大分市東区東3丁目1
TEL.0975-32-5887 |
| スポーツショップ中 MX
大分県中津市西町南丁7-23 2-23
TEL.09-852-3877 | YSP 甲子園 AA
兵庫県高砂市西宮町東2丁目5
TEL.0789-22-1122 | YOU SHOP マツモト TR
香川県高松市東町2丁目27-1
TEL.0886-58-1888 | YSP 南大分 AA-MX
大分県大分市東区東3丁目1
TEL.0975-40-3900 |
| YOU SHOP 御殿山 AA
大阪府東大阪市御殿山町2-8
TEL.0725-42-1817 | オートスポーツ堂 MX-TR
兵庫県高砂市西宮町東1丁目142
TEL.0789-28-9080 | ワークショップM2 MX
香川県高松市山崎町1丁目100-6
TEL.0886-52-0385 | YOU SHOP 松田 MX
大分県中津市西町南丁7-23 2-23
TEL.09-852-3877 |
| YSP 大阪北 AA-MX
大阪府東大阪市東区東2丁目8
TEL.0725-24-6980 | 中国地区 | YOU SHOP 二輪館 MX
兵庫県高砂市西宮町東1丁目142
TEL.0789-28-9080 | 新レレショップカワキ AA-MX
大分県中津市西町南丁7-23 2-23
TEL.09-852-3877 |
| YSP 茨木 MX
大阪府茨木市水原町南1丁目19
TEL.0735-25-8988 | オートショップカキ AA-MX-TR
兵庫県高砂市西宮町東1丁目142
TEL.0789-28-9080 | YSP 風儀倶楽部 MX
高知県高知市東町1丁目11
TEL.0879-32-1842 | YSP 佐賀 AA-TR
佐賀県佐賀市東町2丁目1
TEL.092-23-4337 |
| YOU SHOP ミタニ AA
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.06-523-4323 | YSP 岡山北 AA-MX
岡山県岡山市北區北1丁目1-280-1
TEL.0862-25-2234 | YSP 松山南 AA-MX
愛媛県松山市南町302-5
TEL.0899-35-7811 | ライティングスットタヤマ AA
熊本県熊本市中央区東4丁目2
TEL.096-380-8313 |
| YOU SHOP エビハラ MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 岡山南 AA
岡山県岡山市南區南1丁目222-9
TEL.0862-25-5788 | YSP 松山東 MX-TR
愛媛県松山市東区東1丁目22
TEL.0899-35-8273 | YSP 熊本南 AA
熊本県熊本市中央区南1丁目219-2
TEL.096-325-0920 |
| R-S タイチ AA-MX-TR
大阪府大阪市東区東区東3丁目12
TEL.0725-24-3288 | 梅本商会中央西店 TR
岡山県岡山市東区東2丁目12-3
TEL.086-452-9435 | YSP 愛媛 AA
愛媛県松山市山崎町1丁目47
TEL.0899-28-0714 | アバンテージュ MX
熊本県熊本市中央区東4丁目2
TEL.096-380-8313 |
| YSP 大阪東 AA-MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目12
TEL.0725-24-3288 | YOU SHOP R/S 倉敷 MX
岡山県倉敷市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 福岡 AA
福岡県福岡市東区東2丁目81-12
TEL.092-681-2023 | プラスワン MX
熊本県熊本市中央区東4丁目2
TEL.096-380-8313 |
| オートプラザ テラゴフ AA
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | 倉敷2&4レーシング AA
岡山県倉敷市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 福岡東 AA
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 鎌倉寺 MX
熊本県熊本市中央区東4丁目2
TEL.096-380-8313 |
| YOU SHOP エル MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 津山 AA
岡山県津山市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | 新オートセンター福岡 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 熊本東 MX
熊本県熊本市中央区東4丁目2
TEL.096-380-8313 |
| YOU SHOP クボ MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 安芸 AA-MX
広島県広島市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 大塚 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 延岡 AA
宮崎県延岡市東区東2丁目200-10
TEL.0985-31-5187 |
| YOU SHOP R/S PRODUCTS AA-MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YOU SHOP SP 忠男広島 MX
岡山県岡山市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 福岡東 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 平石台 AA-MX-TR
宮崎県平石台町東区東2丁目200-10
TEL.0985-31-5187 |
| YOU SHOP 2&4 AA-MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 五日市 AA
広島県広島市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 福岡東 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | バイクショップ つねよし MX
宮崎県平石台町東区東2丁目200-10
TEL.0985-31-5187 |
| トミタオート MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 広島南 AA-TR
広島県広島市南区南1丁目12-24
TEL.082-751-3888 | YSP 福岡東 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | ヨコヤマモーターース MX
宮崎県平石台町東区東2丁目200-10
TEL.0985-31-5187 |
| YOU SHOP イタヤ MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | YSP 呉 MX
広島県呉市東区東2丁目200-10
TEL.082-751-3888 | YSP 福岡東 MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 鹿児島 AA-MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| バイクプラザ光 MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | R/S キノシタ MX
広島県広島市東区東2丁目200-10
TEL.086-462-9435 | YSP 大塚 AA
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | YSP 園分 MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| クレーズモーターース AA-MX
大阪府大阪市東区東区東3丁目4
TEL.0725-42-1817 | 正和輪業 AA-MX-TR
山口県下関市東区東2丁目200-10
TEL.0832-23-0232 | YSP 博多 AA-MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | オートハウス アツ MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| YSP 飛鳥 AA
奈良県奈良市東区東2丁目200-10
TEL.07444-3-0207 | 山崎レーシング AA
山口県下関市東区東2丁目200-10
TEL.0832-23-0232 | B・FIELD MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | バイクショップ H2021 TR
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| オートショップ イケム AA-MX
奈良県奈良市東区東2丁目200-10
TEL.07444-3-0207 | 泉商会 TR
山口県下関市東区東2丁目200-10
TEL.0832-23-0232 | ライダーズショップWIN AA
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | グリット MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| YOU SHOP TAKAI AA
奈良県奈良市東区東2丁目200-10
TEL.07444-3-0207 | YSP 徳山 AA-TR
山口県徳山市東区東2丁目200-10
TEL.0834-23-0232 | 原口モーターース AA
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | モトファッションケン MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |
| YOU SHOPMOTOI MX-TR
奈良県奈良市東区東2丁目200-10
TEL.07444-3-0207 | YSP 宇部 AA-TR
山口県宇部市東区東2丁目200-10
TEL.0834-23-0232 | YSP 南久留米 AA-MX
福岡県福岡市東区東3丁目12-3
TEL.092-681-2023 | 照屋モーターース MX
鹿児島県鹿児島市東区東2丁目200-10
TEL.099-523-6888 |

93年度認定店 (93年9月現在) ※各ショップの取扱区分を、AA(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示しております。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

●YZ250, YZ125, YZ80, YZ80LW(ラージホイール), WR250Zは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●YZ250, YZ125, YZ80, YZ80LW(ラージホイール), WR250Zは道路を走行できません。道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。●私道、社寺の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

YAMAHA
ヤフ八発動機株式会社



●型式SJ13A ●2ストローク・単気筒・水冷・クランクケースリードバルブ・249cc ●最高出力40ps/8,000rpm ●最大トルク
3.8kg-m/6,500rpm ●乾燥重量113kg ●乗車定員1人 ●ボディカラー：サイエンスイエロー、ダイナミックブルー ¥459,000

カタログご希望の方は、雑誌名を明記し、切手175円分を同封のうえ、〒432-91 浜松市高塚町300 スズキ株式会社 スズキインフォメーションセンター・RMX250S 係へ。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。



株式会社スズキ
〒432-91 浜松市高塚町300
スズキ株式会社 スズキインフォメーションセンター

RMX 250S

AGGRESSIVE ENDURO



誰も僕を追い越せない。

欲しかったのは、生粋のエンデューロ・マシン。
 RM直系のエンデューロ・レーサー、RMX250の野性を受け継ぎながら、
 グッドハンドリングも、長大なホイールトラベルをもつサスペンションも、
 低中速域から高速域まで滑らかに伸びるエンジンも、
 ライダーズ・フィールと鮮やかにシンクロする。だから、ハイペース・ランでも感じるのは、
 緊張ではなくむしろときめき。限界までは人の少し、勇気の扉を開くだけでいい。
 ボーン・トゥ・エンデューロ、RMX250S。

YELLOW
 RACING



サイエンスイエロー



ダイナミックブルー

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部離島を除く) ●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は、含まれていません。●消費税額は、別途計算の上、申し受けます。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。●速度警告灯装着車もタイプ設定してあります。(10,000円高) 走行写真は、プロライダーによる走行を撮影したものです。無理な走行をしないようにしましょう。

もっと個性的に、もっとあなたらしく
Personal Best  **SUZUKI**

Kawasaki
Let the good times roll.

TOUGH

KLX250SR、 志賀高原の 山ふところに行く。

なぜ山に魅せられ、登りつめようとするのか？
登山家はこともなげにこう答えたという。——
「そこに山があるからだ」。北信濃の山々を遠くから眺めていると、そんな言葉がふと湧き出てきた。クライマーとライダーの考え方は多少異なるかもしれないが、まさしく今、何かに導かれるように峰々へ踏み入ろうとしている自分自身がいる。

熊ノ湯を出発。志賀草津高原ルートを上り、山田温泉方面に左折する。そこが県道豊野南志賀公園線である。県道とはいいながら林道と思った方がよい。標高2,000mの笠ヶ岳を越えてゆく約10kmのこのコースは、険し



くて落石も多いラフロードだ。そしてそのまま七味笠ヶ岳線につながる。このコースは整備の進んだ楽なコースである。いや、……であった。これが林道の恐ろしいところで、現在では雨のため流失してしまい通行できなくなったとのこと。だから山は怖いのだ。そして鎌田林道を経て五色温泉を越え、一路山田温泉に向かう。須坂方面に向かい、小安橋を渡ってから、今度は湯沢林道をひた走り、万座方面へと向かうのだ。今日のコースは林道の往復チャレンジだ。疲れ切った身体を万座温泉で癒やすことが楽しみのひとつ。そのためにもうひと頑張りである。

湯沢林道の出だしは林間ルート。しかしすぐに視界が開け、眼下



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン！
- カーブ・交差点では、スローイングダウン！

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。

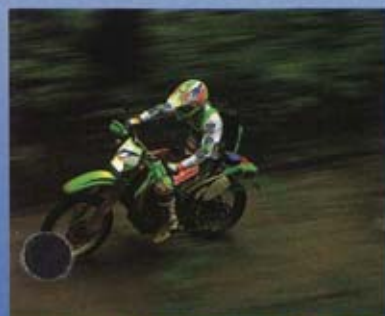
KAZEに入りませんか？

KAZE
Kawasaki Riders' Club

「Kawasaki Amusing Zone for Everybody」——KAZEはどなたにでも、思う存分スポーツやアウトドアライフをお楽しみいただけるメンバーズクラブです。ぜひ、あなたもご入会ください。

ご入会のお申し込みはARK、またはKAZEフリーダイヤルまで、お気軽に。 ☎ 0120-100819

ESS RUN.

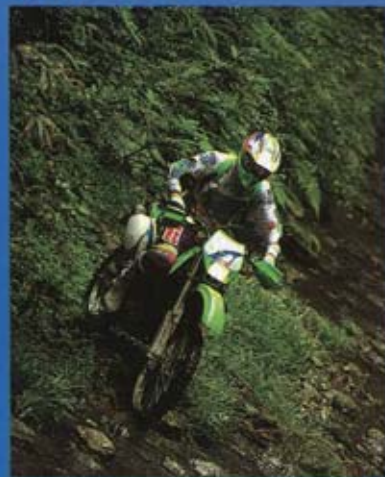


に広がりのある風景を見せる。湯沢林道は距離約20km、標高差1,000mというダイナミックな林道。ハードな障害はほとんどないが、コーナーが連続して外すと相当

に揺られるため、マシンコントロールが要求される。こういふときに実感できるのが優れたトータルバランス。ペリメーターフレームを骨格

とするボディは剛性感が高く、またスリム&コンパクトに設計されているためしっかりとホールドできる。ラフな道に負けることなく、しかも思いのままのライディングで挑める。

絶え間ないハードなコーナーをこなし、徐々に高度を上げてゆくと、クマ笹や低灌木だけのエリアになる。そこが三叉路。左にゆくとう信スカイラインになり、右にゆくとも標高1,820mの毛無峠。文字通り木一本無いすっきりした峠である。この峠からの北信道の山々は神々しい。そしてそのまま万座温泉方面へ——。万座峠からみる笠ヶ岳や志賀山、それに御飯岳の2,000m級の山々が夕陽を浴びて美しい。さあ、今夜の温泉宿は心身ともにリラックスできそうだ。



志賀高原は遠くアルプスや信濃の山々が堪能でき、そして過酷さゆえにチャレンジ精神を呼び起こしてくれるコースなのだ。高性能でありながら持久力を併せ持つタフネスなKLX250SRにはうってつけのコースだと思う。そして大切なことをもうひとつ。林道の情報は刻々と変わる。昨日の素晴らしいコースも今日は舗装路となる。また素敵な秘密のコースは見る影もなく土砂崩れてなくなってしまう……。「ダメなら即刻引き返すこと」。KLXならではの冒険世界——それは乗り手の豊かなくところと、無駄を恐れない勇気だけが保証してくれる。

KLX250SR

KLX250SR ● 水冷4ストローク単気筒/DOHC4バルブ・249cm³ ● 最高出力: 30ps/8,500rpm
● 最大トルク: 2.6kg-m/7,500rpm ● 乾稼重量: 109kg ● カラー: ライムグリーン、サンビームレッド ● ¥449,000
※価格には保険料、税金(消費税など)、登録のための諸費用などは含まれていません。
※価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄を除く)です。詳しくはARKにおたずねください。

Kawasakiに関するご意見、ご要望はお気軽に——、
お客様相談室

東京: ☎03(3595)0563 明石: ☎078(925)2003

カタログご希望の方は機種名をご記入になり、175円切手を同封して、下記までお申し込みください。
〒673 明石市川崎町1-1 株: カワサキモーターズ ジャパン (カタログ係)まで。







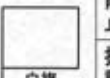



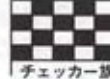

“ARK”はカワサキの
信頼ある正規取扱店です。

Kawasaki
株式会社 カワサキモーターズ ジャパン

SIGNAL FLAGS

信号旗 (合図旗および合図)

競技中、競技役員が次の信号旗(フラッグ)を示した場合は、各ライダーはこの旗の指示に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味		旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス/スノーモビル		ロードレース	モトクロス/スノーモビル
 国旗	レーススタート (通常緑シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシンで行なう場合もある。)	 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黄旗	静止 危険予告・ 追い越し禁止	危険予告・減速	 黒旗	白ナンバーを付けた黒ボードを併用する。示されたナンバーを付けているライダーは次のラップでピット停止。	ナンバーを示したボードと併用。指示されたライダーは走行中止。
 白旗	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止	危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止	 青旗	静止 追越しシグナル、1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	
 赤ストライプ付黄旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	コース上にサービス車両(救急車等)あり	 チェッカー旗	振動 追い越される寸前	警告、ラップされようとしている。
 緑旗	振動 コース表面が滑りやすい状態	コース上にサービス車両(救急車等)あり		レース終了	レース終了
	先に出した合図の解除(コースクリアー)	先に出した合図の解除	レースナンバープレート ライセンス識別カラー		

ロードレース 国際A級対象種目は、125cc、250cc、500cc、SS、F1、SB、耐久

- 前面：タテ235×ヨコ285mm
- 側面：タテ250×ヨコ300mm


 国際A級(125cc)(前面)
(1ゼッケン番号に同色)


 国際A級(250cc)(側面)
(1ゼッケン番号に同色)


 国際A級(500cc)(側面)


 SS(前面)


 F1/SB(側面)


 耐久(側面)


 国内B・C級SP(側面)

注：タテ×ヨコの数字は、ナンバープレートの寸法
数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。

モトクロス ●タテ235×ヨコ285mm


 ジュニア


 国内B級


 国内A級


 国際A級(125cc)


 国際A級(250cc)


 国際B級

トライアル ●タテ150以上×ヨコ175mm以上


 ジュニア


 国内B級


 国内A級


 T.NIPPON
 国際B級


 T.NIPPON
 国際A級

ヘルメットのMFJ公認マーク





ロードレース特選 ロードレース用、モトクロス用 トライアル用、ツーリング用

*MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

レーシングスーツのMFJ公認マーク



*使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。

スノーモビル


 S1クラス


 S4クラス


 S3クラス


 S2クラス


 S1クラス

M F J

国内競技規則書

1994年版

CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	18
MFJ国内競技規則	20

ROAD RACE

細則1 ロードレース競技細則	44
細則2 '94全日本選手権大会特別規則	57
細則3 '94スーパーカップ選手権大会特別細則	62

MOTOCROSS

細則4 モトクロス競技細則	76
細則5 '94全日本選手権大会特別規則	83

TRIAL

細則6 トライアル競技細則	100
細則7 '94全日本選手権大会特別規則	108
細則8 '94スタジアムトライアル全日本選手権特別規則	112

SNOWMOBILE

細則9 スノーモビル競技細則	120
細則10 '94全日本選手権大会特別規則	127

TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	131
基本仕様<ロードレース>	136
基本仕様<モトクロス>	142
基本仕様<トライアル>	145
SPクラスの仕様	149
SSクラスの仕様	153
耐久レースの追加仕様	157
国内GPクラスの仕様	158
国内モトクロスの仕様	161
国内トライアルの仕様	164
FIM技術仕様	166
スノーモビルの仕様	171
ドラッグレースの仕様	173
ロードレースジュニアクラスの仕様	178
ミニバイクの仕様	181

SUPPLEMENT

ドラッグレース競技細則	184
MFJライセンス昇格・降格に関する規則	191
MFJ共済会制度	195
MFJ公認車両・部品・用品	196
全国公認サーキット	211
歴代チャンピオンリスト	216

1994年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻294号

財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■表紙デザイン：AGEN co., Ltd. ■印刷：株式会社 三秀堂

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

スノーモビル

技術規則

付録

1994

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括21
2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目21
3. 大会特別規則ならびに公式通知22

■第2章 ライセンス

4. 競技ライセンスとその種目23
5. 競技ライセンスの取得資格24
6. 競技ライセンスの有効期間25
7. 競技ライセンスの効力の失効等25
8. 競技ライセンス資格の昇格および降格26

■第3章 競技会

9. 競技参加者27
10. 競技参加者の遵守事項27
11. ライダーの装備28
12. 出場車両29

13. MFJ公認車両および公認部品・用品29
14. 燃料およびオイル29
15. 競技出場の申し込み30
16. 出場料およびMFJ共済会掛金30
17. ライダーおよび車両の変更30
18. 車両検査31
19. 競 技31
20. 優勝者等の決定31
21. 入 賞31
22. 入賞者の車両検査32
23. 競技結果および記録の公表32
24. 公式得点32
25. 競技会の延期および中止等32
26. 損害に対する責任33
27. 抗 議34
28. 違反行為に対する罰則34
29. 大会審査委員会の権限34

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste：略称FIM）の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

この国内競技規則書の製作にあたっては「オートレース公益資金」の補助を受けて製作されたものです。

第1章

総則

1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1) 公認競技会の格式

(1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。

(2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会はFIM競技規則が適用される。

2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

公 認 競 技 会		公 認 競 技 会	
優先順位	国 際 格 式	優先順位	国 内 格 式
1	世界選手権競技会(FIMカップ含む)	6	全日本選手権
2	国際選手権競技会 (パンパシフィック選手権含む)	7	スーパーカップ選手権
3	日本(MFJ)グランプリ	8	特別競技会
4	全日本選手権(インターナショナル)	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- (1) ロードレース
- (2) モトクロス
- (3) トライアル
- (4) スノーモビル
- (5) ドラッグレース
- (6) エンデューロ
- (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- (1) ロードレース
- (2) モトクロス
- (3) トライアル
- (4) スノーモビル
- (5) エンデューロ
- (6) ミニバイクレース
- (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技

3 大会特別規則ならびに公式通知

- 1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。
- 2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。
 - (1) 大会特別規則には次の各項が示される。
 - ① 競技会の名称・格式
 - ② 競技会の組織
 - ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
 - ④ 開催日時・場所
 - ⑤ 競技の種目および内容
 - ⑥ 参加資格
 - ⑦ 出場申し込み受け場所
 - ⑧ 出場申し込み期間
 - ⑨ 出場料とMFJ共済会掛金
 - ⑩ 出走者の定員
 - ⑪ 賞およびその詳細
 - ⑫ その他
- 3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章

ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびビットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。

また、ライセンスを受けた者は、自動的にその住所を管轄するMFJ公認都・道・府・県協会（以下「県協会」という）に所属する。

2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンス別の種目

種目 クラス	ロードレース	モトクロス	トライアル
国際A級	○	○	○
国際B級	-	○	○
国内A級	○	○	○
国内B級	○	○	○
国内C級	○	-	-
ジュニア	○	○	○

●スノーモビルの競技ライセンス

スノーモビル	
クラス	A 級
	B 級
	ジュニア

●ドラッグレースの競技ライセンス

ドラッグレース	
クラス	A 級
	B 級

●競技ライセンス別の参加できる競技会・種目

取得している ライセンス 参加できる 種目		競 技 ラ イ セ ン ス						
		ロードレース ライセンス	モトクロス ライセンス	トライアル ライセンス	スノーモビル ライセンス	ドラッグレース ライセンス	エンデューロ ライセンス	Lライセンス
公認 競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-	-
	モトクロス	-	○	-	-	-	-	-
	トライアル	-	-	○	-	-	-	-
	スノーモビル	-	-	-	○	-	-	-
	ドラッグレース	-	-	-	-	○	-	-
	エンデューロ	-	-	-	-	-	○	-
承認 競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-	-
	モトクロス	○	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○	○
	その他 MFJ スポーツ委員会 の認める競 技会	○	○	○	○	○	○	○

※運転免許を受けているもの限り、ビットクルーライセンスでライダーとして承認競技会に参加できる（Lライセンスと同じ）

3) FIMライセンス (MFJを経由して取得することができる)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技ライセンス区分	取得資格
ロードレース	① 1大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会に使用できる	当該種目の国際B級以上のライセンス所有者
モトクロス トライアル	② 年間ライセンス 国内・国外で行われる世界選手権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンス所有者

5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件をみたしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国のFMNの承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国のFMNからFIMインターナショナルライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

当該年度にMFJから他国協会 (FMN) に移籍した者は、当該年度内はMFJライセンスの再取得はできない。

- 3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。

4) 種目による条件

- (1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス

- ① 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。
- ② 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証 (発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ) を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。

(2) ロードレース

- ① 運転免許 (原付以上) を受けているもの。

a) 国内B級ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

ア MFJの公認するロードレース国内B級ライセンス講習会の修了証を受けていること。

有効期間：受講日より6か月

イ MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間走行証明書を受けていること (走行券やカードは不可)。

準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。

有効期間：発行日より1年間

ウ 国内C級ライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。

準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。

有効期間：前々年度 ('92年1月1日以降) の大会より。

エ 国内C級ライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。

準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。

- ・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。
- ・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。

有効期間：前々年度（'92年1月1日以降）の大会より。

⑥ 国内C級ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

ア MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。

イ MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。

ウ MFJの公認する国内C級ライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。

② 運転免許証を受けていない者

① 国内C級ライセンス

満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。

② ジュニアライセンス

満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。

(3) ドラッグレース

運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。

ドラッグレース講習会の終了証を受けていること。

(4) ピットクルー

16歳以上であること。

※本規則という「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

※ライセンス取得後の昇格については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(191頁参照)

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(191頁参照)

7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - (4) MFJの認めないモーターサイクル競技会に出場した者。

- (5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
- (6) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による（191頁参照）。

第3章

競技会

9 競技参加者

1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。

(1) ライダー

- ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者。(効力の停止中の者を除く)。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行っているもの。
- ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
- ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。

(2) ピットクルー

- ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行っているもの。

(3) エントラント

ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行った団体または個人を言う。

- ① MFJ公認クラブまたはMFJライセンス取得者
- ② MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
- ③ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー

※ エントラント資格を有し、エントリー用紙に参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。

2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
- (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。

- (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。
 - (4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。
 - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
 - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - (2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目細則による。
 - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
 - (7) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (8) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

11 ライダーの装備

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
 - (1) ヘルメット
 - ① ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - ② MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
 - ③ MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
 - ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ラ

ライダーの安全上からその使用を禁止する。

- ⑤ MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。

この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければならない。

(2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
- ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

13 MFJ公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
- なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認の発効は、車両、タイヤ、部品についてはMFJ技術委員会において審査し、公認された日の翌月の対応日（対応日がない場合は前日）または、発売日の翌月（一般市販車は2ヵ月後）の対応日としヘルメット、レーシングスーツは、公認された日からとする。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。

14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定めるMFJ技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
- (1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
- (2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示に従わなければならない。
- (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。
- 3) 世界選手権に関してはFIM規則が優先される。

15 競技出場申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない(エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。
 - ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。
 - ① 銘柄
 - ② 車名
 - ③ 年式
 - ④ フレーム打刻型式頭番号
 - ⑤ エンジン打刻型頭番号
 - (2) 主催者は、エンタラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
 - 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

16 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) エンタラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金を主催者に支払わなければならない。MFJ共済会については、別に定める規則による。
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等に合致する以外は払い戻しされない。

17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合限り、車両の変更が認められる。
車両変更手数料は5,000円とする。
 - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
 - (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない（スタート前チェック）。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法はそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 3) 競技中競技役員が合図旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
 - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分注意しなければならない。
 - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。
ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了
競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めるところによる。

21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。
また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別

規則により示される。

22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

24 公式得点

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点は、下記のとおりとし、この詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

① 全日本選手権および地方選手権競技会

台数 順位	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

② 県大会その他

予選出場台数（トライアルは除く）						
順位	12台以上	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8	8	
4位	7	7	7	7	7	
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースは別の日程で再レースを行わない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り

(1) 決勝レース出走前の短縮

- ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの75%以内とする。(但し、モトクロスの場合 +2周は考慮しない)
- ② 75%以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化し、短縮が必要となった場合さらにその75%以上まで短縮することが出来る。
- ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点は半分とする。
- ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。

(2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り

- ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - Ⓐ ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント
走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点
 - Ⓑ トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満のクラス=中止・ノーポイント
選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%以上のクラス=半分のポイント
 - Ⓒ モトクロス他：中止・ノーポイント

6) トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が決められた周回数(または時間)の75%以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。

7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することは出来ない。

事 例	出 場 料	共 済 会 掛 金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者のみ返却	返却しない
決勝スタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

26 損害に対する責任

1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。

車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。

- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
- 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

27 抗議

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
- (1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
 - (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
 - (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
 - (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
 - (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

28 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中（競技中も含む）における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

軽重 順位	罰 則	内 容	決 定 機 関
1	訓 戒	口頭注意	大会審査委員会
		文書による注意……始末書を提出	大会審査委員会
2	罰 金	現金3,000円以上50,000円以下	大会審査委員会
3	タイム/ポイント/周回数に対する罰則	当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ	大会審査委員会
4	失 格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	資格停止	一定期間競技会に参加する資格を停止する	スポーツ委員会
6	資格剥奪	競技会に参加する資格を剥奪する	スポーツ委員会

※罰金はMFJにて保管され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルトに公示される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止までおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

29 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

附 則

1. 本規則は、1994年1月1日から施行する。

DUCATI



True Value

80年代においてはステータス・シンボルとしてのモーターサイクルには、いかなる出費も惜しまないという風潮が生まれましたが、90年代に入って単にそれだけでなく、例えばM900のように本当に価値のあるものしか認められないという定義が確立されようとしています。M900は新しいデザイン・フィロソフィを具体化するという理由だけでなく、ドゥカティを特徴づける2気筒L型エンジンに代表される高度に洗練された技術とアグレッシヴでエレガントなデザインをウエル・バランスで融合させることを目標に開発されたのです。ドゥカティは、SBK世界選手権で3連覇の偉業を達成したことで高性能ハイバースポーツバイクとして名実ともに認められ、日本においても価値あるイタリア製品としての地位を確立しました。レースという国産車の得意な分野に挑戦し成功を収めた今、ドゥカティはモーターサイクルの世界に新たな挑戦を開始したのです。多様性を最大限に表現したモンスターは、全てのモーターサイクルファンの熱狂的な支持を獲得しました。実際、異なった7ヶ国の12人のジャーナリストで結成された評議委員会がM900を1992年度のベスト・イタリアン・プロダクトに選んだのは偶然ではありません。

M900はアメリカン・モーターサイクルの神話と日本製モーターサイクルによって築かれたプレステージ・モーターサイクルの世界に最先端の技術と美しいデザインでリーダーシップを執るべく立ち上ったイタリアン・モーターサイクルの代表なのです。

METALLIC BLACK M900

- Engine Type: Air/Oil cooled
Desmodromic OHC4-valve 90°L2
- Displacement: 904cc
- Max. Horse Power: 80ps/7,250rpm
- Dry Weight: 185Kg
- ¥1,390,000



LIGHT WEIGHT M600

- Engine Type: Air cooled
Desmodromic OHC4-valve 90°L2
- Displacement: 583cc
- Max. Horse Power: 53ps/8,250rpm
- Dry Weight: 174Kg
- ¥1,010,000



Come ride with us.  **HONDA**



走り



PHOTO: NSR250R

※価格は全てメーカー希望小売価格（北海道、沖縄および一部地域を除く）です。※価格には保険料・税金（消費税を含む）・登録などに伴う諸費用は含まれていません。※価格は全て税別です。詳しくは販売店にお尋ねください。
※速度警告機付PGM-FIキーカード（オプション）を使用することによって、80km/h速度警告仕様とすることが可能です。（10,000円）※PRO LINK、PRO ARMは、本田技研工業車の登録商標です。



ホンダ・メーカーチャンピオン獲得！ 阿部典史&NSR500チャンピオン獲得！ 宇川 徹&NSR250チャンピオン獲得！

ご声援ありがとうございました。



ご声援ありがとうございました。



ご声援ありがとうございました。

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手175円を同封し、機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒150 東京都渋谷区郵便局発 本田技研工業㈱カタログ係まで、

カタログ請求券
NSR250R

の記憶を呼び覚ませ。

知能の進化が可能にした、ときえいえるこの形態、幾度となくあった環境の変化に適應し、生存競争を勝ち抜いてきたNSRのインテリジェ

ンス。その進化の幹をさかのぼれば、スプリンターという「種の起源」にたどりつく。そして、情熱的に受け継がれてきた疾風の遺伝子は第4世代の知能を得て、もはやパワーやスピードといった概念では語りきれないほどの、劇的なメタモルフォーゼをここに遂げた。ヒトとマシンを結ぶ高感度のPGMネットワーク。走ることをなしたかな快感にできるライド・フィールの確立。バージョンアップした新生NSRのマン＝マシン・インターフェイスは、多彩を誇り、きわだつものとなって我々に共鳴を誘いかける。ヒトとマシン、双方の意志がそのまま走りに直結する。知的で濃密な一瞬を共有しよう。言語を超えて互いに惹きあう。遺伝子でそれを感じ取ろう。走りの記憶を呼び覚ませ



PHOTO: NSR250R SE

新生NSR魅力の新装備 ● エンジン統合制御システムのさらなる進化、PGM-IV ● 「鍵」に代わる新世代のエントリーシステム、PGMメモリーカード ● マシン・コンディションを視覚できる、液晶マルチ・ディスプレイ ● カード・インと同時に自動解除、フレーム内蔵式新ハンドルロックシステム ● 新設計スラント型TBピストン、キャブレターとショート・インテークマニホールド ● 低・中速重視型、新形状チャンバー ● 高剛性、センターロック方式プロアーム ● マルチポットキャリア採用の、新ブレーキシステム ● ワークスレーサーNSRイメージの最新フォルム ● リアルリアステアが感じ取れる、ワイド & フラットシート。SEならではの標準装備 ● カートリッジタイプ・フロントサスペンション ● リザーバータンク別体式、減衰力可変機構付リアクッション ● 切れのいい新型乾式クラッチ ● 国産ハイグリップタイヤ ● 型式MC28 ● 水冷2サイクル・クランクケースリッドバルブ90度V型2気筒・249cm³ ● 最高出力40ps/9,000rpm ● 最大トルク3.3kgm/8,500rpm ● 乾燥重量134kg (SE:138kg) ● 車体色ロスホワイト×スパークリングレッド、SE:ロスホワイト×スパークリングレッド、ロスホワイト×リアルブルー ■ ¥680,000 SE: ¥720,000

New
NSR250R / NSR250R SE

バイクが好きだから、
セーフティライド。

見る・見られる・いい運転。

● バイクは昼間もライト・オン！
● カーブ・交差点では、スロー・インクダウン！

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。



ビルトイン・メカシールド&新開発Q.R.S.B

フラッシュサーフェイス化を徹底し、不快な耳回りの風切り音をシャットアウトした独自のビルトイン・メカシールドを採用することにより、

ライディング時のコンセントレーション、快適性、安全性が飛躍的に向上しました。さらに、ワンタッチで確実・簡単なシールド交換を可能にするQ.R.S.B(クイック・リリース・シールド・ベース)を搭載。例えば雨が降りはじめたら、瞬時にアンバーシールド(別売)に換えるなど、走行状況にあわせたシールド交換が自在です。



ナイトライダーキャンペーン 実証中

'93.12/1(Wed)-'94.2/1(Tue)

期間中、25,000円以上お買い上げの方の中から抽選で毎週500名の方に、発光ステッカー(エレクトロルミネッセンス)をプレゼント。詳しくはお買い求め販売店でおたずねください。



それは、新時代を告げる。

モンスター、NSR500を駆る阿部典史。彗星のように登場した彼の鮮烈な走りは、多くの若者たちを魅了した。そしてここにも、時代のをとらえて、ライディングフォース・NRVがデビュー。安全性はもちろん、風との一体感を高める精悍なシェルデザイン。天候状況にあわせて瞬時にシールドを交換できる、新搭載の画期的メカ、Q.R.S.B.。柔らかく包み込まれるようなフィット感、熱い走りをかき立ててくれる。ライダーを力強く、そして頼もしくサポートするNRV。待望のヘルメットが現れた。



NRV

RIDING FORCE

新登場 ¥32,000

●規格：スネル規格M90、JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー：白、黒、キャンディレッド、ディープシルバー、パープルメタリック ●サイズ：S、M、L、XL ●構造：新素材&ファイバーグラスH.L.構造 ※シールド(CX-1)は標準装備のソフトスモークと別売のクリアー、スモーク、アンバーの4種類、各¥3,800です。*特許出願中

'94ヤマハロードレーサー

TZ125/TZ250

只今絶賛販売中!

スポーツライダーでは、'94ヤマハロードレーサー「TZ125」及び「TZ250」の発売に伴い、ユーザーのみなさんへの販売を開始しました。お気軽にご連絡下さい。

販売受付電話

045-363-5112



'94 TZ125
¥998,000 (消費税別)

■特徴: ストレート吸気・1軸バルンサー機構の2サイクルエンジンをアルミ製デルタボックスフレームに搭載。



'94 TZ250
¥1,770,000 (消費税別)

■特徴: 高い信頼性と優れたコストパフォーマンスで好評モデルをベースに、エンジン性能の向上、空力性能の向上の熟成等を図り総合的なポテンシャルを一層高めました。

チーム募集!

数々の名ライダーを育んだスポーツライダー。8耐参戦2年目にしてヤマハ系チーム3番手となる。20位入賞しその歴史に輝かしい足跡を残した。そのスポーツライダーが'94年度 TZ125 をカテゴリーに加え新たなチャレンジを展開する。スペアパーツがOFF、整備スペースの提供等チーム員には、数々の特典が待っている。

マルケジニ
マービック
テクノマグネシオ

各ホイール
取り扱って
おります。

'94ヤマハコンペモデル絶賛販売中

スポーツライダーは、ロードレーサーだけでなく、'94ヤマハモトクロッサー、エンデューロ及びトライアルマシンも販売しています。マシンでお悩みの方、'94シーズンの計画の方、その他レースのことならなんでもご相談下さい。

('94ヤマハモトクロッサー) ●YZ250 ¥549,000 ●YZ125 ¥470,000 ●YZ280 ¥299,000 ●YZ80LW ¥319,000
('94ヤマハエンデューロ) ●WR250Z ¥580,000 ('94ヤマハトライアル) ●TY250Z ¥850,000

※ (価格は全て消費税別です。)

■中古レーサー情報

- '83TZ250 - ¥850,000
- '82TZ250 - ¥550,000
- '81TZ250 - ¥300,000

※中古レーサーの下取り・相談も承ります。

KISS

BP

Aral

伊太利及

DUNLOP

BRIDGESTONE

YOKOHAMA

NGK

DID

安田火災

JACCS

…の各企業に応援頂いています。

SPORTS RIDER

スポーツライダー/横浜本部: 〒241 横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5111代 姉妹店: 西宮横浜店 (野口モーターズ)



BLJ-2L KEVLAR
 ●BLJ-2L KEVLAR ●No. 1123 ●¥98,000(消費税 ¥ 2,640) ●サイズ: M~LL ●カラー: ブラック ●クオリティ: 裏/ゴニール、フロントボレンドアイング、メタリック、黒/ポリエステル、フリース、ナイロン、メッシュ



BLACK STARIAI
 ●ブラックスター(A) ●No. 1334 ●¥98,000(消費税 ¥ 2,640) ●サイズ: M~LL ●カラー: ブラック ●クオリティ: 裏/ゴニール、黒/ナイロン、メッシュ



POWERED-RJIAI
 ●POWERED-RJ(A) ●No. 1115 ●¥64,000(消費税 ¥ 1,920) ●サイズ: M~LL ●カラー: ブラック、キヤメル ●クオリティ: 裏/ゴニール、黒/ナイロン、メッシュ (取付し式ベスト型アルミライナー付)



STURGIS W
 ●スタージスW ●No. 1338 ●¥98,000(消費税 ¥ 2,640) ●サイズ: M~LL ●カラー: ブラック ●クオリティ: 裏/アメリカンカウチ、黒/ナイロン、メッシュ (取付し式ボア、ライナー付)



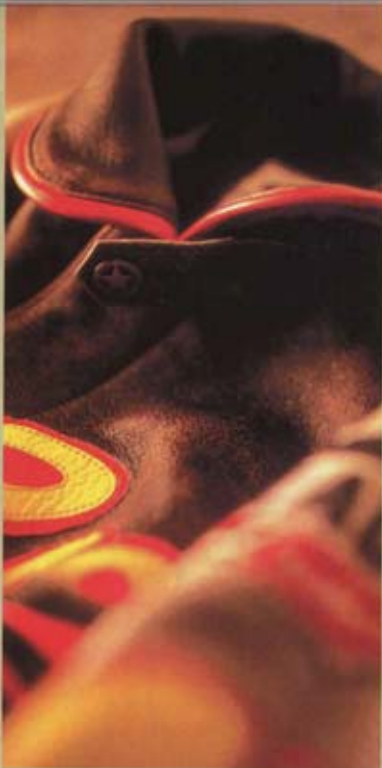
NORMANDY BOMBER
 ●ノルマンディー・ボマー ●No. 1021 ●¥78,000(消費税 ¥ 2,380) ●サイズ: M~LL ●カラー: ブラック ●クオリティ: 裏/ゴニール、黒/ナイロン、メッシュ (取付し式ベスト型アルミライナー付)



BLV-1
 ●BLV-1 ●No. 1124 ●¥98,000(消費税 ¥ 2,640) ●サイズ: Medium Large, Extra Large ●カラー: ブラウン/ブラック、オレンジ、ブラック ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ (取付し式ベスト型アルミライナー付)



BLV-2
 ●BLV-2 ●No. 1125 ●¥98,000(消費税 ¥ 2,640) ●サイズ: Medium Large, Extra Large ●カラー: ブラック/グレイ、ブラウン/レッド ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ (取付し式ベスト型アルミライナー付)



KADOYA
 RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP
 SINCE 1935



CAMOUFLAGE JAC

●カモフラージュJAC ●No. 1571 ●¥78,000(消費税 ¥ 2,340) ●サイズ: M~LL ●カラー: カモフラージュプリント ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ ●受注生産



CAMOUFLAGE VEST

●カモフラージュVEST ●No. 1572 ●¥45,000(消費税 ¥ 1,350) ●サイズ: M~LL ●カラー: カモフラージュプリント ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ ●受注生産



CAMOUFLAGE PANTS

●カモフラージュPANTS ●No. 2912 ●¥58,000(消費税 ¥ 1,740) ●サイズ: 28~32インチ ●カラー: カモフラージュプリント ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ ●受注生産



CLASSIC PRO-A

●クラシックプロA ●No. 1011 ●¥118,000(消費税 ¥ 3,540) ●サイズ: M~LL ●カラー: ネイビー、ブラウン、イエロー、ブラック、ホワイト、レッド ●クオリティ: 裏/ナイロン、メッシュ ●受注生産



全国どこでも通販OK!! MAIL ORDER!!!!

カドヤの全商品は通販販売でお求め頂けます。カドヤ本社通販係へTELにて希望商品の在庫を御確認のうえ、現金書留でお申し込みください。その際、左下の三角券を同封し、商品名、ご住所、お名前、電話番号を必ず御記入下さい。

●カタログご希望の方は600円分の切手と左下の三角券とを同封の上、カドヤ本社通販係へご請求下さい。

●カドヤ本社通販係 TEL. 03 (3842) 2000

〒111 東京都台東区西浅草3-29-21

●掲載商品の色調は、撮影の条件及び印刷インクの関係で実際のものと多少異なって見えることがあります。

●この広告の掲載製品及び価格は平成5年9月1日現在のものです。取扱い、仕様、価格は改良のため予告なく変更する場合があります。

KADOYA

RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP SINCE 1935

- 株 本 店 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 TEL. 03 (3843) 2000
- 東 京 店 〒110 東京都台東区下谷3-17-12 TEL. 03 (3871) 1700
- 大 塚 店 〒114 東京都豊島区大塚4-25-1 TEL. 03 (3876) 7667
- 山 手 店 〒160 東京都豊島区南豊島4-6-15 TEL. 022 (233) 8000
- 新 木 店 〒325 栃木県足利市大野町680-2 TEL. 0294 (03) 0769
- 営業時間/AM10:00~PM7:00(サ・バ・ル・シヨップはPM12:00~PM8:00)
- 定休日/毎週水曜日

カドヤ通販係
 MF-JBP

ガンバレ!! 未来のトップライダー。

世界の一流ライダーたちが、熱いドラマを繰り広げている鈴鹿サーキット。

一方では、世界を目指すNA、NBライダーのためのレースも数多く開催しています。

今後は、スーパーバイカーズやNK400などの新カテゴリーのレースも開催し、世界への道を広く開放。

モータースポーツ界の発展と、レース界に新風を吹き込むトップライダーの誕生を願っています。

ガンバレ/夢を賭けたライダーたち。鈴鹿サーキットは応援します。



'94 鈴鹿選手権シリーズ 鈴鹿サンデーロードレース/ブロンズカップ鈴鹿シリーズ/鈴鹿NK4(NAKED 400)シリーズ 暫定カレンダー

日付/コース	J/NC/NB	J/NC/NB		NB				NA				主催者	
		GP	NK4	SP250	SP400	GP125	GP250	SP250	SP400	GP125	GP250		
第1戦 1/9	東		●				○	○					テクニカルスポーツ
(ブロンズ) 1/30	南			●	●			●					マスターヒロ
第2戦 2/27	南	●	●	○						○	○		テクニカルスポーツ
第3戦 3/12, 13(全日本開催)	全						○						鈴鹿サーキット
第4戦 4/17	西		●		○					○	○		鈴鹿サーキット
第5戦 5/7, 8	全	●	●	○			○	○					鈴鹿サーキット
(ブロンズ) 5/15	南	●			●	●							マスターヒロ
第6戦 6/11, 12(全日本開催)	全												鈴鹿サーキット
第7戦 6/19	南	●	●				○	○		○	○		テクニカルスポーツ
第8戦 7/22, 23, 24	全		★耐久	△4時間耐久									鈴鹿サーキット
第9戦 8/4	南	●	●				○	○					テクニカルスポーツ
第10戦 9/10, 11(全日本開催)	全									○			鈴鹿サーキット
第11戦 9/24, 25	全									○	○		鈴鹿サーキット
第12戦 10/23	西		●	○			○			○			鈴鹿サーキット
(ブロンズ) 11/20	南	●			●	●							マスターヒロ
'94 昇格ポイント対象レース 計				5	5	6	5	4	4	5	5		
'94シリーズ 最終戦 12/3, 4	全		●		●	●	●	●	●	●	●		鈴鹿サーキット
鈴鹿選手権ポイント対象レース 計		5	8	6	6	7	6	5	5	6	6		

○、△……昇格ポイント対象レース (NA-SP250/SP400については特別昇格申請が必要です) ※ (●)……ポイント対象外のレース
 ●、★……昇格ポイント対象外レース (但し、鈴鹿選手権シリーズにはカウントされる) ※ このカレンダーは、変更になる場合があります。

'93-'94 スーパーバイカーズ in SUZUKA カレンダー

日付/コース	J/NC/NB	ライセンス以上			主催者
		SB I	SB II MR	SB II オープン	
第1戦 '93. 11/14	南	○			Jレーシング
第2戦 '93. 12/11, 12	東	○	○	○	鈴鹿サーキット
第3戦 '94. 1/16	南	○			Jレーシング
第4戦 '94. 3/20	南	○	○	○	Jレーシング
第5戦 '94. 5/22	南	○	○	○	Jレーシング
第6戦 '94. 11/27	南	○	○	○	Jレーシング
第7戦 '94. 12/24, 25	東	○	○	○	鈴鹿サーキット

'94 中部選手権シリーズ/三重県モトクロスシリーズ 鈴鹿モトクロス 暫定カレンダー

選手権	日付	J80	NB125	NB250	NA125	NA250	IB125	IB250	IA	主催者
(オールスター)	1/3	○					○	○	○	鈴鹿サーキット
中部・三重	2/27	○	○	○	○	○	○	○		鈴鹿サーキット
三重県	3/27	○	○	○	○	○	○	○		鈴鹿サーキット
(全日本)	5/14, 15						○	○	○	鈴鹿サーキット
中部・三重	7/10(日コハマ杯)	○	○	○	○	○	○	○		鈴鹿サーキット
(世界GP)	8/20, 21	○							○	鈴鹿サーキット
中部・三重	10/16(NGK杯)	○	○	○	○	○	○	○		鈴鹿サーキット

SMSCライセンスを取得して鈴鹿サーキットを走ろう!

鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)では、鈴鹿サーキット(国際レーシングコース/南コース)でスポーツ走行をお楽しみいただくための会員を募集中です。

8耐・世界GPが開催される世界最高峰のコースで君もライディングテクニクを磨こう!!

——スポーツ走行ライセンス——

- 2輪会員(国際レーシングコース/南コース)
- ミニバイク会員(南コース)
- 講習日:フルコースレースのない日曜日(※お問い合わせください)

レース観戦をお楽しみいただくための会員制度もあります。
 <世界選手権レース・特別催事日を除きます。>

■レースファン会員 ■ジュニアレーサーズ会員
 ※いつでもご入会いただけます。

会員特典

★鈴鹿サーキットホテル宿泊割引 ★鈴鹿サーキット/多摩テックの年間入園無料 ★鈴鹿サーキット開催レース入場無料(世界選手権レースを除く) ★SMSCオリジナルグッズの直営

スポーツ走行をアシストされる方のために、「ビットクルー会員」を'94より新設!!

主催者連絡先/エントリー申し込み先

- テクニカルスポーツ
 〒513 三重県鈴鹿市住吉町6786
 TEL.0593-78-1455
- チームミスターヒロ
 〒580 大阪府松原市立部2丁目499-1
 TEL.0723-36-1550
- Jレーシング
 〒468 名古屋市天白区植田西3丁目901
 TEL.052-802-0117
- 鈴鹿サーキット/SMSC事務局
 〒510-02 三重県鈴鹿市相生町7992
 TEL.0593-78-3405

ROAD RACE

ロードレース

▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	44
2. ロードレース	44
3. 合図旗および合図	44
4. 参加資格	45
5. 出場申し込み	45
6. 参加受理	45
7. ゼッケン・ナンバー	46
8. ライダーの装備	46
9. 出場受付	46
10. 出場車両の変更	47
11. 車両および装備の検査	47
12. 公式予選(オフィシャルプラクティス)	47
13. 決勝レース出場台数	48
14. スタート方法	48
15. スタートにおける反則	51
16. "ウエット" および "ドライ" レース	51
17. レース中の行為	51
18. 停車指示	53
19. レースの停止	53
20. 中断されたレースの再スタート	54
21. リタイヤ(棄権)	54
22. レース終了	54
23. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	54
24. レースの終了後の車両保管と再検査	55
25. レースおよび大会の延期・中止等	56
26. 抗議	56
27. 違反に対する罰則	56
28. 本規則の解釈	56
29. 本規則の施行	56

▼細則2 '94全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	57
2. 開催種目と競技会の日程	57
3. 追加のクラス	57
4. コース	57
5. 大会審査委員会	58

6. 参加定員	58
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	58
8. ビット要員	58
9. スポーツ走行	58
10. レース当日の練習走行	58
11. ゼッケンナンバー	58
12. 車両の変更	58
13. タイヤの使用本数の制限	59
14. 公式予選	59
15. タイムキーピングシステム	59
16. スターティンググリッド	59
17. レース距離	59
18. 賞および得点	59
19. 主催者の権限	59
20. 本規則の施行	60
'94全日本ロードレース選手権開催日程	60

▼細則3 スーパーカップ選手権大会特別規則

1. 公 示	62
2. 開催種目と競技会の日程	62
3. 追加のクラス	62
4. 選手権	62
5. コース	62
6. 大会審査委員会	63
7. 参加定員	63
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	63
9. ビット要員	63
10. ゼッケンナンバー	63
11. 車両の変更	63
12. タイヤの使用本数の制限	63
13. 公式予選	63
14. タイムキーピングシステム	64
15. スターティンググリッド	64
16. 賞および得点	64
17. 主催者の権限	64
18. 本規則の施行	64
'94スーパーカップ選手権開催日程	65

ロードレース 競技規則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下もしくは走行時間2時間以下

②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

①レースの総走行距離が250kmを超えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。

②2人もしくは3人の交代で行われる。

3 合図旗および合図

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の合図旗が使用される。

(1) 寸法

・シグナル用旗 60×80cm (最小限)

・赤旗 60×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

・シグナルまたは国旗……レース・スタート

・白黒チェッカー旗……レース終了

・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。

・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

・黄旗……危険!

静止……追い越し禁止。

振る……減速・停止準備・追い越し禁止。

- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・緑旗……コースクリア。
- ・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。
 静止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。
 振る……直前に徐行中の介入車両あり。
- ・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。
 静止……間もなく追い越される。
 振る……追い越される寸前。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。
 フライングによるピットストップの場合は区別する為にPの文字を合図板に示す。オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

- ・黄色燈の点滅1、2回 黄旗と同意味。
 - ・緑色燈 緑旗と同意味。
 - ・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。
- ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。

4 参加資格

1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1994年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(27頁)に合致していなければならない。

5 出場申し込み

1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。

2) 出場申し込み手続き

- (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
- (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。
- (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受け付けない。
 (締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返却さ

れない。公式予選を通過しなかったものも同様である。

- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
 - (3) 競技会の車両検査受け付け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものでなければならない。
 - ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
 - ③ 競技会の車両検査受け付け時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない。

- (2) ブーツ・グローブ
革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。
- (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

9 出場受け付け

- 1) 出場受け付けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。

- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔17ライダーおよび車両の変更〕(30頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数の種目に使用する事ならびに同一車両を複数のライダーが使用する事は出来ない。
- 5) 車両検査時持込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権とスーパーカップ選手権は2台までとする（Tカーは同一メーカーに限る）。
- 6) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 7) 予選を通過した車両全車に対し、音量測定を行う。
- 8) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 9) ガソリン
 - ① 使用するガソリンはMFJ技術規則（135頁参照）に合致しなければならない。
 - ② 使用するガソリンは原則的に当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。
 - ③ やむを得ない理由によりガソリンを持参する場合はガソリンの仕様書を提出し申告する。

12 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。
通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。
- 2) 公式予選の内容
 - (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることが出来る。
 - (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者（タイムがトップの110%に入らない者）はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
 - (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特

別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。

- (5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
 - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。通常タイム順によって決定する。
 - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
 - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
 - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)

例：グリッド数30台、予選4組

 - ③ 予選組上位7台で28台が選抜される。
 - ④ 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
 - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
 - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
 - ① 予選結果発表後1時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - ② 願い書提出者のうち上位3名のは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコースインゲートにて待機する。全日本選手権等別途ウォーミングアップ走行が設定されている場合は、これに走行できる。
 - ③ スタート前チェック終了時点でリタイヤがない場合は出走は不可となる。

13 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

14 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされた

ものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。

4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。

(1) スタート約30分前

ライダーは、スタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。

(2) スタート15分前 (サイティングラップ)

① ライダーはコースに出て1周のサイティングラップを行う。サイティングラップを開始してから5分間でピットロードの出口を閉鎖する。この5分間はピットロード出口にて1分ごとのカウントダウンとホーンにて示す。

② サイティングラップを走らなかったライダーはサイティングラップを終了したライダーがグリッドについてからオフィシャルの指示に従って定められたグリッドにつくことが出来る。(サイティングラップ完了後からウォーミングアップラップスタート3分前ボードが提示されるまで)

③ サイティングラップを走らなかったライダーもウォーミングアップを回って正規のグリッドに着けることができる。

④ ライダーがサイティングラップから戻ってきたら、オフィシャルがコースサイドでグリッド例を示す番号パネルを表示し、ライダーが自分のグリッドポジションにつくのを補助する。

⑤ 競技監督はレースが“ウエット”か“ドライ”かを判断し、グリッド上のライダー、およびまだピットレーンにいるライダーにボードを表示することによってそのことを伝える。ボードが表示されない場合には、自動的に“ドライ”レースだということになる。

(3) 注意事項

① サイティングラップ開始後の車両交換、追加給油は厳禁される。

② 車両の修理は、ピットエリアのみで許可される。

③ タイヤの交換はピットエリア、スターティンググリッドの双方で許可される。

5) ウォーミングアップラップスタート5分前

(1) 5分前ボード：カウントダウン開始

(2) 3分前ボード：ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘持ち以外の全員がグリッドを離れている事。

(3) 1分前ボードとイエローフラッグ：各ライダーごとに1名のメカニック以外の全員がグリッドを離れている事。

(4) 30秒前ボードとエンジン始動ボード：メカニックによって補助されたライダーはマシンを押してエンジンを始動する。メカニックはグリッドから退去し、オフィシャルによって2～3列ずつの集団に別れて順番にスタートする。この時ライダーがエンジンをかけられない場合はマシンをコースサイドに移動し、このライダーはエンジンを始動し最後尾からウォーミングアップラップを走る。

さらにかからなかった場合マシンをピットレーンまで押してピットからディレイドスタートする。この際競技役員が移動、ならびに再スタートを補助する事が出来る。

(5) ウォーミングアップラップの時は、ライダーは自分のスターティングポジションをキープしなくてはならない。

6) スタート

(1) グリッドに戻ったライダーは、エンジンをかけたままの状態、自分のグリッ

ドポジションで静止する。

- (2) もし、マシン等に問題があった場合は、このライダーはすみやかにピットにもどらなければならない。
- (3) スタートを遅らせることを意図して、ライダーが、グリッドにつくことは禁止される。もし、ライダーが遅れて戻ってきて、既にレッドライトが点灯されている事に気がついたら、このライダーはゆっくりとしたスピードでピットに向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイドスタート（遅れてスタートすること）する。
- (4) スタートライン上、コースの中央地点では、赤旗を持った競技役員が、ライダー全員がグリッドに着くのを待つ。さらにこの競技役員は、マーシャルカーが姿を見せるまでそこに残っている。スターターの指示が出たら、この競技役員はコースを離れる。
- (5) 緑旗と赤旗を持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する。
 - ① 緑旗を掲示することによって、この競技役員はグリッドの用意ができたことを示し、コースの中央にいる（スタート・ラインのところ）競技役員がスターターの指示に従ってコースから離れる。
 - ② 赤旗を掲示することによって、この競技役員は、レース・マネージメント・カーの後ろからやってきたライダーを停止させ、このライダーが緑色灯点灯後にグリッドの最後尾より静止状態からスタートするか、あるいはピットに戻るかをチェックする。
- (6) 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「赤色灯」を点灯する。赤色灯が点灯されてから1秒以上5秒以内に赤色灯に代わって緑色灯が点灯され、レースがスタートする。
- (7) スターティンググリッドに戻ってきた時点で、エンジンが止まったり、スタート出来ないライダーがいた場合は……、
 - ① ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルがボードを掲げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けてることによって、この状況を伝える。
 - ② スターティンググリッドに戻ってきた時にトラブルがあった場合、スターターは、スタートを取り止めるよう判断して下記の手順をとる。
 - ③ 赤色灯がまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインにて掲示され、赤旗が掲げられる。
 - ④ 赤色灯がすでに点灯されていたら、スターターは「点滅する黄色灯」を点灯し（赤色灯はそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。
 - ⑤ ③④両方の場合：

エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。このことはラップカウンターに表示される。
 - ⑥ スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛らない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。

- (8) スタートした集団がピットの出口を通過した後、ピットレーンで待っているライダーがスタートする（競技役員の指示にしたがって）。

※全日本選手権以外の大会についてはサイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列（隔列の場合もある）又はその他の手順について省略する場合がある。この場合各特別規則ならびに公式通知に示される。

15 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについた車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。
 - (1) 競技結果への1分間の加算。
 - (2) 一旦ピットストップを命じる。その場合には、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と共に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

16 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) ドライレース
ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性があるとき競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) ウェットレース
ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

17 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔@@競技参加者の遵守事項〕(27頁)のほかに次による。これに違反した場合罰則が課せられる。
 - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
 - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。

※この際オフィシャルは下記の補助ができる。

 - ・マシンを起こす補助。
 - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。

・ライダーの再スタートを補助する。

- (3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。
 - (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。
 - (5) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。
 - (6) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。
 - (7) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
 - (8) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。
- 2) ピット
- ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。
- 3) ピットイン
- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
 - (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
 - (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
 - (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。
- 4) ピットアウト
- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
 - (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
 - (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。
- 5) ピット作業
- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
 - (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清

掃しなければならない。

6) ピット作業人員

- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は細則2全日本選手権特別規則参照) (58頁)
- (3) ライダーに対するピットクルー(メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー)の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる(変更料1,000円)。
- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
- (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

18 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

19 レースの停止

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート・ゴールラインに赤旗を掲げ、同時にすべてのコースポストで赤旗を掲げ、レースが停止されたことを告げるものとする。

天候上の理由に関してレースは1度のみ停止される。

レース停止の決定は競技監督、あるいは競技監督が不可避の理由において欠席している場合には競技監督代理にて出されるものとする。

赤旗がスタートラインとすべてのコーナーポストにて掲示されたら、ライダーはただちにスロウダウンし、レースの結果が前周終了時点のものであることを認識しピットレーンに戻る。したがって、結果は赤旗が表示される前にライダー全員がレース状態でフル・ラップを走行していた最後の時点のものとされる。

- 1) 競技結果が2周以下しか走行をしていないことを示すものであった場合
レースは無効とされ、まったく新しいレースが行われる。もしレースの再スタートが完全に不可能である場合、このレースは中止されたと宣言される。
- 2) 競技結果が3周以上走行したことを示すが、本来のレース距離の75%未満しか完了されていない場合、レースは再スタートされ、2つのレースのラップ数とタイムが合計され、最終結果が決定される。もしレースの再スタートが完全に不可能だと判断された場合、リザルトは有効となり、半分のポイントが与えられる。
- 3) もし、リザルトが本来のレース距離の75%以上であった場合、レースは完了したものとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

20 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。

- (1) 全ライダーがスタート出来る。
- (2) マシンは修理・給油が出来る。
- (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
- (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
- (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
- (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
- (7) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
- (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。

2) 競技結果が3周以上75%未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。

- (1) 前回のレースでトップの周回数の75%を走行しているライダーだけが再スタートできる。
- (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
- (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
- (4) マシンは修理・給油ができる。
- (5) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
- (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。
(前回のレース結果の周回数に基づく)
- (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
- (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

21 リタイヤ (棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑩競技〕(31頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の評定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース(または予選)終了まで競技役員管理下におかななければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

22 レース終了

各レースの終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。

注：原則的にコース1周の距離を1kmにつき1分とする。

23 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者
優勝者は規定の距離(周回数)または時間を完走して最初にフィニッシュライン

(コントロールライン)を通過したライダーである。

優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。

- 2) 入賞者および順位の優先順位 (耐久レースは特別規則による)
入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 3) その他の優先順位
周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の周回数の75% (少数点以下は切り捨てる) 以上を走行したライダーを完走者とする。
 - (2) ビットロードでのゴールは、周回数には積算されるがチェッカーを受けたとは認められない
- 5) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔②公式得点〕(32頁)によって与えられる。

24 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。

4) 燃料検査

燃料検査の手順

- (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
- (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
- (3) レース終了後に燃料タンク内に残っている燃料が十分でないとして予測される場合、燃料テストはウォームアップラップ開始直前または公式予選中に実施されてもよい。
- (4) 各分析ごとに、それぞれ1ℓのサンプルを2サンプル摂取する。
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。
潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。
車検にて判別出来ない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。
サンプルはエントラントに提出義務があり、その対価は自己負担とする。
- (5) 結果が不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関にて保管用サンプルの分析を依頼することが出来る。
- (6) 分析の費用負担は下記の通り
 - ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合。
 - ・最初の検査の費用は主催者が負担する。
 - ・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。
 - ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。
 - ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。

(7) 競技結果

サンプル分析の結果、違反が立証された場合MFJスポーツ委員会に報告され、罰則が課せられる。又、当日受領した賞典等は返却しなければならない。

- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

25 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

26 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕(34頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

27 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔③違反行為に対する罰則〕(34頁)による。

28 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

29 本規則の施行

本規則は、1994年1月1日より有効となる。

2次災害防止にご協力下さい

最近転倒後に後続車にひかれる2次災害が多発しております。転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に充分に気を配って行動して下さい。

転倒、又は故障停止したら

2次災害防止を基本的に
転倒したら2次災害の防止、つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

先ず逃げる

転倒したら、先ず安全な所に行けるだけ早く逃げて下さい。特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス洩れの防止をして下さい。

障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがにぼれていたら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走って来るレーサーに背中を向けないよう心がけて下さい。

コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒し易い場所です。いつ飛び込んで来るかわかりません。ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内(グリーンも含む)にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、出来るだけ早くコ

ース外に退場して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。走行中に転倒車を目撃したら次の間には充分注意をして通過して下さい。再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をする。マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動して下さい。

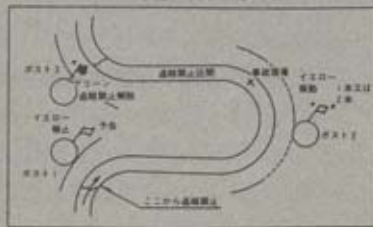
- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の洩れが無いか確認をして下さい。

オイル洩れなどがあった場合は無理にピット帰還はしないで下さい。

- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損が無いか、また破損部分が復旧になり2次被害を与えないか確認して下さい。

- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を充分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

黄旗の出され方



'94全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

1 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

1) 開催種目は下記とする。

国際A級 GP125

GP250

スーパーバイク

2) クラス数

大会にはGP125、GP250、スーパーバイクの3クラスが必ず含まれていなければならない。

3) レースウィークの日程

① 全日本選手権は下記日程で開催される。

月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。

金曜日：スポーツ走行 各クラス 30分×2回

土曜日：公式予選 各クラス 20分×2回

日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分

10：30～16：30 決勝レース

4) 競技会の日程は巻末に示す。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

- ・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間・決勝レース距離を設定できること。

4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

6 参加定員

参加定員は定めない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ共済会掛け金 1人1口	4,500円
合計	18,500円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3人のピットクルーが作業できる。

9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス(予選組)ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。
無料のスポーツ走行時間：30分間
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

10 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はスポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。

12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。

- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

13 タイヤの使用本数の制限

- ・予選において使用出来るタイヤは2セットに制限する。(雨天時は制限しない)
- ・予選のスタート前チェック時にペイントを行う。
- ・予選終了後は制限しない。

※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

14 公式予選

- 1) 公式予選は各クラス(予選組)ごとに最低20分間を2回行う。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

15 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

16 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

17 レース距離

- 1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125	50km~130km
GP250	60km~130km
スーパーバイク	70km~200km
- 2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

18 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 2ヒート制で行なわれる場合は総合順位によって賞および得点が得られる。
 - ・総合順位の決定方法
 - ① 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
 - ② 1ヒート、2ヒートの合計得点同点の場合は上位入賞者を優先する。
 - ③ 上記①、②で決定できない場合は2ヒート目の成績を優先する。
- 4) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 5) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 6) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(194頁)に示される。

19 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することが出来る。

'94全日本ロードレース選手権大会特別規則

- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することが出来る。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

20 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1994年1月1日より適用される。

'94全日本ロードレース選手権開催日程

※併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/会場/開催クラス	出場申し込み先	出場申込み期間
3月12日(出) ～ 13日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 サンスターカップ鈴鹿ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	2月1日(火) ～ 2月10日(木)
4月9日(出) ～ 10日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 MINEインターナショナルロードレース大会 会場：MINEサーキット ☎08375(8)0321	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	3月1日(火) ～ 3月10日(木)
4月30日(出) ～ 5月1日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	3月22日(火) ～ 3月31日(木)
5月14日(出) ～ 15日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 筑波インターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	4月4日(月) ～ 4月14日(木)
5月28日(出) ～ 29日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 富士インターナショナルロードレース大会 会場：富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	富士スピードウェイ(株)内 全日本RR事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03(3216)5611	4月19日(火) ～ 4月28日(木)
6月11日(出) ～ 12日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 サンスターカップインターナショナル鈴鹿200kmロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	5月3日(火) ～ 5月12日(木)
7月2日(出) ～ 3日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	5月24日(火) ～ 6月2日(木)
9月10日(出) ～ 11日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 サンスターカップインターナショナル鈴鹿ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	8月2日(火) ～ 8月11日(木)
9月24日(出) ～ 25日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 TIインターナショナルロードレース大会 会場：TIサーキット英田 ☎0867(4)3311	TIサーキット英田 全日本RR事務局 〒701-26 岡山市英田郡英田町滝宮1210 ☎0867(4)3311	8月16日(火) ～ 8月25日(木)
10月8日(出) ～ 9日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO ☎022(483)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	8月30日(火) ～ 9月8日(木)
10月29日(出) ～ 30日(回)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 第32回MFJグランプリロードレース大会 会場：筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	9月20日(火) ～ 9月29日(木)

'94世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申し込み先
4月22日(金) ～ 24日(日)	FIMロードレース世界選手権第3戦 マルボロ日本グランプリロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	GP-1 GP-2 GP-3	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405
7月29日(金) ～ 31日(日)	FIM世界耐久選手権第5戦 コカ・コーラ鈴鹿8時間耐久ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	スーパーバイク	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405
8月26日(金) ～ 28日(日)	FIMスーパーバイク世界選手権第10戦 SUGOスーパーバイク日本大会 会場：スポーツランドSUGO	スーパーバイク	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127

細則 3

'94スーパーカップ ロードレース 選手権大会特別規則

1 公示

スーパーカップロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とスーパーカップロードレース選手権のシリーズを通じ共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。

参加資格：国際A級・国内A級

クラス： GP125

GP250

SS250

SS400

SS750

- 2) 競技会の日程は巻末に示す。

※予告事項 SS250、SS400は'95年よりSP250、SP400となる。

3 追加のクラス

スーパーカップロードレース選手権には併催クラスが追加されてもよい。

4 選手権

- 1) スーパーカップロードレース選手権は東地区・西地区でそれぞれ5戦を超える場合はシリーズをイースタン・ウエスタンに分けて開催する。
- 2) この基準に達しない場合は一つのシリーズとして開催し、有効ポイント制とする。
- 3) シリーズ全体または種目ごとにおいても最低3戦でシリーズが成立することとする。
- 4) シリーズが東西に分かれた場合、選手はどちらのシリーズにも参加できるがそのシリーズポイントは合算されない。

5 コース

コースはMFJ国内公認以上のコースとする。

6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

7 参加定員

参加定員は定めない。

8 出場料およびMFJ共済会掛け金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ共済会掛け金	1人1口 4,000円
	合計：18,000円

9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

10 ゼッケンナンバー

- 1) 大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを変更することが出来るがそのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き通常交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

12 タイヤの使用本数の制限

- ・予選・決勝を通じて2セットに制限する。(雨天時は制限しない)
 - ・予選スタート前チェック時にペイントする。
 - ・レース前にもう1セットをチェックし、ペイントする。
- ※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

13 公式予選

- 1) 公式予選は各クラス(予選組)ごとに最低20分間を1回行う。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

15 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。

16 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) スーパーカップグランドチャンピオン大会については上記の得点に3点が追加される。
- 4) スーパーカップ選手権のランキングはイースタンシリーズ、ウエスタンシリーズ別々に上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(194頁)に示される。
- 5) スーパーカップグランドチャンピオン大会の得点はイースタン・ウエスタンどちらかのランキングに積算出来る。
- 6) 昇格ポイントは国内A級のみ順位によって与えられる。

17 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することが出来る。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

18 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1994年1月1日から適用される。

'94スーパーカップロードレース選手権シリーズ開催日程 《スーパーカップウエスタンシリーズ》

開催日程	大会名	開催クラス					出場申し込み先	出場申し込み期間
		G.P. 125	G.P. 250	S.S. 250	S.S. 400	S.S. 750		
3月20日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第1戦HSR九州大会	○	○		○		HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500 ☎096-293-1370	2月8日(火) ～ 2月17日(木)
4月3日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第2戦大分阿蘇RP大会	○	○				大分阿蘇RP(旧オートボリス) 〒877-03 大分県日田郡上津江村 ☎0973-26-1111	2月22日(火) ～ 3月3日(木)
4月24日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第3戦T大会	○	○	○	○		T1サーキット英田 〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210 ☎08687-4-3311	3月15日(火) ～ 3月24日(木)
5月8日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第4戦HSR九州大会	○	○	○	○		HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500 ☎096-293-1370	3月29日(火) ～ 4月7日(木)
6月19日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第5戦MINE大会	○	○	○	○		MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375-8-0321	5月10日(火) ～ 5月19日(木)
7月3日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第6戦SPA直入大会	○	○	○	○		SPA直入 〒812 福岡市博多区東比恵4-5-17 SPA直入スポーツクラブ福岡事務所 ☎0974-75-3191	5月24日(火) ～ 6月2日(木)
8月7日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第7戦大分阿蘇RP大会	○	○				大分阿蘇RP(旧オートボリス) 〒877-03 大分県日田郡上津江村 ☎0973-26-1111	6月28日(火) ～ 7月7日(木)
9月11日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第8戦MINE大会	○	○	○	○		MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375-8-0321	8月2日(火) ～ 8月11日(木)
9月25日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第9戦T大会	○	○				T1サーキット英田 〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210 ☎08687-4-3311	8月16日(火) ～ 8月25日(木)
10月16日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第10戦HSR九州大会	○	○	○	○		HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500 ☎096-293-1370	9月7日(火) ～ 9月17日(土)

《スーパーカップイースタンシリーズ》

開催日程	大会名	開催クラス					出場申し込み先	出場申し込み期間
		G.P. 125	G.P. 250	S.S. 250	S.S. 400	S.S. 750		
2月20日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第1戦筑波大会	○	○				(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	1月10日(月) ～ 1月20日(木)
3月20日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第2戦筑波大会	○	○				(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	2月7日(月) ～ 2月17日(木)
3月27日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第3戦SUGO大会			○			SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	2月15日(火) ～ 2月24日(木)
4月9日 ～10日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第4戦仙台大会	○	○	○	○		仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川平坂12 ☎022-395-2120	3月1日(火) ～ 3月10日(木)
4月17日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第5戦SUGO大会					○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	3月8日(火) ～ 3月17日(木)
5月7日 ～8日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第6戦エビス大会	○	○				エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	3月29日(火) ～ 4月7日(木)
5月15日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第7戦十勝大会			○			十勝モーターパーク倶 〒089-15 北海道河西郡更別村弘和477 ☎0155-52-3910	4月12日(火) ～ 4月21日(木)
5月29日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第8戦SUGO大会	○	○				SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	4月19日(火) ～ 4月28日(木)
5月29日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第9戦FISCO大会				○	○	富士スピードウェイ併内スーパーカップ事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03-3216-5611	4月19日(火) ～ 4月28日(木)

'94スーパーカップロードレース選手権大会特別規則

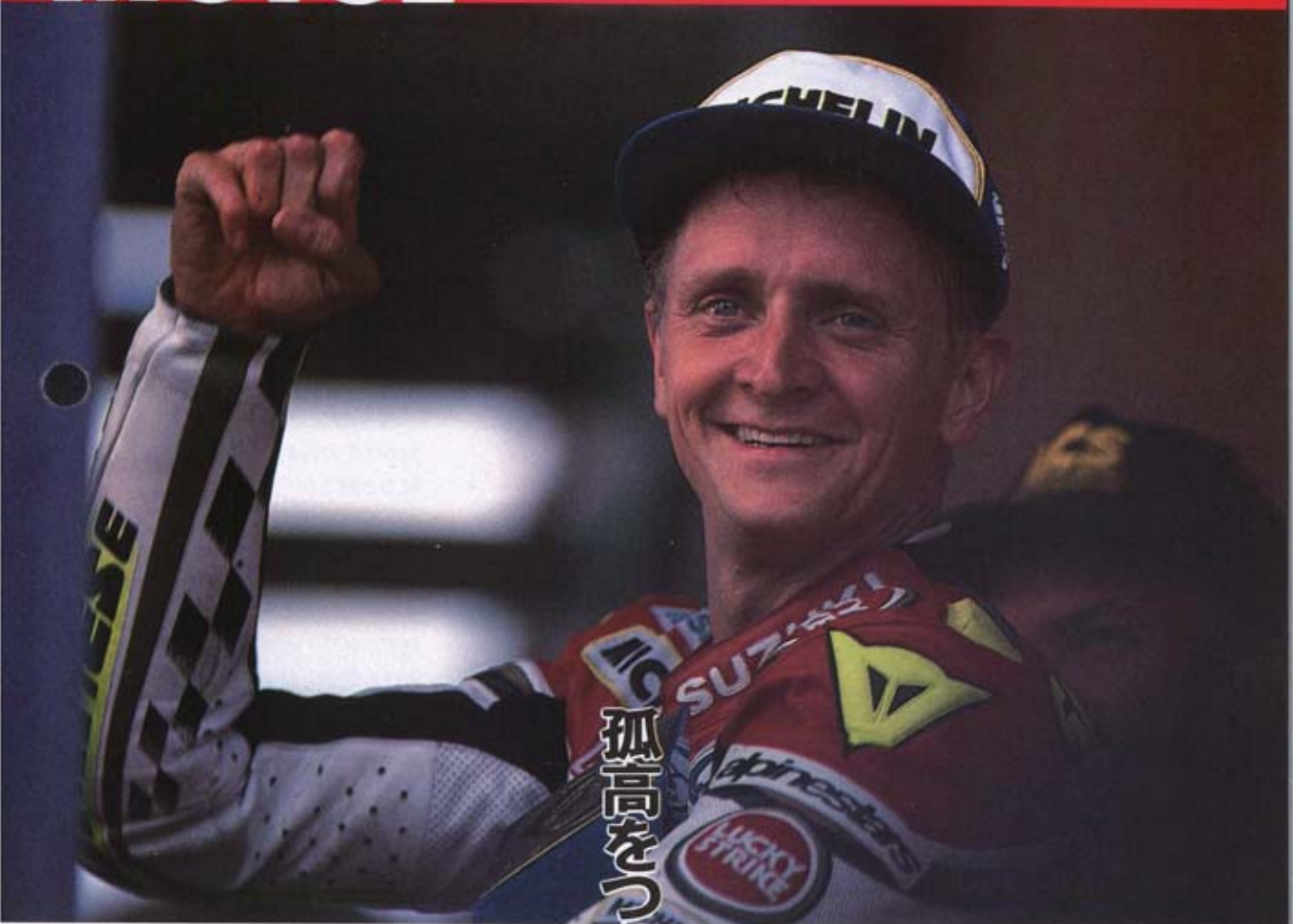
開催日程	大会名	開催クラス					出場申し込み先	出場申し込み期間
		G.P. 125	G.P. 250	S.S. 250	S.S. 400	S.S. 750		
6月5日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第10戦エビス大会			○			エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	4月26日(火) ～ 5月6日(金)
6月12日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第11戦十勝大会	○			○	○	十勝モーターパーク勝 〒089-15 北海道河西郡更別町弘和477 ☎0155-52-3910	5月10日(火) ～ 5月19日(木)
6月25日 ～26日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第12戦HSP大会	○	○				北海道スピードパーク 北海道虻田郡虻田町安町峠下 ☎0136-23-3880	5月17日(火) ～ 5月26日(木)
7月10日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第13戦エビス大会				○		エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	5月31日(火) ～ 6月9日(木)
7月17日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第14戦SUGO大会		○			○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	6月7日(火) ～ 6月16日(木)
8月7日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第15戦SUGO大会	○		○			SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	6月28日(火) ～ 7月7日(木)
8月21日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第16戦エビス大会	○	○	○	○		エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	7月12日(火) ～ 7月21日(木)
8月28日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第17戦SUGO大会					○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	7月19日(火) ～ 7月28日(木)
9月17日 ～18日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第18戦HSP大会			○	○		北海道スピードパーク 〒044 北海道虻田郡虻田町安町峠下 ☎0136-23-3880	8月9日(火) ～ 8月18日(木)
9月18日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第19戦SUGO大会	○	○				SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	8月9日(火) ～ 8月18日(木)
10月1日 ～2日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第20戦仙台大会	○	○	○	○		仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12 ☎022-395-2120	8月23日(火) ～ 9月1日(木)
10月23日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第21戦筑波大会	○	○				(財)日本オートスポーツクラブ 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	9月12日(月) ～ 9月22日(木)
10月23日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第22戦SUGO大会			○		○	SUGOスポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	9月13日(火) ～ 9月22日(木)

'94スーパーカップロードレース選手権グランドチャンピオン大会 (東西対抗)

11月6日	スーパーカップロードレース選手権東西対抗 スーパーカップグランドチャンピオン大会 会場：T1サーキット英田	○	○	○	○	○	T1サーキット英田内スーパーカップGC事務局 〒701-26 岡山県英田郡英田町南宮1210 ☎08687-4-3311	9月27日(火) ～ 10月6日(木)
-------	---	---	---	---	---	---	--	---------------------------

※GC大会はイースタン・ウエスタン両方の選手が参加できます。ボーナスポイントが3点加算されます。

MOTUL



孤高をつかむモチュール

たとえばケビン・シユワンツは、自らの勝利を華を突き上げて表現する。チェック・フラッグの洗札を受けた次の瞬間から何度も何度も、手を上げ観客の拍手に答える。勝利を誇示し、そのレースの素晴らしいさを反復させるかのようシユワンの上に立ち、コースをウイニング・ラン——サーキットがハビネスで包まれる瞬間だ。たとえばモチュールのオイルは、シユワンツのマシで大役を果たし終えると同時に、さらなる課題と対峙する。エンジンは一戦ごとに分解されピストンやシリンダーはミクロン単位でのチラクを受ける。世界で最も素晴らしいモーターオイルの条件は、レース毎に変わるからだ。

たとえばあなたがモチュールのオイルをマシンに注ぎ入れる際には、ぜひGPシーンを思い出してほしい。一戦毎に進化してきたオイルであることを。高温、高回転下でも強靱な油膜をキープするといふ、100%化学合成ならではの特性は、レーシングライダーたちのプライドによって培われたものであることを。

性能はアクセサリではない、プライドである。そしてモチュールのオイルには、サーキットのハビネスまでもが含まれている。たとえばケビン・シユワンツがつかんだ勝利も、そしてもちろん、彼のプライドも。モチュールは、これからも孤高を

続けます。



800 RACING 2T
API/TC-TSC3.12 ¥3,900 高温/高回転下でも強い油膜を維持するコンペティション-混合給油用オイル。ロード/MX世界選手権でフィットチームも使用している100%化学合成オイルです

600 2T
API/TC-TSC3.12 ¥3,500 フリクションを抑制し、エンジンの寿命をのばす全合成給油用開発オイル。あらゆる市販公道用マシンに最適。100%化学合成だから、ピストンの磨耗も防ぎます



300V COMPETITION
SAE-15W50 API-SG/CD CCMC-G4 PD2.24 ¥5,900 コンペティション用として開発された100%化学合成(Synthetic)エンジンオイル。早期を通して安定した潤滑性能を発揮。高温、高負荷などの過酷な条件にも適応します

300V POWER RACING
SAE-5W30 API-SG CCMC-G5.24 ¥6,200 300Vコンペティションの高性能をもとにより異型エンジンの対応する5SAE粘度を5W30に設定。鉱物系では実現できなかった高い潤滑能力を発揮します

MOTUL取り扱い代理店
北海道地区: 札幌フットワーク/〒005 札幌市東区北24条南5丁目東2ビル2F ☎011-721-0531
東北地区: 東北ネット仙台/〒983 仙台市青森区南井原田中2-2 ☎022-288-9373
関東甲信越地区: テクノイル・ジャパン 茨城 株式会社/〒271 横浜市中区三軒丸の内110 ☎045-413-0092
静岡地区: 静岡オイルサービス/〒423 静岡市東区5-3 ☎054-782-2628
中部地区: テクノイル名古屋/〒470-01 愛知県日進町赤池丸112 ☎052-803-8038
関西地区: 株式会社 名産販売/〒486 春日井市上条町6-206 ☎0566-83-7700
関西中国地区: 株式会社 名産販売/〒607 京都市山科区船場寺町河原町3 ☎075-583-3030
九州地区: 九州商事/〒818 福岡市博多区船場1-8-29 ☎092-451-2721
九州地区: 株式会社 福岡営業所/〒818 大野城市船場110-13-1 ☎092-583-0008

■4輪アクセサリショップレポート
プリンツ株式会社/〒606 京都市左京区北倉橋村1226 ☎075-721-0204
プリンツ株式会社/〒106 港区豊洲南1-13-13 豊洲南パークスB1F ☎03-3526-6231
プリンツ株式会社/〒485 名古屋市中津区一社3-80 ルーブルB2F ☎052-704-1231
プリンツ株式会社/〒983 仙台市青森区船場3-2-10 船場青森ビル507 ☎022-231-5818
プリンツ株式会社/〒818 福岡市博多区竹下町2-3-8 福岡市東区船場1F ☎092-571-0030

●モチュール総合カタログをご希望の方は、封筒に送料として125円分の切手を同封し、住所、氏名、年齢、所属を明記の上、テクノイル・ジャパン・ライディング部までお申し込み下さい。

MOTUL最新輸入発売元/テクノイル・ジャパン株式会社

TECHNOIL Japon K.K.

〒223 横浜市港北区南山1B3-0-40
☎045-582-9829 FAX045-592-9848

MOTULに関するお問い合わせ窓口

月一と曜日(祝日を除く)9:00-17:00にご利用いただけます。
フリーダイヤル ☎0120-359-300

RT70

クオリティ
美しさという品質をまとった

軽・剛・快



RT70 ホワイト/レッド

ヘルメットに求められる機能と品質とは何か?その答えがRT70です。1320gの軽さと剛さがライダーに快感を与え、美しく彩られたカラーリングがライダーに走ることへの昂ぶりを与える。今まで不可能とされていた微細な色のグラデーション処理も新たに採用された技術のひとつでした。ヘルメットに求められる機能と品質を追求し、素材から考えるDICだから可能な技術と品質です。

■素材は、特殊グレードポリエステル樹脂

DICが誇る超軽量ヘルメット素材です。ヘルメットに最適な素材を求め、研究から製造までの全てを自社内で行っているDICだから出来た驚異的な超軽量1320g(Mサイズ)です。

■帽体は、有機繊維複合FRP積層構造

DIC独自のヘルメット構造です。特殊グレードポリエステル樹脂にガラス繊維と有機繊維をミクロの単位でモールド構成した帽体は、厚みを変えことなく超軽量でありながらプロユース対応の高剛性を実現しました。

■機能を追求した先進システム

シールドカバーからねじをなくしたダブルロック機構のシールドアタッチメント、2mm厚の超硬シールドの採用と風洞実験を繰り返して決められたアッパー & アンダーベンチレーションシステム。

●規格:JIS C種/MFJ公認

●サイズ: S(55~56cm), M(57~58cm), L(59~60cm), XL(61~62cm) ●カラー: ホワイト/レッド、ブラック/ブルー、ブラック/レッド ●標準価格: ¥32,000 (消費税は含まれておりません)



RT70 ブラック/レッド



RT70 ブラック/ブルー

Steve Johnson

STEVE JOHNSON
& SLICK50 GSX-R

CATCH UP!

時の壁に挑む ファイター達へ

TETSUMICHI SANADA (WORKS)
& PROJECT6 GSX-R



SLICK50 レプリカレーサースーツ (受注生産品)

size: S・M・L・LL ¥248,000 D2-106

size: 3L ¥268,000 D2-107

●MFJ公認●表・牛革●裏・ポリエステルメッシュ

●S・ジョンソンのスピリットが生きるドラッグレース対応のレーサースーツ。

※80より後のレーサースーツを製作しているコミネの技術が生かされた注目の1番。



●マシンに合せたカラーリングや、オリジナルデザインのレーサースーツを製作致します。詳しくはコミネ各営業所、又は本社までお問い合わせ下さい。

SHOP LIST

●営業時間/平日AM10:30~PM7:00 日・祭AM10:00~PM6:30 ●定休日/毎週月曜日、第2・3火曜日 大塚支店は年中無休

大塚支店 ☎0727(24)1555
大塚支店 ☎0425(51)9623
練馬店 ☎03(3904)3147
東松山店 ☎0493(23)0335

大宮店 ☎048(652)1431
高崎店 ☎0274(42)3215
太田店 ☎0276(32)0438
鳩ヶ谷店 ☎048(284)2961

藤沢店 ☎0466(81)2757
千葉店 ☎043(232)1884
相模原店 ☎0427(52)3686

KOMINE

株式会社コミネオートセンター

本社: 千111 東京都台東区小島2-20-11
Tel.03(3862)9811(代) Fax.03(3866)5134(代)

・改訂のため、多少商品仕様及び価格等を変更することがあります。・記載価格に消費税は含まれておりません。・印刷のため、商品写真多少色が異なって見える場合があります。



フランス、リヨン近郊、ソレイズ。皆様のお手元に届けられるelfの高性能レーシングガソリン&レーシングオイルは、ここにある世界唯一の燃料・オイル研究開発センター付専用工場でのみ作られています。だからこそ、パワーを引き出すための性能の実現はもちろん、究極のクオリティコントロールが可能になっているのです。

1994年レギュレーション適合elf・レーシングガソリン&レーシングオイル。ロットごと0.2も違わないオクタン価、ほとんど変わらない性状、研究所での高性能がそのまま製品に反映されています。誰の真似もしない、誰も真似できない。elfはバックグラウンドから違います。



誰の真似もしない。 誰の真似もできない。

レーシングオイル

	規格	粘度	油種	価格	内容
HTX976	2サイクル用	50	100% 化学合成	¥4,000/14	ペーリング保護性能、焼き付き防止性能に優れ、かつ化学合成油の潤滑性をいかに、サーキット環境でのセッティングの自由度を実現。 ●セグRS25、RS250指定オイル Recommended by HRC
HTX740	GL-4 (110mm)	75W	100% 化学合成	¥7,000/24	駆動クラッチ専用ミッションオイル。耐熱性に優れ、低温域から高温域までの温度特性の良さが特長です。駆動クラッチ車にはHTX830をご使用ください。
HTX830	4サイクル用	10W30	100% 化学合成	¥19,000/54	ゼロフリクションを実現したレース専用モデル。高回転域での伸び、低・中速からのレスポンスなどは次元が異なります。性能優先のため100kmで要交換。
HTX833	4サイクル用	15W40	100% 化学合成	¥19,000/54	4輪のF-1のために開発された究極のモデル。超ハイパワーにも持ちこたえる油膜強度と低フリクションを絶妙にバランス。

レーシングガソリン 1994年レギュレーション適合

AV-GAS 2T
2サイクル用レーシングガソリン FIM, MFJ公認
AV-GAS 4T
4サイクル2輪車用レーシングガソリン FIM, MFJ公認

●elfオイル代理店

- 北海道—旭ダイン ……………011-853-5959
- オカマコンベクションプロダクト札幌営業所—011-822-6111
- 東北—オカマコンベクションプロダクト仙台営業所—022-288-5375
- 柳山城 仙台支店 ……………022-288-9661
- レーシングサブライ ……………043-423-1190
- 関東—柳山城 ……………03-3802-5211
- オカマコンベクションプロダクト東京営業所—03-3798-1851
- 柳山城 ……………03-3256-0641
- 日本オイルサービス ……………0425-42-8861
- フォーミュラーサブライ ……………048-839-3301

- 相互サービス・ソサエティ ……………044-951-2800
- ナイトスポーツ ……………03-3775-6446
- 柳山城 ……………03-3690-1610
- 中部—RSヤマダ ……………0587-66-5186
- オカマコンベクションプロダクト名古屋営業所—0764-21-3095
- キリタニ ……………078-991-2904
- 関西—京益興産 ……………075-643-3201
- オカマコンベクションプロダクト大阪営業所—06-380-0555
- キリタニ ……………078-991-2904
- 九州—柳アフォーインテナーショナル九州 ……………092-851-6662
- オカマコンベクションプロダクト九州営業所—092-472-7281

●elf・レース用ガソリン取扱・取次店

- 宮城—草間給油所 ……………0224-63-1595
 - 板橋区—サンベスト 共石SS ……………03-3966-5575
 - 京都—吉田石油 鳥羽給油所 ……………075-601-9221
 - 滋賀—有記商事 ……………0775-89-4589
- (マリン関連商品のみ)

全国の三井S.S.でも取り扱っています。
(詳細はユニコまで。)

*ガソリンは、お取り寄せになる場合があります。

unico

1875年 創業 40 周年 特別 贈呈
日本総代理店 ユニコ株式会社
東京都港区六本木7-3-17 TEL.03(3478)2707

軽さ、強度、バランス——。
 すべてを実現させたマービックマグネシウムホイールに、
 ニューデザイン・5本スポークが登場！
 マービックの新しい顔です。



MARVIC® PENTA NEW!!

●マービックペンタ価格表

車種	定価(フロント)	定価(リア)
RS125 TZ125	サイズ250-17 ¥79,000	サイズ350-17 ¥95,000
RS250 TZ250	サイズ350-17 375-17 400-17 ¥118,000	サイズ300-17 525-17 550-17 ¥138,000

(販売代理店募集)
 マービックホイールを販売してみませんか？ 詳細はお問い合わせを。
 ☎0427-36-2725

販売代理店
 ●株式会社イグニス ☎052-801-9811
 ●株式会社プロ ☎0425-66-3851
 ●株式会社ライダー ☎045-383-5111

選べば、
 マービックペンタ。

●GOODRIDGEブレーキホースキット価格表

車種	定価	仕様・付属品
RS125 TZ125 他シングルディスク用	フロント&リア ¥13,000	①、ステンレスブレードテフロンホース ステンレスフィッティング、アルミ製ホルダー 他、ワッシャー、タイラップ、ステッカー
RS250 TZ250 他ダブルディスク用	フロント ¥24,500 リア ¥13,000	①、ステンレスブレードテフロンホース ステンレスフィッティング、アルミ製ホルダー 他、ワッシャー、タイラップ、ステッカー

- 内径φ2.5mmの極細ブレーキホース。
- ブレーキレバーの動きをダイレクトにキャリバーへ伝えます。
- シビアなブレーキコントロールを必要とするライダーの必需品。

(販売代理店募集)
 GOODRIDGEブレーキホース
 キットを販売してみませんか？
 詳細はお問い合わせを。
 ☎0427-36-2725

★GOODRIDGEブレーキホースキット
 お買いあげの方に
 フィッティングキーホルダー
 プレゼント!!



GOODRIDGE

違いがわかるグッドリッジの2番。
 ダイレクトなタッチをお試しあれ!



比べれば、
 GOODRIDGEの
 2番。

イタリア マービック製品日本総代理店 イギリス GOODRIDGE製品正規輸入元

GARUDA INC.

GARUDA INCORPORATED 〒195 東京都町田市小野路町1996-1
 PHONE:0427-36-2725 FAX:0427-36-2751

ツナギの中のツナギ

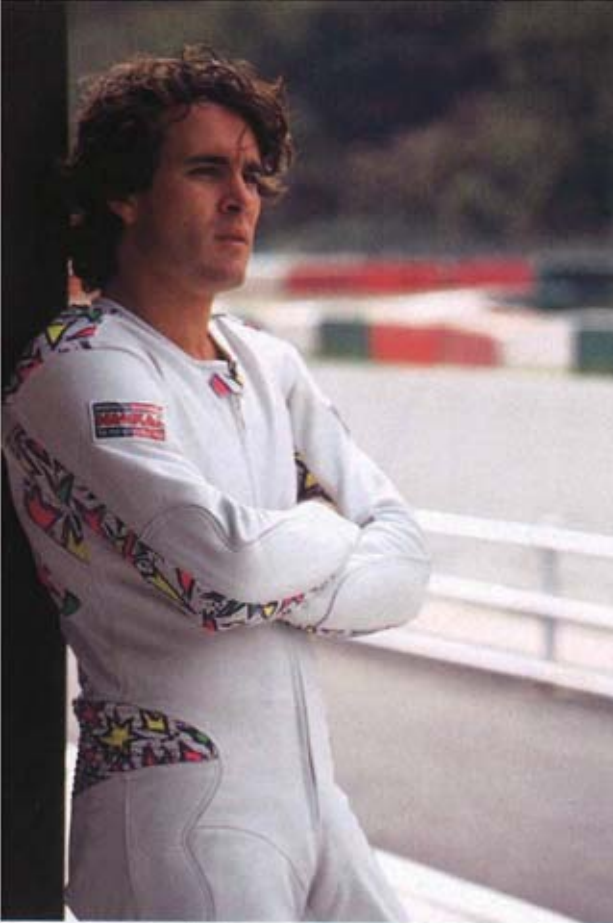
GPライダーのノウハウが生きる！
高品質で安心できる本格仕様

ナンカ이의歴史になくてはならないもの、それはやはり、GPライダーを筆頭とする、トップライダー達へのサポートを通して得た商品開発です。

ホンダのエースライダーとして、押しも押されぬ存在だった、フレディー・スベンサーと、'84年末に日本の用品メーカーとして初めて契約をかわしたことは、業界全体に刺激を与え、かつ日本のモータースポーツブームの火付け役としても名を挙げられました。これを機に、ナンカイはGPライダーのみならず、多くの国内・海外ライダーをサポート。

一流ライダーからのアドバイスが、ダイレクトにフィードバックされた、より安全で、安心できるレザースーツが生まれることになりました。

世界のトップライダーから、ワインディングユースのライダーまで、品質と安全、さらに快適を求めるすべてのライダーに、ナンカイがお届けします。ツナギの中のツナギ、「ナンカイ・プロ・レーシングスーツ」。さらなる進化にも、ご期待ください。



ナンカイのレザースーツは、耐久性にも優れているし、とても快適だ。クオリティーも高く転んだときでも、唯一、大丈夫なスーツだ。それはサーキットでも、ストリートユースにおいても。だから僕はナンカイのレザースーツだけをグランプリ用を選ぶ。

'93世界GP500ccランキング3位
ダリル・ピーティー

Daryl Beattie



●NR-50
プロレーシングスーツ
A赤/白/黒
Bライトブルー/白/青
C青/白/赤
Dライトグリーン/白/青
¥140,000
S.M.L.L.L.XL



●NR-51PR
プロレーシングスーツ
Aブルーライン
B蛍光レッドライン
Cバイオレットライン
D蛍光ピンクライン
E蛍光イエローライン
F蛍光グリーンライン
※へびは受注生産
¥160,000
M.L.L.L.XL
NR-51と同仕様



●SR-16PR
レーシングスーツ
A蛍光ピンク
Bバイオレット
C蛍光グリーン
¥80,000
(バンクセンサー別売)
S.M.L.L.L.XL



●SR-18PRA
レーシングスーツ
¥70,000
(バンクセンサー別売)
S.M.L.L.L.XL
高級牛革使用



●NRB-01
プロレーシングバックプロテクター
A黒ベース/赤パッド B黒ベース/青パッド
C黒ベース/白パッド D黒ベース/黒パッド
Eオールブラック
¥12,500



革 業界唯一の専用工場において、最高級国産ホルス原皮を主原料に、なめし工程から染色作業、仕上げまでを独自の方法で一貫製作。摩擦、引き裂き強度に極めて優れた、高品質皮革を使用。



縫製 皮革縫製の達人達が、ドイツ製特殊ミシンを駆使、操縦性や快適性、機能性に富んだ手作りスーツを、心をこめて製作。また、より一段とフィット感を高める為に、機種により、ワイドサイズのBタイプ、スリムサイズのYタイプを、既製サイズ以外にも用意。



プロテクション 一流ライダー達からよせられる、さまざまなアドバイスをもとに、ハードタイプからソフトタイプまで、吟味された素材を用いて製作されたパッド類を要所に採用。

※写真はNR-51に装着されているプロ・エルボーパッドとプロ・ニーパッド

MFJ公認
3大要素は「革」「縫製」「プロテクション」

MOTORCYCLE TOP FASHION LEADER
NANKAI
FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE
南海部品株式会社

〒530 大阪市北区豊崎新地2-6-28 ☎(06)344-1581(代)



サーキット・パフォーマンスを
秘めたレースタイプ

**BT-80S
RADIAL**

Rear



MSBELT

ワインディングロードで
冴えるスポーツタイプ

**BT-72S
RADIAL**

Rear



MSBELT SPORT SICT

コーナーを駆け上り、ついに攻める。その瞬間、走りには、もう一つ、攻める。そして、攻める。性能にも大なる層目をした。全身SPレーズ仕様、BT-80S
走り込める。サーキット直系、BT-72S RADIALまでオールラウンドに
BATTLAX、コーナーを操れる高性能スポーツ・シムナルタイヤだ。
その持統

BATTLAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY

FISCOが
生まれ変わった!!



ロードレース開催日ご案内

- ◆ 5月28・29日(日) 全日本ロードレース選手権富士大会 (併催:スーパーカップSS750、SS400)
- ◆ 4月16日(土) 関東ロードレース選手権シリーズ第4戦 (併催: NK400東日本シリーズ)
- ◆ 9月10日(土) 関東ロードレース選手権シリーズ第11戦 (併催: NK400東日本シリーズ)
- ◆ 11月5日(土) 関東ロードレース選手権シリーズ第15戦

※ 関東ロードレース選手権のお問合せ TEL.03-3239-3081 (アングルレーシング)

走行ライセンス 講習会ご案内

※ ライセンスのお問合せ ☎ 0550-78-1233

- ◆ 受付時間 09:00~10:00 (当日受付)
- ◆ 講習時間 10:00~12:30
- ◆ 当日必要なもの
 - ① 受講料
 - ② 運転免許証 (公安委員会)
 - ③ 印鑑
 - ④ 証明写真1枚 (3cm×3cm)
 - ⑤ 筆記用具
 - ⑥ 血液型 (Rh±まで調べて下さい。)

※ 20才未満の方は、所定の誓約書に親権者の署名捺印が必要となります。



富士スピードウェイ株式会社

■ 本社
〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 (丸ビル2F)
TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619
■ レース場
〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神
TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205

M

モトクロス

OTO CROSS

▼細則4 モトクロス競技細則

1. 適用範囲	76
2. モトクロス	76
3. コースの仕様	76
4. 出場車両	76
5. MFJ公認車両・公認部品	76
6. ライダーの装備	76
7. 公式通知・タイムスケジュール	77
8. 参加定員	77
9. 参加資格	77
10. 出場申し込み	77
11. 参加受理	77
12. 賞及び得点	78
13. ゼッケンナンバー	78
14. ガソリン及びオイル	78
15. ピット及びサインエリア	78
16. 出場受付	78
17. 車両検査	79
18. ライダーの変更	79
19. 車両の変更	79
20. 部品の変更	79
21. フリープラクティクス及び公式練習	79
22. 公式予選	79
23. スタート台数	79
24. スタート位置の決定方法	80
25. 予選・決勝におけるスタート位置の変更について	80
26. ウォーミングアップ	80
27. レース	80
28. レース中の公式シグナル(合図)	81
29. レースの終了	81
30. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	81
31. 入賞車両の検査	81
32. レース及び大会の延期、中止等	81
33. 抗議	82
34. レース中の違反行為に対する罰則	82
35. 本規則の解釈	82
36. 本規則の施行	82

▼細則5 '94全日本選手権大会特別規則

1. 競技開会再日程等	83
2. 運営・実行組織	83
3. 公式通知・タイムスケジュール	83
4. 開催部門・クラス	83
5. 競技内容	84
6. 参加資格	84
7. 出場申し込み	85
8. 出場料及びMFJ共済会掛金	85
9. 参加受理	85
10. 賞及び得点	85
11. 出場車両	86
12. ゼッケンナンバー	86
13. ライダーの装備	86
14. ガソリン及びオイル	86
15. ピット及びサインエリア	87
16. 出場受付	87
17. 車両検査	87
18. 車両の変更	87
19. 部品の変更	87
20. フリープラクティクス及び公式練習	87
21. 公式予選	87
22. 決勝レース出場資格	87
23. スタート	87
24. レース	88
25. レース中の公式シグナル(合図)	88
26. レースの終了	89
27. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	89
28. 入賞車両の検査	89
29. 総合順位の決定方法	89
30. レース及び大会の延期、中止等	89
31. 抗議	89
32. レース中の違反行為に対する罰則	89
33. 本規則の解釈	89
34. 本規則の施行	90
'94全日本モトクロス選手権開催日程	90

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなければならない。

4 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (29頁) の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

5 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ公認車両及び公認部品・用品] (29頁) を参照。

6 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは日本工業規格JIS T8133-1982-C種及びJIS-T-8133-2種(JIS-T-8133の1982年8月までの規格)、USA S.I. STANDARD-Z90-1-1970. 米国スネル規格1985によって示された検査に合格したか、または、それ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘル

メットは、MFJの公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。

- (4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料(1,000円)を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒時等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を妨げるものであってはならない。
(2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
(3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
(4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

8 参加定員

定員は定めない。

9 参加資格

参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (27頁参照) に合致していなければならない。

10 出場申し込み

- 1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。
2) 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
3) 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効となる。
4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受け付けられない。

11 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。
2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない) にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は、上記2)及び細則4の [32レース及

び大会の延期、中止等] (81頁参照) の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

12 賞及び得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章 [②公式得点] (32頁参照) によって与えられる。

13 ゼッケンナンバー

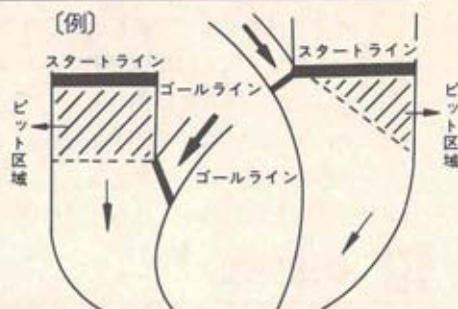
- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(18頁及び86頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合は、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

14 ガソリン及びオイル

- 1) ガソリン及びオイルは国内競技規則・第3章 [①燃料及びオイル] (29頁参照) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

15 ピット及びサインエリア

ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコースサイドまたはコース上である。



16 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

17 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

18 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

19 車両の変更

車両の変更は、車検時に提出した車両仕様書の車両と変更が生じた場合、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料5,000円を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

20 部品の変更

エンジンアッセンブリーの変更は認められない。

21 フリープラクティス及び公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行われる。

- 1) 公式予選の内容
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
 - (4) 決勝進出台数は、特別規則に示される。

23 スタート台数

原則として30台とする。

24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

25 予選・決勝におけるスタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

26 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

27 レース

- 1) スタートまでの行動
 - (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
 - (2) ライダーは、スタート前のチェックの後車両とともに指定区域内に待機しなければならない。
- 2) スタート
 - (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
 - (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
 - (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
 - (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
 - (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が振られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト

ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに侵入しなければならない。
- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 5) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンパーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

28 レース中の公式シグナル (合図)

- 1) 公式シグナル (合図) は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗 (静止)	危険予告
黄旗 (振動)	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

29 レースの終了

レースの終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。

30 優勝者、入賞者、完走者及び得点

- 優勝者
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 入賞者及び順位の優先順位
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- その他の順位の優先順序
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 完走者
 - 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする。
 - レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 得点
 - 得点は国内競技規則・第3章 [32頁] によって得点が与えられる。
 - オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

31 入賞車両の検査

- レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

32 レース及び大会の延期、中止等

- 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断した場合に限り、レースを中止することができる。
- すべての大会関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。

- 3) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数（または時間）の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合、そのレースは無効となる。
- 4) トップ走者が決められた周回数（または時間）の75%以上を完走した時点でレースを打ち切った場合、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付けて発表する。
- 5) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他のいかなる損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

33 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕（34頁参照）による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は、車検長が算定するものとする。
- 3) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

34 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課すことができる。

- 1) 失格
 - (1) 故意に走路を妨害した場合。
 - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
 - (3) コースを逆走した場合。
 - (4) コース判定により示された合図旗に従わなかった場合。
 - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断された場合、1周減算または失格とする。
 - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
 - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
 - (2) 上記1)失格(5)の場合。

35 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

36 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。

'94全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

1 競技会開催日程等 (90頁参照)

2 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に発送される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜されたものによる2クラスまでのレースを併催することができる。ただし、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションレースは日曜日に全日本選手権クラスに影響しない範囲にて開催することが認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。
- (1) 125ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、ランキング16位以下のもの。
 - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を獲得できなかったもので、250ccクラスへの残留を希望しなかったもの。
 - ③ 国際B級からの昇格者。
ただし、前年の総合ランキング上位3位のもの、250ccクラスへの移籍申請をすることができる。
- (2) 250ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおける有得点者。
 - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を得られず、移籍が決定したもので、残留申請を提出し、認められたもの。
 - ③ 125ccクラスからのクラス移籍者。(前年の125ccクラスシリーズランキング15位以内の者)
 - ④ その他、スポーツ委員会が特に認めた者。

5 競技内容

- 1) 公式予選
原則として決勝出場台数(30台)を越えた場合、公式予選が行われ、その公式競技内容は公式通知に示される。
- 2) ラストチャンスレース
下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。
 - ① 公式予選総出場台数が40台以上の場合にのみ行われる。
 - ② 公式予選にて、決勝出場資格を獲得できなかった選手にて行われる。
 - ③ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選レースストップタイムの早い組順とする。但し、予選順位のつかない場合、(1周もまわらずにリタイヤした場合等)、予選待ちのグリッド順を優先する。
 - ④ ラストチャンスから決勝レースへの出場獲得者数は、上位2名とする。
 - ⑤ ラストチャンスにて3位、4位となった選手は、別に定めるリザーブライダーの権利を与えられる。
 - ⑥ ラストチャンスレースの時間は、5分+2周とする。
 - ⑦ その他、当該大会審査委員会は、天候等不可抗力の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。
- 3) 決勝レース
国際B級：25分+2周または左記時間に相当する周回数
国際A級：30分+2周または左記時間に相当する周回数

6 参加資格

- 1) 参加者及びライダー
参加者及びライダーは、国内競技細則第3章[9]競技参加者(27頁参照)に合致していなければならない。
- 2) MFJグランプリ大会の参加資格
国際A級・国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。
- 3) 250ccモトクロス世界選手権日本グランプリ大会の参加資格
1993年8月21日、22日に開催される表記大会の参加資格は下記のとおりとする。
1993年7月3、4日開催の全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦北海道大会までのランキング上位より下記のとおりその出場資格を与える
 - (1) 国際A級250ccクラスランキング上位10名
但し、海外選手の状況により、上記人数を上回る場合がある。

7 出場申し込み

- 1) 申し込み場所は、各主催者（申込先）住所とする。（90頁参照）
- 2) 出場申し込み
モトクロス競技細則 [10] 出場申し込み（77頁参照）

8 出場料及びMFJ共済会掛け金

	総 額	内 訳	
		出場料	共済会掛け金
1クラス	10,000円	9,000円	1,000円
2クラス(Wエントリー)	18,000円	17,000円	1,000円

9 参加受理

モトクロス競技細則 [11] 参加受理（77頁参照）。

10 賞及び得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 全日本選手権ランキングの得点。
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [②公式得点]（32頁参照）によって与えられる。
 - (2) MFJグランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準（194頁参照）に示される。
- 3) 賞及び得点の制限
国内競技規則・第3章 [②公式得点]（32頁参照）による。

11 出場車両

車両は、細則4の〔④出場車両〕(76頁参照)を遵守しなければならない。

12 ゼッケンナンバー

1) 国際A級及び国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。

(1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。

① 125ccクラス

a. 前年度国際A級125ccクラス年間シリーズランキング16位以下のものにてランキング順に指定する。(有得点者のみ)

b. 250ccクラスからの移籍者を前年の年間指定ゼッケン順に指定する。

c. 国際B級からの昇格者を、前年の総合ランキング順に指定する。

d. 上記以外のライダーは、大会ごとに主催者によって定められる。

② 250ccクラス

a. 前年の全日本選手権シリーズランキング順

b. 前年の250ccクラスで得点を得られず250ccへの残留を希望し、認められたもの。

c. 125ccクラスからの移籍者を125ccでのシリーズランキング順に追加する。

d. その他、特に250ccクラスに指定されたものを追加する。

(2) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。

① 各クラスの成績により各ライダーの代表クラスを決定する。

② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位のものを優先する。

③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。

④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。

⑤ ④で決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。

2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。

3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(18頁参照)

4) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

5) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。

6) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

13 ライダーの装備

モトクロス競技細則〔6〕ライダーの装備(76頁参照)。

14 ガソリン及びオイル

モトクロス競技細則〔14〕ガソリン及びオイル(78頁参照)。

15 ピット及びサインエリア

モトクロス競技細則 [15] ピット及びサインエリア (78頁参照)。

16 出場受付

モトクロス競技細則 [16] 出場受付 (78頁参照)。

17 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [17] 車両検査 (79頁参照)。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

18 車両の変更

- 1) モトクロスの競技細則 [19] 車両の変更 (79頁参照)。
- 2) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

19 部品の変更

モトクロス競技細則 [20] 部品の変更 (79頁参照)。

20 フリープラクティス及び公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

21 公式予選

- 1) モトクロス競技細則 [22] 公式予選 (79頁参照)。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は、公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは、主催者により発表される。

22 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者 (予選通過人数は各大会による)
- 2) ラストチャンスでの1位、2位
- 3) リザーブライダー
ラストチャンスにて2名 (3位、4位) の選手は、リザーブライダーとして各決勝レース前のウェイティングエリアに待機し、決勝レース不出場者があった場合、決勝レースへの参加が認められる。
但し、ウェイティングエリアが閉鎖されるまでに不出場者のない場合は、決勝レースへの出場は認められない。

23 スタート

- 1) スタートの方法
(1) 原則として、各部門ともステータリングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。

- (2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタートの手順
 - (1) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
 - (2) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが提示される。
 - (3) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
 - (4) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
 - (5) 5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。
- 3) スタート台数
原則として30台とする。
- 4) 予選におけるスタート位置の決定方法
スタートの位置は、抽選結果の順位により、自由選択することができる。
- 5) 決勝レースのスタート位置の決定方法
 - 国際B級
スタート位置は、予選順位に基づき決定される。
 - 国際A級
両ヒート（第1、第2ヒートとも）予選時のそれぞれの組のトップ走者のタイムの早い組から交互に上位より順番に選択できる。
- 6) ウォーミングアップ
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯に限られる。
- 7) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。
- 8) 予選・決勝におけるスタート位置の変更について
一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

24 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (27頁参照) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンパーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

25 レース中の公式シグナル（合図）

モトクロス競技細則 [28] レース中の公式シグナル (81頁参照)。

26 レースの終了

モトクロス競技細則 [29] レースの終了 (81頁参照)。

27 優勝者、入賞者、完走者及び得点

モトクロス競技細則 [30] 優勝者、入賞者、完走者及び得点 (81頁参照)。

28 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [31] 入賞車両の検査 (81頁参照)。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

29 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が高点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

30 レース及び大会の延期、中止等

モトクロス競技細則 [32] レース及び大会の延期、中止等 (81頁参照)。

31 抗議

モトクロス競技細則 [33] 抗議 (82頁参照)。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
 - (1) 大会事務局を備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
 - (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
 - (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
 - (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
 - (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

32 レース中の違反行為に対する罰則

モトクロス競技細則 [34] レース中の違反行為に対する罰則 (82頁参照)。

33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

1994年1月1日
全日本モトクロス選手権
大会事務局長

'94全日本モトクロス選手権シリーズ 開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
4月9日(出) ～ 4月10日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦中部大会	多治見コミュニティランド 〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 ㈱中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティ ランド	3月1日(火) ～ 3月10日(休)
4月23日(出) ～ 4月24日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第2戦近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	奈良県 名阪スポーツランド	3月15日(火) ～ 3月24日(休)
5月14日(出) ～ 5月15日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦鈴鹿大会	㈱鈴鹿サーキットランド 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット モトクロスコース	4月5日(火) ～ 4月14日(休)
5月28日(出) ～ 5月29日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第4戦中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	4月19日(火) ～ 4月28日(休)
6月11日(出) ～ 6月12日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第5戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	5月3日(火) ～ 5月12日(休)
7月2日(出) ～ 7月3日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第6戦北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東亜東3条1-4-3 ☎011(782)1492	北海道 和寒町 三笠山サーキット	5月24日(火) ～ 6月2日(休)
7月23日(出) ～ 7月24日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第7戦東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10 ☎022(284)9484	岩手県 藤沢スポーツランド	6月14日(火) ～ 6月23日(休)
8月6日(出) ～ 8月7日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第8戦四国大会	MFJ四国 〒768 香川県観音寺市出作町606-1 ㈱高木兄弟商会内 ☎0875(25)7245	香川県 瀬戸大橋博覧会跡地	6月28日(火) ～ 7月7日(休)
9月3日(出) ～ 9月4日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	7月26日(火) ～ 8月4日(休)
9月17日(出) ～ 9月18日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第10戦九州大会	MFJ九州 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町大字下府631-1 ㈱ホンダ二輪九州内 ☎092(962)4272	大分県 大分阿蘇RP モトクロスコース	8月9日(火) ～ 8月18日(休)
10月1日(出) ～ 10月2日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦第32回MFJグランプリ大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	長野県 コングランド	8月23日(火) ～ 9月1日(休)



実力の証明。



WGPからNBまで絶大なる信頼を誇る、サーキットの定番。

Castrol A747

TZ、YZ、KX、RS、CR、TLMメーカー指定オイル

2サイクル混合用レース専用オイル
SAE: 50
化学合成油・植物油の混合油



神話となったレーシングオイルの決定版。

Castrol R30

YZメーカー指定オイル

2サイクル混合用・4サイクルレース専用オイル
SAE: 30
植物油



エキスパートの極限の走りに応えるオイル。

Castrol New Formula TTS

TY、KXメーカー指定オイル

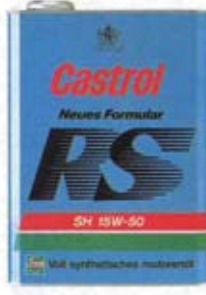
トライアル・モトクロス競技車輛に特におすすめ。公道でも使用できます。
2サイクル分離・混合両用レース用オイル
SAE: 30
化学合成油



モータースポーツ用高性能オイル。

Castrol SYNTRON EXTRA

2サイクルミッションオイルにも最適。公道でも使用できます。
4サイクルレース用オイル
SH
SAE: 5W-50
化学合成油



スポーツエンジンに最強最善のRS 15W-50 SH。

Castrol Neues Formular RS

モータースポーツ用2サイクルミッションオイルにも最適。公道でも使用できます。
4サイクルレース用オイル
SH
SAE: 15W-50
化学合成油



奇麗なブレーキングを支える高沸点レース専用ブレーキフルード。

Castrol Racing Brake Fluid

brembo推奨オイル
レース専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C
ウェット沸点150°C



カストロール株式会社
〒102 東京都千代田区麹町3-1 泉屋ビル TEL.03(3265)6101(代表)

明日への挑戦



RACING COURSE 2輪

開催日	大会名
3/27日	SUGOロードレース選手権シリーズ第1戦
4/17日	SUGOロードレース選手権シリーズ第2戦
4/29日～5/1日	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦
5/29日	SUGOロードレース選手権シリーズ第3戦
6/19日	SUGOロードレース選手権シリーズ第4戦
7/1日～3日	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦
7/17日	SUGOロードレース選手権シリーズ第5戦
8/7日	SUGOロードレース選手権シリーズ第6戦
8/26日～28日	SUPER BIKE世界選手権レース
9/18日	SUGOロードレース選手権シリーズ第7戦
10/7日～9日	ビッグロードレース(全日本選手権第10戦併催)
10/23日	SUGOロードレース選手権シリーズ第8戦
11/6日	第11回SUGO5時間耐久ロードレース

RACING COURSE 4輪

開催日	大会名
5/14日～15日	NEWツアリングカーレース
7/30日～31日	SUGOインターフォーミュラF3000レース
8/10日～11日	SUGO全日本F3選手権レース
11/19日～20日	N1耐久ラウンドシリーズSUGO 500km耐久レース

MOTOCROSS COURSE

開催日	大会名
6/11日～12日	全日本モトクロス選手権レース
7/17日	全日本ATVレース
9/3日～4日	全日本モトクロス選手権レース

〈レース日程は93年12月現在暫定〉



- テニス(27面) ●冒険ジャルダン(フィールドアスレチック)
- ゴーカート ●レーシングカート ●ランドカー ●プール
- アーチェリー ●おかしな自転車 ●つり堀
- ガーデンゴルフ ●ローラースケート ●カフェテリア
- オリエンテーリング ●ウォークラリー ●ミニ運動会
- レーシング、カート、モトクロス、トライアル、各コース 他



- ホテル「くぬぎ山荘」49室200名収容
会議室・ダイニング・ラウンジ・バー
深山亭・バーベキューガーデン 他
- キャンプ場
5人用・8人用テント・营火場 他
- オートキャンプ

ライセンス講習会

日程	ロード2輪	カート	ロード4輪(Aライ)	サーキットカート	オフィシャル
第1回	3月6日(日)	3月6日(日)	3月21日(祝)	3月6日(日)	3月6日(日)
第2回	3月13日(日)	3月20日(日)	8月14日(日)	5月8日(日)	3月20日(日)
第3回	4月10日(日)	4月3日(日)	9月15日(祝)	7月24日(日)	4月10日(日)
第4回	4月24日(日)	4月17日(日)	10月2日(日)	8月13日(土)	5月8日(日)
第5回	5月8日(日)	5月3日(祝)	11月23日(祝)		5月22日(日)
第6回	5月22日(日)	5月22日(日)			6月5日(日)
第7回	6月11日(土)	6月19日(日)			
第8回	7月10日(日)	7月17日(日)			
第9回	7月24日(日)	8月6日(土)			
第10回	8月13日(土)	8月13日(日)			
第11回	8月21日(日)	9月18日(日)			
第12回	9月4日(日)	10月23日(日)			
第13回	9月15日(祝)	11月6日(日)			
第14回	10月16日(日)	12月18日(日)			
第15回	10月30日(日)				
第16回	11月12日(土)				
第17回	12月11日(日)				
第18回	12月18日(日)				

申込方法	●必ず電話予約をして下さい。 (開催日、1ヶ月前より受付開始) ●申込用紙に記入の上、申込み下さい。	●2輪講習会----- SUGOスポーツクラブ 0224-83-3127 ●サーキットカート講習会 --- SUGOスポーツクラブ 0224-83-3127 ●4輪講習会----- 奥州WOC 022-225-1301 ●Eニバイク・カート講習会--- SUGOスポーツクラブ 0224-83-3127
	講習会に必要なもの 運転免許証明印書、筆記用具、承諾書(未成年者のみ)、写真2枚(2.5×3cm)、受講料、保険証 ※オフィシャル 写真4枚(2.5×3cm)、申請料 発行に必要なもの(オフィシャル 講習会参加者は不要) 実技車両、座つなぎ、ヘルメット、グローブ、ブーツ ※競技役員講習会 ロードレース、モトクロスの競技役員になるための講習会です。 ※Eニバイク講習会 受講希望の方は、電話で確認下さい。	

仙台市郊外・村田町



ランド内休園日:火曜日

宮城県柴田郡村田町菅生5-1 ☎(0224)83-3111他
東京営業所☎(03)3575-4771 仙台営業所☎(0224)83-4771

'94 RACING KIT PARTS

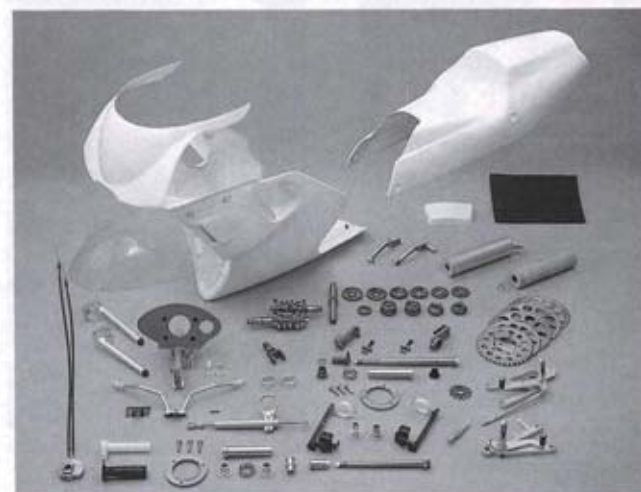
TZR250R



SP・SSキットセット
セット希望小売価格 ¥228,000



SP・SSコンプリートキットセット
セット希望小売価格 ¥299,000



オプションパーツ

スタアングダンパー/ステーセット	22,000円	2C・2D・2E-W	各1コ	15,100円
ハイスロットル/ワイヤーセット	7,100円	3C4C-3D4C-3E4C-P	各1コ	22,500円
フロントアッパーカウルステーセット	7,000円	3C・3D・3E-W	各1コ	22,500円
メーターステーセット	23,000円	4C-W	1	25,300円
シートステーセット	7,000円	5C-P	1	15,100円
レーシングバックステップセット	35,000円	5C-W	1	15,100円
アルミレーシングハンドル R・L	16,000円	6C・6D・6E-P	各1コ	15,100円
スベアーステップバー(シルバー)	3,200円	6C・6D・6E-W	各1コ	16,700円
スクリーン	11,000円	アクスルドライブ	1	33,700円
アッパーカウル	16,000円	'93-'94スベアースイレンサー	1	15,500円
アンダーカウル	24,000円	'93-'94スベアーステップ(リベット付)	1	2,900円
シートカウル	23,000円	2-fk(2x1)(R/L)P.2,3,4,5,6,8	各1コ	900円
ハイアジャストキット(車高調整)	27,200円	'91-'92用リストラクターセット	2	5,200円
SS用ホイールカバー(72Rイール)	3,100円			
SS用ホイールカバー(72Rイール)	27,000円			
エンデュランスインテグレーションキット(フロント)	168,000円			
エンデュランスインテグレーションキット(リア)	150,000円			
ドライブスプロケット 13T	3,000円			
ドライブスプロケット 39T-43T	各1枚 8,000円			
クロスミッション(レシオ変更用)	235,000円			
1E・1F-Pアクスルメイン	各1コ 33,700円			
1E・1F-W	各1コ 15,100円			
2C・2D・2E-P	各1コ 15,100円			

取扱店 RSS 各店

RCSUGO

〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL 0224-83-3125 FAX 0224-83-3130

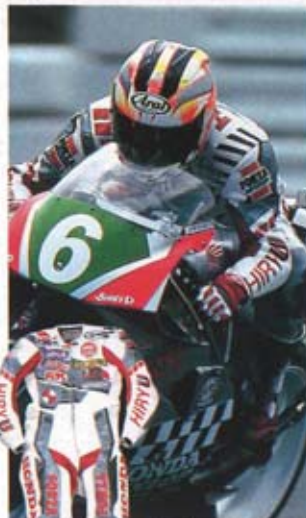
*写真のパーツはプロトタイプのため、実際とは異なる場合がございます。*このレーシングアーツは、レース専用のもので、*本仕様は予告なく変更される場合があります。

FORZA

RIDING CONCENTRATION



本間選手
(フルオリジナル)
●完全オリジナルのデザイン
の制作が可能です。(別
送見積り致します)
●参考価格
●FOV343.000~



区田選手
(フルオーダー)
●サイズのみフルオーダ
ーも可能です。変更はフィ
ットしたオリジナルサイズ
が選べます。
●参考価格
●EOV212.500~
●FOV256.800~



彩橋選手
(イージーオーダー)
●既製品のニット素材をク
レドアップ(ケブラーニ
ット仕様) ●ネーム・ワッ
ペンも自由自在
●参考価格
●EOV172.500~
●FOV209.000~

●EO...イージーオーダー
●FO...フルオーダー
●●表記の価格は参考価格です。ご注文の仕
様等により価格は変動します。

CARROZZERIA FORZA

レーシングスーツオーダーシステム

ファステストシーンはFORZA
オーダースーツから始まる

カロッツェリアフォルザは真実にも負けない欲張りなライダーのためのイージーオーダーシステムです。オーダーバリエーションは2パターン。ステップ1はイージーオーダー。ステップ2はフルオーダー。もちろんどちらのオーダーシステムもお好みの場所に、お好みのデザインで入れることができます。

●イージーオーダー...FORZAのラインナップの中から好きなデザインをお選び下さい。サイズは標準のサイズに加え、さらに細かく13のイージーオーダーサイズからあなたのフィットするものもお選びいただけます。また、カラーの組み替え(20色)・8項目の装備オプション・ネーム入れ等により、フルオーダー並のスーツが低予算で製作できます。(パターンについては標準仕様に限りません)

●フルオーダー...さらに細かくオーダーされた方々のためのスペシャルシステムです。FORZAのラインナップの中から好きなデザインをお選びいただき、様はお客様のほとんどのご希望にお応え致します。全身27ヶ所の採寸・カラー・各部の仕様・パターン等すべてお客様のご指定で製作されます。また、お客様のご希望によりデザインへの追加オリジナルデザインも製作致しますので詳しくはお問い合わせ下さい。(仕様についてのオーダーがない場合は標準仕様で製作致します。その他のご指定につきましては下記オーダーシステム装備オプションをご覧ください)ネーム入れやワッペン取り付けにも対応しています。

オーダーシステム装備オプション

- エリの型
 - オフカラータイプ(全モデルに標準装備)
 - スタンドカラータイプ ¥7,000
 - フーリングカラータイプ(ベルクロ式) ¥8,000
 - 縫製・封ニットSTD(ダブルパターンモデル標準装備) ¥7,000
 - ケブラーニット仕様 ¥13,000
 - 縫製・封ニットDX(ダブルパターンモデル標準装備) ¥7,000
 - ケブラーニット仕様 ¥13,000
- 袖の加工
 - 袖パッチ ¥3,000
 - 袖外巻帯(ウレタン入り) ¥7,000
- 裏のシャーリング ¥15,000
- 背中のベンチレーター
 - ファスナータイプ ¥3,000
 - メッシュタイプ ¥2,000
- 縫製の加工
 - 縫製大型ニット(オペロン) ¥10,000
 - 縫製大型ニット(ケブラー) ¥12,000
 - 縫製ニット(オペロン) 標準装備
 - 縫製ニット(ケブラー) ¥7,000
 - 縫製大型ニット ¥3,500

●表示の価格は標準装備以外のモデルに適用されます。
●MFJ公認の対象にはMFJの定める一定の仕様が必要です。
カロッツェリア・フォルザはすべてMFJ公認を前提に制作されます。非公認の仕様については制作を承っておりませんのでご了承ください。

ネーム入れ

- 1文字 ¥800 (3cm角以下の場合には120%アップ) ●特付きW文字1文字 ¥1,000
- 特殊文字...1文字 ¥2,000...特殊W文字 ¥2,200
- デザインロゴやイラスト等複雑なものには別途お見積りさせていただきます。
- FORZA(ブランドロゴ) ¥2,800 ●FORZA-W(特付き) ¥3,500
- オーダー納期...約3週間



●オーダーサンプル
●既成デザインも11万円でごんご
両方にイメージチェンジできます。
●参考価格
●EOV110.000~
●FOV132.880~



FORZA MATE RIDER 原田選手
'93WGPワールドチャンピオン獲得
原田選手の着用するスーツもカロッツェリア・フォルザの
オーダーシステムで制作されました。●原田仕様は別途見積り



鈴木選手
(フルオーダー)
●既成のパターンを本格仕
様のレーシングパターンに
変更できます。●参考価格
●EOV162.500~
●FOV198.000~



清水選手
(イージーオーダー)
●こんな色合いのスーツも
可能です。
●参考価格
●EOV172.500~
●FOV209.000~

GALLOP COMPANY LTD.

株式会社 ギャロップ

〒101 東京都港区中道4-2-12
TEL.03-3952-8571 FAX.03-3952-6057

●詳しい資料が必要なお客様は総合カタログ
をご請求下さい。お申し込みは必ず750円を
同時に、左記住所 株式会社ギャロップ宛
へお送り下さい。

GALLOP COMPANY LTD.

掲載の商品は1993年10月現在のもので、製品の価格には消費税は含まれておりません。製品の使用及び価格等は予告なく変更になる場合があります。製品についてのお問い合わせは株式会社ギャロップにお問い合わせ下さい。掲載商品の色等は印刷のため実際と異なる場合がありますのでご了承ください。●掲載のオーダーシステムの価格は参考価格です。実価格は各仕様・デザイン・付属品等を決定の上、お見積り致します。詳しくはカロッツェリアフォルザ担当へどうぞ。

極まるミシュラン。ミシュラン。



HI-SPORT Radial TX11

100 80 ZR16 TL	¥19,000
120 80 ZR16 TL	¥25,300
130 70 ZR16 TL	¥26,500
80 ZR17 TL	¥19,600
80 ZR17 TL	¥25,400
110 70 ZR17 TL	¥21,300
120 70 ZR17 TL	¥26,200
120 60 R17 55H TL	¥19,800
120 60 ZR17 TL	¥20,800
130 60 ZR17 TL	¥27,900
110 80 ZR18 TL	¥26,000

HI-SPORT Radial TX23

160 80 ZR16 TL	¥34,200
130 70 ZR17 TL	¥26,200
150 70 ZR17 TL	¥32,000
150 60 ZR17 TL	¥29,600
160 60 R17 69H TL	¥31,000
160 60 ZR17 TL	¥32,600
180 55 ZR17 TL	¥35,500
140 60 ZR18 TL	¥27,800
150 70 ZR18 TL	¥32,300
150 60 ZR18 TL	¥31,200
160 60 ZR18 TL	¥34,300

Radial A89X

120 80 ZR16 TL	¥24,000
★130 70 ZR16 TL	¥26,000
110 80 ZR17 TL	¥24,200
110 70 ZR17 TL	¥20,300
120 70 ZR17 TL	¥25,200
120 60 ZR17 TL	¥19,700
130 60 ZR17 TL	¥26,600
110 80 ZR18 TL	¥24,900

★印のサイズは発売予定サイズです。

Radial M89X

160 80 ZR16 TL	¥32,500
130 70 ZR17 TL	¥26,000
150 70 ZR17 TL	¥30,500
160 70 ZR17 TL	¥32,500
160 60 ZR17 TL	¥32,000
170 60 ZR17 TL	¥33,000
180 55 ZR17 TL	¥34,700
130 70 ZR18 TL	¥26,200
★140 60 ZR18 TL	¥26,400
160 60 ZR18 TL	¥33,000

Radial A59X

120 80 ZR16 TL	¥24,000
130 60 ZR16 TL	¥25,500
110 80 ZR17 TL	¥24,200
110 70 ZR17 TL	¥20,300
120 70 R17 58H TL	¥24,000
120 70 ZR17 TL	¥25,200
120 60 ZR17 TL	¥19,700
130 60 ZR17 TL	¥26,600
110 80 ZR18 TL	¥24,900
120 60 ZR18 TL	¥26,000

Radial M59X

160 80 ZR16 TL	¥32,500
160 60 ZR16 TL	¥31,000
140 80 ZR17 TL	¥29,000
160 60 R17 69H TL	¥30,500
160 60 ZR17 TL	¥32,000
170 60 R17 72H TL	¥31,900
170 60 ZR17 TL	¥33,000
180 55 ZR17 TL	¥34,700
140 60 ZR18 TL	¥26,400
150 70 ZR18 TL	¥31,300
160 60 ZR18 TL	¥33,000

世界GPで磨き抜かれた、高度なコンペティション・テクノロジーとノウハウ。ミシュランのストリート・ラジアルは、それらを余すところなくフィードバックして生まれてきた。ハイパワード・マシーンにふさわしい強大なグリップ力と高い限界性能。しかもハンドリング性能はつねにコントロールフルで、驚くほどスムーズなライディングが可能だ。サーキットまでをテリトリーとするレーシング・スペックのTXシリーズ。アグレッシブな高性能とロングライフを両立した89Xシリーズ。そしてストリート・ラジアルをリードした59Xシリーズまで、ラインアップもサイズも充実した。すべてに高度なそのトータルバランス。これが、あらゆる高性能マシーンへのミシュランからの解答である。



TX11 TX23 A89X M89X A59X M59X



THE TIRE MICHELIN

CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ
ロードスポーツマガジン
毎月1日発売!!

SINCE
1982

ロードレースを愛する
すべての人へ

サイクルサウンズは国内唯一の
ロードスポーツ専門誌です



世界グランプリから地方選手権まで
全レースをレポートしています

定価 580円
(税込)
全国書店・コンビニエンス
ストア・サーキットでお取
扱ください



株山海堂

+++++ベストライダーの皆さまへ+++++

ベストライダーに欠かせない

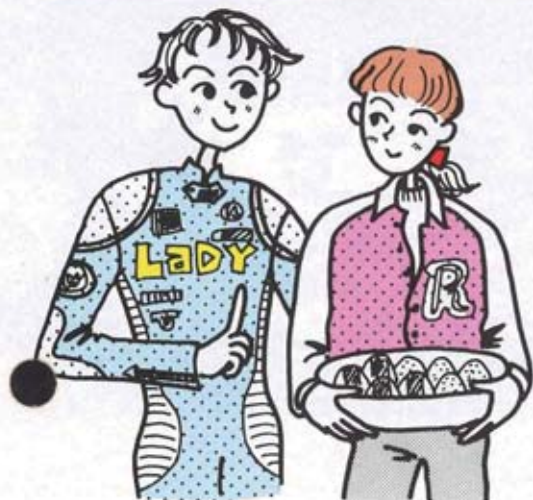
バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、
おとどけします

自賠責保険をつ
けずにバイクを
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



バイクの自賠責保険料

(平成5年4月1日改定)

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	11,600円	28,000円
2年	9,800円	21,000円
1年	7,850円	13,650円

損害保険代理店

ホンダ開発株式会社

本 社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2311

事業所

和光事業部 〒351-01	埼玉県和光市本町9番1号	☎0484-61-0843
狭山事業部 〒350-13	埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号	☎0429-53-7351
浜松事業部 〒433	静岡県浜松市葵東1丁目13番2号	☎053-436-2241
鈴鹿事業部 〒513	三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号	☎0593-79-5414
熊本事業部 〒869-12	熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地	☎096-293-6222
栃木事業部 〒321-33	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2	☎0286-77-3108

恒例となった筑波の初秋のビッグイベント'94筑波500kmロードレース大会が今年で3回目の開催を迎える。まだ夏の余韻が色濃く残る灼熱の太陽の下、4時間に亘るまさに熱いバトルに臨むライダー達の祭典ともいえる500km耐久レース。

今年の大きな特色は開催クラスが昨年までと異なりSP250、400クラスとなり、さらに国内B級部門まで出場枠が広がった点にある。これによりマシンを操るライダーそれぞれの能力の勝負となりイコールコンディションの下で手に汗を握る激しい展開が予想される。栄えある栄冠は誰れの頭上に!!

1994

筑波 500km ロードレース大会

- 大会名
筑波500kmロードレース大会(MFJ公認)
- 開催日
'94年9月3日(土) 公式予選/100kmレース(敗者復活)
9月4日(日) 500km決勝レース
- 会場
筑波サーキット(2.07km)
- 賞金総額
800万円(決勝グリッド賞別途支給)
- 主催
(財)日本オートスポーツセンター(JASC)
- 開催クラス
SP250, SP400(IA・NA・NB)混走レース
- チーム編成
ライダー2名以上3名以下、メカニック2名、ヘルパー2名、監督1名、サインマン2名
- エントリー受付期間
'94年7月25日(月)~8月4日(木)(消印有効)
- エントリー料金
30,000円(補欠ライダー登録料5,000円、MFJ選手共済費 人数×4,000円)

YAMAHA	
TIME	1:33:12.1
CARNO. LAP	
I	2:42
II	2:42
III	2:40
IV	2:38
V	2:38
VI	2:37



本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056
筑波サーキット 〒304 茨城県結城郡千代川村村岡 ☎0296-44-3146~7

1994

筑波サーキット 年間 レースカレンダー

開催日	主催者	東日本フレッシュマン					スーパーカップ			関東選手権				
		S50 GP80	NK	FSP 250 400	FGP 125	SP 12	GP 125	GP 250	S 80	SP 125	SP 250	SP 400	GP 125	GP 250
2月19日~20日	JASC		N・M	○	○		○	○		○	○	○		○
3月19日~20日	JASC	○		○			○			○	○	○	○	○
4月30日~5月1日	JASC	○	N・M	○	○	○				○	○	○	○	○
5月14日~15日	JASC			○										
5月21日~22日	ゴール		○											
6月11日~12日	JASC	○	N・M	○	○				○		○	○	○	○
9月3日~4日	JASC										○	○	○	○
9月24日~25日	JASC	○		○	○	○					○	○	○	○
10月22日~23日	JASC			○		○	○	○		○	○	○	○	○
11月19日~20日	ゴール		○											

※東日本フレッシュマンNK(ネイキッド)の欄は、N→ノーマル・M→モディファイド・○→オープンを表します。
※9月3・4日は筑波500km耐久レース。

トライアル

TRIAL

▼細則6 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	100
2. トライアル	100
3. 出場車両	100
4. 参加資格	100
5. 出場申し込み	100
6. ゼッケンナンバー	100
7. ライダーの装備	101
8. 出場受付	101
9. ライダーおよび車両の変更	101
10. 車両および装備の検査	101
11. 練習	101
12. コース	102
13. セクション	102
14. 競技の進行	102
15. タイムキーピング	103
16. ペナルティ	103
17. ペナルティの定義	104
18. 燃料補給	106
19. 競技の終了	107
20. 車両保管	107
21. 競技結果	107
22. 抗議	107
23. 賞および得点	107
24. 審判員の権限	107
25. 違反に対する罰則	107
26. 本規則の解釈	107
27. 本規則の施行	107

▼細則7 '94全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 公示	108
2. 開催クラス	108
3. 運営実行組織	108
4. 参加資格	108
5. 出場料およびMFJ共済会掛金	108
6. ゼッケンナンバー	109
7. ヘルパー	109
8. 車両検査	110
9. スタート	110
10. 採点カード	110
11. タイムキーピング (タイムコントロール)	110
12. マシンコントロール	110
13. 賞および得点	111
14. 本規則の施行	111
'94全日本選手権開催日程	111

▼細則8 '94全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ特別規則

1. 適用の範囲	112
2. スタジアムトライアル	112
3. 参加資格	112
4. 参加申し込み	112
5. ゼッケンナンバー	113
6. 競技方法	113
7. 車両の整備・補修	113
8. 競技結果	114
9. 抗議	114
10. 賞および特典	114
11. 本規則の施行	115

トライアル 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表される。

3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、国内競技規則・第3章〔⑫出場車両〕（29頁）の限度を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場を認められない。

4 参加資格

1) ライダー

ライダーは、1994年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（27頁）に合致していなければならない。

5 出場申し込み

1) 出場申し込みは、大会特別規則の定めるところとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局へ提出しなければならない。

(2) 郵送の場合は、現金書留または主催者の定める方法とし、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。

(3) 電話による申し込み、および締切日以降の申し込みは一切受けつけない。

6 ゼッケンナンバー

1) 主催者によってナンバーが割り当てられる。

2) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。

- 3) ゼッケンナンバーは車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

7 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982のA種、および同JIS T8133の1種 (JIS T8133の1982年8月までの規格) 以上のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。
 - (3) 競技会の車両審査受付時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料 (1,000円) を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
 - (2) 手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

8 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人がMFJライセンス、参加受理書を提示して当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

9 ライダーおよび車両の変更

ライダーの変更は認められない。車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(30頁)に該当する場合で、出場受付時に手数料5,000円を添えて大会事務局へ申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ認められる。

10 車両および装備の検査

- 1) 装備および車両の検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査場にて行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参して検査を受けなくてはならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は、1台に制限される。
- 4) 主催者は、大会期間中必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

11 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

12 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

13 セクション

1) セクションの表示

セクションは、次のセクションマーカおよびテープで表示される。

- (1) 入口

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に“IN”などの表示
- (2) 途中

右側	赤いマーカまたはテープ
左側	青いマーカまたはテープ
- (3) 出口

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に“OUT”などの表示
- (4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のマーカを置く。

2) セクションの幅

- (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、マーカによって制限する場合は1.2m以上とし、テープによって制限する場合は2m以上とする。
- (2) 同じ側のマーカとマーカの間を迂回することはできない。
- (3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のマーカを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のマーカを過ぎた時点で終了する。

14 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなくてはならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなくてはならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、コース上およびセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし工具、スペアパーツの受け渡し、およびセクション内でフルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。（全日本選手権は規則が異なる……P109ヘルパーの項参照）
- 8) (1) 車両の部品交換は、マーキングされていない物のみ認められる。
 (2) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック）であれば他の援助を受けることができる。
 (3) ライダーは、コース上のどこにおいても工具、およびスペアパーツを受け取ることができる。ただし定められた区域（パドック）以外では整備の援助を受けることはできない。

- (4) 競技中事故を起こした場合や、車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに競技役員に申し出なければならない。
- 9) 不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

15 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/hとする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。

16 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
 - (1) クリーン……………0点
 - (2) 足つき……………1点～3点減点
 - (3) 失敗……………5点減点
 - (4) 放棄……………10点減点
 - 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合……………1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
 - (2) ゴールタイムチェックへの遅れ……………失格
 - 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 競技役員および審判員に対する不適切な行為……………失格・退場
 - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……………10点減点
 - (3) トライを有利にする目的で、故意に地形を变形させた場合……………10点減点
 - (4) 定められたコースを不適当にカットした場合……………50点減点
 - (5) 定められたコースを逆走した場合……………失格
 - (6) 車検で施されたマーキングが失われた場合……………失格
(次の部品は車検後交換が認められない。フレームボディ、クランクケース、サイレンサー)
 - (7) 許可された場所以外で、外部から整備の援助(部品の交換を含む)を受けた場合……………失格
- 注) 上記(4)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される。

トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

減点ゼロ
おみごと/
クリーンです



減点1
残念、
足つき1回



減点2
無念なり
足つき2回



減点3
足バタバタ
3回以上



減点5
ミスりました
失格です



トライを放棄すれば減点10

17 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

1) 足つきの定義

車両が前進しながら身体のどこかの部分、または車両のどこかの部分（フットレスト、エンジンカード、タイヤ、ホイールを除く）が地面に触れた場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーのどこかの部分が障害物（立木、壁など）にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に漆を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

(1) 1点減点

- ① 足つき1回
- ② 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合
- ③ 片足を軸にして車両を回転させた場合
- ④ 手を立木・壁等についた場合
- ⑤ 身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- ⑥ コーステープの内側または外側への足つき1回

(2) 2点減点

- ① 足つき2回
- ② 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合
- ③ 両足同時の足つき

(3) 3点減点

- ① 足つき3回以上
- ② 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合

2) 失敗（減点5点）

- (1) ライダーが足つきをし、車両が完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合
- (2) バック中の足つき
- (3) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時
- (4) カードの迂回（下図Aのようなふくらみ、またはターン）

*ただしセクションテープ併用の場合はこの限りではない（図E参照）

図A

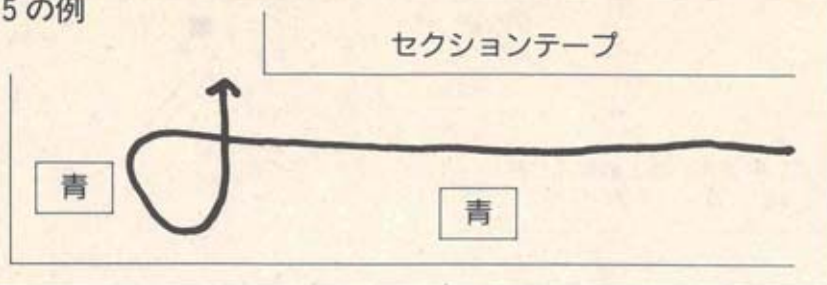


- (5) 車両・ライダーによるテープ切断、たるませ、またはテープを止めているクイなどを移動・破損させた場合
- (6) 車体の右側、または左側に両足が同時に足つきをした場合
- (7) 両足つきの状態で車両がフロントホイールを上へ90°以上傾いた場合
- (8) フロントタイヤまたはリヤタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、

石等に接触した場合

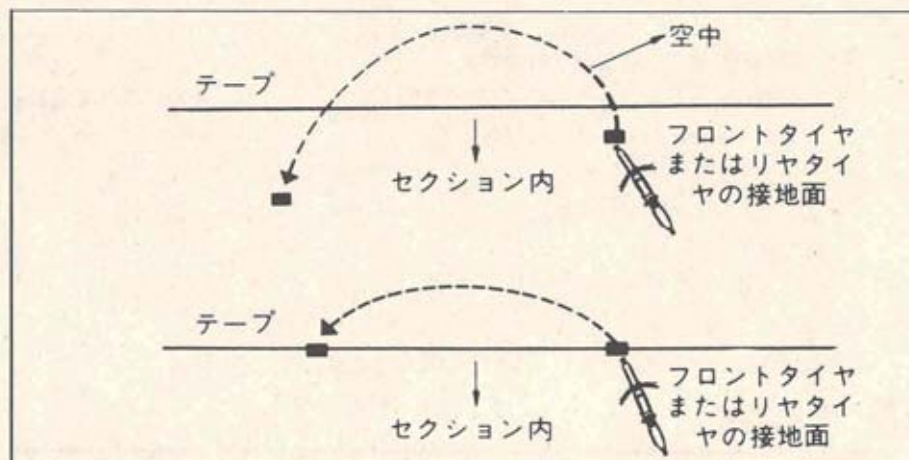
- (9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちまに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない (図B参照)

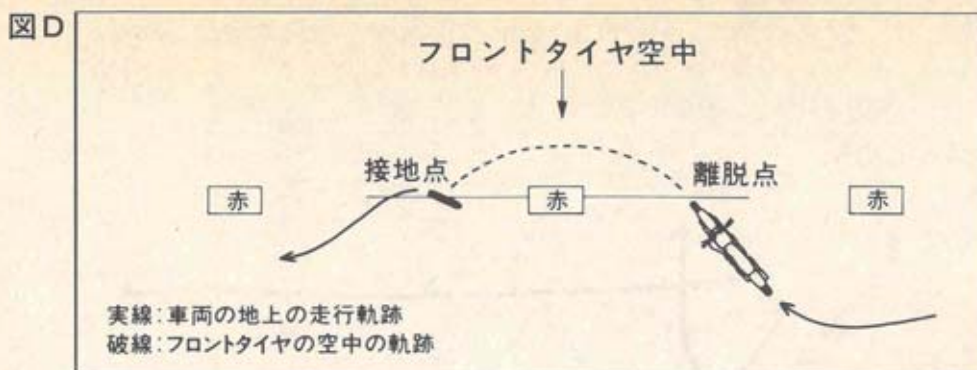
図B 減点5の例



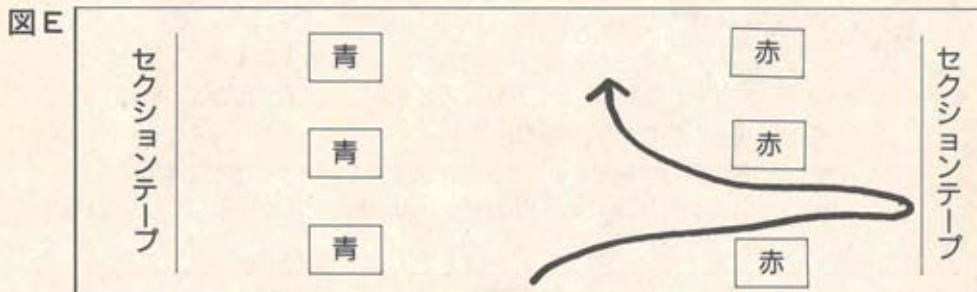
- (10) 車両によるカード移動、カード破損
- (11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする
- 3) 減点の対象とならない行為
- (1) 接触
- 接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。
- なおマーカー、テーブルには車両、身体どちらで接触しても接触のみであればペナルティーは課せられない。
- (2) その他減点の対象とならない例
- ① テーブルの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリヤタイヤがテーブル外に出た場合で、テーブル外の立木、壁、石、地面等に触れずにテーブル内に戻った場合。(図C参照)
- ② マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、フロントタイヤの接地面がカードの内側を通れば減点5の対象とはならない (図D参照)。

図C





- ③ セクションテープがある場合、マーカーとマーカーを結ぶ直線をはみ出しても、テープより出ない限り減点とはならない(図E参照)。
- ④ V字型の地形でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足の裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- ⑤ アンダーガードが写りかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なおこの状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- ⑥ エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- ⑦ 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。



(3) 減点の対象とならない車両の部分

車両が停止している状態で、下記の部分が立木、壁、石、地面に触れて重心を支えても減点の対象とはならない。

- ① フットレスト
 - ② エンジンガード (底部)
 - ③ タイヤ
 - ④ ホイール
- 4) 放棄
放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

18 燃料補給

- 1) ライダーは、主催者の定める区域内 (パドック等) で燃料補給ができる。
- 2) ライダーは、競技役員の許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

19 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

20 車両保管

公式通知等に車両保管方法について記載のない場合、最終ゴール時に上位入賞車両の検査を行う場合を除き、マシンコントロールでのチェック終了後は車両保管は行わない。

21 競技結果

- 1) 総減点数の少ない者から順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする
 - (5) 以上によって決定できない場合は、当該審査委員会により決定される。

22 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(34頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) セクション審判員の下したジャッジに対しては、抗議することは一切できない。

23 賞および得点

- 1) 入賞は1位～6位とする。
- 2) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔㉔公式得点〕(32頁)によって与えられる。

24 審判員の権限

審判員は、競技規則に則り担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する、最終的権限を持つものである。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉔違反行為に対する罰則〕(34頁)による。

26 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

'94全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本トライアル選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づき、MFJ公認の全日本格式競技会として開催される。

2 開催クラス

- 1) 全日本選手権の開催クラスは、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は国際A級部門・国際B級部門ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数及び持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

3 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラム、または公式通知に示される。

4 参加資格

- 1) 国際A級部門のエントリーは、フリーエントリーとする。
- 2) 国際B級部門のエントリーはフリーエントリーとするが、申し込み台数が一大会（国際A級・国際B級合計）100台を越えた場合、原則として以下の優先順位で制限する。
 - (1) '93年全日本選手権国際B級部門ポイント獲得者
 - (2) '94年に国際B級に昇格した者で、'93年トライアルGC大会で国内A級部門1位～15位までの者。
 - (3) '93年各地方選手権国際B級部門のポイントランキングで、項目(1)に該当する者を除く上位5名の者。
 - (4) その他主催者が認めた者
 - (5) その他の国際B級。
- 3) ヘルパーライダーのエントリーは、当該年度有効な国内B級以上のライセンス所持者とする。

5 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)
国際B級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)
ヘルパーライダー	6,000円	(MFJ共済会掛金200円含む)

参加受理：

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

6 ゼッケンナンバー

- 1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。
- 2) 全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

国際A級

- (1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 国際B級部門より昇格した者を、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。
- (3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

国際B級

- (1) 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

7 ヘルパー

ライダー1名に対し、1名のヘルパーが認められる。ヘルパーの資格、および遵守事項は次のとおりとする。

- 1) ヘルパーは、トリアル国内B級以上のライセンス所持者で、ライダーのエントリー時にヘルパーの申請料を添付し、申し込まなければならない。エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。

また大会により、ヘルパーの受付を認めない場合がある。

- 2) ヘルパーの車両はMFJ公認車両でなくてはならず、選手と同様に車検を受けなければならない。
- 3) 車両のフロントナンバープレートに、選手と同じゼッケンナンバーを表示しなくてはならない。ナンバープレートの地色および数字の色は下記のとおりとする。

国際A級のヘルパー……白地赤文字

国際B級のヘルパー……白地緑文字

- 4) 移動コースは特に指示のない場合ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 5) ヘルパーの不正は、そのヘルパーを登録したライダーに罰則が課される。
- 6) ヘルパーの行ってよい行為(下記以外の行為は認められない)

- (1) コース上でライダーに工具、スペアパーツ、飲料等の受け渡しができる。
- (2) パドック以外での車両整備(部品の交換を含む)は、選手本人及びその選手に登録されたヘルパーのみが行うことができる。
- (3) ヘルパーは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。

ただしトライ失敗の際の補助として、その選手に登録されたヘルパーがセクション審判の許可を受けた場合に限りセクション内への立ち入りが認められる。

8 車両検査

- 1) 車両検査においてフレームボディ、クランクケース、サイレンサーにマーキングを行う。以上の部品は競技の期間中使用され、競技が終了するまで交換をすることができない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中無断で交換した場合、および車検で施されたマーキングを失った場合には失格とされる。
ただしスベアとして車検合格し、マーキングされたサイレンサーは例外とする。
- 2) 車両検査時には全車に対し、音量測定を行う。

9 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位の者から先にスタートするが、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートする。

10 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップ毎に交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションはエスケープとみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 6) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 7) 採点カードの交換場所は、大会特別規則または公式通知へ示される。

11 タイムキーピング (タイムコントロール)

- 1) ライダーはスタート、ゴールのタイムチェックを受けなくてはならない。
- 2) 公式通知に特に記載のない場合、スタート時のタイムチェックはスタート時に行われ、ゴール時のタイムチェックは最終セクション出口付近にて行われる。
- 3) ゴールに遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 4) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

12 マシンコントロール

- 1) マシンコントロールでは車両、車両へ施されたマーキング、ゼッケン、服装等の検査が行われる。
- 2) ライダーは各ラップ毎にマシンコントロールでの検査を受けなくてはならない。
- 3) 公式通知に特に記載のない場合、マシンコントロールは、大会本部付近にて行われる。

13 賞および得点

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラスへベストクリーン賞が与えられる。
(クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする)
- 2) 国際A級、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については規定の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) 詳細は全日本選手権ランキング決定方法(194頁)に示される。

14 本規則の施行

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1994年1月1日
全日本トライアル選手権
大会事務局長

'94全日本トライアル選手権シリーズ(主要競技会)開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
5月7日(出) ↓ 5月8日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第1戦 関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	栃木県 栗山村鬼怒川特設会場	3月29日(火) ↓ 4月7日(休)
6月4日(出) ↓ 6月5日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第2戦 第22回日本グランプリ大会	財団法人モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	長崎県 西彼杵郡琴海町 トライアルパークHOZOZI	4月26日(火) ↓ 5月5日(休)
8月6日(出) ↓ 8月7日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第3戦 北海道大会	MFJ札幌 〒065 北海道札幌市東区東福来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎011(782)1492	北海道 夕帳マウントレースイ スキー場	6月28日(火) ↓ 7月7日(休)
9月3日(出) ↓ 9月4日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第4戦 中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会 ☎082(295)6994	広島県 ヒバハレレイスキー場	7月26日(火) ↓ 8月4日(休)
9月17日(出) ↓ 9月18日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第5戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	未定	8月9日(火) ↓ 8月18日(休)
10月1日(出) ↓ 10月2日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第6戦 東北大会	MFJ秋田 〒010 秋田県秋田市八橋大畑2-12-55 秋田県二輪車安全普及協会 ☎0188(62)6219	秋田県 藤里町葉波里ダム	8月23日(火) ↓ 9月1日(休)
10月15日(出) ↓ 10月16日(回)	全日本トライアル選手権シリーズ第7戦 中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市長和区八事富士見1603 ☎052(833)9676	岐阜県 坂内バイクラウンド	9月6日(火) ↓ 9月15日(休)

細則 8

'94全日本 スタジアムトライアル 選手権大会特別規則

1 適用の範囲

以下に示す規則は、国内競技規則とともに、国際格式の大会を除くすべての国内スタジアムトライアル競技会に適用される。

2 スタジアムトライアル

スタジアムトライアルとは、主にインドアの会場にさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、これを走破することでライダーの操縦技術の信頼性を試す競技である。

3 参加資格

- 1) 国際A級部門のエントリーはフリーエントリーとする。
- 2) 国際B級部門は、主催者が推薦した者のみエントリーすることができる。
参加台数が予定数を越えた場合は、下記の優先順位にて参加台数を制限する場合がある。
 - (1) 前年度スタジアムトライアルポイント獲得者
 - (2) 前年度全日本選手権ポイント獲得者
 - (3) 本年度国際B級からの昇格者
 - (4) 上記に該当しない者なお、満20才未満の者は親権者の承諾を必要とする。

4 参加申し込み

- 1) 申込先
 - (1) 参加者は所定の申込書に記載事項のすべてを記入の上、出場料、MFJ共済会掛金を添え、申し込み期間内に現金書留で送付すること。(締切日の消印有効)
 - (2) 申込み先
〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F
(財)日本モーターサイクルスポーツ協会内
スタジアムトライアル事務局 TEL 03-3865-8441
- 2) 出場料：国際A級部門 15,000円 (MFJ共済会掛金200円含む)
国際B級部門 15,000円 (MFJ共済会掛金200円含む)
- 3) 参加受理：
 - (1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。

- (2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- (3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない)

5 ゼッケンナンバー

1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。

2) スタジアムトライアル全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

国際A級

(1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。

(3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

国際B級

(2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

6 競技方法

競技方法は、セクションラップ方式とし、各自持ち時間が設定される。持ち時間は公式通知に示される。

1) スタート

(1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとし、前年度ランキングポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。

(2) 第2戦以降のスタート順序は前戦までのランキング下位の者からとし、ポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。

2) 予選

(1) 参加ライダー全員が、指定されたセクションを1ラップする。

(2) 使用セクション、組分け等の詳細は公式通知、ライダーズミーティングにて発表される。

3) 準決勝

(1) 予選上位9位までの者が準決勝に進出し、指定されたセクションを1ラップする。

(2) 組分けは予選結果に基づいて決定され、使用するセクションは公式通知、またはライダーズミーティングにて発表される。

(3) セクションのトライ順は、それぞれの組の予選結果下位の者からとする。なお同点者がいた場合ゼッケン下位の者からとする。

4) 決勝

(1) 準決勝の結果上位3名により、指定されたセクションを1ラップする。

(2) 使用するセクションは、公式通知またはライダーズミーティングにて発表される。

(3) セクションのトライ順は、準決勝結果の下位の者からとする。なお同点者がいた場合ゼッケン下位の者からとする。

7 車両の整備、補修

車両の整備、補修および燃料補給は、主催者が指定した場所でのみ許可される。

8 競技結果

順位は下記の方法で決定する。なお、順位は国際A級と国際B級の総合成績とする。

- 1) 優勝者および2位、3位
決勝進出者の中から決勝、準決勝の総減点数の少ない順に順位を決定する。
- 2) 4位から9位
準決勝進出者の中から準決勝結果の総減点数の少ない順に順位を決定する。
- 3) 10位以下
予選における減点数の少ない順に順位を決定する。
- 4) 同点者の判定は、次の順序に従って行う。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする
 - (5) 1位から3位までの順位決定において、同点者の判定(1)~(4)で決定できない場合は、決勝結果、準決勝結果の順序により決定する。
 - (6) 以上によって決定できない場合は、大会審査委員会の判断により決定する。

9 抗議

- 1) 予選、準決勝、決勝を通じ競技結果に対する抗議時間は、暫定結果発表後10分以内とする。
- 2) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(34頁)による。(抗議時間を除く)
- 3) 審判員の下した判定に対する抗議は、一切できない。

10 賞および特典

- 1) 各大会ごとに下記の賞典が与えられる。
 - (1) スターティングマネー
準決勝進出者に対し、スターティングマネーが与えられる。
 - (2) 賞金
総合順位に従い、賞金が与えられる。
 - (3) オールクリーン賞
決勝進出者で、予選から決勝まですべてクリーンの場合、オールクリーン賞が与えられる。
- 2) スタジアムトライアル全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点は国際A級クラスを対象に与えられ、国際B級クラスには与えられない。
 - (2) 得点は予選総出場回数により制限される。(MFJ国内競技規則・第3章〔24公式得点〕による)
 - (3) 国際B級クラスの選手が得点獲得順位を得た場合その得点は無効とし、国際A級の得点繰り上げは行わない。
 - (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (5) 複数の選手が同一の得点を得た場合、下記の順序によりランキングを決定する。
 - ① 上位入賞回数の多い者を上位とする。
 - ② 最終戦の成績の上位の者を上位とする。
 - ③ ゼッケンの上位の者を上位とする。

11 本規則の施行

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則トライアル競技細則による。

1994年1月1日
スタジアムトライアル全日本選手権
大会事務局長



'94 MODEL RACING WHEEL

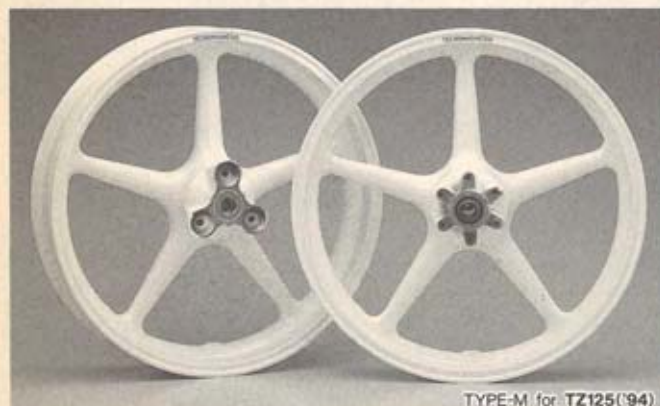
モーターサイクルレーシンググイックイップメントにおける性能追求/

Tecnomagnesio Racing Wheelがもつ性能は、

高剛性と軽量化によるマシンの運動性能の大幅なレベルアップというハード面。

そして確実なアフターフォローによる、より安心してレース活動が出来るよう掛けるソフト面。

ハードとソフト。そのどちらが欠けてもレーシングパーツとしての評価はあり得ないと考えています。



TYPE-M for TZ125('94)

'94 MODEL 新価格

(為替差益還元により値下げ)

HONDA RS125R('90-'94)	TYPE-M	TYPE-R
FRONT MT2.50-17	¥97,000	¥79,000
REAR MT3.50-17	¥113,000	¥88,000
YAMAHA TZ125('94)	TYPE-M	TYPE-R
FRONT MT2.50-17	¥97,000	
REAR MT3.50-17	¥113,000	
※OP:F・サイドカラーSET(R/L)	¥4,000	

■上記以外の車種、サイズについては、下記テクニカルショップ、又は当社までお問い合わせ頂くか、カタログをご請求下さい。

Tecnomagnesio Technical Shop

宮城県角田市 株式会社ルーズ ☎0224-62-0671
 宮城県仙台市 株式会社スポーツウイラー ☎022-246-2619
 宮城県仙台市 TOWNS ☎022-256-5635
 宮城県名取市 ユム・プロダクト㈱ ☎022-386-2278
 宮城県栗田郡 株式会社(RO SUGO) ☎0224-63-3111
 栃木県小山市 I-FACTORY ☎0286-25-0508
 茨城県結城郡 街ワールド筑波 ☎0296-49-3139
 埼玉県川越市 街エンデュランス ☎0492-22-7770
 千葉県四街道市 レーシングサブライ ☎0434-23-1190
 東京都江戸川区 株式会社OX RACING ☎03-3679-4266
 東京都台東区 HONDA SPORT MOTORUM ☎03-3831-4265
 東京都東大和市 ハルクプロ ☎0425-66-3651
 東京都武蔵村山市 タカギレーシングリサーチ ☎0425-63-2696
 東京都新宿区 有城北ランドオート(Uha) ☎03-3952-4004

東京都大田区 有スペシャルパーツ(有田) ☎03-3741-1771
 神奈川県伊勢原市 株式会社エーエー ☎0463-92-3793
 神奈川県横浜市 有ライダーズサロン横浜 ☎045-763-3638
 神奈川県横浜市 クシダプロダクト ☎045-242-1978
 神奈川県横浜市 野口モーターズ ☎045-363-5111
 静岡県浜松市 株式会社ブルーフォックス・浜松 ☎053-439-0502
 静岡県駿東郡 有ワールドカワグチ ☎0559-87-2480
 岐阜県岐阜市 有ニュースウイングJIC ☎0562-94-4421
 愛知県海部郡 ラ・モト・KOHSAKA ☎05679-5-9991
 愛知県刈谷市 有プロト ☎0566-36-0456
 愛知県名古屋市中区 有レーシングプロジェクト ☎052-802-0117
 愛知県名古屋市 有バイクショップカワガフ ☎052-804-2378
 愛知県名古屋市 有スクーターリアオコムラ ☎052-902-3095
 三重県鈴鹿市 有リングワールト㈱ ☎0593-78-1455

三重県鈴鹿市 藤夢 ☎0593-78-9101
 三重県上野市 有ヤマモト・エンジニアリング ☎0595-24-6265
 三重県鈴鹿市 株式会社レーシングスズキ ☎0593-79-0037
 三重県鈴鹿市 株式会社トウビー ☎0593-79-4010
 大阪府富田林市 ベビーフェイス ☎0721-24-8882
 大阪府平野区 有ベガススポーツ ☎06-781-2627
 大阪府大東市 株式会社PSタイチ ☎0720-74-5315
 兵庫県西宮市 株式会社甲子園 ☎0798-34-3523
 広島県広島市 株式会社パーツラボ(広島) ☎082-241-1550
 福岡県北九州市 有ホンダショップ・ライブ ☎093-922-8908
 福岡県福岡市 有ホンダショップ高武 ☎092-871-8198
 福岡県久留米市 RRS車庫 ☎0942-35-0589
 熊本県菊池郡 株式会社アル・エス・シー ☎096-293-3505

○ Tecnomagnesio Technical Shopでは、Tecnomagnesio Racing Wheelの販売及びテクニカルアドバイスアフターサービスをTOTALでフォローいたします。

○ 業者販売につきましては、上記Shop又は当社までお問い合わせ下さい。

○ 個人(ライダー)の方のご購入につきましては、行き付けのShopよりTechnical Shop又は当社へお問い合わせいただくか、直接Technical Shopにお問い合わせ下さい。

brembo

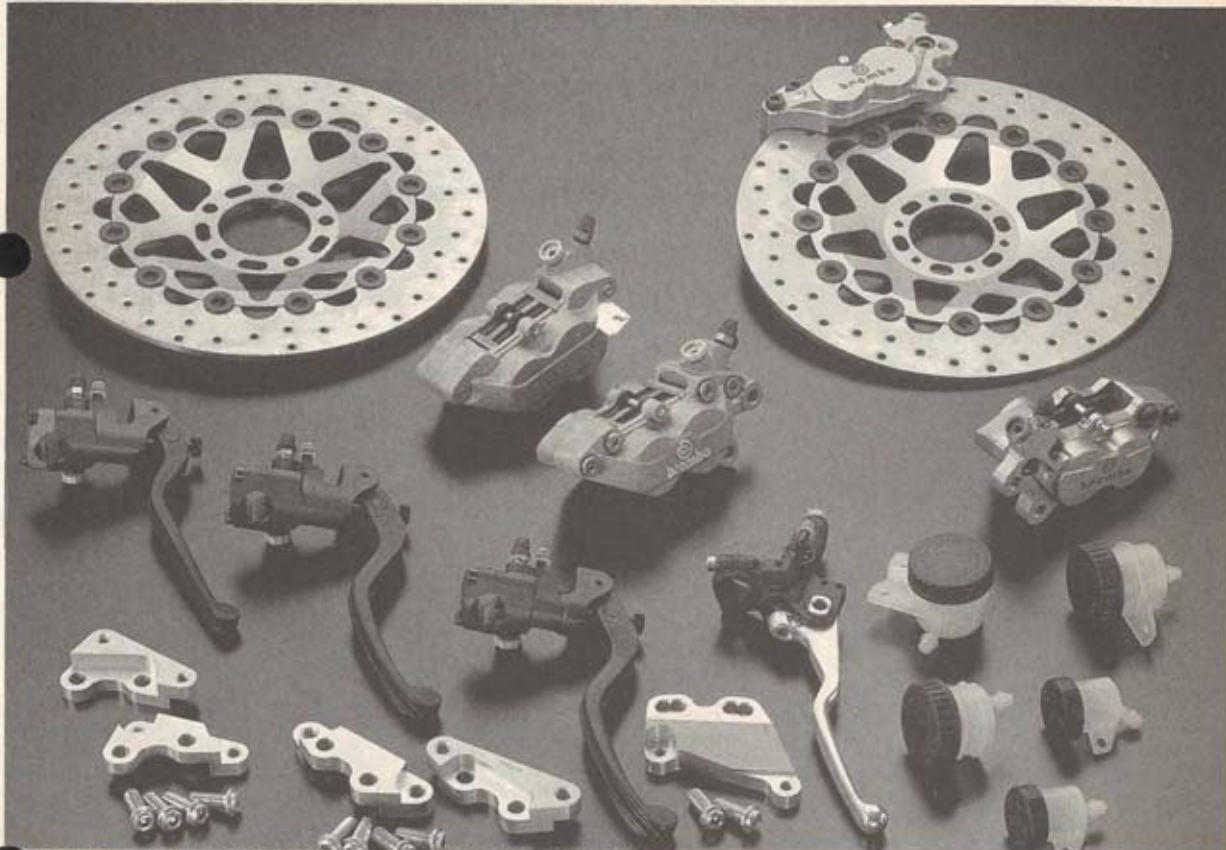
Brake systems

株式会社 日本テクノマグネシオ 二輪事業部はBREMBO Brake Systemの販売代理店です。

BSE
Brake System Engineering Co., Ltd.

高いコントロール性能と永年の経験によって生み出されたブレーキタッチ。

“BREMBO Brake System”はライダーの感性に対応し、より高次元のスピードコントロールを可能にします。



「組み合わせ使用例」等の説明を含めたカタログをご用意しています。お気軽にご請求下さい。

TRANSTEC

SPROCKET from **ls2**

TRANSTEC SPROCKETは「ISA」の全面的な協力によりプロデュースされています。



細かなデータの積み重ねが持つ意味の重要性とタイムアップの可能性を求めて、わずかな妥協も許すことのないTRANSTECスプロケットは、その仕上がり精度を追求しています。

NEW MODEL 好評発売中!!

YAMAHA TZ125('94)	
32・33・34・35・36T	¥6,000
37・38・39・40T	¥6,300
41・42・43・44T	¥6,500

HONDA NSR250R('94) PRO ARM	
36・37・38・39・40・41・42・43・44・45・46T	¥9,300

■その他の対応車種(下記)についてはお問い合わせ下さい。

YAMAHA
TZ250(～'94)/TZR250SP

HONDA
RS125R('90～'94)/RS250R(～'92 & '93～'94)/
NSR250R(～'93)

brembo/TRANSTEC 発売元 Tecnomagnesio 日本総発売元

株式会社 **日本テクノマグネシオ** 二輪事業部

〒488 愛知県尾張旭市東本池ヶ原町3丁目20番地 TEL.0561-52-4500 FAX.0561-52-4454

SUGANO レーシングインフォメーションVOL.1

SUGANO RG125F KITパーツユーザーのためにそのつと技術情報を発表していきます。

■関東ロードレース選手権シリーズ第8戦 7/12
「筑波サーキット」

ライダー/木内明秀 決勝1位
M.J./290 P.J./30 MA.J./10
POW/J/0
NJ/P-4
JN/29
AVガス
カストロールA747 30-1
ファイナル/15×48
タイヤ FダンロップTT500% -17 1.9kg/ol
タイヤ RダンロップTT500% -17 2.0kg/ol

コースレコード1'07"191

■SUGO選手権ロードレースシリーズ第3戦 7/19
「スポーツランド筑波」

ライダー/木内明秀 決勝1位
M.J./300 P.J./32.5 MA.J./10
POW/J/0
NJ/P-4
JN/29
AVガス
カストロールA747 30-1
ファイナル/17×48
タイヤ FダンロップTT500% -17 1.9kg/ol
タイヤ RダンロップTT500% -17 2.0kg/ol

■エビスロードレース選手権第3戦 8/20
「エビスサーキット」

ライダー/福田真規 決勝1位
M.J./290 P.J./25 MA.J./0
POW/J/0
NJ/STD P-3
JN/STD-3R
AVガス
カストロールA747 30-1
ファイナル/15×47
タイヤ FダンロップTT500% -17 1.9kg/ol
タイヤ RダンロップTT500% -17 2.0kg/ol

■SUGO選手権ロードレースシリーズ第5戦 8/27
「スポーツランド筑波」

ライダー/木内明秀 決勝1位
M.J./300 P.J./32.5 MA.J./10
POW/J/0
NJ/P-4
JN/29
AVガス
カストロールA747 30-1
ファイナル/17×48
タイヤ FダンロップTT500% -17 1.9kg/ol
タイヤ RダンロップTT500% -17 2.0kg/ol

コースレコード1'50"582

賀来聡介(スガノRT)SP125クラス V10達成!



賀来聡介'93出場戦歴

●関東選手権		優勝
3/21	第2戦(筑波)	優勝
4/4	第4戦(那須)	優勝
6/13	第8戦(筑波)	2位
10/3	第15戦(那須)	優勝
●SUGO選手権		優勝
3/27	第1戦	優勝
5/8	第2戦	優勝
9/25	第5戦	優勝
●仙台ハイランド選手権		優勝
4/17	第1戦	優勝
5/16	第2戦	優勝
●関東選手権		優勝
8/29	第5戦	優勝
●エビス選手権		優勝
9/12	第6戦	優勝

賀来聡介(スガノRT)のSP125クラスV10達成を記念して、RG125F「スペシャルコンプリートマシン」と、スガノRTが使用しているクシコKI-104Xをベースとしたメッシュ仕様のレーザースーツを特別価格でリリースします。¥650,000

コンプリートマシン 常の仕様にFRPアッパー、アンダーカウルとステアリングダンパーを追加しました。(カウルは白ゲルコートです)¥120,000

レーザースーツ 運動性、安全性に最高のクオリティを誇っています。ネーム入れ、カラーオーダー、各種修理にも完全対応いたします。(写真のネーム、ワッペンは付いていません)

いずれもその高い性能はリザルトが証明しています。なお、数量限定(コンプリートマシンは5台、レーザースーツは10着)ですのでオーダーはお早めにどうぞ、お問い合わせは下記までお願いします。

SUGANO RG125F SP KIT LIST

- SPチャンパー ¥48,000
- キャブレターセッティングパーツ ¥9,500
- エアダクト/ホースセット ¥12,000
- ヒートシールド ¥3,500
- オイルキャッチタンク ¥2,700
- セルモーター駆込みキャップ ¥5,000
- オイルポンプキャップ ¥2,100
- チェーンレバー ¥1,000
- フロントカウルステー ¥1,500
- フロントブレーキホース ¥7,800
- アルミハンドル ¥18,000
- バックステップ ¥38,000
- メーターギアボックスカラー ¥3,000
- フスプロケット 各 ¥1,800
- Rスプロケット ¥8,500
- 415チェーン 130 リンク ¥9,000
- センタースタンドフック2個セット ¥2,500
- センタースタンド ¥15,000
- ワイヤーハーネス ¥4,000
- コントロールユニットSPレース用 ¥22,000
- キルスイッチ ¥4,100
- シートカウルカバー ¥5,500
- フロントセッティングプレート 黒のみ ¥3,500
- FRPアッパーカウル ¥15,000
- FRPアンダーカウル ¥25,000
- FRPシートカウル ¥25,000
- メーターステー ¥18,000
- レース用タコメーター ¥7,200
- レース用機械式温度メーター ¥13,000
- 大型ラジエーター ¥120,000
- フロントスタンドクイックタイプ ¥8,800
- チャンパーのサイレンサーやステップバーなど各種パーツ別売あり、お問い合わせ下さい。
- フェードアウトブレーキパッド ¥4,800
- ダンロップTT500GGP常時在庫中。

●RG125F用チャンパー アルミサイレンサー



類似品にご注意下さい。
ご注文の際は「スガノ」とご指定下さい。



FRONT REAR
500GP

- 価格に消費税は含まれません。
- 消費税は現金書留で消費税をプラスしてお申し込み下さい。
- 商品はTELにてお問い合わせ下さい。
- レーシングパーツ各種取扱い。
- レーサーメンテナンスお気軽にご相談下さい。
- マシン、パーツ注文に応じて加工します。

株式会社オートショップスガノ

〒134 東京都江戸川区西葛西3-14-20
TEL.03-3680-8677 FAX.03-3680-6682

営業時間 AM10:00~PM9:00 木曜定休

SUGANO CORPORATION

RACING EQUIPMENT DIV

EAST TOKYO

- ステアリングダンパー ¥24,000
- スクリーン ¥15,500
- エンジンスタンド ¥15,500



スノーモビル

SNOW MOBILE

▼細則9 スノーモビル競技細則

1. 本規則の適用範囲	120
2. スノーモビルレース	120
3. コースの仕様	120
4. 出場車両	120
5. MFJ公認車両	121
6. ライダーの装備	121
7. 公式通知・タイムスケジュール	121
8. 競技会参加定員	121
9. 競技会参加資格	121
10. 出場申し込み	122
11. 参加受理	122
12. 出場受付	122
13. 車両検査	122
14. ライダーの変更	123
15. 車両の変更	123
16. 公式予選	123
17. レース	123
18. 優勝者、入賞者及び完走	124
19. レースの延期、中止及び打ち切り	125
20. 抗議	125
21. 損害の補償	125
22. 競技規則の違反行為に対する罰則	126

23. 主催者の権限	126
24. 大会審査委員会	126
25. 本規則の解釈	126
26. 本規則の施行	126

▼細則10 '94全日本選手権特別規則

1. 全日本選手権対象種目および参加資格	127
2. 全日本選手権カレンダー	127
3. 大会運営実行組織	127
4. 出場申し込み	127
5. 参加受理	127
6. 出場受付	128
7. 車両検査	128
8. 車両の変更	128
9. 公式予選	128
10. レース	128
11. 優勝者、入賞順位および完走	128
12. 賞典	128
13. 損害の補償	128
14. 違反・抗議の裁定	128
15. レースの延期・中止及び打ち切り	128
16. 本規則の解釈	128
17. 本規則の施行	128
附 則	129

スノーモビル 競技細則

1 本規則の適用範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべてのスノーモビル競技会に適用される。

2 スノーモビルレース

スノークロスレース、エンデューロレース、オーバルレース、ドラッグレース等、スノーモビルにて行うレースを総称してスノーモビルレースとし、国内競技規則および本細則により管理される。

1) レースの区分

- (1) スノークロスレース……雪上不整地の周回レース
- (2) エンデューロレース……雪上耐久レース
- (3) オーバルレース……オーバルトラックの円周コースで競うレース
- (4) ドラッグレース……直線短距離コースで競うレース

3 コースの仕様

コースの長さは、1周800m以上2km以下とし、その幅は少なくとも7m以上で、追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コースは、別に規定されるスノーモビル競技会会場に関する規則に準拠し、適切なレースコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

4 出場車両

車両は下記の改造の限度と安全基準を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。尚、改造されて型式（モデル）が判明できない車両は出場することができない。

スノーモビルの車両仕様（171頁）参照。

1) 車両の区分

スノーモビルの競技車両は、クラス区分と部門別区分とに分けられる。

(1) 車両のクラス区分

車両のクラス区分は、原則として次のように分けられる。

クラス名称	排気量		ゼッケンカラー
	水冷エンジン車両	空冷エンジン車両	
S Jクラス	—	1~125ccまで	赤地に白文字
S 4クラス	1~125ccまで	126~350ccまで	緑地に白文字
S 3クラス	126~350ccまで	351~500ccまで	青地に白文字
S 2クラス	351~500ccまで	501~750ccまで	黄地に黒文字
S 1クラス	オープン	オープン	白地に黒文字

(2) 車両の部門別区分

車両の部門別区分は改造限度によって次のように分けられる。

① スポーツ部門

スポーツ部門はMFJ公認車両で、スポーツ部門改造限度を越えないものとする。

② モディファイ部門

モディファイ部門はMFJ公認車両でモディファイ部門改造限度を越えないものとする。

5 MFJ公認車両

MFJ公認車両は、スノーモビルの車両仕様 (171頁) 参照。

6 ライダーの装備

ライダーの服装は、競技中身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。

- 1) 上記目的を満たすブーツ (足首、つま先を保護できるもの)、防寒服、手袋 (革製、5本指) を着用すること。
- 2) ゴーグル、マスクの使用は自由とするが、ゴーグルは鋭い破片になる材質は禁止される。枠は柔軟なもので転倒時に衝撃を受けた場合でも危険でない物とする。
- 3) ヘルメット

ヘルメットは、MFJ公認ヘルメットでなければならない。

- (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS-T8133-1982-A種以上及び同JIS-T8133-2種(JIS-T8133の1982年8月までの規格) か、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のものでなければならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、損傷等により検査に合格しなかったヘルメットはMFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- (4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについて、車両検査時に特別検査が行われる。その際、検査料 (1,000円) を支払わなければならない。

7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に公示される。

8 競技会参加定員

競技会参加定員は定めない。

9 競技会参加資格

- 1) スノーモビル競技会に参加する場合、種目ごとに当該年度有効なライセンスを所持していなければならない。

種目	ライセンス
モディファイA級各クラス	SA
モディファイB級各クラス	SB
スポーツ各クラス	SB、SJ、L
フレッシュマン	SJ、L、運
レディース、ジュニア	SJ、L、運
OBレース	SA、SB、L

SA=スノーモビルA級ライセンス
 SB=スノーモビルB級ライセンス
 SJ=スノーモビルジュニアライセンス
 L=MFJ Lライセンス
 運=運転免許証

2) ライセンス取得条件

ライセンス	参加できる競技会	ライセンス取得条件	ライセンス料
S A	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	1993年度全日本スノーモビル選手権B級の各クラスにおいて1～6位にランクされたもの。ただし、6位選手と獲得点数が同点の選手も、昇格となる。	8,000円
S B	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	16才以上で運転免許証を所持しているもの。運転免許証を所持していないもので、公認スノーモビルライセンス講習会を受講し、合格したもの。	8,000円
S J	公認・承認競技会	9～15才で講習会終了者	8,000円
L	承認競技会	運転免許証所持者、講習会終了者	3,000円

10 出場申し込み

- 各クラスとも所定の出場申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。
- 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申し込み用紙は一枚でよい。ただし、2クラス出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
- 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効とする。
- 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけられない。

11 参加受理

- 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。
- 大会が中止された場合、また、参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申し込み者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない)にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
- いったん受理された出場料・共済会掛け金は上記1)、2)及び細則9 [19] のレース及び大会の延期、中止等(125頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様とする。

12 出場受付

- 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 定められた時間内に、必ずライダー本人または、当該ライダーのメカニックが、MFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- MFJライセンスを提示できない者は、一切出場が認められない。

13 車両検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、車両検査区域内にて行われる。
- 車両検査のための車両は、ライダー本人または当該ライダーのメカニックが特参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。

- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

14 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

15 車両の変更

車両の変更は、エントリー時に出場申し込み用紙に記載した車両と変更が生じた場合に、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要があるが生じた場合は、規定の書式に従って車両変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して銘柄についての立証の責任は、参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料（5,000円）を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

16 公式予選

- 1) 公式予選の日程
 - (1) 公式予選のある場合は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) その日程及び時間は公式通知（タイムスケジュール）に示される。
- 2) 公式予選の内容
 - (1) 1つのクラスの出場申し込み台数が20台を越えた場合は、決勝進出者を決定するための公式予選が行われる。尚、決勝進出者は、1クラス20台以内を原則とする。
 - (2) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
 - (3) 公式予選の有無、周回数、決勝進出回数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。

17 レース

- 1) スタート位置

レースにおけるスタート位置は、主催者の指示による。
- 2) スタートまでの行動
 - (1) ライダーは決められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
 - (2) ライダーはレース直前のチェックの後、車両と共に指定区域内に待機してなければならない。
 - (3) エンジンのウォーミングアップは定められた場所と時間のみに行うことができる。
- 3) スタート
 - (1) スタートの方法については原則としてエンジンランニングスタートとする。
 - (2) スタート位置はすべて正規のスタートラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
 - (3) スタートの合図は、国旗を振ることによって行われる。

- (4) スタート合図以前にスタートラインを出たものがあつた場合（フライング）、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが2回フライングをするとそのライダーは失格となる。
- (5) ウォーミングアップ以降、エンジン始動の合図がなされた後は、ライダーからサインがあつてもスタート係はこれを考慮しない。
- 4) レース中
ライダーは走行中下記事項を遵守しなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、危険な姿勢をとってはならない。
- (2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走り方をしてはならない。
- (3) 車両は、それ自身が持つ動力、及びライダーの筋力、または重力等の自然現象以外の方法で走ったり、加速したりしてはならない。
- (4) 他人の援助を一切受けてはならない。他人の援助とは、そのレースに参加しているライダー、担当のメカニック及び業務執行中の競技役員以外の人が車両に触れることをいう。
- (5) 車両にいかなる者も同乗させてはならない。
- (6) ライダーはレース中、酒気を帯びたりまた薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。
- 5) 走行中、消音器及び排気管が外れた場合、またシュラウドが取れたりした場合は競技役員の指示により当該ライダーに対し黒旗が示され、ピットインし、修理の後競技役員の許可を得た上で再出場が認められる。
- 6) レース中の公式シグナル（合図）
公式シグナル（合図）は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
国旗	スタート
赤旗	全員走行停止
黄旗	危険注意
緑旗	先に出された合図の解除
青旗	警告、ラップされようとしている
黒旗	指定されたライダー走行停止
白黒チェッカー旗	レース終了

- 7) コースアウト
ライダーは走行中やむを得ず定められたコースを外れた場合、再びコースに戻るには外れた地点より走行し直さなければならない。
- 8) レース終了
全ライダーがゴールインするか、トップ走者のゴールインから5分経過後に終了とする。

18 優勝者・入賞者及び完走

- 1) 優勝者
優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
- 2) 入賞者及び順位の優先順序
- (1) チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同一周回数の場合は、ゴールラインの通過の順位による。
- (2) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。

3) 完走者

- (1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダー。
- (2) レース途中でリタイヤ届けを提出したライダーも完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

19 レースの延期、中止及び打ち切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、打ち切り、または中止されることはない。
- 2) 大会審査委員会が特別な理由によってレースのいずれかを中止しなければならないと判断した時に限り、レースを中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 4) 特にやむを得ない理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切った場合は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。
- 7) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、一切抗議することはできない。

20 抗議

- 1) エントラント、ライダー及び当該ライダーのピットクルーのみが抗議申し立てすることができる。
- 2) 抗議しようとする時は、定められた手続きによって大会事務局に申し入れしなければならない。
抗議手続きは、大会事務局に備え付けの抗議書に記載し、1項目につき抗議保証金(10,000円)をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は、暫定結果発表後30分以内に限り受け付けられる。
- 4) 正式の手続きにより提出された抗議書だけが受け付けられ、大会審査委員会において審議される。
- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、一切抗議することができない。
- 7) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返却される。

21 損害の補償

- 1) 車両の破損
 - (1) 車両及びその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞく。
 - (2) 車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両が何らかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に保証する。
- 2) 損傷の責任
競技開催期間中、又は、その前後に起きた損傷は自らがその責任を負うものとする。

3) 競技役員の実任

ライダー及びピットクルー等の競技参加者は、競技役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち競技役員はその職務に最善を尽くすが、仮に競技役員によって起きた参加者、ライダー、ピットクルー及び車両等の損傷に対しても、競技役員は一切の責任のないことをいう。

22 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中（競技中）における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会並びに競技監督の権限で罰則を科することができる。

罰則の詳細については国内競技規則第3章競技会28項（33頁）による。

23 主催者の権限

主催者は、必要に応じて随時競技会場内（パドック、ピット等）で、参加者（エントラント、ライダー、ピットクルー）のライセンスの提示を求めることができる。

24 大会審査委員会

大会審査委員会は、競技役員規定に基づき、競技会において最高権限を行使することができる。

25 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局宛に質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

26 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。

細則 10

'94全日本 スノーモビル選手権 特別規則

1 全日本選手権対象種目および参加資格

1994年度全日本スノーモビル選手権対象種目は下記の8クラスとする。

	クラス名称	資格	出場対象車両	
A・B級	モディファイS4クラス	セン ス・ B 級 ラ イ ヤ ー モ ビ ル 所 持 者	水冷- 1cc~125cc	空冷- 126cc~350cc
	モディファイS3クラス		水冷- 126cc~350cc	空冷- 351cc~500cc
	モディファイS2クラス		水冷- 351cc~500cc	空冷- 501cc~750cc
	モディファイS1クラス		水冷- 排気量オープン	空冷- 排気量オープン

2 全日本選手権カレンダー

開催日	会場	主催者	申し込み先住所
1 1月23日	新潟県・グリーンピア津南	MFJ/新潟県モーターサイクルスポーツ協会	〒949-63 新潟県南魚沼郡塩沢町大字南田中423 RSS高喜屋内 ☎0257-82-2403
2 2月6日	長野県・斑尾高原スキー場	長野県モーターサイクルスポーツ協会	〒381-22 長野県長野市稲里下水鉤1104-1 稲里自動車内 ☎0262-85-3211
3 2月13日	青森県・(財)岩木青少年スポーツセンター	MFJ東北ブロック協議会	〒030-01 青森県八戸市上林78-55 ヤマハ東北青森営業所内 ☎0177-39-8081
4 2月20日	北海道・士別市剣淵川特設コース	MFJ北海道ブロック協議会	〒065 北海道札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内 ☎011-782-1492
5 3月6日	北海道・美瑛町美瑛滑空場特設コース		

3 大会運営実行組織

大会運営・実行組織はプログラムまたは公式通知に示される。

4 出場申し込み

- 申し込み場所
申し込み場所は各主催者住所とする。
- 出場申し込み
 - スノーモビル競技細則・10 出場申し込み (122頁参照)。
 - 全日本スノーモビル選手権出場料及び共済会掛け金は下記のとおりとする。
出場料と共済掛け金

出場料		共済会掛け金
1クラス目	2クラス目	1名1大会当たり
9,500円	8,000円	500円

〔例〕
※1クラスの場合のエントリー料
10,000円
※2クラスの場合のエントリー料
18,000円

5 参加受理

スノーモビル競技細則・11 参加受理 (122頁参照)。

6 出場受付

スノーモビル競技細則・12 出場受付 (122頁参照)。出場車両については付録MFJ公認車両・スノーモビル (210頁) 参照。

7 車両検査

スノーモビル競技細則・13 車両検査 (122頁参照)。

8 車両の変更

スノーモビル競技細則・15 車両の変更 (123頁参照)。

9 公式予選

スノーモビル競技細則・16 公式予選 (123頁参照)。

10 レース

スノーモビル競技細則・17 レース (123頁参照)。

11 優勝者、入賞者順位および完走

賞者および完走 (124頁参照)。

12 賞典

賞典は各大会毎の特別規則または公式通知による。

13 損害の補償

スノーモビル競技細則・21 損害の補償 (125頁参照)。

14 違反・抗議の裁定

スノーモビル競技細則・22 競技規則の違反行為に対する罰則 (126頁参照)。

15 レースの延期・中止及び打ち切り

スノーモビル競技細則・19 レースの延期・中止及び打ち切り (125頁参照)。

16 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終とする。

17 本規則の施行

本規則は各大会の参加申し込み受付開始日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項はスノーモビル競技細則による。

附 則

1 全日本選手権ランキング規定

1) 全日本選手権対象種目 (A・B級のS1、S2、S3、S4の各クラス) に参加出場するすべてのライダーを対象とする。

2) 得点基準

参加者に与えられる得点は下記に示すとおりとする。

順位	予選出走台数											
	25台以上	22~24	20~21	18~19	16~17	14~15	12~13	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9							
8位	8	8	8	8								
9位	7	7	7									
10位	6	6										
11位	5											
12位	4											
13位	3											
14位	2											
15位	1											

3) 全日本選手権ランキングの決定方法

全日本選手権の最終順位決定方法は、有効ポイント制度を導入し、全日本選手権全5戦中3戦の合計ポイントにより決定され、最高得点を獲得したものがチャンピオンとなる。

同点者のある場合は、下記優先順位により順位を決定する。

(1) 上位入賞回数の多いものを上位とする。

(2) (1)にて決定できない場合、全日本選手権全5戦のシリーズ獲得ポイントの多いものを優先する。

(3) 上記にて決定できない場合、前年度の同部門、同クラスのランキング上位者を優先する。

(4) 上記(2)、(3)にて判定できない場合、MFJスノーモビル委員会およびMFJスポーツ委員会にて審議、決定する。

4) 全日本選手権認定表彰式典

本規則に基づき決定されたA級の各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたくえ毎年末に開催されるMFJ全日本選手権ランキング認定表彰式典にて表彰される。

2 ライセンス昇格規定

スノーモビルB級からA級への昇格は次のとおりとする。

1994年度全日本スノーモビル選手権シリーズにおいてB級における全日本選手権対象種目のいずれかのクラスにおいてランキング1位～6位に認定された者。ただし、7位以下のもので6位の者と同ポイントを獲得した者もA級へ昇格となる。

技術規則

TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	133
■基本仕様<ロードレース>	136
■基本仕様<モトクロス>	142
■基本仕様<トライアル>	145
■SPクラスの仕様	149
■SSクラスの仕様	153
■耐久レースの追加仕様	157
■国内ロードレースGPクラスの仕様	158
■国内モトクロスの仕様	161
■国内トライアルの仕様	164
■FIM技術仕様	166
■スノーモビルの仕様	171
■ドラッグレースの仕様	173
■ロードレースジュニアクラスの仕様	178
■ミニバイクの仕様	181

'94MFJ 技術規則

1 「章」

規則は大分類の「章」と分類の「条」で整理されます。

章	大分類項目	種 目			条
		ロードレース	モトクロス	トライアル	
第1章	目的	○	○	○	基本的共通項
第2章	クラス	○	○	○	
第3章	排気量	○	○	○	
第4章	重量	○	○	○	
第5章	公認制度	○	○	○	
第6章	ガソリン、オイル、クーラント	○	○	○	
第7章	ロードレースの基本仕様	○			カテゴリー毎の基本仕様(FIM規則と同じ)
第8章	モトクロスの基本仕様		○		本文の解釈に相違があった場合は、 FIM規則原文の解釈を優先する。
第9章	トライアルの基本仕様			○	
第10章	ロードレースSPクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第11章	ロードレースSSクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第12章	シングル・ツインレースの仕様	別途定める。			
第13章	ロードレース耐久レースの追加仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第14章	ロードレースGPクラスの仕様	○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第15章	モトクロスの仕様		○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第16章	トライアルの仕様			○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第17章	スノーモビルの仕様				
第18章	ドラッグレースの仕様				
第19章	ロードレースジュニアクラスの仕様				
第20章	ミニバイクの仕様				

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11
条 条 条 条 条 条 条 条 条 条 条

2 「条」

各「章」で分けられた種目別の規則（第10章～第19章）のなかの各事項のナンバーは統一されています。

条	項 目
01条	クラス区分
02条	出場車両
03条	制限事項（ベース事項に対して）
04条	改造制限
05条	重量
06条	絶対に適合すべき事項
07条	禁止事項
08条	公認手続き・条件
09条	音量規制
10条	互換性
11条	追加仕様（耐久等）

3 小分類ナンバー

各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項 目	小分類ナンバー	項 目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	—— 予 備 ——
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火器
6	エンジン、ミッション内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	—— 予 備 ——
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	保安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	—— 予 備 ——
10	吸排気バルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー裏りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	—— 予 備 ——	45	フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フェエルタンク、フェエルコック、フェエルライン	47	—— 予 備 ——
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	—— 予 備 ——
20	—— 予 備 ——	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステア類
21	—— 予 備 ——	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンケージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジベダル	54	カウリングとステア
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム、エアクリナーボックス	57	オイルクーラント
28	—— 予 備 ——	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ワイリーバー

MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとりまたは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に接地していなければならない。

第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

第2章 クラス

1. ロードレース

G Pフォーミュラー

50cc		50cc以下
80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下
500cc	250ccを越え	500cc以下

スポーツプロダクションフォーミュラー

			2st	4st
50cc		50cc以下	○	○
80cc	50ccを越え	80cc以下	○	○
125cc	100ccを越え	125cc以下	○	○
250cc	175ccを越え	250cc以下	○	○
400cc	250ccを越え	400cc以下	—	○
750cc	400ccを越え	750cc以下	—	○

2. モトクロス

80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下

3. トライアル 排気量区分は定めない
4. エンデューロ 別に定める
5. スノーモビル 別に定める
6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規制の適用範囲

	ライセンス区分					J
	IA		NA	NB	NC	
ロードレース	IA		NA	NB	NC	J
モトクロス	IA	IB	NA	NB		J
トライアル	IA	IB	NA	NB	J	
	FIM規則に依る		MFJ規則に依る		MFJ・J規則	

第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

$$\text{公式} \quad \text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに $\frac{1}{10}$ mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が $\frac{1}{10}$ mmのリミットまで行われる。シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

第4章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

1.1) ロードレース

GPフォーミュラ		スポーツプロダクション	
50cc	70kg	50	70kg
80cc	70kg	80	70kg
125cc	70kg	125	100kg
250cc	95kg	250	115kg
500cc	4気筒 130kg	250 F	130kg
	3気筒 115kg	400	145kg
	2気筒以下 100kg	750	165kg

2) モトクロス

80cc	61kg
125cc	88kg
250cc	98kg

3) トライアル 特に定めない

4) エンデューロ 特に定めない

5) スノーモビル 特に定めない

6) ドラッグレース PB179kg他は定めない

第5章 公認制度

公認制度の必要性

公認車両を種目別改造規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保するために設定する。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わないとは判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。

2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

1) 台数

最低台数が出荷されていること。

	国産車		輸入車	
	レーサー	市販車	レーサー	市販車
ロードレース	25台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
モトクロス	100台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
トライアル	5台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	5台	25台
スノーモビル	5台	—	5台	25台

2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクションの各クラス(SP, SS)については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第10章 8条……SP

第11章 8条……SS

3. 部品公認

1) 公認範囲

部 品 名	ロードレース			モトクロス 00, 125, 250	トライアル
	SP	SS	GP		
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤー		○	○	○	
キャブレター		○	○	○	
クラッチ		○			
フロントフォーク		○	○	○	
リヤークッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ	○				○
エアクリナーボックス		○			

注) 1. ◎印は公認時に組み込まれていた部品の追加加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除に依る改造に限る。

2. タイヤは一般公道用として製作されたものに限る。

2) 数量

最低数量が出荷されていること。

カテゴリー	数 量
ロードレース GP	25個以上
ロードレース SP・SS	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致していること。

4. 公認申請資格

1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。

2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付しなければならない。

5. 公認発効と有効期限

1) 公認審査は技術委員会が行う。

2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。

3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きで公認発効する。

発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きで公認発効する。

4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きで公認発効する。

発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きで公認発効する。

5) 市販レーサーの場合は会議日または発売日の1ヶ月後の同日付きで発効する。

6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末で失効する。

7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

第6章 ガソリン・オイル・クーラント

(1) 競技に使用できるガソリン

競技に使用できるガソリンは下記の項目にすべて合致していなくてはならない。

① 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンとする。

② 競技用ガソリンは下記の仕様以内に制限される。

Ⓐ 市場で入手可能な日本工業規格(JIS)に規定されたアブガス3号の仕様を満たし、市販されていること。

Ⓑ 鉛の含有量は0.56g/l以下であること。

Ⓒ モーターオクタン価が102以下であること。

Ⓓ 密度は0.700g/ml~0.785g/mlであること。

* F1M規格のアブガス100LLに相当するものが国内のJIS規格のアブガス3号である。

(2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール(燃料精製中に混入されているものに限る)については認められる。

(3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。

第7章

ロードレース 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

03 エキゾーストパイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。……140頁の図参照
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各15°以上なくてはならない。……141頁の図参照
- 5) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切ってもハンドルバー(レバーを含む)と燃料タンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパー(ステアリングダンパー以外のもの)を取り付けなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー類(クラッチ、ブレーキ等)は、原則として端部がボール状(このボールの直径は最低19mm)でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなってはならない(この平たくした部分の厚みは最低14mmとする)。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端(ボール状の先端)まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー(ハンドおよびフット・レバー)はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

07 フュエルポンプ

- 1) 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路閉閉器）を介して配線されなくてはならない。

08 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置になってはならない。

09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。これは、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線まで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

11 ストリームライニング

- 1) 前輪は（タイヤを除く）、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 2) ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクセルから50mm前方を通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- 3) ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクセルを通る垂直線の後部にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの最後端の垂直接線より後方にあってはならない。
- 4) エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 5) 後方を向いているストリームライニングのいかなる部分も、その先端は半径3.5mm以上の丸状に丸められていなくてはならない。
- 6) 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体（腕の前部を除く）が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウインドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 7) ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 8) ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・システム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。

- 9) ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。
- 10) モーターサイクルのグラウンド・クリアランス（最低地上高）は100mm以下であってはならない。
- 11) シートまたはその後方にある、いかなる部分（排気系を除く）の幅も450mm以上あってはならない。

12 ホイールとタイヤ

- 1) リムの最低直径は400mmとする。
- 2) リムの最大幅は下記の通りとする。
ホイールリムの幅は、ETRTO（ヨーロッパタイヤリム技術機構）の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても実際の数字に穴を開けてはならない。
- 9) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 10) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字	SS	紺地に白文字
GP500	黄地に黒文字		

14 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
 - ・ロードレース 32ℓ
 - ・スーパーバイク 24ℓ
 - ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 2) 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 3) タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- 4) タンクに防振材を完全に充填することが義務づけられる。非金属性のタンクにはフュエルブリーダーを内側に設けることが勧められる。
- 5) 認証された燃料タンクを持つスポーツ・プロダクション・マシンは、14-4)の条件を免除される。
- 6) オイルキャッチタンク

オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしておくはならない。

オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤーボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。

- 7) すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。

オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。

- 8) 燃料タンク・ブリーザー・パイプ
ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取りつけなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- 9) 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ
燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。
ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更することは禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 5) rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

ピストンストローク	2ストローク	4ストローク	ピストンストローク	2ストローク	4ストローク
30	13,000	11,000	66	5,909	5,000
31	12,580	10,645	67	5,820	4,925
32	12,187	10,313	68	5,735	4,853
33	11,818	10,000	69	5,652	4,783
34	11,470	9,706	70	5,571	4,714
35	11,142	9,429	71	5,492	4,648
36	10,833	9,167	72	5,416	4,583
37	10,540	8,919	73	5,342	4,521
38	10,263	8,684	74	5,270	4,459
39	10,000	8,462	75	5,200	4,400
40	9,750	8,250	76	5,132	4,342
41	9,512	8,049	77	5,065	4,286
42	9,285	7,857	78	5,000	4,231
43	9,069	7,674	79	4,937	4,177
44	8,863	7,500	80	4,875	4,125
45	8,666	7,333	81	4,815	4,074
46	8,478	7,174	82	4,756	4,024
47	8,297	7,021	83	4,699	3,976
48	8,125	6,875	84	4,643	3,929
49	7,959	6,735	85	4,588	3,882
50	7,800	6,600	86	4,535	3,837
51	7,647	6,471	87	4,483	3,793
52	7,500	6,346	88	4,432	3,750
53	7,358	6,226	89	4,382	3,708
54	7,222	6,111	90	4,333	3,667
55	7,090	6,000	91	4,286	3,626
56	6,964	5,893	92	4,239	3,587
57	6,842	5,789	93	4,194	3,548
58	6,724	5,690	94	4,149	3,510
59	6,610	5,593	95	4,105	3,474
60	6,500	5,500	96	4,063	3,438
61	6,393	5,410	97	4,021	3,402
62	6,290	5,323	98	3,980	3,367
63	6,190	5,238	99	3,939	3,333
64	6,093	5,156	100	3,900	3,300
65	6,000	5,077			

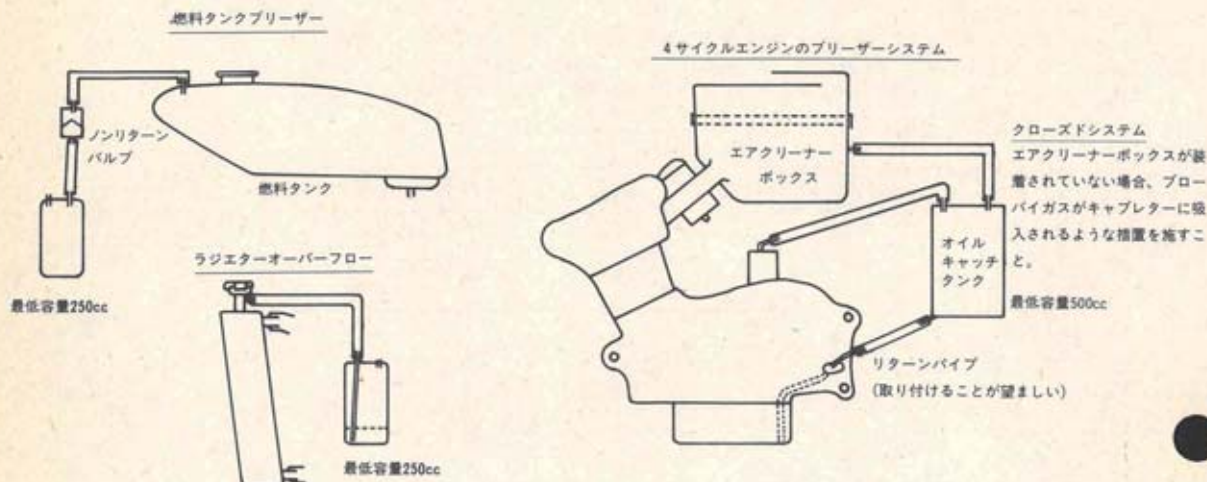
- 6) 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきりと見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) ロータリー、バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。
- 10) 現行の音量規制値
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。
- 11) 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 12) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

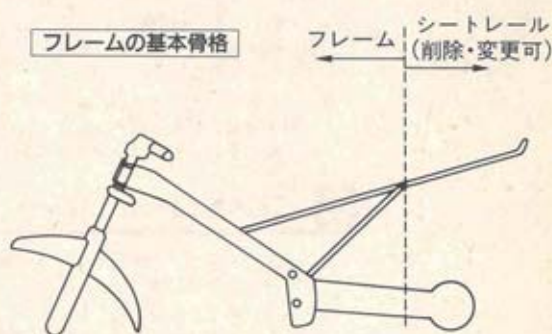
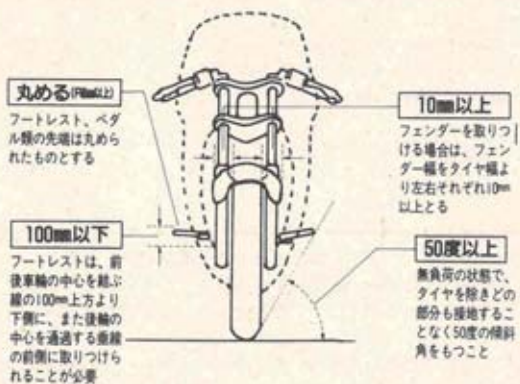
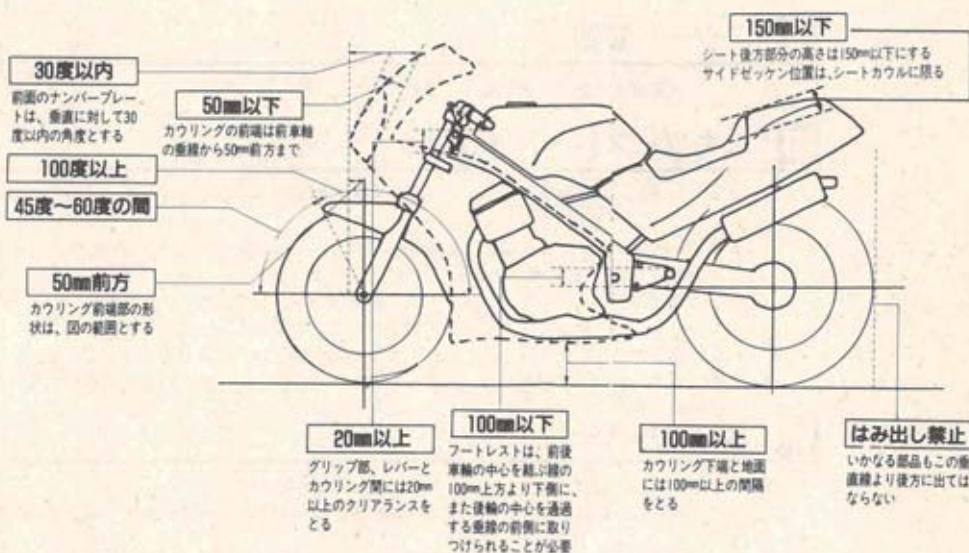
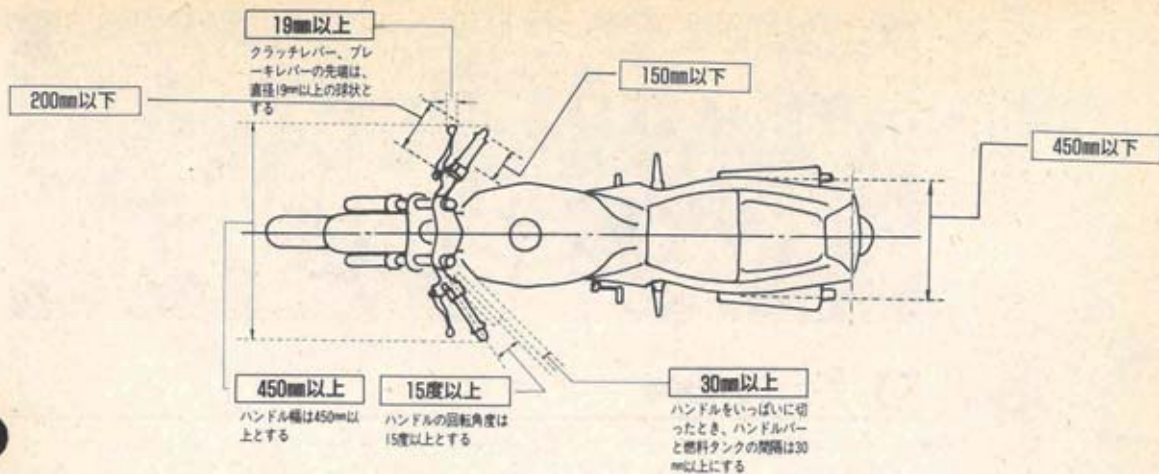
16 車両の傾斜度

- 1) モーターサイクルは荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができるものでなくてはならない。

17 冷却系のオーバーフロー

- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取り付けた場合最低容量250cc以上のキャッチタンクを取り付けること。





モトクロス 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。

02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動しなくてはならない。

03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をとってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上で、かつ850mm以下でなくてはならない。
- 2) ハンドルバーの幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) グリップは長さが150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取りつけられていてはならない。
- 4) ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各 20° 以上でなくてはならない。……143頁図参照
- 6) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 7) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

08 フットレスト

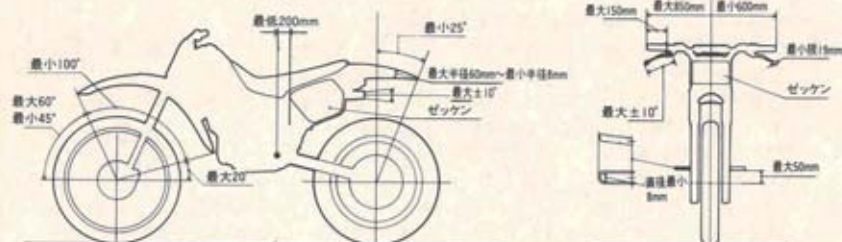
- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも50mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置にはなくてはならない。

09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいなくてはならない。
- 4) マッドガードの端部は半径最低8mm以上、60mm以下で丸められなくてはならない。
- 5) キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。



11 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングの装着は禁止される。

12 ホイールとタイヤ

- 1) ホイールとタイヤに制限はないが、スクープまたはパドル・タイヤ（横断面に連続したリブを持つ）あるいは高さか19.5mm以上のラグ（耳）を持つタイヤの使用は禁止される。
- 2) タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
- 4) サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバ

ープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置してはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしてはならない。

- 5) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 6) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。

数字の高さ	140mm	ストローク幅	25mm
数字の幅	80mm	数字間のスペース	15mm
- 7) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 8) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 9) すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 10) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

ジュニア……白地に赤文字	国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字	国際B級……紺地に白文字
国際A級(125cc)……黒地に白文字	国際A級(250cc)……緑地に白文字

15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 5) 音量測定の際のエンジンの回転数 (rpm) は、排気量により異なる。

125ccまで	7,000rpm
125ccを越え250ccまで	5,000rpm
250ccを越える	3,000rpm

 1995年より、音量規制値は97dB/Aまで引き下げられる。
- 6) 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきりと見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) 現行の音量規制値

2ストローク・エンジン、4ストローク・エンジンともに前述の回転数で測って100dB/Aまで。レース終了後は2dB/Aの許容誤差が認められる。*国内の規制値は異なる。「国内の仕様」参照。
- 10) 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 11) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- 12) メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A=100dB/A)

国内の仕様

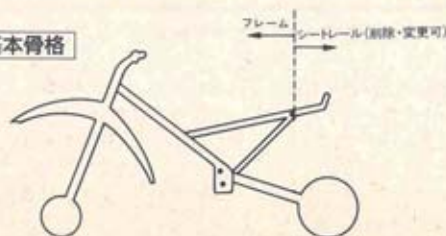
下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 1) 音量測定の際のエンジン回転数は、排気量により異なる。

80ccまで	8,000rpm
--------	----------
- 2) 現行の音量規制値

国内に行なわれる全クラスとも2ストローク・エンジン、4ストローク・エンジンともに前述の回転数で測って99dB/Aまで。レース終了後は2dB/Aの許容誤差が認められる。
- 3) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

フレームの基本骨格



トライアル 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動するものが義務づけられる。

03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしていなくてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上で、かつ850mm以下でなくてはならない。
- 2) ハンドルバーの幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) グリップの長さは150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取りつけられていなくてはならない。
- 4) ハンドルバーの先端が、露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各 20° 以上でなくてはならない。……146頁図参照
- 6) ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指を挟まないように、ハンドルとタンクの間に30mm以上のすきまを確保するように、ストッパーを取りつけなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 8) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていなくてはならない。
- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

08 フットレスト

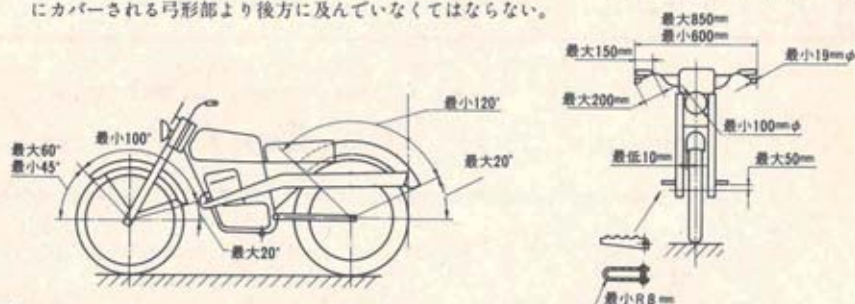
- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも50mm以上、上に設けられていてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前になってはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置になってはならない。

09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は、20°以上あってはならない。
- 4) インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部より後方に及んでいなくてはならない。



11 ストリームライニング

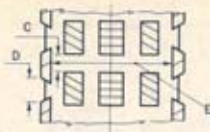
- 1) ストリームライニングの装着は禁止されている。

12 ホイール、タイヤ

- 1) ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 2) トレッドの深さ (A) はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。……147頁の図参照
- 3) ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向 (B) で9.5mm、円周方向 (C) で13mmを越えてはならない。
- 4) ショルダーブロック (D) 間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 5) トレッド幅 (E) は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 6) すべてのトレッドブロック (ショルダーブロックを除く) は、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図に適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- 7) タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 8) これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構 (ETRTO) の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。



A = 最大13mm
B = 最大9.5mm
C = 最大13mm
D = 最大22mm
O = 最大115mm



15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合45°上方の点で行う。
- 2) ノイズテストの際、ギヤボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更する事は禁止される。但し同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達したときに行うものとする。
- 5) rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

30	31	32	33	34	35	36	37	38
6,500	6,290	6,094	5,909	5,735	5,571	5,417	5,270	5,132
39	40	41	42	43	44	45	46	47
5,000	4,875	4,756	4,643	4,535	4,432	4,333	4,239	4,149
48	49	50	51	52	53	54	55	56
4,062	3,980	3,900	3,824	3,750	3,679	3,611	3,545	3,482
57	58	59	60	61	62	63	64	65
3,421	3,362	3,305	3,250	3,197	3,145	3,095	3,046	3,000
66	67	68	69	70	71	72	73	74
2,955	2,910	2,868	2,826	2,786	2,746	2,708	2,671	2,635
75	76	77	78	79	80	81	82	83
2,600	2,566	2,532	2,500	2,468	2,438	2,407	2,378	2,349
84	85	86	87	88	89	90	91	92
2,321	2,294	2,267	2,241	2,216	2,191	2,167	2,143	2,120
93	94	95	96	97	98	99	100	
2,097	2,074	2,053	2,031	2,010	1,990	1,970	1,950	

上段：ピストンストローク (mm)
下段：測定回転数 (rpm)

- 6) 2気筒以上のエンジンの計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきり見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) 現行の音量規制値
トライアルはピストンスピード6.5m/secで測って87dB/Aまでとする。レース終了後は1dB/Aの許容誤差が認められる。
- 10) 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において80dB/Aまでとする。
- 11) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合してはならない。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしてはならない。リ

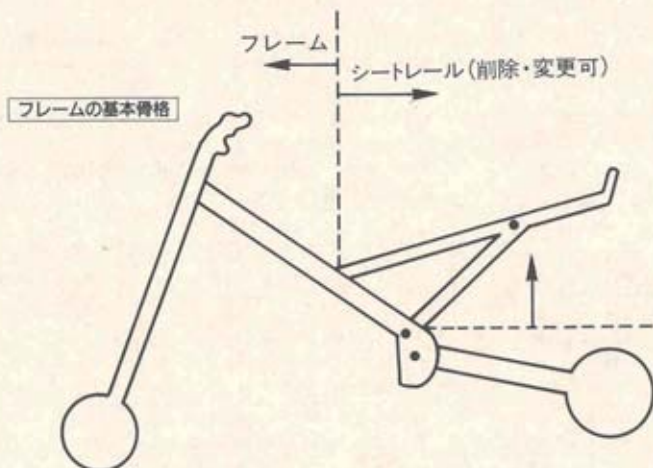
ヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいてはならない。

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。

19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



第10章

SPクラスの仕様

— 吸入系の制限に対する処置 —

SP・SSクラスともにキャブレターの口径規制が実施され、1993年1月1日からは規則に合致するように処置をすることが義務付けられている。

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え 80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

（仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う）

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー（スリーブ及びライナー含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチの構造 *ただし04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および形状
- 12) シリンダー（2サイクル）、シリンダーヘッド（4サイクル）のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16)、(4)及び08.3)、(1)参照
- (2) マニホールドタイプのフェュエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- 17) フェュエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照

- 27) 4サイクル車のエアクリナーボックス *ただし04.27)参照
 42) リヤホイール
 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
 44) フロントホイール
 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
 52)(1) リヤフォーク
 (2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム *ただし04.52)参照
 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
 54) ストリームライニングの外観形状 *ただし04.55)参照

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
 (2) エアーファンネルの取り付け又は寸法の変更(キャブ本体は除く)
 (3) リストリクターの取り付け
 リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
 (4) 公認キャブレターの使用(マグネシウム等高価素材のものは公認されない)
 17)(1) フュエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
 (2) フュエルパイプ、フュエルコックの変更
 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更(但し音量規定に適合していること)
 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
 23) ミッションギヤのレシオ(但し公認部品に限られる)
 27)(1) 2サイクル車両のエアクリナーボックスの改造または取りはずし
 (2) 4サイクル車両のエアクリナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれの場合もクローズシステム(ブローバイガスを直接大気へ放出しない)を維持していること。
 ①公認キャブ取り付けのための改造(キャブ取り付け部分のみ)
 ②口径φ100mm相当(8,000mm²誤差10%)を最大とするエア吸入口の拡大
 ③ボックス内部の切削、取りはずし
 ④公認エアクリナーボックスへの交換(改造は認められない)
 (3) ブローバイガスをエアクリナーボックス内に導入する配管のための加工
 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
 48) タイヤは変更出来るがMFJ公認SP用タイヤに限られる。ウェット時はレーシングレインの使用が認められる
 50) フレームボディの不要なステー類のカット(但しフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと)
 51)(1) フロントサスペンションのスプリングの変更
 (2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け
 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)
 55)(1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)
 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)
 仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう(コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。
 60)(1) 不要なステー類(シートレールの一部含む)のカット
 (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする(半乾燥重量)。

クラス	最低重量
400	145kg
250	115kg
250F	130kg
125	100kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) の取り付け。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け (容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクル車は250cc以上)。
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること (図参照)
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類) の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)。
(カーボンサイレンサーは1993年より完全禁止となった。)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項 (P135) 参照。

MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

(2) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

- (3) 01条のクラス区分に適合していること（排気量内にあること）。
 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
 レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)

第11章

SSクラスの仕様

(国際A級・国内A級)

— 吸気系の制限に対する処置 —

SP・SSクラスともにキャブレターの口径規制が実施され、1993年からは規則に合致するように処理をすることが義務付けられている。

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
750	400を越え750以下	×	○	4	5
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの。又はSP/SS用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない。

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチ構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) *04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径
- 8) 2サイクル車の一次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造及び形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照
(2) SS750のキャブレターは車両公認時のものに限る。
(3) マニホールドタイプのフェュエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- 17) フェユエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照
- 27) 4サイクル車のエアクリーナーボックス *ただし04.27)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 52)(1) リヤフォーク *ただし04.52)(1)参照
(2) リヤサスペンションのシステム *ただし04.52)(2)参照
- 54) ストリームライニングの外観形状 *ただし04.54)参照

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)に適合していることを条件とする

- 7) 4サイクルのシリンダーヘッドの面削に依る圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更出来ない)。
 8)(1) 2サイクルのシリンダーへの追加工(切削に限る)に依るポートタイミングとポートエリアの変更。
 (2) 2サイクルのシリンダーヘッドの面削による圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更できない)
 10) 4サイクルのシリンダーヘッドのポートの追加工(切削に限る)による拡大。
 12) 4サイクルのシリンダーヘッドのガスケット面の面削。
 14) カムシャフトは追加工(切削に限る)に依るバルブリフト量、タイミングの変更。
 16)(1) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
 (2) エアーファンネルの取り付け又は寸法の変更(キャブ本体は除く)。
 (3) リストリクターの取り付け
 リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
 (4) 公認キャブの使用(マグネシウム等の高価素材のものは公認されない)
 17)(1) フューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
 (2) フューエルパイプ、フューエルコックの変更
 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更(但し音量規定に適合している事)
 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
 23) ミッションギヤのレシオ(但し公認部品に限られる)
 27)(1) 2サイクル車両のエアクリナーボックスの改造または取りはずし
 (2) 4サイクル車両のエアクリナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれの場合もクローズドシステム(ブローバイガスを直接大気へ放出しない)を維持していること。
 ①公認キャブ取り付けのための改造(キャブ取り付け部分のみ)
 ②口径φ100mm相当(8,000mm²+誤差10%)を最大とするエア吸入口の拡大
 ③ボックス内部の切削、取りはずし
 ④公認エアクリナーボックスへの交換(改造は認められない)
 (3) ブローバイガスをボックス内に導入する配管のための加工
 42)(2) リヤホイールは交換出来るが、最大限リム幅は下記のとおりとする。
 43) リヤブレーキ関係は改造・変更出来る。
 44)(1) フロントホイールは交換出来るが最大限リム幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

- 45) フロントブレーキ関係の改造変更
 50)(1) フレームボディの補強
 (2) 不要なステー類の取り外し(但しフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと)。
 51)(1) フロントサスペンションユニットの交換(但し公認部品に限る)
 (2) フロントフォークの剛性アップのためのスタビライザーの取り付け
 52)(1) リヤフォークの補強
 (2) リヤサスペンションユニットの交換(但し公認部品に限る)
 (3) リヤサスペンションスプリングの変更
 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)。
 55)(1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)。
 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)。
 仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業を言う(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等)。
 60)(1) 不要なステー類(シートレールの一部含む)のカット
 (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

05 重量

SSクラスの最低重量は下記のとおりとする(半乾燥重量)。

クラス	最低重量
750	165kg以上
490	145kg以上
250	115kg以上

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃焼とみなす。

公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

16) (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

- 注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。
マニホールドタイプのフェュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。
- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- 17) (1) フェュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) を取り付けなければならない。
(2) 電動式フェュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフェュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)。
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること (因参照)。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類) の取り外し。
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)。
(カーボンサイレンサーは1993年より完全禁止となった)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドで購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項 (P 135) 参照

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確になっていること。
*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている場合は会議日から2ヶ月後の同日付で公認発効、発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後に公認発効される。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事

(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

(2) ホイールリムの最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

- (3) 01条のクラス区分に適合していること (排気量内にあること)。
- 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内においては一切の追加加工なしで、単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)

第13章

耐久レースの追加仕様

(国内の各クラス)

01 クラス区分

一般生産型車両をベースとした下記カテゴリーで行われる。(SBはFIM規則とする。)
SP・SS

02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

05 重量

それぞれの定められた最低重量に3kgを加えることとする。

11 耐久仕様

- 1) 車両は公認された状態の、確実に作動するスタート装置を備えていること。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
(2) 給油口は最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
(3) タンク容量は以下の通りとする。

SS750	24ℓ以下
SS400・SP400	18ℓ以下
SS250・SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下

各クラスとも最大限容量を増やすための改造は認められるが、サイドからの外観形状は変えられない。
(4) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えていること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
(2) 灯火器はヘッドライトとテールライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイール交換を容易にするための改造は、各々のクラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければならない。
- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取り付けてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。

第14章

ロードレース GPクラスの仕様

(国内B級以下)

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限定速段数
50	~50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え 125以下	1	6
250	175を越え 250以下	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅（最大限リム幅）は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) (1) クランクケース *ただし、04.4)参照
- (2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド *ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数
- 16) キャブレター *ただし04.16)及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用(チタニウム合金)
- 50) (1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリアフォーク及びサスペンションとリンク *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）に適合していることを条件とする

- 4) クランクケースの切削に依る加工
- 12) (1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削に依る圧縮比、燃焼室の形状変更。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50) (1) フレームボディの補強(ただし一般生産型車両に限る)
- (2) 不要なステー類の取りはずし、ただしフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと(ただし一般生産型車両に限る)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リアフォークの補強とリアサスペンションのスプリングの変更。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）

仕上げとは各部品の基準寸法内で、表面粗度を向上させる作業をいう（ポートみがき、コンロッドみがき、コンバッションチャンパー等）

- 60) フレームボディとリヤフォークを除き軽量化のための改造は出来るが、最低重量以上であること。

05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。

分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

ダミーウエイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
(2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc以上）。
27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上）。
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）。
36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
38) 保安部品の取りはずし。
56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金）
42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項（P135）参照

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日2ヶ月後の同日付きて公認発効とする。但し市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

- 3) 車両は以下の条件に適合していること。

- (1) 最大限リム幅

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

- (2) 01条のクラス区分内にあること

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し105dB/A以下のこと。
2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は一切の追加加工なしで単品またはアセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。
注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。
 - (1) ミッションアセンブリーまたは単品
 - (2) フロントフォークアセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
 - (4) リヤフォーク
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダー
 - (7) シリンダーヘッド
- 3) 公認部品として下記の部品またはアセンブリーが認められる。
 - (1) フロントフォークアセンブリーまたは部品
 - (2) リヤサスペンションユニット、アセンブリーまたは部品
 - (3) リヤフォーク
 - (4) キャブレター
 - (5) シリンダー
 - (6) シリンダーヘッド注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章

国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

01 クラス区分

クラス	排気量	最大限気筒数	最大限変速段数
80	～80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

*ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状 *ただし10条参照
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター *ただし10条参照
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤ *ただし10条参照
- 50) フレームボディー
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状
- 13) クランクシャフト(但しストローク変更は不可)、ピストン、リング。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- 17) フューエルタンク、フューエルコック、フューエルライン。
- 18) エキゾースト系(但し音量規定に適合していること)
- 19) 冷却系(但し方式の変更は不可)
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更(但し方式の変更は不可)。
- 41) ファイナルレシオ
- 42) リヤホイールの変更
- 43) リヤブレーキ関係の変更
- 44) フロントホイールの変更
- 45) フロントブレーキの変更
- 48) タイヤの変更
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で

意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ピストンみがき、コンパクションチャンパー等) シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)
36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし
38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずし
40) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着していなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。
56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧カライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用(チタニウム合金)
42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項(P135)参照

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	10台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。ただし市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し99dB/A以下のこと。
レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。
1995年より音量規制値は97dB/Aまで引き下げられる。
- 2) 音量測定の際のエンジン回転数(rpm)は、排気量により異なる。
- | | |
|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm |
| 250ccを越える | 3,000rpm |

10 互換性

- 1) フレームの打刺型式とエンジン打刺型式が同一モデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。
- ミッションアッセンブリーまたは単品
 - フロントフォークアッセンブリーまたは単品

- (3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - (4) リヤフォークアッセンブリーまたは単品
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート
 - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
- (1) ミッションギヤセットまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品
 - (4) リヤフォークコンプリート
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート
 - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章 補則 ジュニア部門の仕様

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様（第8章）に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04条以外の改造、変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様（第8章）に適合していることを条件とする

- 24) チェンジペダル
 - 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)
 - 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
 - 40) ドライブチェーン
 - 41) ファイナルレシオ
 - 46) プレーキペダル
 - 48) タイヤの変更
 - 50) ステップ類
 - 53) ハンドル及びその付属品
 - 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。
- 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)
- 仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンバー等)

第16章

国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びトライアル基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鋳造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トライアル基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系(ただし音量規定に適合していること。)
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トライアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディーの改造
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)
仕上げとは、各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンバクションチャンバー等)

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーを取りつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。(チタニウム合金)
- 58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項(P135)参照

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。但し市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し87dB/A以下のこと。6.5m/sのピストンスピードとする。
レース終了後は、1dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一モデル内にあつては、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。

FIM 技術仕様

ロードレース

以下のクラスはFIM技術仕様にて開催される。

国際A級/国内A級: GPフォーミュラクラス

国際A級: スーパーバイククラス

以下の種目別仕様とMFJ技術規則第7章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様と基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

FIM規則01章 GPフォーミュラの技術仕様

01 クラス区分

カテゴリー	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
G P 125	80を越え125以下	1	6
G P 250	175を越え250以下	2	6
G P 500	350を越え500以下	4	6

注) 国内競技会においては当分の間、500ccクラスの排気量区分を「250を越え500以下」とする。

- 1) エンジンのシリンダー数は、燃焼室の数で決定される。
- 2) もし燃焼室が分けられている場合、それらは総吸気ポートエリアの最低50%にあたる通路によって連結されていなければならない。

02 出場車両

- 1) 車両の選択に制限はない。
- 2) 車両はMFJ技術仕様第7章ロードレース基本仕様に示されるすべての条件に適合していなければならない。

05 重量

GPクラスの最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
125	70kg
250	95kg
500	130kg (4気筒)、115kg (3気筒)、100kg (1~2気筒)

*半乾燥重量は走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

12 ホイールリム幅

各クラスのリアホイール幅の制限は下記とする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

13 ナンバープレート

各クラスに下記の色が指定される。

- 125 黒地に白文字
- 250 緑地に白文字
- 500 黄地に黒文字

ロードレース・スポーツプロダクションフォーミュラ (スーパーバイク)

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、現在量産されているモーターサイクルで、ハイ・パフォーマンス・マシンを入手することを希望する一般の人々が購入できるものとする。スポーツ・プロダクション・レース用に認可されるモーターサイクルは、カタログに載っているスタンダードの量産モデルで、過去5年以内に生産され、公道で一般的に使用されるために販売され、ライト類を完全に装備したものである。

モーターサイクルはすべての点で、1968年度のウィーン協定に基づくものとし、これはマシンを生産する国がこの協定に調印していない場合でも同じとする。

これらの規則は、下記の目的で設定された。

- 外観上できるかぎり量産車に近づける。
- チューナーに自由を与えると同時に、コスト的に制限する要素を設ける。
- 通常の市販ルートを通じて、充分な量のイクイップメント（装備）が入手できるレーシング・クラスを設ける。
- アフターマーケット・サプライヤー（供給者）に興味を抱かせる。
- スピードと馬力を安全なレベルに保てるようにする。
- ヴァンケル2:3は許可されない。

すべてのモーターサイクルは、すべての点において、本規則に明記されているロードレースの必要条件をすべて満たしていなくてはならない。

論議が生じた場合には「スポーツ・プロダクション」仕様に優先権がある。

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、全て認証を受けなくてはならない（事項60.08参照）。スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、カテゴリI、グループA1に属するものでなくてはならない。

スーパーバイクの技術仕様 (FIM規則01章59条)

01 クラス区分

	4ストローク	気筒数
スーパーバイク	400を越え 750以下	3または4
	550を越え 1000以下	2

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー（ライナー及びスリーブ含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質と鑄造（キャストリング）。（シリンダーは当該クラスの排気量上限内であればライナー、スリーブの修理ができる。オリジナルの素材と表面処理は保持されなくてはならない）
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) バルブ数とポート数（インレット、エキゾーストとも）。キャブレターの数又はその他の吸入システムを含む吸排気系システム。（事項59.04.5にも注意）
- 11) 燃料が直接燃焼室にインジェクトされる真のフュエル・インジェクションは認可されない。マニホールド・タイプ（インジェクション）は、それが認可されたモデルに採用されているプロダクション（量産）ユニットであるということを経験的に認可される。
- 13) シリンダーヘッドフランジからキャブレター（インジェクター）の反対側までの、キャブレター又はその他の吸気装置（インジェクター）。サイズ、タイプ、取りはずし可能なジェットの数、およびエンジン製造業者のパーツナンバーが、寸法を記入したインダクション・トラクトの図とともに認可書類にリストアップされていなくてはならない。キャブレターボディ、インジェクターボディ、あるいはバタフライバルブ内のインダクショントラクトの改造または研磨は許可されない。
- 15) フレーム（ステアリングヘッドからリヤのシート・サポートまで）とその構造材質。ガゼット（補強板）またはチューブを追加することはできるが、本来存在するガゼット、またはチューブを取り外してはならない。（事項01.26に参照）

- 16) フロントフォーク、リヤ・スイングアーム、リンケージ・システム、ピボット・ポイント、及び材質は認証されているものでなくてはならない。
- 54) ストリームライニング、フェアリング、およびシートに隣接するリヤ・パーツは認可されたデザインに適合しなくてはならない。

04 公認車両に対し下記事項の変更ができる

(これは明確化の目的のためであり、このリストに載っていない他のパーツも変更あるいは交換されてよい)

- 1) ボアはシリンダーのボタンを変更しなければ増大されても良いが、ただしこの増大によってそのクラスのリミットを越えてはならない。
- 2) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シュルにおいては、材質は溶接または機械作業によってのみ追加されたり削除されたりすることができる。ストック・パーツの研磨および軽量化は許可される(事項59.03.13にも注意)。
- 3) エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスおよびクラッチ・パーツは改造されても交換されてもよい。
- 4) ギヤ・レシオ。ギヤの仕様。6速までに制限されたギヤ段数、スプロケット。
- 5) エキゾースト・パイプ、サイレンサーとその配列。
- 6) フットレストの位置を変更してもよいが、これはリヤ・ホイールの手前に設けられなくてはならない。
- 7) モーターサイクルにはどのようなタイプのハンドルバーを装着しても良い。
- 8) フロント・フォークは全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそれと同じタイプ(リーディング・リンク、テレスコピック等)でなくてはならない。
- 9) リヤ・ショック・アブソーバーは変更、または取り付け位置を変えても良い。ただし、それと同等のシステムが採用されなくてはならない。すなわち、デュアル・ショックか、モノ・ショックかということ。スイングアームは改造されても交換されてもよい。(事項59.03.16も参照)。
- 10) 燃料タンクは、外から見えるならば外観上は認可されたモデルのそれと同じでなくてはならない。オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは許可される。
燃料タンク・ベンチレーション・パイプには燃料が流出するのを防ぐデバイスが設けられなくてはならない。タンクの両側の間にあるクロス・オーバー・ラインは許可される(最大内径10mm)。プラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが、大会期間中使われなくてはならない。
- 11) オリジナルのオイル・クーラーは、マシンの外観を変更しない範囲において変更および追加が認められる。
- 12) 16インチ以下のホイール・リムの使用は認められない。鋳造、鋳型、リベット・タイプのホイール、または軽合金リムが認められる。
- 13) マッドガード(フェンダー)は、外観上オリジナルと同じでなくてはならないが、ホイールとタイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。追加のマッドガードをスイングアームに取り付けることができる。
- 14) ストリームライニング、燃料タンク、フェアリングおよびリヤ・シートに隣接したリヤ・パーツの材質は変更されても良い。
- 15) オイルクーラーにエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許される。直径10mm以上の穴については、メタルガーゼか繊細なメッシュによりカバーされなくてはならない。
- 16) シートは改造または、交換されてもよい。
- 17) キック・レバー、ペダル、スターター・クランク・ギヤ、およびスターター・シャフトを含む電動、あるいはマニュアルのスタート・システムは取り外し可能。ただし、耐久は除く。
- 18) エアクリナーエレメント、ツールボックスとライセンスプレートブラケットは取り外すことができる。エアクリナーボックスは改造できる(レース用の特別なデザインは認められる)。クローズドブリーザーシステムは保持されなくてはならない。直接大気へ排気することは厳禁される。(事項01.90にも注意)
- 19) 確動圧を含むオイル・ラインは、もし変更されるならばスチール製の構造で、型鉄で曲げた、またはネジ山式のコネクターを持っていてはならない。
- 20) ステアリング・ダンパーは追加されても良いが、装着方法は正当な方法に従ったものとする。既存のステアリング・ストップが適切でない場合、金属製のステアリング・ストップをフレームに取り付けることができる。いかなる場合においても、ダンパーはステアリング・ロック・リミティング・デバイスとしての役目を果たしてはならない。最低ステアリング・ロックは15°とする(事項01.33にも注意)。
- 26) キャブレター・ジェット、スロットル・バルブ、ニードル(バタフライではない)及びベルマウスのサイズ。(事項59.04.18にも注意)

05 車重

液冷モーターサイクルの場合、燃料なしの状態での重量測定するが、測定の前に水がラジエーターに追加されてもよい。ラジエーターに水を追加するのみでレース後、指定の車重に適合しなくてはならない。(事項01.19にも注意)。

排気量区分	気筒数	最低重量
400ccを越え 750cc以下	4気筒	165kg
550ccを越え 1000cc以下	2気筒	140kg

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) モーターサイクルには、始動しているエンジンを停止することのできる機能的なイグニッション・キル・スイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていなくてはならない(グリップを握って届く位置になくてはならない)。
- 2) セーフティ・バー、センターおよびサイド・スタンドは取り外されなくてはならない(固定されたブラケットはそのままでも良い)。
- 3) すべてのドレーン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイル・フィルター・スクリューおよびボルトでオイルキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされていなくてはならない。
- 4) ブリーザー、またはオーバーフロー・パイプが装備される場合、これらは現存する排出口から排出しなくてはならない(事項57.02に基づいて)。オリジナルのクローズド・システムは維持されなくてはならない。直接大気へ排気することは許可されない。
- 5) オイル・クーラーはリヤのマッドガード(フェンダー)の上、又はそれよりも上に設けられてはならない。
- 6) ヘッドライト、テールライト、およびウインカーは取り外されなくてはならない。しかし原則としてプロファイルは維持されなくてはならない。

08 認証の手順

認証の手順についてはFIM規則参照。

耐久の追加仕様 (FIM規則01章61条)

- 1) 本来すべてのモーターサイクルには、正常に作動する電装類が完全に装備されなくてはならない。フロントのヘッドライトを追加することが許可される。
- 2) ライト点灯が要請されるレースにおいては、モーターサイクルに二つの別個のリヤ・ライトと、作動するジェネレーター(最低出力100W)を装備することが義務づけられる。電装類を追加することが許可される。
- 3) さらに、後続ライダーの視認性を上げるために、モーターサイクルのリヤに、最低面積40cm²の赤い反射面が設けられなくてはならない。
- 4) すべてのモーターサイクルにはスタート装置が設けられていなくてはならない。

モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ基本仕様第8条モトクロス基本仕様に合致していることとする。FIM技術仕様とMFJ基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM技術仕様を優先する。

FIM規則01章 モトクロス技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え 125以下	1
250	175を越え 250以下	—

02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両はMFJ技術規則第8章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料をみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触ることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 1) ストリームライニング(カウル)の装着は禁止される。
- 2) 使用するタイヤのタイプに制限はないが、タイヤの表面に滑り止めスパイク、特殊チェーン等を取りつけることは禁止される。

トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第9条トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、FIM技術規則を優先する。

**FIM規則01章
トライアル技術仕様****01 クラス区分**

国際A級
国際B級

*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。

スノーモビルの 仕様

1 車両の改造の限度

競技の公平及び安全を確保するため次のように制限する。

1) スポーツ部門

車両は一般生産型のMFJ公認車両で次に示された改造のみ認められる。

(1) 変更してもよい部品

- A 点火プラグ
- B スキー (スプリングを含み公認型式のものに限る)
- C サスペンション・スプリング (公認型式のものに限る)
- D ドライブチェーンとスプロケット
- E Vベルト
- F キャブレター内の各ジェット類

(2) 取り外さなければならない部品

- A ライト類及びガラス類 (ただし、レンズ及びライト類の飛散防止を施せば良い)
- B バックミラー
- C ウィンドシールド
- D キャリア類

(3) 取り外してよいもの

- A 車両番号標版 (ブラケットごと)
- B バッテリー
- C セルモーター・セル用ギヤ
- D アシスタント・グリップ
- E ヘッドライトボディ (ただし、ライト及びライトボディを外した場合の穴は完全にふさがなければならない)

2) モディファイ部門

車両は一般生産型スノーモビルでMFJ公認車両でなければならない。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量もしくは形状の変更、パーツの交換を行う場合は下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強は行ってもよい。しかし形状の変更は認められない。
- (2) 異なった機種エンジンのアセンブリー、フレームの組み合わせは認めない。ただし、同型式、同機種、同排気量のものに限り認める。
- (3) エンジン
 - A クランクケース本体、クランクシャフト・アセンブリーは公認車両のものに限る。
 - B ポアの拡大は最大0.5mmとし、出場クラスの変更はできない。
- (4) ステアリング
 - A ステアリングの基本構造は、公認型式のものでなければならない。
 - B 補強は認められるが、変形は認められない。
 - C ステアリングパッドを取りつけなければならない。
 - D スキースタンスの変更は認められない。
(スタンスとは、スキーの中心と中心との距離)
 - E ハンドルはMFJ公認型式 (二輪を含む) のものとの交換は認められるが、変形は認められない。しかし、ハンドル幅の減少は認められる。
 - F ハンドルは公認、未公認の区別のつかないものの使用は認められない。
- (5) 音量
 - A 音量は下記の条件を満たしていなければならない。
車両には有効かつ外見で判断しうる市販の消音器が装着されていなければならない。なお排気管 (排気方向) の向きは、雪面に向けて垂直 (真下) でなければならない。
 - B 音量は、FIM測定方式で104db/A (ただし、パワーベルトを直結してある場合は、最大120db/Aとなる) 以内でなければならない。104db/Aを上回る車両の出場は一切認められない。

2 車両の安全基準

スノーモビルレースに出場する車両は、次の安全基準を満たしていなければならない。

- 1) エンジン自動停止装置
 - (1) ライダーが走行中車両から離れた場合にエンジンが自動的に停止する装置を装着していなければならない。
 - (2) 自動停止装置はレース全区間（公式練習、パドック走行も含む）で有効に働く状態でなければならない。
 - (3) 本基準に違反したライダーは、失格とする。
- 2) 排気管及び消音器
 - (1) 車両は規定の音量規制値を満たしていなければならない。
 - (2) 排気消音器はボディー側面より突出してはならない。
 - (3) 排気管は、シュラウドまたは車体内部に収められていること。
- 3) スノーフラップ

トラック最後端より後ろに有効なものを必ず装着し、公認時の形状を維持すること。
- 4) スロットル

手を離れたら確実にまたスムーズに戻らなければならない。
- 5) ドライブガード

ドライブガードは、公認車両のものとし、取り外してはならない。
- 6) シュラウド
 - (1) シュラウドを外してはならない。
 - (2) レース中に外れるものであってはならない。
 - (3) モディファイ部門のみのシュラウド基準
 - A シュラウド付属パーツ、ルーバー類は取り外してもよい。ただし、エンジン回転部分、排気管部分が露出またはその部分に触れる恐れのあるものであってはならない。
 - B 新たに通風孔を設けた場合は4mm以下の網目構造か、同等以下のルーバー構造とする。
 - C シュラウド・アセンブリーの強度は、車両公認時と同等か、それ以上でなければならない。
 - D 新たに通風孔を設けたものや、改造したシュラウドで、強度が不足するものは必ず補強しなければならない。
- 7) スキー
 - (1) 先端に弓形ガードを装着するなど安全を十分に確保しなければならない。
 - (2) スキーランナーは丸棒状で、鋭利な形状であってはならない。又、スキー側面を十分にカバーする措置が施されていないなければならない。
 - (3) スキー側面は、R形状に丸められていなければならない。
 - (4) スキースキンの取り付けは認められるが、スキーとスキーランナーとの間に故意に隙間を設けてはならない。
- 8) トラック（キャタピラ）
 - (1) 本体はゴム製でなければならない。
 - (2) 如何なるものも付加してはならない。
 - (3) 他機種のトラックを取り付けることはできない。
 - (4) トラックを逆付けすることはできない。
- 9) ブレーキレバー及びスロットルレバー
 - (1) ブレーキレバーの末端は安全上丸められていなければならない。
 - (2) スロットルレバーは、その先端が安全上丸められていなければならない。
- 10) ブレーキ

必ず有効なブレーキ機能を備えていなければならない。
- 11) 取り外さなければならないもの
 - (1) ライト類及びガラス類（ただし、飛散防止を施せば良い）
 - (2) キャリア類
 - (3) ウィンドシールド

ドラッグレースの 仕様

ドラッグレースの基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトの使用は許可される。

03 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は、最低各15°以上なくてはならない。
- 5) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっていなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離した時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていないとならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けら

ドラッグレースの仕様

- れていなくてはならない。
- もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
 - フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にはなくてはならない。

08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを超えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

10 ブレーキ

- モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。
- ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロントにディスクブレーキを装備していなければならない。シングルディスクは最低250mm×5mm。ダブルディスクは最低220mm×5mmとする。

11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- マッドガードはタイヤの両側に張り出してはならない。
- フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

14 ストリームライニング

- ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さずにマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快であってはならない。

16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。ワイリーバーが付いている車両はワイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消しで書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングの開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることが出来ない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

P B (プロストックバイク)	黄地に黒文字
S B (ストックバイク)	白地に黒文字
S S (スーパースプリント)	黒地に白文字

17 ウイリーバー

ウィリーバーの装着が強く勧められる。

18 プロテクティブ・カバー

すべてオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ”、インターク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない
- 2) すべてのオイルドレンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャットオフ・バルブが装着されていなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルバーを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを降りた時にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造になっていなければならない。ラ

ライダーへのコネクションはリヤ・ホイールが路面に接地する前に作動しなければならない。

21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーにコネクトされていなければならない。

23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。（下記のものも安全なようにワイヤー・ロックされていなければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。）
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図（140頁）参照。

24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。

PB(プロストックバイク)クラスの 車両規則 (A級・B級)

01 クラス区分

定義：このクラスはストックの外観（メーカーが一般用に販売したモーターサイクルをドラッグレース用に改造）でガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速数
プロストックバイク (PB)	無制限	○	○	6	6段

02 出場車両

- 1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両とする。

03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

04 下記部品は各項の制限内で改造出来る（ドラッグレースの基本仕様と合致すること）

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ
修正・変更は認められる。但しキャスト角は最大で40°、シート高は最低50cm
- 51)(1) フロントサスペンション
フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm。
- 54) カウリング
 - (1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければ

ばならず、他のモデルと混じってはならない。

- (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
 - (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
 - (4) カウルの外側にエアインテークホースの取り付けは認められない。
 - (5) ヘッドライト、テールライトはエアブラシ等で描かれていること。
- 55) シート・シートカウル
改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

05 重量

PBクラスの最低重量は下記とする（半乾燥重量）

最低重量 179kg以上

注）半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式フェUELポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフェUELポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
- 40) チェーンガード
リアアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウイリーバーの取り付け
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピューターによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール燃料は禁止する。
- 61) ウイリーバーの取り付け
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。

第19章

ロードレース ジュニアクラスの仕様

(国内B級以下)

01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限定変速段数
S P (スーパープロダクション)	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
G P	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナーを含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鑄造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鑄造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアセンブリーの材質、形状、寸法
- 16) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 *ただし04.22)参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
- 48) タイヤ *ただし08.3)(4)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングシステム、トップ、ボトムブリッジ *ただし04.53)参照
- 54) ストリームライニングの形状 *ただし04.54)参照

04

公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 50) フートレストを含むブラケット、ペダル類の改造、変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可 (但し軽量化目的の材料カットは除く)

05 重量

クラス	最低限重量
S P	50 77kg
	80 79kg
G P	50 77kg
	80 79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(S P、G P)	直径18mm相当以下
80(S P、G P)	直径28mm相当以下

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制値以下のキャブレターに交換すること
- 17) 電動式フュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローパイプはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)
(’93年からカーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) 通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガス以外のガソリンの使用。

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

*SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きで公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付け出公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
50(S P、G P)	直径18mm相当以下
80(S P、G P)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ
80(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。
注意事項：93年1月1日より規制値は99dB/Aとなった。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

- 注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)

第20章

ミニバイクの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
N 5 (スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 5 (スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 8 (スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両でMFJが公認したもの。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

（仕様の変更とはその部品の改造、変更又は取りはずしを言う）

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数。
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー（スリーブ及びライナー含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鑄造及び形状。
- 5) クラッチの構造（但しディスクの材質とスプリングは除く）-04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鑄造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター（メインジェットのみ変更可）。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。
- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52) (1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

04 公認車両に対し下記事項の変更出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）には適合していることを条件とする

- 16) (1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加が出来る。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。

- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ（インターミディエイト含む）および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス又はアブガスに限る。

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

09 音量規定

- FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
- レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内においては一切の追加工なしで部品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

（'93年1月1日以降の公認車両同志に限られる）

S

付 録

SUPPLEMENT

- ▼ドラッグレース競技細則184
- ▼全日本選手権特別規則189
- ▼MFJライセンス昇格・降格に関する規則 191
- ▼MFJ共済会制度195
- ▼MFJ公認車両・部品・用品196
- ▼全国公認サーキット211
- ▼歴代チャンピオン216

ドラッグレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される（世界選手権を除く）

2 ドラッグレース

- 1) 完全にクローズドされたサーキットで行われる。2台の車両がE.T.（直線の区間タイム）を競う。シグナルによるスタートとし、先にゴールラインを通過した者が勝者となる。また、単にE.T.（直線の区間タイム）だけを競う競技もある。国内競技規則および細則により運営、管理される。
- 2) 区間タイムについては下記2種類がある。
 - ① SS1/4マイル（402.33m）
 - ② SS1/8マイル（210.175m）

3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー
エントラント及びライダーは、1994年度版MFJ国内競技規則第3章（⑨競技参加者）に合致していなければならない。

5 出場申込

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
 - (1) 各部門とも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるもの送が有効となる。
 - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 最初に決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

8 ライダーの装備

- ヘルメット
 - ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受けなければならない。
 - ライダーの服装
 - レーシングスーツ
 - 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストにつながるジッパータイプ。
- 
- 
- ブーツ・グローブ
 - ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
 - 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 出場受付

- 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

- 車両の変更は国内競技規則・第3章(⑩ライダーおよび車両の変更)による。
- 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

12 公式予選

- 公式予選
 - 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - 公式予選日の日程および時間は、特別規則書に示される。
 - 公式予選はタイムトライアル方式とする。
 - 全ての競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
 - 公式予選で同タイムが出た場合は、トップスピードの記録が良い方が予選順位が上位となる。
- 公式予選の内容
 - レースに出場する全てのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
 - 最終的な予選選出方法は、大会審査委員会の決定による。
- 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届けなければならない。

- 4) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある。(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- 5) ラダー (トーナメント方式)
 - (1) トーナメント
予選タイムでラダーポジションが決められる。1度ラダーベアリングが決まった場合は、主催者が必要としない限り変更はできない。16台分のラダー時に14台しか参加していない場合は、14台分のラダーを使用する。
 - (2) タイムトライアル
タイムトライアルによるクラスの場合は最大で、3ヒートまでとする。

13 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、特別規則に示される。

14 スタート方法及びレース (スターティングシステム別紙)

- 1) スタート方法
 - (1) スタンディングスタートとしスタンディングシステムは、プロスタートとストックスタートがある。スタート方法は特別規則および公式通知によって発表する。
 - 2) スターティングシステム
 - (1) プロスタート
クリスマスツリーの3黄色、全ての黄色ライトは同時に作動(点灯)し、グリーンライトまでのディレイ(間隔)は、0.4秒。
 - (2) スtockスタート
クリスマスツリー、3黄色のカウントダウンを利用し黄色ライトとライトのディレイは、0.5秒。
 - 3) レース
 - (1) 予選によりラダーポジションを決定し、先にゴールラインを通過した者が次のラダーへ進む。最大で4ヒート行う。タイムトライアルによるレースの場合は、E.T.の速い者を上位とする。同タイムの場合は、トップスピードによって決定される。更にトップスピードが同一の場合は前のヒートE.T.によって決定される。
 - (2) パーンアウト
レースのパーンアウトは指定された場所により制限する。競技者がパーンアウト時に壊れて後ろにさがれない、もしくは後ろに押せない場合、コース上でUターンをしスタートラインに戻ることは禁止。パーンアウト時にセンターラインを越えることは失格ではない。
パーンアウト規制は、スタート審判員の判断による。
 - (3) ステージング (スタート準備、および方法)
 - ① コースインした時点でレーススタートの準備ができていなければならない。
 - ② 競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
この規則は1台で走行する場合も同じでプッシュスタートや、プッシュステージは禁止。
車両のエンジン動力で行うこと。
 - ③ ライダーがステージングライン(スタートライン)と競技車の位置を確かめるために機械や電子装置を使用してはいけない。競技車の位置を確かめるためには肉眼のみ認める。
 - ④ スタートするためにはステージライト、プレステージライトの両方が点灯していなければならない。スタート前にステージラインを越えた場合は失格となる。但し競技の最終ヒートの場合、両者がステージラインを越えた場合のみ再スタートとなる。
 - ⑤ ステージングする場合、両者ともステージビームに前進するまえにプレステージライトを作動させなくてはならない。ステージングのために適度な時間が与えられる。タイムリミットは、スタート審判員の判断とする。
 - ⑥ スタート審判員の指示通りステージしない場合は失格となる場合がある。
 - ⑦ ステージを完了し、スタート審判員のゴーサインがでた後にステージし直すのは禁止する。
 - ⑧ スタートシステムが作動する前に、スタートラインを越えた場合と、スタート審判員に指示された者はそのヒートのタイムは無効となる。
 - (4) シングルラン
ライダーが1台で走る場合、ステージしスタートシグナルを受けた時点で勝者とみなされる。シングルランで競技車がレーン判断のため、センターラインを越えた場合のタイムは無効となる。

15 コース選択

- 1) コースの選択は、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
- 2) トーナメントの場合は、前のヒートのタイムの良い方(予選含む)に選択権がある。

16 勝者の判定

- 1) タイムトライアル
2台ずつ同時にスタートし2回～3回のE.T. (区間タイム) のベストタイムによって順位付けされる。
- 2) トーナメント
2台同時にスタートし先にゴールラインを越えた者が勝者となる。タイムの発表は、E.T.のみとする。
- 3) E.T. (区間タイム) は、SS1/4マイル (402.33m) もしくはSS1/8マイル (201.175m) によって競われる。
- 4) グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない者は当該ヒート無効とする。
- 5) スタート後1分を経過してゴールラインを通過できない車両は当該ヒート無効とする。

17 計時

- 1) 計時はスタートからフィニッシュまでの所要時間を1/1000秒単位まで計測を行う。
- 2) 競技会の計測は、原則として光電管装置を使用してその計測値を記録する。計測装置の故障、事故等の場合は、ストップウォッチにて1/10秒まで計測する。

18 失格

- 1) 競技車両はバーニアアウト上で故障した場合、車両を後退させることができない場合、コース上を旋回してスタートラインまで戻るとは許されない。
- 2) スタート前にエンジンが停止した場合、エンジンの再始動は1回のみ認められる。
- 3) コース上に記されたラインを越えた場合は失格。ラインを越えるとは、タイヤの1部でもラインの塗装上を越えた場合、ガードレール、バリヤ、あるいはその他の設備、(スタートシグナル、タイム計測設備、パイロン等)
- 4) 対戦相手との接触を避けるため、意図してラインを越えた場合は、失格にはならない。
- 5) 競技役員の手許なしにコースを逆走することは認められない。
- 6) パドック内、ゴール後のリターンロードでは、最低速度を維持しなければならない。これに違反した者は失格となる。

19 リタイヤ (棄権) と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 (⑨競技) による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員に判定によりリタイヤと認めることができる。

20 優勝者、入賞者順位、賞典の制限

- 1) トーナメントの場合
16台の場合最大4ヒート行い、決勝ヒート (第4ヒート) で勝者となったものが優勝者となり、第4ヒートの敗者が2位、3位は、第3ヒートの敗者でE.T.の良い者。以下これに準ずる。
出走台数が16台以下であってもこれに準じ、32台の場合は最大5ヒートとなる。
- 2) タイムトライアルの場合
2回～3回のタイムトライアルの1番良いタイムをマークした者が優勝者となり、以下これに準ずる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者を上位とする。
- 3) 賞典および制限は、各大会の特別規則に記載される。

21 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の手導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。
- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

22 レースの成立

各クラスの参加者が全員1回のランを終了していれば (予選を含む) その時点で競技は成立する。その場合の順位決定は、E.T. (区間タイム) によって速いものから順位づけされる。

クラスの全車とはタイムテーブルに記載されている時間内に走行した者、また競技役員の手導によりコースインを完了した者を言う。この場合抗議は一切受けられない。

23 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

24 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(34頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔28違反行為に対する罰則〕(34頁)による。

26 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

附 則

1. 本規則は、1994年1月1日から施行する。

'94全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は巻末に示す。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

4 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

7 出場料およびMFJ共済掛金

出場料：1クラス	35,000円
MFJ共済掛金 1人1口	2,000円
JDRA共済掛金	3,000円
合計	40,000円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。('94年度は、'93年度地方選手権実績による)
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
 2) 得点は国内競技規則第3章「24. 公式得点」によって与えられる。
 (1) 大会を通じてベストタイム（予選を含む）をマークしたライダーに2ポイント追加される。
 (2) コースレコードを樹立した場合2ポイントが追加される。
 (3) 最終戦は、上記ポイントに2ポイント追加される。
 3) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えるが、全日本選手権の得点が与えられない。（但し下位の繰り上げは行わない）
 4) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。
 5) 大会の測定区間がSS1/4マイル未満で行なわれた場合の得点は下記とする。
 1位：15点、2位：12点、3位：10点、4位：8点、5位：6点、6位：5点、7位：4点、8位：3点、9位：2点、10位：1点。

14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。
 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1994年度 MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズカレンダー

開催日	大会名	出場申込先	開催場所	出陣申し込み
5月5日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第1戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	4月4日～ 4月9日
5月15日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第2戦大分阿蘇RP大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	大分阿蘇RP	4月11日～ 4月16日
6月5日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第3戦日本ドラッグレースウェイ大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	日本ドラッグレースウェイ	5月9日～ 5月14日
8月13日～14日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第4戦大分阿蘇RP大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	大分阿蘇RP	7月11日～ 7月16日
8月20日～21日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第5戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	7月18日～ 7月23日
10月2日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第6戦日本ドラッグレースウェイ大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	日本ドラッグレースウェイ	8月29日～ 9月3日
11月3日	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第7戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒105 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル602号 ㈱オックスインターナショナル内 ☎03-3580-8718	富士スピードウェイ	10月3日～ 10月8日

MFJライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格

1) 自動昇格とは

- (1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- (2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。(’93年の成績で昇格した場合’94年1月1日からの有効とする。)

3 ’94年度の自動昇格対象期間

’94年度の自動昇格対象期間は1994年1月1日から1994年10月31日までとする。

4 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点は公認競技会の格式別にその成績に応じて下記のように与えられる。
- 2) ジュニア部門の公認競技会における得点は競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会の得点とする。

①全日本選手権および地方選手権競技会

順位	25 以上	20-24	15-19	10-14	5-9	0-4
1位	20	20	20	20	20	20
2位	17	17	17	17	17	17
3位	15	15	15	15	15	15
4位	13	13	13	13	13	13
5位	11	11	11	11	11	11
6位	10	10	10	10	10	10
7位	9	9	9	9	9	9
8位	8	8	8	8	8	8
9位	7	7	7	7	7	7
10位	6	6	6	6	6	6
11位	5	5	5	5	5	5
12位	4	4	4	4	4	4
13位	3	3	3	3	3	3
14位	2	2	2	2	2	2
15位	1	1	1	1	1	1

②その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	予選出場台数					
	13以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8	8	
4位	7	7	7	7	7	
5位	6	6	6	6	6	
6位	5	5	5	5	5	
7位	4	4	4	4	4	
8位	3	3	3	3	3	
9位	2	2	2	2	2	
10位	1	1	1	1	1	

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ台数とする。

5 ロードレースライセンスの昇格

1) ジュニアから国内B級

- (1) ジュニアライセンスにてGP50・GP80クラスにて優秀な成績をおさめ昇格を希望するものは当該シリーズの主権者ならびに所属県協会の推薦を得て申請しMFJスポーツ委員会にて認められた場合昇格できる。当該年度に16才になる者は国内C級となる。
- (2) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは下記を上限とする。
GP125、SP250F

2) 国内C級から国内B級

下記条件のいずれかを満たし申請することにより国内B級ライセンスが随時取得できる。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明を得る(複数のサーキットでの合計は不可)。

※走行証明の有効期間は発行より1年間。

- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を納めること。(過去2年以内)
- (3) 承認ロードレース競技会に過去2回以上参加した実績を有する。(過去2年以内)
- (4) 国内B級ライセンス講習会を受けること。
※講習会終了証の有効期限は6ヶ月。

3) 国内B級から国内A級

- (1) 対象クラス
GP125、GP250、SP250、SP400
- (2) 昇格基準
地方選手権において下記得点を得たもの。

選 手 権	自動昇格	下記成績を得て'94年12月31日までにMFJに申請した者
北海道(HSP選手権、サホロ選手権、十勝選手権の合計)	—	50点以上
SUGO選手権	40点以上	20点～40点未満
仙台選手権	40点以上	20点～40点未満
エビス選手権	50点以上	30点～50点未満
関東選手権(筑波、富士、那須、間瀬)	40点以上	20点～40点未満
間瀬選手権	50点以上	30点～50点未満
鈴鹿選手権	40点以上	20点～40点未満
中山選手権	50点以上	30点～50点未満
西日本選手権(MINE)	40点以上	20点～40点未満
T.I.選手権	50点以上	30点～50点未満
四国選手権(阿讃)	—	50点以上
九州選手権(HSR九州、SPA直入、大分阿蘇RP)	50点以上	30点～50点未満

※上記選手権以外の公認大会の昇格対象種目には「4、②その他の公認競技会」の得点が与えられる。

4) 国内A級から国際A級

- (1) 対象クラス
GP125、GP250、SS250、SS400、SS750
- (2) 昇格ポイントの算定
各レースの結果から国際A級を除き、国内A級のみ結果により昇格ポイントを算定する。(但し完走者のみ)
- (3) スーパーカップ選手権各クラスごとの得点合計(イースタン・ウェスタンに拘らず)で30ポイント以上の成績を上げたもので'94年12月31日までにMFJに申請したもの。(申請用紙はMFJより送付される)
昇格を希望しない者は申請を出さなければ国内A級にとどまることが出来る。
- (4) 地方選手権以上の各クラスごとの得点合計で50ポイント(スーパーカップの得点も含まれていることが条件)以上獲得し'94年12月31日までにMFJに申請した者(申請用紙はMFJより送付される)。

6 モトクロス・ライセンスの昇格

1) ジュニア部門から国内B級部門

- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出した者。(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。注：得点は格式にかかわらず細則11の4自動昇格に必要な得点(191頁)に順ずる。(当該年度に16歳になる者は国内B級となる)

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級部門から国内A級部門

- (1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	50	30

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級部門から国際B級部門

- (1) 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

- (2) 前記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、

MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級部門から国際A級部門

(1) 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。

(2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

7 トライアル・ライセンスの昇格

1) ジュニア部門から国内A級部門

(1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。(当該年度に16才になるものは国内B級となる)

① 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

② 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

(2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級部門から国内A級部門

(1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。

① 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。

② 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において、国内B級部門での優勝者および2位の2名の者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。

※(1)(2)においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。

(2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロック承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級部門から国際B級部門

(1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日までに)において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	3	5	15	10	10	6	5	7

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級部門から国際A級部門

(1) 全日本選手権ランキングで、1位から5位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。

(2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

8 ドラッグレースライセンスの昇格

1) ドラッグレースB級部門からドラッグレースA級部門

(1) 対象クラス：ストックバイク

(2) 昇格基準：地方選手権において20ポイント以上の得点を得たもの。

9 自動降格の基準

1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

未更新期間	種目 部門	モトクロス・トライアル				ロードレース		
		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
1年		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
2年		//	//	//	//	//	//	//
3年		//	国内B級	国内A級	//	//	国内B級	//
4年		//	//	国内B級	国際B級	//	//	国内A級
5年		//	//	//	//	//	//	//
6年以上		//	//	//	国内A級	//	//	//

※ロードレースについては5年以上の未更新期間がある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、県協会またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて県協会に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要する。申請者の用紙は、県協会又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県協会およびブロックの承認・経由して、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年間経過し、得点の得られなかった者のみとする。

12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。(但し、特別降格申請が認められた年度、及び自動降格した年度のみ適用する)

- 1) ロードレース
 - (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
 - (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 2) モトクロス
 - (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ常任委員会にて審議し、承認された者。
 - (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
 - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) トライアル
 - (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。
 - (4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1994年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

- 1) 全日本選手権ランキング順位づけ決定方法
全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。
 - (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
 - (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
 - (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
 - (4) 上記3)で決定できない場合、MFJスポーツ委員会において最終決定する。

全日本選手権認定表彰式典

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、ロードレース、モトクロス、トライアル、ドラッグレース、スノーモビルA級の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ、1994年12月10日に開催される'94MFJ全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。

MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース	全日本 4,500円	MFJ共済会見舞金 1,000万円 (MFJが契約した傷害保険含む)	MFJ共済会見舞金 A 通院実日数(ギブス等の固 定期間および通勤、通学、 就業が不可能として診断さ れた日数含む)×1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上記、様式9のほかに傷害保険請求用紙(三井海上)等の各種書類が必要となります。
SP、SS、GP、TT、SB、ノーマル車、シングル・ツイン、クラシック、S50、S80等のロードレース	4,000円			
サイドカー (パッセンジャー分含む)				
ミニロードレース (GP50、GP80、SP50、SP80に限る)	2,000円			
ドラッグレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,000円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	200円			
ミニバイクレース	500円			
エンデューロ	500円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	200円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ビットクルー	年間 500円 (ライセンス料に含める)			

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ共済会制度による。

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆上記共済会は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けて下さい。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者からMFJ共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共

済会見舞金請求書(様式9)とMFJ指定の診断書書式(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中の必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヵ月以内に指定口座に振り込まれます。



MFJ公認車両 ★は継続申請

■本田技研工業株 〒150 東京都港区青山2-1-1 ☎03-3423-1111

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
VFR400R	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'89.1.20	○	○						
NSR250R	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'89.2.8	○	○			○			
NS50F	A-AC08	AC08E	49	39.0×41.4	'89.3.15	○	○			○			
NSR250R SP	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'89.4.5	○	○			○			
CB-1	NC27	NC23E	399	55.0×42.0	'89.4.5	○	○						
NSR50	A-AC10		49	39.0×41.4	'89.7.12								
NSR80	HC06		79	49.5×41.4	'89.7.12								
NSR250R	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'90.3.7	○	○			○			
VFR400R	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'90.3.7	○	○						
NS50F	A-AC08	AC08E	49	39.0×41.4	'90.4.6	○	○			○			
VFR750F	RC36	RC35E	748	70.0×48.6	'90.4.15		○	○					
CBR250RR	NC22	MC14E	249	48.5×33.8	'90.4.19	○							
CBR400RR	NC90	MC23E	399	55.0×42.0	'90.4.19	○	○						
NSR250R SP	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'90.5.2	○	○			○			
NSR250R	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'91.7.4	○	○			○			
CB400 SUPER FOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'92.7.12	○	○						
CBR600F	PC25	PC25E	599	65.0×45.2	'92.11.8	○	○						
★ VFR750R	RC30	RC07E	748	70.0×48.6	'93.1.26	○	○	○					

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
XLR250R	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'89.3.15						○		○
CRM250R	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'89.5.10						○		○
XLR250R	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'91.2.17						○		○
★ TLR250R	MD18	MD18E	244	72.0×60.0	'93.1.26							○	○
★ TLM200R	MD15	MD15E	193	67.0×55.0	'93.1.26							○	○
XLR200R	MD29	MD29E	196.0	63.5×62.2	'93.10.24								
XLR125R	JD16	JD09E	124.0	56.5×49.5	'93.10.24								

■株ホンダレーシング 〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎0484-77-9538

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
'89RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.5	'89.1.21					○			
'90RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.0	'89.12.6					○			
'90RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.0	'89.12.6					○			
'90NSR250RK	NH3F	NH3E	249	54.0×54.5	'90.3.7					○			
'91RS250R	RS250RF	NF5	249	54.0×54.5	'90.12.1					○			
'91RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.5	'90.2.1					○			
'92RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'91.12.1					○			
'92RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'92.2.1					○			
'93RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'92.12.1					○			
'93RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'93.1.1					○			
★ '87RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'93.3.23					○			
★ '87RS125R	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23					○			
★ '88RS125R	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23					○			

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
CR125R	JED1	JEO1E	124.8	54.0×54.5	'89.11.9						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'89.11.9						○		
XR100R	HE03	HE03E	99.2	53.0×45.0	'90.2.7						○		○
XR250R	ME06	ME06E	249	73.0×59.5	'90.2.7						○		○
CR125R	JED1	JEO1E	124.8	54.0×54.5	'90.9.22						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'90.9.22						○		
XR200R	ME05	ME05E	195	65.5×57.8	'91.2.17						○		○
CR80R	HE04	ME04E	79.4	46.0×47.8	'91.9.10						○		
CR125R	JED1	JEO1E	124.8	54.0×54.5	'91.9.10						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'91.9.10						○		
CR125R	JED1	JEO1E	124.8	54.0×54.5	'92.9.20						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'92.9.20						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.9.24						○		
CR125R	JED1	JEO1E	124.8	54.0×54.5	'93.9.24						○		
CR80R	HE01	HE01E	79.4	46.0×47.8	'93.9.24						○		

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打削	エンジン打削	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'90. 2. 7							○	
*91TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'90.11. 1							○	
*92TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'91.11. 1							○	
TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'92.11. 1							○	
*85RTL250S	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93. 3.23							○	
*86RTL250S	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93. 3.23							○	
*87RTL250S	RTL250SF	RTL250E	249.0	70.0×64.9	'93. 3.23							○	
*86TLM240R	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93. 3.23							○	
*87TLM240R	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93. 3.23							○	

■ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-32-1150

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打削	エンジン打削	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TZR250	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'89. 2. 8	○	○			○			
FZR250R	3LN	1HX	249	48.0×34.5	'89. 2. 8	○	○						
FZR400R	3EN	1WG	399	56.0×40.5	'89. 3.15	○	○						
FZR750R	3FV	3FG	749	72.0×46.0	'89. 3.15	○	○	○					
TZR125	3TY	2RM	124	56.4×50.5	'90. 1. 3	○	○						
FZR400RR	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'90. 1. 3	○	○						
FZR400RR SP	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'90. 2. 7	○	○						
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'90. 3. 7	○	○			○			
FZR250R	3LN	1HX	249	48.0×34.5	'90. 3. 7	○	○						
TZR250	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'90. 3. 7	○	○			○			
TZR250SP	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'90. 3. 7	○	○			○			
SRX400	3VN	5Y7	399	87.0×67.2	'90. 4. 6	○	○						
SRX600	3SX	1JX	608	96.0×84.0	'90. 4. 6	○	○	○					
SRX250	3WP	3WP	249	73.0×59.6	'90. 5. 4	○	○						
R1-Z	3XC	3XC	249.7	56.4×50.5	'90. 7. 5	○	○			○			
FZX750	3XP	3XF	199	66.8×57.0	'90. 7.12	○	○	○					
TZR250	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91. 4. 1	○	○			○			
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91. 3.25	○	○			○			
FZX250	3YX	3YX	249	48.0×34.5	'91. 4. 5	○	○						
XJ400S	4BP	4BP	398	47.7×55.7	'91. 8. 2	○	○						
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 2.20	○	○			○			
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'92. 4.10	○	○						
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 4. 8	○	○						
TDM850	4EP	4EP	849	89.5×67.5	'92. 6. 7			○					
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 7. 5								
FZR250R	3LN	3LN	249.7	48.0×34.5	'93. 4.10	○	○						
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93. 4.25	○	○						
YZF750SP	4JD	4JD	749	72.0×46.0	'93. 5. 5	○	○	○					
SR500	1JN	2J2	499	87.0×84.0	'93. 4.25	○	○	○					
SR400	1JR	2H6	399	87.0×67.2	'93. 4.25	○	○						
TZR50R	4EU	4EU	49	40.0×39.7	'93. 5.10	○	○						
FZR400R	1WG	1WG	399	56.0×40.5	'93. 2.23	○	○						
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'93. 5.27	○	○						
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 6.27	○	○						
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 7.22	○	○						
SRV250S	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 7.22	○	○						
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'93.11. 9					○			

●一般市販車(オフロード)

車名	フレーム打削	エンジン打削	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
DT200R	3ET	3ET	195	66.0×57.0	'89. 5.10							○	○
XT225	3RW	1KH	223	70.0×58.0	'89. 8. 8							○	○
DT200WR	3XP		199	66.8×87.0	'91. 2.12							○	○
DT125R	3FW	3FW	124	56.4×50.0	'91. 6. 8							○	○
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'91. 9. 6							○	○
XT225	1KH	1KH	223	70.0×58.0	'92. 7.16							○	○
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'92.11. 1							○	○
TT250R	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'93. 5.24							○	○
XT225W	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'93. 8.11							○	○

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TZ250	3LC	3LC	249	56.0×50.7	'89. 1.21						○		
TZ250	3TC	3TC	249	56.0×50.7	'90. 1. 3						○		
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'90. 2. 7						○		
TZ250	3YT	4DP	249	56.0×50.7	'91. 1.20						○		
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92. 1.20						○		
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'92. 4. 1	○							
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92.12.24						○		

●スポーツ専用市販車(モトクロスラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
YZ80	3ML	3MC	79.1	47.0×45.6	'89.10. 4							○	
YZ250	3XK	3XK	249	68.0×68.8	'90. 9.20							○	
YZ125	3XJ	3XJ	124	56.0×50.7	'90. 9.20							○	
YZ125	4DB	4DB	124	56.0×50.7	'91. 9.20							○	
YZ250	4DA	4DA	249	68.0×68.8	'92. 9.20							○	
WR250Z	4DC	4DC	249	68.0×68.8	'92. 2.14							○	○
YZ250	4EW	4EW	249	68.0×68.8	'92. 9.27							○	
YZ80	4GT	4GT	79	46.0×47.8	'92.11.13							○	
YZ125	4EX	4EX	124	56.0×50.7	'92.11.13							○	
YZ250	4JX	4JX	249	68.0×68.8	'93. 9. 7							○	
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'93.10.10							○	
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'93.11.13							○	
YZ125	4JY	4JY	124	54.0×54.5	'93.11. 4							○	

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TY250R	4AJ		246	68.0×68.0	'90.11. 6							○	

■スズキ株式会社 〒432 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
GSX-R250R	GJ73A	J704	248	49.0×33.0	'89. 2. 8	○							
GSX-R250R SP	GJ73A	J704	248	49.0×33.0	'89. 2. 8	○							
RGV250I	VJ21A	J205	249.2	56.0×50.6	'89. 2. 8	○	○				○		
RGV250I SP	VJ21A	J205	249.2	56.0×50.6	'89. 2. 8	○	○				○		
GSX400R	GK73A	K707	398	56.0×40.4	'89. 2. 8	○	○						
GSX400R SP	GK73A	K707	398	56.0×40.4	'89. 2. 8	○	○						
GSX-R750R	GR79C	R715	749	70.0×48.7	'89. 5.10			○	○				
RGV250I SP	VJ22A	J206	249.2	56.0×50.6	'90. 2. 6	○	○				○		
GSX-R400R	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'90. 3. 6	○	○						
GSX-R400R SP	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'90. 3. 6	○	○						
GSX-R750	GR7AC	K719	70.0	70.0×48.7	'90. 3. 7			○	○				
RGV250I	VJ22A	J206	279.2	56.0×50.6	'90. 4. 6	○	○				○		
RGV250I SP II (M)	VJ22A	J206	279.2	56.0×50.6	'90. 4. 6	○	○				○		
GSX-R400 SP(M)	GK76A	K709	398	56.0×50.6	'91. 2.20	○	○						
GSX-R750	GR7AC	R719	749	56.0×40.4	'91. 2.20			○	○				
RGV250I	VJ22A	J206	249	70.0×48.7	'91. 2.20	○	○						
RGV250I SP	VJ22A	J206	249	56.0×50.6	'91. 2.20	○							
ウルフ125	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○							
RG125I	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○							
グース250	NJ46A	J422	249	73.0×59.6	'92. 3.28	○							
グース350	NK42A	K406	348	79.0×71.2	'92. 3. 9	○							
GSX-R750	GR7BC	R722	749.68	70.0×48.7	'92. 3.22	○	○	○					
GSX-R400RSP	GK76A	K709	397.820	56.0×40.4	'93. 3.29	○	○						

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	#7Xストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TS125R	SF15A	F115	124	56.0×56.6	'89. 5.10							○	○
DR250SH	SJ44A		249	73.0×59.6	'90.10. 4							○	○
DR250S	SJ44A		249	73.0×59.6	'90.10. 4							○	○
RA125-2	SJ13A	F105	124	56.0×50.6	'86.11.23							○	○
RA250-2	SJ11C	J105	249	70.0×64.8	'86.11.23							○	○
TS200R	SH12A	H102	195	66.0×57.0	'91. 4.11							○	○
RMX250S	SJ13A	J113	249.6	67.0×70.8	'92. 7.28							○	○
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92.10.10							○	○

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
RGV250 ¹ SF	EJ2RR	J206	249.2	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○			○			
RGV250 ¹ F3	VJ2ZR	J206		56.0×50.6	'90. 3. 6					○			

●スポーツ専用市販車(モトクロス車)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
RMX250	RJ1A	J111	249.6	67.4×70.8	'89. 5. 10						○		○
RM80XM	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'90. 7. 12						○		
RM125M	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'90. 7. 12						○		
RM250M	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'90. 8. 10						○		
DR350L	DK41A	K404	349	79.0×71.2	'90.12. 6						○		
RM80XN	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'91. 8. 13						○		
RM125N	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'91. 8. 13						○		
RM250N	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'91. 8. 13						○		
RM80	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'92. 7. 15						○		
RM125	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'92. 7. 25						○		
RM250	RJ16A	J110	249.6	67.0×70.8	'92. 7. 15						○		
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92. 7. 28						○		○
RM250R	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'93. 8. 27						○		
RM125R	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'93. 8. 27						○		
RM80XR	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'93. 8. 27						○		
DR350R	JS1DK41A	K404	349	79.0×71.2	'93. 8. 30						○		○

■川崎重工業株式会社 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-1451

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
ZXR750	ZXR750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'89. 1. 21		○	○					
ZXR250	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'89. 3. 15	○	○						
ZXR250R	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'89. 3. 15	○	○						
ZXR400	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'89. 3. 15								
ZXR400R	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'89. 3. 15								
KR-1S	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'89. 4. 13	○	○			○			
KR-1R	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'89. 4. 13	○	○			○			
ZXR250	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'90. 2. 7	○	○						
ZXR250R	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'90. 2. 7	○	○						
ZXR400	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'90. 2. 7	○	○						
ZXR400R	ZX400H	ZX400HE	398	57.0×39.0	'90. 2. 7	○	○						
ZXR750	ZX750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'90. 2. 7		○	○					
ZEPHYR	ZR750C	ZR750CE	738	66.0×54.0	'90. 9. 20	○	○						
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91. 3. 5	○	○						
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91. 3. 10	○	○						
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91. 4. 5	○	○						
ZXR250R	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91. 4. 5	○	○						
ZXR750R	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91. 4. 5	○	○	○					
ZEPHYR	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'91. 4. 11	○	○						
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91. 4. 20			○	○				
XANTHUS	ZR400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'92.10. 4								
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93. 4. 1	○	○						
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93. 4. 1	○	○						
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93. 4. 1	○	○						
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'93. 4. 15	○	○						
XANTHUS	ZX400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93. 2. 23	○	○						
BALIUS	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93. 6. 27	○	○						
BALIUS	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93. 6. 27	○	○						
ZEPHYR	ZR400C	ZR400AE	399	55.0×42.0	'93. 6. 27	○	○						

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KDX200SR	DX200G	DX200GE	198	66.0×58.0	'89. 1. 20						○		○
KDX200SR	DX200G	DX200GE	198	66.0×58.0	'90. 5. 3						○		○
KSR-I	MX050B		49	39.0×41.6	'90. 5. 3						○		○
KSR-II	MX080B		79	47.0×45.8	'90. 5. 3						○		○
KDX125SR	DX125A	DX125AE	124	56.0×50.6	'91. 3. 10						○		○
KDX250SR	DX250F	DX250FE	249	67.4×70.0	'91. 4. 5						○		○
KLE250 ANHELO	LE250A	EX250AE	248	62.0×41.2	'93. 6. 27						○		○
KLX250SR	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'93. 6. 27						○		○

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KDX200R	DX200G	DX200	198	66.0×58.0	'89.1.21						○		○
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'89.10.4						○		
KX80	KX080M	KX080FE	79	47.0×45.8	'89.10.4						○		
KX80-II	KX080P	KX080FE	79	47.0×45.8	'89.10.4						○		
KX125	KX125H	KX125HE	124	56.0×50.6	'89.10.4						○		
KDX200R	DX200G	KX250HE	198	66.0×58.0	'90.2.7						○		○
KX250	KX250H	KX250HE	249	67.4×70.0	'90.9.20						○		
KX125	KX125H	KX125HE	124	67.4×70.0	'90.9.20						○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'90.9.20						○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'90.9.20						○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'90.9.20						○		
KDX250R	DX250D	DX250DE	249	67.4×70.0	'91.3.5						○		○
KX125	KX125J	KX125JE	124	54.0×54.5	'91.9.27						○		
KX250	KX250J	KX250JE	249	66.4×72.0	'91.9.27						○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'91.10.3						○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'91.10.3						○		
KX250	KX250J	KX250JE	249	66.4×72.0	'92.9.4						○		
KX125	KX125J	KX125JE	124	54.0×45.5	'92.9.4						○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4						○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4						○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'92.9.4						○		
KX250	KX250K	KX250KE	249	66.4×72.0	'93.8.27						○		
KX125	KX125K	KX125KE	124	54.0×54.5	'93.8.27						○		
KLX250R	LX250D	LX250DE	249	72.0×61.2	'93.5.27						○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27						○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27						○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'93.8.27						○		

■旺文社バシフィック株 〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC 245	FM363	FM363	212	69.0×56.5	'89.5.11							○	
FANTIC 305	FM364	FM364	249.4	75.0×58.0	'89.5.11							○	
FANTIC 307	FM364	FM364	249.4	75.0×58.0	'90.3.6							○	
FANTIC 247	FM363	FM363	212	69.0×56.5	'90.3.6							○	
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91.7.4							○	
FANTIC 309	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91.7.4							○	
FANTIC 249	363	FM363	212	69.0×56.5	'91.7.4							○	

■株ファンティックジャパン 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町長柄512-1 ☎0468-76-2677

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-ROO	361	FM361	123.7	52.8×56.5	'92.4.3							○	
FANTIC K-ROO	363	FM363	212	69.0×56.5	'92.4.3							○	
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'92.4.3							○	
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'93.4.23							○	

■株村山モーターズ 〒151 東京都渋谷区笹塚2-7-8 ☎03-3378-0181

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
DUCATI	ZDM400R	ZDM400R	398	70.5×51.0	'90.5.3	○	○						
DUCATI400SSジュニア	ZDM400SS	ZDM400L2	398	70.5×51.0	'90.5.3	○	○						
DUCATI906SS	ZDM906SC	ZDM906A2C	904	92.0×68.0	'90.5.3			○					
DUCATI906/バス	ZDM906PC	ZDM906W2C	904	92.0×68.0	'90.5.3			○					
DUCATI851SP	ZDM888S	ZDM888W4	888	94.0×64.0	'91.7.4			○					

■株カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
Bimota	YB7	Y-B7	399	56.0×40.5	'89.2.17	○	○						
Bimota YB4corsa	YB4E1		749	68.0×51.8	'89.5.13	○	○						

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
フサベルMC501	YU7FE5010L		502	92.0×75.5	'90. 9. 7						○		

■株式会社 ニシヤマ 〒144 東京都大田区大森北3-13-2 ☎03-3766-4320

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KTM125MX	502		124	54.0×54.0	'89. 2.25						○		
KTM250MX	545		246.9	67.5×69.0	'89. 2.25						○		

■株式会社 大沢商会 〒108 東京都港区芝浦4-2-8 ☎03-3455-0125

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber240	ED-DGM	24GSLC	238.0	70.5×61.0	'89. 2.25							○	
Aprilia TXR250			238.2	70.5×61.0	'89. 2.25							○	
Aprilia CLIMBER240	ED-DGM325MOM		238	70.5×61.0	'90. 4. 6							○	
Aprilia CLIMBER300	ED-DGM325MOM		276.6	76.0×61.0	'90. 4. 6							○	

●市販レーサー(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber300	ED-DGM	24GSLC	276.6	76.0×61.0	'89. 2.25							○	

■株式会社 ボスコ・モト 〒562 大阪府箕面市外院3-1-6 ☎0727-29-3365

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber240		ROTA244	238.2	70.5×61.0	'91. 1.31							○	
Aprilia climber300		ROTA244	276.6	76.0×61.0	'91. 1.31							○	
アプリーリア クライマー280	HE型	ROTA244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3							○	
アプリーリア クライマー240	HE型	ROTA244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3							○	
アプリーリア クライマー240	HE型	ROTA244	238.2	70.5×61.0	'93. 3.23							○	
アプリーリア クライマー280	HE型	ROTA244	276.6	76.0×61.0	'93. 3.23							○	

■株式会社 モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
MORIWAKI MH80R	MH80RF	HED4E	79.4	46.0×47.8	'92. 2.25						○		

■株式会社 レイズ 〒577 大阪府東大阪市長田西5-80 ☎06-746-1010

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
BETA TR34 CAMPIONATO	BETA B4	BETA6300	239.3	72.8×57.5	'89. 5.10							○	
BETA TR-35 REV:RSE	BETA B3	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'90. 3. 7							○	
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.3	72.8×57.5	'90. 3. 6							○	
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 3. 4							○	
BETA SYNT240	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 8. 7							○	
BETA ZERO125	BETA B1	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'92. 8. 7							○	
BETA Super Trial50	BETA T3	BETA4M	49.86	40.0×39.7	'92. 8. 7							○	
BETA SYNT240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23							○	
BETA ZERO240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23							○	
BETA ZERO260	B4	6300	260.7	76.0×57.5	'93. 3.23							○	

■株式会社 亜路欧 〒154 東京都世田谷区太子堂2-1-3 ☎03-3419-6053

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
GAS-GAS			238.9	71.0×60.0	'90. 3. 7							○	
GAS-GAS	VTR GG		237.5	71.0×60.0	'90.11. 2							○	
GAS-GAS DELTA	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'91. 9. 6							○	
GAS-GAS TRIAL125AG	VTR GC		124.8	56.0×50.0	'92. 4. 3							○	
GAS-GAS CONTACTGT-25	VTRG-G		237.9	71.0×60.0	'92. 5.10							○	
GAS-GAS CONTACTGT12	VTRG-G		123.2	56.0×50.0	'92.11. 6							○	
GAS-GAS CONTACTGT16	VTRG-G		141.4	60.0×50.0	'92.11. 6							○	
GAS-GAS CONTACT T-25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'93. 3.23							○	

■株式会社 サイクルワールド 〒673 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
MONTESA COTA-311	VTND02ACMM		237	71.0×60.0	'92. 7. 2							○	

MFJ公認部品

●株菅生RC・SUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TX	FZR400R	'89. 1.27	○					
FZR400Rフロントフォークキット	2TX	FZR400R	'89. 1.27	○					
FZR400Rクロスミッションキット	2TK	FZR400R	'89. 1.27	○					
FZR400Rクロスミッションキット	2TK-RM	FZR400R	'89. 2.14	○					
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TK-RS	FZR400R	'89. 2.14	○					
FZR400Rフロントフォークキット	2TK-FF	FZR400R	'89. 2.14	○					
TZ250ミッションレシオ変更キット	3YL-AD	TZ250	'91. 3. 5			○			
FZR750Rクロスミッション	3FV-RM	FZR750R	'92. 4. 3	○					
YZF750SPフロントフォークセット	4FN-70-FF	YZF750SP	'93. 4.23	○					
YZF750SPクロスミッションASSY	4FN-00-SCM	YZF750SP	'93. 4.23	○					
FZR400RRSPフロントフォークセット	3TJ-70-FF	FZR400RRSP	'93. 4.23	○					

●株エムシー・インターナショナル 〒553 大阪府大阪市福島区玉川2-7-4 ☎06-448-0234

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
ホワイトパワーフロントフォーク(倒立)	3612SA/VAP	GP各種	'90. 8. 7				○		
ホワイトパワーリアショック	3548RC/MA	GP各種	'90. 8. 7				○		
ホワイトパワーリザーバタンク別体リアショック	3612SA/CC	GP各種	'91. 3.31				○		
ホワイトパワーリザーバタンク付リアショック	4681SA/VAP	モトクロス用	'91. 3.31					○	
ホワイトパワーリザーバタンク付リアショック	4681SA/CC	GP各種	'91. 3.31				○		
ホワイトパワーフロントフォーク(倒立)	4054RC/MA	GP各種	'91. 3.31				○		

●株オーエックスレーシング 〒133 東京都江戸川区北橋崎2-97 ☎03-3679-4266

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
TZR125φ30キャブレター	YC-1011	TZR125	'92. 4. 1	○					

●株オートリメッサ 〒431-02 静岡県浜松市篠原町21339 ☎0534-48-9851

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
リヤショックアブソーバーASSY	5XR63R	GSX-R400R	'89. 2.14	○					
フロントフォークASSY	5XR63F	GSX-R400R	'89. 2.14	○					
リヤショックユニット	VJ22	RGV250† GSX-R400R	'90. .	○					
フロントフォーク	VJ22	RGV250† GSX-R400R	'90. .	○					
トランスミッション	17E	GSX-R750WN	'92. 4.10	○					
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750WN	'92. 4.10	○					
フロントフォークASSY	17E50	GSX-R750W	'92. 6.12	○					

●株カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
オーリンズ・倒立フロントフォーク	USD700FF	GP、SS各車	'89. 1.20	○			○		
オーリンズ・リヤサスペンション	HO-0060	'90RS125R	'90. 5. 3				○		
オーリンズ・リヤサスペンション	HO-0070	'90RS250R	'90. 5. 3				○		
オーリンズ・リヤサスペンション	YA-0070	'90TZ250R	'90. 5. 3				○		
リヤショックアブソーバー	YA-9510	'90TY250	'90. 6. 8						○
オーリンズショックアブソーバー	HO-8063	VFR750R	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	KA-0490	ZXR750	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	KA-2070	ZXR750	'92. 6. 5	○					
オーリンズショックアブソーバー	SU-0031	GSX-R750	'92. 6.12	○					
MX用フロントフォーク	FG3000	※Y-S-K&社、125cc、250ccモトクロス用	'93. 4.23					○	
オーリンズショックアブソーバー	YA2430	YZF750	'93. 5.27	○					
オーリンズショックアブソーバー	YA8283	FZR400RR	'93. 5.27	○					
オーリンズショックアブソーバー	KA3040	ZXR400	'93. 5.27	○					
オーリンズショックアブソーバー	HO3250	CR250	'93. 5.27					○	
オーリンズショックアブソーバー	YA3250	YZ250	'93. 5.27					○	
オーリンズショックアブソーバー	SU3250	RM250	'93. 5.27					○	
オーリンズショックアブソーバー	KA3250	KX250	'93. 5.27					○	

●株カワサキオートバイ販売株 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
ZX-4用フロントフォークキット	657FF1	ZX-4	'89. 1.27	○					
ZX-4用リヤショックアブソーバーキット	675RC1	ZX-4	'89. 1.27	○					
ZX-4用クロスミッションギヤセット	ZX400H	ZX-4	'89. 2.14	○					
ZX-4用フロントフォークキット	657FF2	ZX-4	'89. 2.14	○					
KR-1用クロスミッションギヤセット	KR-1	KR-1	'89. 3. 7	○	○				
ZXR400、ZXR400R用キャブレターASSY	ZXR400L	ZXR400R	'89. 5. 9	○	○				
ZXR400R用トランスミッション	ZXR400L	ZXR400R	'91. 3. 5	○	○				
ZXR400R用リヤショックダンパーASSY	Z32RC-1	ZXR400R	'92. 1. 5	○					
ZXR750R用トランスミッションセット	ZXR750R	ZXR750R	'92. 1. 5	○					
ZXR750R SP仕様(輸出用)トランスミッションセット(A)	'91ZXR750R '91~'93ZXR750		'93. 3.15	○					
ZXR750-ZXR750R用トランスミッションセット(A-1)	'91ZXR750R '91~'93ZXR750		'93. 3.15	○					
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B)	13330-1004	'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○					
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-1)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○					
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-2)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○					

●株クルーズ 〒981-15 宮城県角田市市町152番地 ☎0224-62-0671

部 品 名	型 式	適用車種	公認発動日	SP	SS	FI	GP	MX	TR
キャブレター	PJ38S PAX	RS125、RS250R、TZ250	'92. 2. 4				○		

●**株式会社 横浜精機製作所** 〒211 神奈川県川崎市中原区市坪386 ☎044-411-6381

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
4 サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR28, 31, 32φ	ロードレース用	'90. 3. 7	○	○				
4 サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR35, 37, 39φ	ロードレース用	'90. 5. 3		○				

●**株式会社 日本ビート工業** 〒591 大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722-57-7600

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
BEETフルバワーカムキット	SS-A	ZXR400	'92. 6. 5		○				

●**株式会社 バムレーシング** 〒110 東京都台東区東4-13-23 ☎03-3833-5232

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
2・4 サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK38S	ロードレース用	'90. 7. 12				○		
2・4 サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PWK39S	ロードレース用	'90. 7. 12				○		
FLATCR 4 連小型32φ(ホンダNC25用インシュレータセット)	FR-9(+P)CBR400RR(インシュレータ)	CBR400RR	'90. 4. 3	○	○				
FLATCR 4 連小型32φ(ホンダVFR400R用インシュレータセット)	FR-9(+P)FORI(インシュレータ)	VFR400R	'92. 5. 7	○	○				
'91・'92RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-0A	RS125R	'93. 4. 23					○	
'93RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-1A	RS125R	'93. 4. 23					○	

●**株式会社 ホンダレーシング** 〒352 埼玉県新座市野火止8-14-4 ☎0484-77-9538

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'89. 1. 27		○		○		
NSR250R-Lフロントクッション	NH3	NSR250R	'89. 1. 27		○		○		
NSR250Rトランスミッションキット	NH3	NSR250R	'89. 2. 14	○	○		○		
RS125RV, RS125Vシリンダー-COMP		RS125RV, RS125RVI	'89. 6. 13					○	
VFR400Rトランスミッション	NL1	VFR400R	'90. 2. 9	○	○				
VFR400Rリヤクッション	NL1	VFR400R	'90. 2. 9		○				
NSR250Rトランスミッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6	○	○		○		
NSR250Rフロントクッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6	○	○		○		
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'90. 3. 6	○	○		○		
VFR400Rトランスミッション	NL1	VFR400R, CBR400RR	'91. 2. 17	○	○				
NSR250Rトランスミッション	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○		○		
NSR250RシリンダーASSY	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○		○		
VFR750Rリヤクッション	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○		○		
VFR750Rトランスミッションセット	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○		○		
VFR750R R/LフロントフォークASSY	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○		○		
CBR400RRトランスミッションセット	NKB	CBR400RR	'92. 5. 7	○	○				
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-661	NSR250R	'92. 6. 5		○				
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-711	NSR250R	'92. 6. 5		○				

●**株式会社 ミクニ** 〒101 東京都千代田区外神田6-13-11 ☎03-3833-2736

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャブレター-キット	TM325S	GSXR400	'92. 8. 7	○	○				

●**株式会社 モリワキエンジニアリング** 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
'87NSR250R用リヤサスペンションキット	H07	NSR250R	'89. 4. 11		○				
CBR400R用リヤサスペンションキット	H05	CBR400R	'89. 4. 11		○				
'89RS250Rシリンダー-改	NZ250	RS250R	'89. 4. 11				○		
CBR400RR倒立フロントフォーク	MPT	CBR400RR	'90. 4. 13				○		
VFR400R倒立フロントフォーク	MPT	VFR400R	'90. 4. 13	○					
CBR400RRフロントフォークキット	H08F	CBR400RR	'92. 6. 5		○				
CBR400RRリヤサスペンションキット	H08R	CBR400RR	'92. 6. 5		○				

●**株式会社 ヤマハ発動機株** 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
TZ250オプシヨギヤ	4DP	TZ250	'92. 1. 20				○		
TZ250同軸ミッションギヤ, スプロケット	4DP	TZ250	'92. 1. 20				○		
TZ250同軸ミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3				○		
TZ250オプシヨギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3				○		
TZ125同軸ミッションギヤ		TZ125	'93. 11. 9				○		

●**株式会社 スズキ株** 〒432 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャブレター-アッ	BDST35(φ32)	GSX-R400R	'93. 2. 29	○	○				

●**株式会社 エス・アル・エス スガヤ** 〒130 墨田区本所3-3-7 ☎03-3625-7100

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
RG125F用トランスミッション	93M-SRS-125	RG125FN	'93. 4. 15	○					

MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用,M用=モトクロス用,TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用,R特選=ロードレース特選
形状/J=ジェットタイプ,F=フルフェイスタイプ

●昭栄化工(株)

〒110 東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03(5688)5185

名 称	取得規格	形状	公認年月
1F-SARRON	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.3.4
VJ-201	JIS-C・T用	F	'87.3.31
TJ-72	JIS-C・T用	J	'87.6.31
GX-2	SNELL JIS-C・R特選	J	'87.6.5
GX-2(FAVOR)	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.6.5
RFV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RF-TRITONE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-ROBERTS	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-LAWSON	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-GARDNER	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING	JIS-C・M用	J	'90.4.10
X-8	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
TSV	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
VF-X	JIS-C・M用	F	'93.1.27
X-8 SP	JIS-C・R特選用	F	'93.2.24
FX-AFREET	JIS-C・M用	F	'93.2.24
NEW SR-X7	JIS-C・TR,T用	J	'93.2.24
TR-2P	JIS-B・TR用	J	'93.2.24
FX-J	JIS-C・M用	F	'93.2.24
BL-J	JIS-B・TR,T用	J	'93.2.24
ES-J	JIS-B・TR用	F	'93.2.24
X-FOUR Light	JIS-C・R用	F	'93.4.28

●(株)アライヘルメット

〒333 埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825

名 称	取得規格	形状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIHR	JIS-C・R用,SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用,SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用,SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8
Super cLc RX-7RR	JIS-C・R特用	F	'93.1.27
OW	JIS-C・R,M用	F	'93.2.24

●東京シート(株)

〒351 埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎0484(612)1121

名 称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L-06)	JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7

RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7
Ami	JIS-B・TR,T用	J	'88.1.18
SEED-R22	JISC-R用	F	'88.1.18
SEED-R23	JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R98	JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R99	JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED	JISC-R用	F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS PA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)	JIS-C・R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)	JIS-C・R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)	JIS-C・M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)	SNELL R特選	F	'92.5.13
Rheos RC	JIS-C・R用	F	'93.6.20
ami L10	JIS-C・TR,T用	J	'93.7.28
ami J10	JIS-C・TR,T用	J	'93.7.28

●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9774

名 称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3

●(株)極東

〒157 東京都世田谷区粕谷1-8-23 ☎03(3484)3121

名 称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1	JIS-C・M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2	JIS-C・M用	F	'92.9.25

●大日本インキ化学工業(株)

〒103 東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03(3272)4511

名 称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP'87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(IONE)S50C		F	'81.1.18
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL JIS-C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS-C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS-C・R用	F	'89.7.20
DIC	JIS-C・R用	F	'89.11.7

●興和精機(株)

〒105 東京都港区芝1-13-17 ☎03(3453)6011

名	称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)		JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GS530)		JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)		JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GS530)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モータース

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名	称	取得規格	形状	公認年月
AGV(KR2000)		JIS-C・R用	F	'86.1.30

●ワールド通商(株)

〒100 東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03(3818)5451

名	称	取得規格	形状	公認年月
ポルシェ・デザイン(CP-4)		JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)		JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)		JIS-C・R用	F	'88.1.6

●(株)モトワールド

〒110 東京都台東区台東3-31-4

名	称	取得規格	形状	公認年月
ANSWER A-TECH-5			F	'88.8.4

●(株)谷尾商会

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA 3A/C		JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ

〒108 東京都港区芝浦1-6-38

名	称	取得規格	形状	公認年月
FJ(FJ-01)		JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)		JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II-インテグラ)		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノ工業(株)

〒141 東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03(3494)3371

名	称	取得規格	形状	公認年月
DELTA		JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA		JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE		JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX		JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)

〒106 東京都港区六本木7-3-17 ☎03(3478)2707

名	称	取得規格	形状	公認年月
VS-2		JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)		JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2		JIS-C・R用	F	'88.6.10

●(株)立花自動車用品

〒133 東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03(3653)6278

名	称	取得規格	形状	公認年月
カスタム ES-2(A型)		JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム(A型)		JIS-A・T用	J	'92.3.11
ライジン(A型)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24
ライジン(レザートップ)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24

●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022 岩手県大船渡市大船渡町字欠の向1-1 ☎0192(24)4104

名	称	取得規格	形状	公認年月
GEORAMA-TS		JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS		JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X		JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE		JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV			F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R		JIS-C・R用	F	'89.9.5

GFS		JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR		JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV		JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)		JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV(HJ1)		SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YOE)		JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)		JIS-C・M用	J	'92.7.8
STAIR		JIS-C・R用	F	'93.6.23

●(株)ジャパンプロダクト

〒133 東京都江戸川区上一色416-1 ☎03(3655)9055

名	称	取得規格	形状	公認年月
R120N R2-1		JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ

〒574 大阪府大阪市東中津市3-1-25 ☎0720(74)3268

名	称	取得規格	形状	公認年月
JT(ALS-1)		JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)		JIS-C・M用	F	'87.9.4

●旺文社パシフィック(株)

〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03(3266)6035

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA		JIS-C・T用	セリ	'86.7.26

●(株)大都

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MAG-0)		SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

〒530 大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06(364)4678

名	称	取得規格	形状	公認年月
MAC		JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

〒193 東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426(65)7843

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL MOTO5		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

●日栄プラスチック(株)

〒362 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048(723)0611

名	称	取得規格	形状	公認年月
DIC(DFX)		SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)		JIS-C・M用	F	'92.2.5
DIC(RT35-06)		JIS-C・R用	F	'92.7.8

●オーシーケー販売(株)

〒577 大阪府東大阪市御西ノ町60 ☎06(783)5906

名	称	取得規格	形状	公認年月
RS-1		JIS-C・R用	F	'91.6.6
RS-1R		JIS-C・R用	F	'92.9.25
EX-R/S-93G		JIS-C・R用	F	'93.6.23

●ヤマハ発動機(株)

〒438 静岡県静岡市新貝2500 ☎0538(37)4111

名	称	取得規格	形状	公認年月
YZ07		JIS-C・R用	F	'93.6.23

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03(3843)2000

名	称	型 式	公認年月
ON THE RACE G2		RP, PX, MM, RD, PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER		MDシリーズ(MD1, 2は未)	'90.10.23
KADOYA		OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2		RP-FS 0020	'91.4.10
ON THE RACE G2		G2/RP(G2/RP-125)	'92.3.11
ON THE RACE G2		G2/RP(G2/RP-07,08)	'92.3.11

●(株)クシタニ

〒435 静岡県浜松市三島町231 ☎0543(56)8611

名 称	型 式	登録月日
KUSHITANI	KR・KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.6
KUSHITANI	KI-101,102,103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KI-X(KI-107X)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-XM(KI-106)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-X	'93.3.24

●(株)ルック

〒125 東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03(3604)7800

名 称	型 式	登録月日
SR	SR-01-03	'90.10.23
RS	RS-I-V	'90.10.23
SS	SS-I-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラフナル3	オーダーメイド	'91.4.10
GPシリーズ		'92.11.28

●(株)RSタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	型 式	登録月日
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL001)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL012,015)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL011)	'92.10.14

●(株)アズ・スポーツ

〒158 東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03(3709)3750

名 称	型 式	登録月日
Justys!	J-001R~J-023R	'90.10.23
Justys! J-PRO-R	JPR-001R~JPR004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO~AS-007SO	'90.10.23

●株大部

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	型 式	登録月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5
THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6
THE BIKE	RC-335,RS-NB	'93.8.25

●(株)光輪モーターズ

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	型 式	登録月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RX1GP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-N1GP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATILS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5

●(有)セクレテール

〒152 東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03(3714)0533

名 称	型 式	登録月日
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11
セクレテール	RS-28,29,30,REP	'92.11.28
セクレテール	RF,RS,REP	'93.5.26

●株デグナー

〒607 京都府京都市山科区川田前畑町1-8 ☎075(501)7137

名 称	型 式	登録月日
デグナー	R-1	'90.10.23
デグナー	R-2	'90.10.23
デグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

〒721 広島県福山市港町2-16-22 ☎0849(23)2423

名 称	型 式	登録月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

〒150 東京都渋谷区神宮前6-31-21 ☎03(3409)9305

名 称	型 式	登録月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのゴウタ

〒300-35 茨城研結城郡八千代町佐野16 ☎0296(49)0626

名 称	型 式	登録月日
ゴウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

〒491 愛知県一宮市大和町西安賀字角出62 ☎0586(44)6451

名 称	型 式	登録月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC(Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

●東京ベルト(株)

〒181 東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422(45)2970

名 称	型 式	登録月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

〒271 千葉県松戸市松台50-17 ☎0473(64)6555

名 称	型 式	登録月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

〒110 東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3843)5606

名 称	型 式	登録月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

〒661 兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06(431)8066

名 称	型 式	登録月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A,02A,03A,05A,06A	'91.5.8
プラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエイ

〒660 兵庫県尼崎市大町1-1-15 ☎06(401)1011

名 称	型 式	登録月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

●(株)アダチ

〒462 愛知県名古屋市中区九軒町453 ☎052(902)4343

名 称	型 式	登録月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6
MOTOR KING MICHIKO KOSHINO	オーダーメイド	'92.3.11

●(株)アチーブ

〒340 埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489(24)7164

名 称	型 式	公認月日
レーシングスーツ YONEZO	オーダーメイド	'91.1.8

●(有)エフワン

〒114 東京都北区豊島4-14-2 ☎03(3912)5149

名 称	型 式	公認月日
エフワン	FR-2A, FR-G3A, F1, F2, F3, F4, G6	'91.5.8
F-ONE	FR-G2B	'91.2.6

●オリジナルレーザハウスジュベツ

〒434 静岡県浜北市小松4646-9 ☎053(586)6001

名 称	型 式	公認月日
JUBET	オーダーメイド	'91.4.10

●(株)木島

〒東京都足立区西新井4-16 ☎03(3897)2167

名 称	型 式	公認月日
KISS	オーダーメイド	'91.4.10
KISS RACING	プロトワン・プロトツー	'91.2.6

●(株)ギャロップ

〒161 東京都新宿区中落合4-2-12 ☎03(3952)8871

名 称	型 式	公認月日
FORZA	FO-404, 405, 406	'91.2.6
FORZA	オーダーメイド	'91.2.6
R-SPORTS	R-SPORTS02, 401, 402, 403	'91.5.8
FORZA	FO407	'91.10.16
STREET SLIDER	SSシリーズ SS-03	'92.9.5
TRX	X-Sシリーズ	'93.1.27
FORZA	FOシリーズ	'93.2.24
ワンズワン	GOシリーズ	'93.5.26
STREET SLIDER	SSシリーズ	'93.5.26

●(株)ホンダショップ

名 称	型 式	公認月日
KIKUTANI	AK	'93.2.24

●(有)後藤商店

〒182 東京都調布市千川町3-12-6 ☎03(3308)8135

名 称	型 式	公認月日
GOTO MD-Performance	MD-1-Ⅷ	'91.1.8
GOTO	オーダーメイド	'91.1.8
GOTO MD-Performance	MD-Y9, 10, 11	'93.4.28

●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9811

名 称	型 式	公認月日
Spazioレーシング	A.S-11	'91.2.6
KOMINE Spazio	オーダーメイド	'91.2.6
Spazio	S-14R	'91.5.8
Spazio	S-B, S-8, S-10, S-14	'91.6.5
Spazio	S-15	'92.1.9
Spazio	S-16	'92.11.28

●ジニアス

〒579 大阪府東大阪市客坊町4-14 ☎0729(87)01695

名 称	型 式	公認月日
ジニアス	SIR-G	'91.2.6

●ステーシレザ

〒133 東京都江戸川区北小岩7-14-10 ☎03(3672)4968

名 称	型 式	公認月日
PRO STAGE	レーシングワンピース	'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

〒532 大阪府大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル201号 ☎06(852)6582

名 称	型 式	公認月日
ダイネーゼ	T.MONZA, T.MISANO, T.SILVERSTONE	'91.8.7
ダイネーゼ	T.GRAPHICA, T.FRECCIA, T.CHILI TEAM	'91.8.7
ダイネーゼ	T.STORM, T.FOR, T.BORNI, T.SPUMATA	'92.5.13
ダイネーゼ	T.K.S	'93.4.28

●(株)谷尾商会

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名 称	型 式	公認月日
ラビーン	RVX-1-5	'91.1.18

●南海部品(株)

〒530 大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06(344)1581

名 称	型 式	公認月日
ナンカイ	SDシリーズ	'91.2.6
SRシリーズ	SRシリーズ	'91.2.8
ナンカイ	オーダーメイド	'91.6.5
ナンカイ	NR-011R平レプリカスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NR-50プロレーシングスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NRシリーズ	'91.1.8
ナンカイ	SR-16	'92.5.13
ナンカイ	SR-17	'92.5.13
ナンカイ	NR-51	'92.5.13
ナンカイ	SD8	'92.11.1
ナンカイ	NR-52	'92.11.1
ナンカイ	NR-51, SR-16, 17	'93.3.24

●(有)ハイブ

〒116 東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03(3803)6292

名 称	型 式	公認月日
ハイブ	オーダーメイド	'91.3.12

●バギー(株)

〒636-03 奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454(3)0177

名 称	型 式	公認月日
バギー、ベルベット BR	オーダーメイド	'91.4.10
バギー、ベルベット BR	A, AP, AR	'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110 東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3487)1480

名 称	型 式	公認月日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982 宮城県仙台市太白区郡山六田東25-1 ☎022(248)5315

名 称	型 式	公認月日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレーザ

〒502 岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582(33)5620

名 称	型 式	公認月日
フジタレーザ	オーダーメイド	'91.6.5

●ユニバース

〒183 東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423(60)6311

名 称	型 式	公認月日
STUFF U	SU1003, 5, 6, 7, STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC-1-001, RC-1-002	'91.6.5

●ブレンレザ

〒579 大阪府東大阪市中石切町2-4-22 ☎0729(88)2664

名 称	型 式	公認月日
ブレンレザ	オーダーメイド	'91.3.12

●(株)モータースポーツミスターヒロ

〒580 大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723(36)1580

名 称	型 式	公認月日
Mr. hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●アレス

〒340 埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489(31)4319

名 称	型 式	公認月日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎05383(2)1111

名	称	型	式	登録月日
YAMAHA	YL-Aシリーズ	YL-340,336,337,338		'91.2.6
Takai R		TR・TRL		'90.10.23
PRO SHOP TAKAI		オーダーメイド		
Takai R		TR TRL		'91.5.8

●ライディングコスチュームT&T

〒651-21 兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078(974)8682

名	称	型	式	登録月日
T&T		TS		'91.1.18

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒954-04 新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256(88)7441

名	称	型	式	登録月日
レーシングプロショップO.S.F.C		O.S.F.C		'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

〒452 愛知県名古屋市中区西区赤城町1 ☎052(502)7517

名	称	型	式	登録月日
OSR		YR-07		'90.11.17

●パパス

〒116 東京都荒川区南千住2-16-15 高畑ビル1F ☎03(3801)0438

名	称	型	式	登録月日
Papa's		オーダーメイド		'92.1.9

●(有)福富洋商会

〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298(42)8161

名	称	型	式	登録月日
SURE(シュア)		オーダーメイド		'92.1.9

●BCピロータ

〒193 東京都八王子市千代町3-4-21 ☎0426(46)9661

名	称	型	式	登録月日
BC,ピロータ		オーダーメイド		'92.1.9

●(株)ブランド

〒111 東京都台東区駒形1-10-9 村上ビル ☎03(3844)4135

名	称	型	式	登録月日
ハロスギア	レーシングスーツ	OP-1	オーダーメイド	'92.1.9

●レザーハウスA&M

〒277 千葉県柏市花野井1925 ☎0471(33)1664

名	称	型	式	登録月日
レザースーツA&M		オーダー		

●美津濃(株)

〒559 大阪府大阪市住之江区南港北1-12-35 ☎06(614)8124

名	称	型	式	登録月日
MIZUNO		オーダーメイド		'92.3.11

●WORK BOX KASAI

〒952 宮城県多賀城市笠神2-1-1 ☎022(366)6879

名	称	型	式	登録月日
[bulit]		オーダーメイド		'92.3.11

●ツカサブランニング

〒120 東京都足立区青井3-34-3 ☎03(3801)0438

名	称	型	式	登録月日
HELIO TROPE		HERIO RACING		'92.3.11

●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982 宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022(229)0490

名	称	型	式	登録月日
ITAレーシングスーツ		ITAオーダー		'92.3.11

●アトリエワン

〒485 愛知県小牧市外山長田64-1 ☎0468(71)3040

名	称	型	式	登録月日
A-ONE RACING		オーダーメイド		'92.7.8

MFJ公認タイヤ

●井上ゴム工業(株)

〒454 愛知県名古屋市中川区八家町3-28 ☎052(361)8661

タイヤ名	サイズ	登録月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'87.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	'91.2.17
NS-50R	2.75-184PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	'91.2.17
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	'91.2
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R18, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	'91.2.17
SPATOLA SPOIF RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H	'92.7.1
SPATOLA SPOIR RADIAL	150/60R17 66H, 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

●日本ミシュランタイヤ(株)

〒113 東京都文京区本郷7-2-1 ☎03(5684)3222

タイヤ名	サイズ	登録月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアルA59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58, 58Z)	'91.2.17
ラジアルM59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17 (60H, 60Z), 160/60R18, 150/70R17	'91.2.17
ハイスポートラジアルTX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	'91.2
ハイスポートラジアルTX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17 (60H, 60Z), 130/70R17, 150/70R17	'91.2.17
P2301	12/60R17	'91.2.17
P3104	15/61R17, 18/67R17	'91.2.17
P1201	12/60R17	'91.2.17
P3103	15/61R17, 18/67R17	'91.2.17
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'91.11.1
A59X	120/60R17 55Z	'92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 T/L	'92.5.1

●(株)阿部商会(株)

〒101 東京都千代田区神田美土代町3 ☎03(3233)2212

タイヤ名	サイズ	登録月日
ビレーードライアムタイヤ・MT73.グラトライアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

●(株)日本ダンロップ

〒651 兵庫県神戸市中央区筒井町1-1-1 ☎078(231)4141

タイヤ名	サイズ	登録月日
RC20	2.75-21 4PR	'86.11.23
	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/18R17(52H, 57H, 54H)	'91.2.17
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	'91.2.17
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18	'91.2.17
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18	'91.2.17
RIDEEN GPR-60F	110/70R175H, 120/60R175H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R176H, 160/60R176H, 140/60R186H, 150/60R186H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-175H, 110/70-175H, 100/90-1654H	'91.5.9
TT700GP	130/70-1762H, 140/70-1766H, 120/80-1761H, 130/70-1863H, 130/90-1667H	'91.5.9
100F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18 120/80-18, 140/70-18 150/70-17	'92.3.4
K375F	100/80-17	'92.3.4
K375FG	100/80-17	'92.3.4
K375	120/80-17	'92.3.4
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420チューブタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420チューブレス	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420GPチューブタイプ	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GPチューブレス	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GPチューブタイプ	4.00R18 (64M)	'92.12.15
K420GPチューブレス	4.00R18 (64M)	'92.12.15
MR777	150/60R17	'93.3.23
GRP50F	110/70R17 54H 120/60R17 55H 120/70R17 58H	'93.2.20
GRP50	140/60R17 63H 140/60R18 64H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'93.2.20

●(株)ブリヂストン

〒104 東京都中央区京橋1-10-1 ☎03(3567)0111

タイヤ名	サイズ	登録月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	'91.2.17
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	'91.2.17
BATTLAX BT-09SS	90/90R16, 90/80R17,	'91.2.17
BATTLAX BT-70FS	110/70R17, 120/60R17, 120/70R17, 130/60R17, 140/60R17, 140/60R18, 150/60R17, 150/60R18, 160/60R17, 170/60R17	'91.2.17
MF72	80/595R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	'91.2.17
ME76	105/575R17, 150/635R18, 155/620R17	'91.2.17
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17, 130/60ZR17	'91.6.7
BATTLAX BT-50R	170/60ZR17, 180/55ZR17, 160/60ZR18	'91.6.7
ME77	90/55R17	'91.6.1
ME782	105/585R17	'91.6.1
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16, 90/80-17 100/80-17	'92.3.20
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17, 100/90-18	'92.3.20
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17, 120/70R17 120/60R17	'92.3.20
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17 150/60R18	'92.3.20
BATTLAX BT-50 RADIAL SS-TYPE	120/70ZR17	'92.4.20
ME77	90/570R17	'92.6.10
ME77	105/585R17	'92.6.10
ME77	160/625R17	'92.6.20
ME77	150/635R18	'92.6.20
ME77	155/620R17	'93.7.1

●横浜ゴム(株)

〒105 東京都港区新橋5-36-11 ☎03(3432)7111

タイヤ名	サイズ	公認月日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18	'91. 2. 17
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	'91. 2. 17
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	'91. 2. 17
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	'91. 2. 17
GETTAR F007RR	110/70F175H, 120/60F175SH	'91. 6. 10

タイヤ名	サイズ	公認月日
GETTAR F007RR	140/60R176H, 150/60R186H	'91. 7. 1
GETTAR F007RR	150/60F176H, 160/60R176H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92. 7. 15
GETTAR F007RR	140/160R17 63H 150/160R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 7. 15
GETTAR F610 GETTAR R610	110/600R17, 120/605R17, 150/600R17, 105/580R17,	'93. 6. 15
GETTAR F007RR GETTAR R007RR	100/80-17 52S 120/80-17 61S	'93. 6. 10

MFJ公認車両〔スノーモバイル〕

部門	クラス	SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
排気量	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
モ デ イ フ ア イ ス ポ ー ツ	SV80(E) SV125E	CS340(E)	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP PZ480LT S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E	S540 EC540 XL540 INDY500(SP) INDY400 PROWER440 EX570SX EX570LT	EX570(E) EX570SP INDY650(RXL) FORMULA-MACHI EL-TIGRE WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT ←他S4・S3 S2クラス車両	

その他の部門別車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。

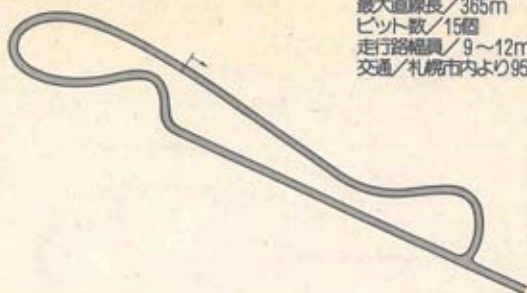
北海道

'94地方選手権
開催サーキット

▶HSP (北海道スピードパーク)

〒044 北海道虻田郡虻田町字下155
☎0136(23)3880

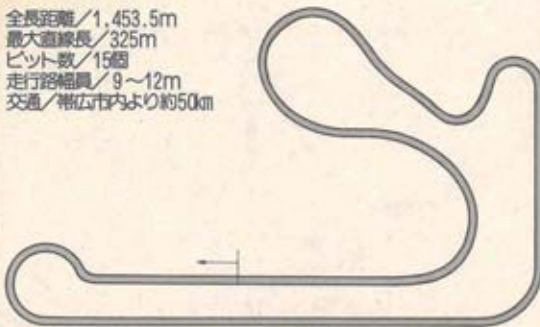
全長距離/1,389.44m
最大直線長/365m
ピット数/15個
走行路幅員/9~12m
交通/札幌市内より95km



▶サホロスポーツランド

〒081 北海道上川郡新得町字新内西2線
☎01566(4)5100

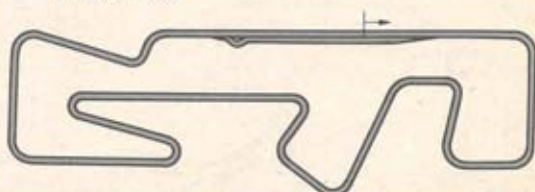
全長距離/1,453.5m
最大直線長/325m
ピット数/15個
走行路幅員/9~12m
交通/帯広市内より約50km



▶十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-16 北海道河東郡更別町字弘和477番地
☎0155(52)3910

全長距離/5,091.45m
最大直線長/1,010m
ピット数/36個
走行路幅員/13.5~15m
交通/帯広空港から20km
帯広駅から45km



MFJ 全国公認サーキット

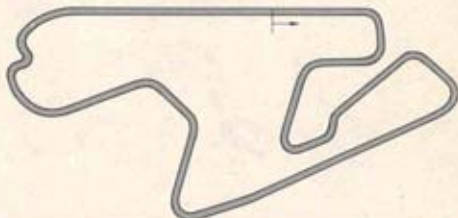
東北 中部
関東 中国
近畿

'94全日本選手権サーキット
及び地方選手権主要イベント
開催サーキット

▶スポーツランドSUGO

〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生
☎0224(83)3111

全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/30個
走行路幅員/10~12.5m
交通/東北自動車道・村田I.Cより約10km



▶仙台ハイランドレースウェイ

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12
☎022(395)2120



全長距離/4,029.60m
最大直線長/584.34m
ピット数/35個
走行路幅員/12~15m
交通/東北自動車道
仙台宮城I.Cより約20km

▶日本海間瀬サーキット

〒963-01 新潟県西蒲原郡岩室村地蔵610
☎0256(85)2201

全長距離/2,000m
ピット数/15個
走行路幅員/7~20m
交通/関越自動車道・新潟東I.Cより約30km



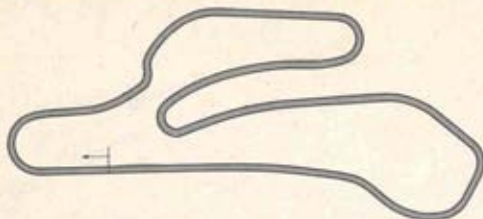
付
録

▶エビスサーキット

〒964 福島県二本松市沢松倉1

☎0243(24)2972

全長距離/2.061m
最大直線長/420m
ピット数/20個
走行路幅員/10~12m
交通/東北自動車道・二本松I.Cより約10km



▶那須エクスプローラーサーキット

〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上677

☎0287(63)7300

全長距離/1.156m
最大直線長/360m
ピット数/12個
走行路幅員/7.5~10m
交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

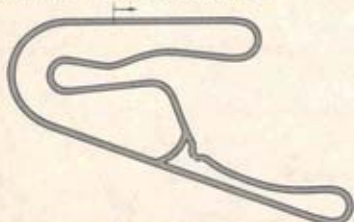


▶筑波サーキット

〒300-34 茨城県結城郡千代川村大字村岡

☎0296(44)3146

全長距離/2.070m
最大直線長/437.75m
ピット数/20個
走行路幅員/10~15m
交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km

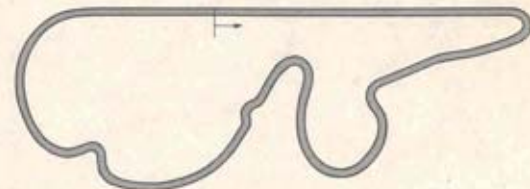


▶富士スピードウェイ (FISCO)

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神

☎0550(78)1234

全長距離/4.470m
最大直線長/1.600m
ピット数/40個
走行路幅員/12~15m
交通/東名高速道路・御殿場I.Cより約25km



MFJ 全国公認サーキット

▶鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市相生町7992

☎0593(78)1111

全長距離/5.864.03m
最大直線長/900m
ピット数/48個
走行路幅員/9.2~12m
交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.Cより約13km



▶鈴鹿サーキット南コース

全長距離/1.264m

最大直線長/190m

ピット数/20個



▶猪名川サーキット

〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1

☎

全長距離/1.021m
最大直線長/131.7m
ピット数/30個
走行路幅員/8~12m
交通/東道/西条山線から1.5km



▶T1サーキット英田

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210

☎08687(4)3311

全長距離/3.702m
ピット数/54個
交通/岡山県内より60km

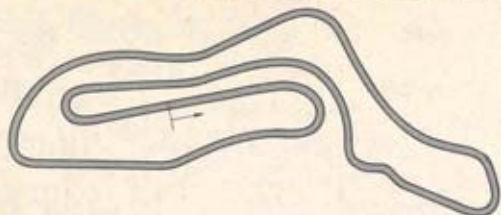


▶中山サーキット

〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751

☎0869(93)2333

全長距離/2,007m
最大直線長/250m
ピット数/56箇所
走行路幅員/10~18m
交通/山陽自動車道・和気I.Cより約800m



▶MINEサーキット

〒759-21 山口県美祿市西原保町

☎08375(8)0321

全長距離/3,238.98m
最大直線長/900m
ピット数/46箇所
走行路幅員/10~15m
交通/中務自動車道
小月I.Cより約18km、美祿I.Cより約18km



四 国

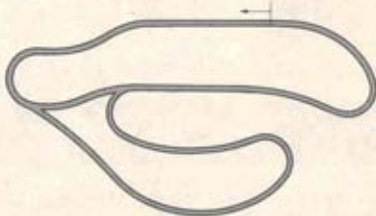
'94地方選手権 開催サーキット

▶阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319

☎0883(79)3705

全長距離/905m
最大直線長/200m
ピット数/20箇所
走行路幅員/8~15m
交通/徳島市内より約70km



MFJ 全国公認サーキット

九 州

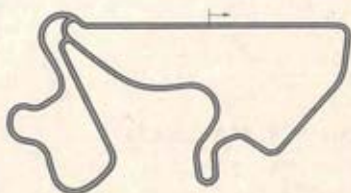
'94地方選手権 開催サーキット

▶大分阿蘇レーシングパーク (R.P)

〒877-03 大分県日田郡上津江村

☎0973(55)1111

全長距離/4,674m
最大直線長/902m
ピット数/46箇所
走行路幅員/12~15m
交通/九州自動車道・菊水I.Cより約49km

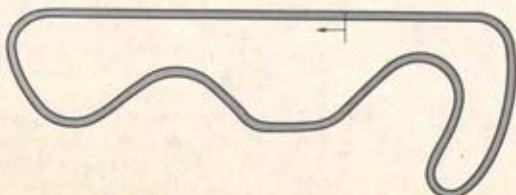


▶スポーツ&セーフティ ライディングフィールド・SPA直入

〒878-04 大分県直入郡直入町

☎0974(75)3191

全長距離/1,430m
最大直線長/420m
ピット数/24箇所



▶ホンダセーフティ& ライディング・プラザ九州

〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500

☎096(293)1370

全長距離/2,002m
最大直線長/350m
ピット数/30箇所
走行路幅員/9~12m
交通/九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km



RIDER'Sビッグ保障プラン

1 無配当新定期保険(災害入院特約・疾病入院・手術特約付)

万一の死亡はもとより、入院・手術まで保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×(入院日数-4日)) (1入院 120分程度)	災害で入院を開始し5日以上 の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気や災害で5日以上 の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に依り入院日額の50-150%)	病気や災害で所定の手術 を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気や災害で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	2,495円	2,180円
30才	2,650円	2,440円
40才	3,540円	3,005円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳ごみで異なります。

2 医療保険(無配当・ガン倍額支払特約付)

入院・手術・手術まで医療重点の幅広い保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×入院日数) (1入院 120分程度)	災害で5日以上入院・ 病院で継続して8日以上 入院された場合	日額 5,000円
	ガンと診断され継続して 8日以上入院された場合	日額 10,000円
手術給付金 (手術に依り入院日額の50-150%)	病気や災害で所定の手術 を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
看護給付金 (入院日額×看護日数) (1看護 120分程度)	病気や災害で入院中、 継続して8日以上所定の付 添看護を受けたとき	日額 5,000円
死亡保険金	病気や災害で死亡された場合	50万円
	災害・ガンで死亡された 場合	100万円

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	1,785円	1,735円
30才	1,980円	1,980円
40才	2,435円	2,375円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳ごみで異なります。

RIDERSビッグ保障プランは、ほとんどすべての不慮の事故・病気を安い保険料で幅広く保障いたします。

RIDER'Sビッグ・保障プラン Q&A

Q.1 趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいます。万一の場合の保障は?

この保険はロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビルなど、趣味で楽しむモーターサイクル・スポーツ中(練習中や予選・決勝も対象)はもちろ、一般的な交通事故・傷害/災害事故・仕事上の労災事故、また病気やガンまでオールマイティに保障いたします。

保障内容は、死亡の場合は【死亡保険金】、入院された場合は【入院給付金】、手術された場合は【手術給付金】をお支払いします。さらに医療保険には【看護給付金】もお支払いします。詳しくは資料・パンフレットをご参照ください。

※参考まで、一般の傷害保険(損害保険会社が扱う交通事故傷害保険・普通傷害保険など)は「危険なスポーツでの傷害事故は免責(適用除外)」と約款(契約上の取り決め)で定められていて全く保障されません。ご注意ください。

Q.2 通院や自宅療養のときは保障してくれますか?

残念ながら、通院や自宅療養は保障の対象ではありません。人間ドック等、検査を目的とする入院も保障の対象外です。このプランは、オールマイティ(広範囲な保障)と加入しやすい(割安な保険料)というニーズを優先し、最低限必要なものだけにスポットをあて、保険を設定いたしましたので、あしからず、まさにMFJメンバーの為の保険です。

Q.3 現在、ケガで通院しています。加入出来ますか?

残念ながら、契約できません。契約する時点が「健康な方」という条件がありますので、しっかりとケガを治したあとにお申込みください。なお、医師(はり・整骨医等)の指導や指示を受け服薬中の方、リハビリ中の方、障害などで定期検査を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に契約出来ません。また、ご職業・既往症などによっても契約が出来ない場合もありますので、お問合せください。

「聞えれば、憂いなし」ということわざがありますが、ぜひ保険もパーツの一つと考え、健康なときに加入する事をおすすめします。

Q.4 入院した場合の保障期間と給付金は?

1事故ないし1入院のケガ・病気に対する給付金のお支払い対象期間120日間。通算してそれぞれ700日間。つまりケガ・病気を合計して1400日間(10年の保険期間中)も保障します。なお、保険種類によって算出方法が異なります。

無配当新定期保険

お支払い給付金=5,000円×(入院日数-4日)

医療保険

お支払い給付金=5,000円×入院日数
(ただし、ケガは5日、病気8日以上継続入院です。)

Q.5 申込締切日と保障開始日? 保険料とその払込方法は?

締切日は毎月1日。保障の開始日は翌々月の1日。保険料は契約時の年齢別保険料が10年間(保険期間)にわたり適用となります。保険料のお支払いは第1回目から安心確実な銀行自動振替です。つまり、正式申込みから契約、保険料が振替・保障開始となるまで約3か月の手続期間を必要としますので計画的にお申込みください。なお、年齢が若ければ保険料が割安です。早急に資料を請求ください。

Q.6 ライセンスを継続しないその後の事。また保険の請求方法は?

このプランは、日本モーターサイクル協会に登録された皆様に、一般に契約するよりも割安な集団割引保険料、そして幅広い保障の保険をおとどける任意保険制度です。ライセンス未継続のOBの方もメンバーズ・サービスとして、そのまま自動継続(10年単位で自動更新)いたしますのでご安心ください。保険料も同様に口座自動振替と変わりありません。

なお、保険金・給付金の請求のほか、住所・銀行口座の変更、解約などの手続きは、MFJ保険事務局または最寄りの日本団体生命保険の本店・各営業所までご連絡ください。所定の手続きの方法をご案内します。

お問い合わせ・資料請求について

お問い合わせ・資料請求は下記のテレフォンセンターまたはおハガキでどうぞ。詳しい案内書・申込書をお送りいたします。受付時間AM9:00~PM5:00(月~金)

☎03(3865)8426 保険事務局直通

☎03(3407)6211 日本団体生命保険株大代表

※日本モーターサイクルスポーツ協会担当へお問い合わせ下さい。

- ① 書類の準備
- ② 住所フリガナ
- ③ 生年月日
- ④ 性別
- ⑤ 職業
- ⑥ 電話番号
- ⑦ MFJメンバーズ

41 資料はがき
〒103 東京都中央区
東日本橋二丁目六十七番
第二オカリビル7F
MFJ
保険事務局
保

- ①無配当新定期保険②医療保険のいずれか一方をお選びください。
- ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ご職業・既往症などによっては契約が出来ない場合があります。
- このプランは満期金や配当金がない掛け捨て型の生命保険です。

引受保険会社 日本団体生命保険



様式 16

M.F.J. 競技ライセンス申込書

(初めての方・個人用)

※クラブに入る方は必ずコードNoを記入する。

太枠内はすべて記入して下さい。

※過去又は現在MFJライセンスを持っている方は必ずライセンスNoを記入する。

MFJ-L/競技ライセンスNo		フリガナ (必ず記入)		クラブ名	※クラブに登録された方のライセンスは責任者に送られます。		
氏名		1. 男 2. 女		現住所 〒			
大正・昭和 年 月 日生		自宅 TELNo ()		都道府県		市区郡	
勤務先及び連絡先TELNo ()		※昼間連絡のとれる場所を記入して下さい。		様方			
住所変更		再発行(紛失)		(アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入のこと)			
クラブ員追加		ライセンス追加		住所コード			
継続(以前持っていた)		初めて					

○で囲む (初めてのの方は国内C級、国内B級からです)

いずれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。		種目/ライセンス区分	①ロードレース	国内C級	サーキット名 () サーキットライセンスNo ()	走行証明
①原付 ②自二 ③普通 ④講習会修了証			②国内C級 ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際A級	国内B級	公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押してもらって下さい。又は国内B級ライセンス講習会修了証を添付して下さい。	
運転免許証No		※走行券、カード不可 ※有効期限 1年				

○で囲む (初めてのの方はジュニア(9歳~15歳)、国内B級からです)

種目/ライセンス区分	②モトクロス	③トライアル	⑤スノーモビル	①ドラッグレース	②エンデューロ	⑥ビットクルー	Lライセンス
①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級	①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級	①ジュニア ③B級 ④A級	③B級 ④A級	③B級 ④A級	③エンデューロ	①ビットクルー (16歳以上であれば取得できます) (運転免許を受けている人は種類とNoを記入して下さい)	Lライセンス (9歳以上) ※運転免許又は講習会修了証必要。 (写真不要)

写真
①写真の裏に必ず名前を記入する事
②写真の枚数
MFJ 控貼る + 種目数

サイズ (30mm x 24mm)

※申し込み方法は申込書・料金・写真をMFJに現金書留で送って下さい。又はお近くのスポーツ協力店へ申し込んで下さい。

またMFJでは、郵便振替・MFJ-GCカードでの自動引き落としも受付けております。

(申込書・写真・郵便振替の場合は払込受領書を郵送して下さい)

※ライセンスの有効期間は交付された日から、当該ライセンスに表示された年の12月31日までです。

スポーツ協力店	(MFJ指定のスポーツ協力店のゴム印を押して下さい)	MFJスポーツ協力店	県支部	M. F. J.
	領収印	月 日 受付	月 日 受付	
申込料金	受領した金額	受領した金額		
※(申込者は記入しないでください)		円	円	円

ライセンス申込書送付先

財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒103 東京都中央区東日本橋 2-16-7 第2オカノビル7F

☎ 03-3865-8441 郵便振替口座 東京 0-250597

MFJ 記入欄	発行
---------	----

ライセンス料の割引期間は、'93年11月30日まで(消印有効)です。

※特別昇・降格申請手続きは、申請料3000円を添えて12月31日(必着)までに所属県に提出して下さい。

歴代チャンピオンリスト

ROAD RACE
TRIAL
SNOWMOBIL

MOTOCROSS
STADIUM TRIAL

ROAD RACE

●ロードレース部門('68~'93年)

年	部門	クラス	氏名
'68	アマチュア	90cc	角谷 新二
		125cc	鈴木 聖弘
		250cc	大船 俊夫
	ジュニア	251cc以上	中山 仁
		90cc	酒井 奎吾
		125cc	森井 一夫
セニア	250cc	茂谷 夫	
	251cc以上	栗木 哲哉	
	90cc	神谷 良明	
アマチュア	125cc	馬場 忠雄	
	250cc	和田 正宏	
	251cc以上	松永 衛	
'69	ジュニア	90cc	野田 正彦
		125cc	斎藤 肇
		250cc	中尾 康夫
	セニア	251cc以上	数井 隆
		90cc	角谷 新二
		125cc	高井 幾次郎
'70	ジュニア	250cc	尾崎 俊彦
		251cc以上	里村 祥二
		90cc	小田 豊
	セニア	125cc	隅谷 守男
		250cc	金谷 秀夫
		251cc以上	隅谷 守男
'71	ノービス	90cc	岩道 博
		125cc	柴谷 正昭
		250cc	小塚 法正
	ジュニア	251cc以上	鍋田 正昭
		90cc	江崎 正二
		125cc	青山 英治
セニア	250cc	糟野 雅治	
	251cc以上	只野 光男	
	90cc	近藤 英二	
'72	ノービス	125cc	小田 豊
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	河崎 裕之
	ジュニア	90cc	平井 裕次
		125cc	上田 富夫
		250cc	大橋 光明
セニア	251cc以上	松谷 秀夫	
	90cc	渡辺 富士夫	
	125cc	青木 辰巳	
'73	アマチュア	250cc	内田 陸
		251cc以上	加藤 昇平
		90cc	江崎 正
	ジュニア	125cc	遠藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	浅見 貞男
セニア	90cc	金谷 秀夫	
	125cc	杉本 泉	
	250cc	大船 俊夫	
'74	ノービス	251cc以上	金谷 秀夫
		90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂 公平
	ジュニア	250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
セニア	125cc	大本 十生	
	250cc	大本 十生	
	251cc以上	片山 毅	
'75	アマチュア	125cc	渡辺 富士夫
		250cc	阿部 孝夫
		251cc以上	内田 陸
	ジュニア	125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊
		251cc以上	小田 豊
セニア	90cc	岩道 博	
	125cc	柴谷 正昭	
	250cc	小塚 法正	
'76	ノービス	251cc以上	鍋田 正昭
		90cc	江崎 正二
		125cc	青山 英治
	ジュニア	250cc	糟野 雅治
		251cc以上	只野 光男
		90cc	近藤 英二
セニア	125cc	小田 豊	
	250cc	大船 俊夫	
	251cc以上	河崎 裕之	
'77	ノービス	90cc	平井 裕次
		125cc	上田 富夫
		250cc	大橋 光明
	ジュニア	251cc以上	松谷 秀夫
		90cc	渡辺 富士夫
		125cc	青木 辰巳
セニア	250cc	内田 陸	
	251cc以上	加藤 昇平	
	90cc	江崎 正	
'78	アマチュア	125cc	遠藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	浅見 貞男
	ジュニア	90cc	金谷 秀夫
		125cc	杉本 泉
		250cc	大船 俊夫
セニア	251cc以上	金谷 秀夫	
	90cc	菅原 伸夫	
	125cc	坂 公平	
'79	ノービス	250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
	ジュニア	125cc	大本 十生
		250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 毅
セニア	125cc	渡辺 富士夫	
	250cc	阿部 孝夫	
	251cc以上	内田 陸	
'80	ノービス	125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊
		251cc以上	小田 豊
	ジュニア	90cc	岩道 博
		125cc	柴谷 正昭
		250cc	小塚 法正
セニア	251cc以上	鍋田 正昭	
	90cc	江崎 正二	
	125cc	青山 英治	
'81	アマチュア	125cc	糟野 雅治
		250cc	只野 光男
		251cc以上	只野 光男
	ジュニア	90cc	近藤 英二
		125cc	小田 豊
		250cc	大船 俊夫
セニア	251cc以上	河崎 裕之	
	90cc	平井 裕次	
	125cc	上田 富夫	
'82	ノービス	250cc	大橋 光明
		251cc以上	松谷 秀夫
		90cc	渡辺 富士夫
	ジュニア	125cc	青木 辰巳
		250cc	内田 陸
		251cc以上	加藤 昇平
セニア	90cc	江崎 正	
	125cc	遠藤 恒雄	
	250cc	中尾 康夫	
'83	アマチュア	251cc以上	浅見 貞男
		90cc	金谷 秀夫
		125cc	杉本 泉
	ジュニア	250cc	大船 俊夫
		251cc以上	金谷 秀夫
		90cc	菅原 伸夫
セニア	125cc	坂 公平	
	250cc	上野 真一	
	251cc以上	富江 昭孝	
'84	ノービス	90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
		250cc	大本 十生
	ジュニア	251cc以上	片山 毅
		125cc	渡辺 富士夫
		250cc	阿部 孝夫
セニア	251cc以上	内田 陸	
	125cc	小田 豊	
	251cc以上	小田 豊	
'85	ノービス	90cc	岩道 博
		125cc	柴谷 正昭
		250cc	小塚 法正
	ジュニア	251cc以上	鍋田 正昭
		90cc	江崎 正二
		125cc	青山 英治
セニア	250cc	糟野 雅治	
	251cc以上	只野 光男	
	90cc	近藤 英二	
'86	アマチュア	125cc	小田 豊
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	河崎 裕之
	ジュニア	90cc	平井 裕次
		125cc	上田 富夫
		250cc	大橋 光明
セニア	251cc以上	松谷 秀夫	
	90cc	渡辺 富士夫	
	125cc	青木 辰巳	
'87	ノービス	250cc	内田 陸
		251cc以上	加藤 昇平
		90cc	江崎 正
	ジュニア	125cc	遠藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	浅見 貞男
セニア	90cc	金谷 秀夫	
	125cc	杉本 泉	
	250cc	大船 俊夫	
'88	アマチュア	251cc以上	金谷 秀夫
		90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂 公平
	ジュニア	250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
セニア	125cc	大本 十生	
	250cc	大本 十生	
	251cc以上	片山 毅	
'89	ノービス	125cc	渡辺 富士夫
		250cc	阿部 孝夫
		251cc以上	内田 陸
	ジュニア	125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊
		251cc以上	小田 豊
セニア	90cc	岩道 博	
	125cc	柴谷 正昭	
	250cc	小塚 法正	
'90	アマチュア	251cc以上	鍋田 正昭
		90cc	江崎 正二
		125cc	青山 英治
	ジュニア	250cc	糟野 雅治
		251cc以上	只野 光男
		90cc	近藤 英二
セニア	125cc	小田 豊	
	250cc	大船 俊夫	
	251cc以上	河崎 裕之	
'91	ノービス	90cc	平井 裕次
		125cc	上田 富夫
		250cc	大橋 光明
	ジュニア	251cc以上	松谷 秀夫
		90cc	渡辺 富士夫
		125cc	青木 辰巳
セニア	250cc	内田 陸	
	251cc以上	加藤 昇平	
	90cc	江崎 正	
'92	アマチュア	125cc	遠藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	浅見 貞男
	ジュニア	90cc	金谷 秀夫
		125cc	杉本 泉
		250cc	大船 俊夫
セニア	251cc以上	金谷 秀夫	
	90cc	菅原 伸夫	
	125cc	坂 公平	
'93	ノービス	250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
	ジュニア	125cc	大本 十生
		250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 毅
セニア	125cc	渡辺 富士夫	
	250cc	阿部 孝夫	
	251cc以上	内田 陸	

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'73	ノービス	90cc	杉野 順三
		125cc	松山 守
		250cc	橋本 久仁啓
	ジュニア	90cc	新田 茂
		125cc	坂 公平
		250cc	山崎 達
'74	ノービス	250cc	佐藤 順道
		350cc	佐藤 順道
		90cc	毛利 良一
	ジュニア	125cc	片山 敬清
		250cc	片山 敬清
		350cc	角谷 新二
'75	アマチュア	750cc	角谷 根本
		90cc	岡崎 隆史
		125cc	佐藤 健一
	ジュニア	250cc	酒井 浩
		350cc	酒井 浩
		90cc	合津 悟志
'76	ノービス	125cc	石井 康夫
		250cc	石井 康夫
		350cc	橋本 久仁啓
	ジュニア	90cc	鈴木 博
		125cc	岩道 博
		250cc	阪本 裕介
'77	アマチュア	750cc	青木 辰巳
		90cc	片橋 英治
		125cc	東金 博
	ジュニア	250cc	橋本 俊彦
		350cc	橋本 俊彦
		90cc	山口 勝雄
'78	ノービス	125cc	山梨 保克
		250cc	山梨 保克
		90cc	大島 孝治
	ジュニア	125cc	相沢 清
		250cc	相沢 清
		350cc	江崎 貞男
'79	アマチュア	750cc	江崎 貞男
		90cc	牧野 栄浩
		125cc	川上 恵司
	ジュニア	250cc	木下 恵司
		350cc	木下 恵司
		90cc	東金 博
'80	ノービス	125cc	水谷 一博
		250cc	水谷 一博
		350cc	飯田 浩之
	ジュニア	90cc	飯田 浩之
		125cc	飯田 浩之
		250cc	飯田 浩之
'81	アマチュア	750cc	飯田 浩之
		90cc	鈴木 利彦
		125cc	伊藤 裕之
	ジュニア	250cc	伊藤 裕之
		350cc	伊藤 裕之
		90cc	川上 浩久
'82	ノービス	125cc	山名 仁久
		250cc	山名 仁久
		350cc	山名 仁久
	ジュニア	90cc	平野 芳男
		125cc	飯田 裕之
		250cc	飯田 裕之
'83	アマチュア	750cc	飯田 裕之
		90cc	上田 幸也
		125cc	長谷川 嘉久
	ジュニア	250cc	伊藤 裕之
		350cc	伊藤 裕之
		90cc	上田 公次
'84	ノービス	125cc	上田 公次
		250cc	上田 公次
		350cc	上田 公次
	ジュニア	750cc	上田 公次
		90cc	富田 英志
		125cc	斎藤 光雄
'85	アマチュア	250cc	吉村 俊宏
		350cc	阿部 三吉
		90cc	阿部 三吉
	ジュニア	125cc	阿部 三吉
		250cc	阿部 三吉
		350cc	阿部 三吉
'86	ノービス	750cc	斎藤 三夫
		90cc	斎藤 三夫
		125cc	斎藤 三夫
	ジュニア	250cc	水谷 恵司
		350cc	水谷 恵司
		90cc	五百部 徳雄
'87	アマチュア	125cc	窪田 正二
		250cc	窪田 正二
		350cc	窪田 正二
	ジュニア	90cc	山本 隆一
		125cc	山本 隆一
		250cc	山本 隆一
'88	ノービス	250cc	堀内 清孝
		350cc	堀内 清孝
		90cc	田中 光男
	ジュニア	125cc	田中 光男
		250cc	田中 光男
		350cc	田中 光男
'89	アマチュア	750cc	平瀬 憲明
		90cc	鈴木 忠彦
		125cc	鈴木 忠彦
	ジュニア	250cc	鈴木 忠彦
		350cc	鈴木 忠彦
		90cc	鈴木 忠彦

● ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'81	国際 B 級	125cc	荒木 利春
		250cc	中山 博文
		350cc	竹村 浩生
国際 A 級	125cc	七尾 道夫	
	250cc	新井 亮一	
	500cc	一瀬 憲明	
'82	国際 B 級	125cc	藤田 雅樹
		250cc	三浦 昇
		250cc	荒木 利春
国際 A 級	125cc	小林 利春	
	250cc	一瀬 憲明	
	500cc	福田 照男	
'83	国際 B 級	125cc	宮城 光
		250cc	吉田 健一
		250cc	宮城 光
国際 A 級	125cc	藤田 雅樹	
	250cc	坂口 彰	
	500cc	栗谷 二郎	
'84	国際 B 級	125cc	齊藤 兼一
		250cc	山田 浩史
		250cc	山田 俊彦
国際 A 級	125cc	宮城 光	
	250cc	宮城 光	
	500cc	清水 雅弘	
'85	国際 B 級	125cc	八代 俊二
		250cc	江崎 正
		500cc	栗谷 二郎
国際 A 級	125cc	小林 大	
	250cc	小林 大	
	500cc	小林 大	
'86	ジュニア	125cc	神田 利明
		250cc	太田 浩一
		250cc	井上 賢博
国際 A 級	125cc	辻本 聡	
	250cc	山本 陽一	
	500cc	山本 久	
'87	ジュニア	125cc	町井 邦生
		250cc	町井 哲也
		250cc	町井 邦生
国際 A 級	125cc	山本 陽一	
	250cc	辻本 聡	
	500cc	吉田 健一	
'88	ジュニア	125cc	新垣 敏之
		250cc	佐藤 聡一郎
		250cc	嶋村 健太
国際 A 級	125cc	田口 益充	
	250cc	大島 久	
	500cc	清水 雅広	
'89	ジュニア	125cc	白井 直樹
		250cc	原田 哲也
		250cc	永井 康友
国際 A 級	125cc	塩森 俊修	
	250cc	宮崎 祥司	
	500cc	廣瀬 利彦	
国際 A 級	125cc	福島 聡	
	250cc	坂井 秀也	
	500cc	新井 和人	

● ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'90	国際 A 級	125cc	吉川 多留
		250cc	高橋 勝義
		250cc	渡辺 学
国際 A 級	125cc	仲内 正人	
	250cc	森兼 正明	
	500cc	茨木 正明	
'91	国際 A 級	125cc	鶴田 龍二
		250cc	森北 貴也
		500cc	小林 敏也
国際 A 級	125cc	岩橋 健一郎	
	250cc	坂田 和人	
	500cc	岡田 忠之	
'92	国際 A 級	125cc	伊藤 真一
		250cc	松戸 直樹
		500cc	阿部 敬
'93	国際 A 級	125cc	稲垣 幸則
		250cc	宇川 敬
		500cc	椎名 明
'94	国際 A 級	125cc	高橋 勝義
		250cc	高崎 祥司
		500cc	小野 真央
'95	国際 A 級	125cc	岡田 忠之
		250cc	岡田 忠之
		500cc	岡田 忠之
'96	国際 A 級	125cc	斎藤 明
		250cc	原田 哲也
		500cc	鈴木 昭一
'97	国際 A 級	125cc	加藤 義昌
		250cc	宇川 敬
		500cc	阿部 典史
'98	国際 A 級	125cc	北川 圭一
		250cc	北川 圭一
		500cc	北川 圭一

MOTO CROSS

●モトクロス部門('88~'93年)

年	部門	クラス	氏名
'88	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		250cc	山下 和男
'89	ジュニア	50cc	堀 勇
		90cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'90	ジュニア	50cc	堀 勇
		90cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'91	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'92	ジュニア	50cc	堀 勇
		90cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'93	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	山下 和男
		250cc	山下 和男

● MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'71	ジュニア	90cc	栗原 和年
		125cc	栗原 和年
		250cc	栗原 英夫
'72	ジュニア	90cc	中村 忠
		125cc	杉浦 種保
		250cc	竹沢 正治
'73	ジュニア	90cc	瀬尾 勝彦
		125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
'74	ジュニア	90cc	矢島金次郎
		125cc	上野 広一
		250cc	上野 広一
'75	ジュニア	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
'76	ジュニア	90cc	小田切信雄
		125cc	池田 勝
		250cc	池田 勝
'77	ジュニア	90cc	唐沢栄三郎
		125cc	唐沢栄三郎
		250cc	唐沢栄三郎
'78	ジュニア	90cc	鈴木 秀明
		125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'79	ジュニア	90cc	菅家 恵
		125cc	菅家 恵
		250cc	菅家 恵
'80	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'81	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'82	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'83	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'84	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'85	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'86	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'87	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'88	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'89	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎

付録

付録

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'80	国際B級	ジュニア	125cc 小野沢良一 250cc 小野沢良一
		国際A級	125cc 谷川竜太郎 250cc 庄司 覚
		国際A級	125cc 東福寺保雄 250cc 杉尾 良文
'81	国際B級	ジュニア	125cc 平山 勝一 250cc 茶谷 孝
		国際A級	125cc 岡部 篤史 250cc 岡部 篤史
		国際A級	125cc 東福寺保雄 250cc 福本 敏夫
'82	国際B級	ジュニア	125cc ロン・キング 250cc 馬場 善人
		国際A級	125cc 小橋 勝年 250cc 小橋 勝年
		国際A級	125cc 大関 昌典 250cc 東福寺保雄
'83	国際B級	ジュニア	125cc 天田 淳 250cc 天田 淳
		国際A級	125cc 茶谷 孝 250cc 庄司 覚
		国際A級	125cc 杉尾 良文 250cc 杉尾 良文
'84	国際B級	ジュニア	125cc 調所 伸一 250cc 小栗 伸幸
		国際A級	125cc 菅原 義広 250cc 鷗田 忍
		国際A級	125cc 東福寺保雄 250cc スタイアーマン
'85	国際B級	ジュニア	125cc 長沼 朝之 250cc 花田 茂樹
		国際A級	125cc 田淵 武 250cc 川崎 智之
		国際A級	125cc 岡部 篤史 250cc スタイアーマン
'86	国際B級	ジュニア	125cc 藤本 正勝 250cc 吉田 泉
		国際A級	125cc 花田 茂樹 250cc 花田 茂樹
		国際A級	125cc 伊田井佐夫 250cc 東福寺保雄
'87	国際B級	ジュニア	125cc 岸田 隆夫 250cc 橋本 慎二
		国際A級	125cc 吉田 和泉 250cc 石橋 博也
		国際A級	125cc 岡部 篤史 250cc 東福寺保雄
'88	国際B級	ジュニア	125cc 大塚 元和 250cc 大塚 元和
		国際A級	125cc 大塚 忠和 250cc 大塚 忠和
		国際A級	125cc 岡部 篤史 250cc 東福寺保雄
'89	国際B級	ジュニア	125cc 黒古 尚利 250cc 黒古 尚利
		国際A級	125cc 芹沢太麻樹 250cc 榎本 正剛
		国際A級	125cc 光安 鉄美 250cc 岡部 篤史
'90	国際B級	ジュニア	125cc 萩島 忠雄 250cc 萩島 忠雄
		国際A級	125cc 元木 龍幸 250cc 村橋健太郎
		国際A級	125cc 東福寺保雄 250cc 東福寺保雄
'91	国際B級	ジュニア	125cc 半場 謙吾 250cc 城田 賢一
		国際A級	125cc 萩島 忠雄 250cc 宮内 隆行

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'92	国際B級	国際B級	125cc 佐々木裕介 250cc 田沢 豊晃
		国際A級	125cc 講川 意次 250cc エディ・ウォレン
		国際A級	125cc 益留信太郎 250cc 益留信太郎
'93	国際B級	125cc ロン・ティチナー 250cc 佐々木裕介	

TRIAL

●トライアル部門('73~'93年)

年	部門	クラス	氏名
'73	選 抜	木 村 治 男	
'74	ノービス	伊 吹 健 次 志	
	ジュニア	藤 藤 博 志	
'75	ジュニア	蜂 巣 秀 男 博	
	エキスパート	加 藤 文 博	
'76	ジュニア	町 田 晴 男 郎	
	エキスパート	黒 山 一 郎	
'77	ジュニア	山 本 昌 也 志	
	エキスパート	近 藤 博 志	
'78	ジュニア	山 田 民 雄 志	
	エキスパート	近 藤 博 志	
'79	ジュニア	佐 藤 雄 一 志	
	国際A級	近 藤 博 志	
'80	ジュニア	広 丸 山 一 美 保	
	国際A級	丸 山 一 美 保	
'81	ジュニア	石 原 正 一 美 郎	
	国際A級	黒 山 一 郎	
'82	国際B級	高 田 雅 孝 也	
	国際A級	山 本 雅 昌 也	
'83	国際B級	和 田 弘 行 也	
	国際A級	山 本 雅 昌 也	
'84	国際B級	米 沢 満 夫 也	
	国際A級	山 本 裕 明 也	
'85	国際B級	泉 山 本 裕 明 也	
	国際A級	山 本 裕 明 也	
'86	国際B級	小 山 林 直 樹 也	
	国際A級	山 本 裕 明 也	
'87	国際B級	小 谷 謙 志 志	
	国際A級	伊 藤 敦 志 志	
'88	国際B級	成 伊 藤 敦 志 志	
	国際A級	成 伊 藤 敦 志 志	
'89	国際B級	宮 道 昌 浩 匠	
	国際A級	成 成 昌 浩 匠	
'90	国際B級	前 野 繁 志 志	
	国際A級	伊 藤 敦 志 志	
'91	国際B級	本 多 元 治 博	
	国際A級	中 川 義 博	
'92	国際B級	小 川 友 幸	
	国際A級	バスカル・クトリエ	
'93	国際B級	田 中 善 弘	
	国際A級	バスカル・クトリエ	

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門('91~'93年)

'91	国際A級	中 川 義 博
'92	国際A級	バスカル・クトリエ
'93	国際A級	バスカル・クトリエ

SNOW MOBIL

●スノーモービル部門('78~'93年)

'78	モデファイ340cc モデファイ440cc	円治 章 円治 章
'79	モデファイ340cc モデファイ440cc	高橋 和雄 古川 和雄
'81	モデファイオープン モデファイ540cc	須毛 信治 本田 勝義
	モデファイ340cc モデファイ300cc	佐々木善之 南雲 静夫
'82	モデファイオープン モデファイ540cc	高橋 和雄 高橋 博
	モデファイ340cc モデファイ300cc	佐野 啓八 古川 啓八
'83	モデファイオープン モデファイ540cc	藤本 正勝 中山 忠博
	モデファイ340cc モデファイ300cc	中山 忠博 佐野 啓八
'85	モデファイオープン モデファイ540cc	高橋 和雄 江口 享二
	モデファイ340cc	今野 孝
'86	モデファイオープン モデファイ540cc	熊谷 留夫 熊谷 亨一
	モデファイ340cc	江口 亨一
'87	モデファイオープン モデファイ540cc	松田勇五郎 米田 幸一
	モデファイ340cc	松田勇五郎
'88	モデファイオープン モデファイ540cc	遠藤 和也 江口 亨一
	モデファイ340cc	遠藤 和也
'89	モデファイオープン モデファイ540cc	熊谷 留夫 江口 亨二
	モデファイ340cc	遠藤 和也
'90	モデファイA級S1	江口 亨二
	モデファイA級S3	熊谷 留夫
	モデファイA級S4	江口 亨一
	モデファイB級S1	沼倉 照義
'91	モデファイB級S3	羽田野達也
	モデファイB級S4	梅沢 文雄
	モデファイA級S1	成田 正弘
	モデファイA級S3	江口 亨一
'92	モデファイA級S4	大野 勇
	モデファイB級S1	内野 令一
	モデファイB級S3	梅沢 康二
	モデファイB級S4	木村 明則
'93	モデファイA級S1	成田 正弘
	モデファイA級S3	上高 泰隆
	モデファイA級S4	高橋 晴彦
	モデファイB級S1	山内 康裕
'93	モデファイB級S3	又村 哲哉
	モデファイB級S4	八木橋光治
	モデファイA級S1	上高 泰隆
	モデファイA級S3	三好 一清
'93	モデファイA級S4	高橋 晴彦
	モデファイB級S1	千葉 賢一
	モデファイB級S3	千葉 賢一
	モデファイB級S4	泉沢 克美

戦闘力は実証済。

いつものバトルを制してきたという実績がある。数多くのライダーと関係してきたという信頼がある。コンペティションフィールドで得たノウハウを、リアルタイムでフィードバックし続ける、WAKO'Sのオイル。オイルの品質と性能は極限の中で磨く、というそのポリシーは、レーサーたちとのリアルな対話があつてこそ貫き通せるものであり、いまなお、WAKO'Sのオイルは現在進行形で、進化しているのである。



オンロードシリーズ・ラインナップ



- ①SG スプレー式シリコングリス
●3,000円/220ml
オイルシール等のシール部、水のかかる部分、高温部分など幅広い使用出来ます。
- ②10CHG チェーンガード
●1,500円/220ml
シールドチェーンに最適なフッ素樹脂入りチェーングリス。雨や高速走行でも飛散しません。
- ③SP-R スーパーブローレーシングブレーキフルード
●2,800円/500ml
タッチと動きを両立したニューコンセプトのブレーキフルード。公道での使用可。
- ④92CRV-R 適合車種2サイクルエンジンオイル
●2,200円/500ml
2CRV(1ℓ)をさらに進化させたニューオイル。パーツ自体の耐久性アップを図ります。
- ⑤FK-20 フォークオイル20
●1,600円/500ml
- ⑥FK-10 フォークオイル10
●2,800円/1ℓ
- ⑦FK-01 フォークオイル01
●1,700円/500ml
長時間の使用にも泡だちが少なく安定した性能を発揮。
- ⑧4CR [7.5W-40] 4サイクルエンジンオイル [15W-50] ●2,800円/1ℓ
レスポンスに優れたレース対応100%化学合成オイル。
- ⑨FC フィルタークリーナー
●1,800円/1ℓ
水洗いができる油性乳化剤タイプのフィルタークリーナー
- ⑩AF-A エアフィルターオイル
●1,600円/480ml
保管に便利なエアゾール形式。特殊タックキネ素(PIB)配合によりホコリをブロックします。



オフロードシリーズ・ラインナップ



熱きバトルの感動を 今年も――。

ライバルとの闘い、時間との闘い、そして自分との闘い――。
頂点を目指して疾走する姿と熾烈なレーシングシーンは、
いつ見てもダイナミックでスピーディだ。
私たちは幾度なく、繰り広げられる最高のバトルステージに身
を置き、熱きレーサーの想いと走りを応援していきたい。

走行ライセンスが とりやすくなりました

- ライセンス講習会は毎日開催します。
- ライセンスは取得日より1年間は有効。

■受付時間

AM8:30~9:00まで

■当日持参するもの

運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm
×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆又は
ボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、
ブーツ、2輪車(No付、レーサー共に可)
※20才未満の方については、所定の契約書に親権
者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

■費用

新規ライセンス発給料22,000円・共済費5,000円
・合計27,000円

■開催日

3月より12月までの間

■申込方法

必ず前日まで電話で予約して下さい。
仙台ハイランドレースウェイ
☎022-395-2120・2123

国内競技規則を わかりやすく解説

好評連載中

パドック御意見番 三井 晃の
これがレギュレーションだ!



「実際に車検でマシンを見てもらうまで通るか通らないか、自信がもてない」とライダー側から多くの意見がオフィシャルに対して出されています。レースの現場でお互いの誤解からトラブルが起こることもあります。この企画は規則の細部をはっきりと説明し、オフィシャル側から見た「この規則はこういう理由で生まれたものだから、このようにして欲しい」という要望をみなさんに分かりやすくお伝えしていきます。(本文より)

カッコよさはもちろん、説明も親切な二輪レース専門誌

RIDING SPORT FROM MOTORCYCLE JOURNAL **SPORT** **SINCE1982**

毎月24日発売です。
定価580円

株式会社 ニューズ出版

〒154 東京都世田谷区三宿2-4-7

広告03-5430-4441 販売03-5430-4440 編集03-5430-4461



MINEサーキット サーキットライセンス講習会

■ 申込方法

電話にて予約申込みをしてください。(当日の受付も可能です)

☎08375-8-0321 (MINEサーキット)

定員:60名

■ 受付時間

AM9:00~AM9:10(時間厳守)

■ 当日持参するもの

運転免許証・印鑑・写真2枚(30mm×25mm)・筆記用具・バイク(125cc以上の、よく整備された車両)・ヘルメット・皮革製のツナギ・グローブ・ブーツ・ガムテープ・工具・健康保険証・MFJ競技ライセンス(所持者のみ)・未成年者は親権者の承諾書(所定の用紙)及び親権者の印鑑証明書(承諾書は親権者の自筆のこと)

■ 費用

35,000円(日・祝祭日は入場料500円要)(消費税含む)

※MFJロードレース国内C級ライセンスを同時に申請する場合は39,500円と写真4枚)

■ 学科講習

9:30より開始。講習終了後、筆記試験を行なう。(当日の状況により時間変更あり)

■ 実技講習

筆記試験合格者に対して実技指導及び実技試験を行なう。(MFJ国内A級ライセンス提示者は実技試験免除)

■ その他

- ①実技用バイクはタイヤサイズ14インチ以上で、オンロードバイクは125cc以上。レーサーは80cc以上とする。
- ②S80クラスでタイヤサイズ14インチ未満の車両は、レース前の指定走行時間帯のみ走行可能。

■ サーキットライセンス講習会のお問い合わせ先

MINEサーキット

〒759-21 山口県美祢市西厚保町長尾

☎08375-8-0321

Super Boldor

進化するレーシングシーン

ONLY FOR RACING

Super Boldor RACING GLOVES

レーシングシーンにおいての技術革新は留まる所を知らない。マシンのスペックはもとより、レーシングランをとりまく状況は“走る実験室”と呼ばれる程に最新技術が集約されている。だがマシンコントロールにおける重要なファクターであり、その中でも微妙なアクセルワークを支えるグローブだけが安全性と操作性という相反する2つの要素のために開発が見送られてきた。その中で **Super Boldor** は相反する2つの要素を現在考える最高の素材と技術を結集し高次元で融合させることに成功した。そこに見られる性能の数々には、開発スタッフとしてホルツール契約ライダーが参加し、WGPをはじめとする実戦を通して得られるデータとオーバー200km/hの極限状態における彼らの訴求が生かされている。それら、一般人の常識をはるかに超える様々な要求に応えるための試行錯誤の末に独特の形態を纏った **Super Boldor** は、それゆえ、言い換えればレーシングシーンでのみその真価を発揮する。ONLY FOR RACING。言い切ることに恥じない、一切の妥協を許さない逸品。 **Super Boldor** は明日のレーシングシーンの新たな幕を開ける。



ダブルフラッププロテクト
(実用新案申請中)

超衝撃吸収材αゲルの大量使用と2層のフラップ構造による驚異的な耐衝撃性の実現とともに、エアロダイナミック効果によるエアの強制排気て手のムレをも防ぐ。



フラップフィンガーパット
(実用新案申請中)

フィットセルα、セラミックス・レザー、ケブラーニット等の6層構造をもち、サイドまでプロテクトしながら指の動きを妨げない独自の形状のフラップパットに加え、エアを取り込むサイドエアインテークホールを採用。



セラミックス・レザー[®]
ケブラー糸

耐摩耗レザー、セラミックス・レザーに加え、応力の集中する部分へのケブラーニットとケブラー糸の効果的な使用により強化を計り、より一層の安全性と耐久性を実現している。



ダブルホールディング
ベルト(実用新案申請中)

従来のベルトに両面ベルクロフラップを追加装備することによる確実なホールディングは、操作性の向上とともに、数々の耐衝撃性能の効果をも十分に発揮させる。



スーパーボールドールレーシンググローブ
08YBM-461

¥28,000

カラー：K(ブラック)

R(レッド)

B(ブルー)

サイズ：M、L、LL、3L

素材：牛皮

耐摩耗皮革 セラミックス・レザー

合成皮革 クラリノ

衝撃吸収材：αGEL

Fitcela

RAスポンジ

1月10日
衝撃デビュー

αゲル/自己保形、復元性に優れたシリコーンをベースとした高い衝撃吸収力を持つゲル状物質です。

セラミックス・レザー/本皮革にファインセラミックス粉末を含ませすることで耐摩耗、保温効果を高めています。

表示価格は全てメーカー希望小売価格です。掲載商品の仕様および価格は予告なく変更することがあります。この広告の写真は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。

スポーツショップ **フクシマ**
DOG FIGHT 新製品!!

'94 NSR250R SPコンプリート
25日にむけ特別セッティング!! 価格¥108万円



'94NSR250R ¥90,000



●印のパーツが、SSフクシマ SPコンプリートに装着されます。

POWER UP KIT

NSR250R(レース用)

- '84NSR250R用パワーアップキット 発売予定
- '90~'93NSR250R用パワーアップキット **¥150,000**
- '88NSR250R用パワーアップキット **¥121,000**

TZR250R'91~'94

- STD専用ストリートパワーアップキット **¥120,000**
- SP専用ストリートパワーアップキット('93・'94除く) **¥160,000**

NSR250Rレーシングキットパーツ

①DOG FIGHTチャンバー	'88~'89	¥88,000	②フロントゼッケンプレート	'89	¥4,500	④リアゼッケンシール	'90~'93	価格未定
②DOG FIGHTチャンバー	'90~'93	¥88,000	③フロントゼッケンプレート	'90~'93	¥4,500	⑤リアゼッケンシール	'94	価格未定
③DOG FIGHTチャンバー	'94専用	¥90,000	④フロントゼッケンプレート	'94	¥5,000	⑥純正マニュアル、パーツリストSET	'94	¥8,500
④キャブセッティングKIT	'88~'89	¥10,000	⑤レーシングフロントブレーキホースKIT	'88~'93	¥25,000	OP エンジンマウントラバーSET	'90~'94	価格未定
⑤キャブセッティングKIT	'90~'93	¥13,000	⑥レーシングフロントブレーキホースKIT	'94	価格未定	OP フロントフォークスプリング	'94	価格未定
⑥キャブセッティングKIT	'94	価格未定	⑦レーシングフロントブレーキパッド	'88~'94	¥14,000	OP リアサススプリング	'94	価格未定
⑦リミッターカット	'89	¥12,000	⑧軽量レーシングチェーン	'88~'94	¥13,000	※フロント、リアともに2タイプ、価格は各タイプの価格。		
⑧は、ライダーライセンスが必要です。			⑨レーシングプラグ#10	'88~'94	¥2,800	OP 大型ラジエターKIT	'90~'94	価格未定
⑨リミッターカットワイヤーハーネス付	'90	¥13,000	⑩ステアリングダンパーSET	'88~'94	¥48,000	※'90~'93は水温計が必要です。		
⑩は、ライダーライセンスが必要です。			※⑩は、ホワイトパワー製です。			OP トランスミッションセットA	'94	価格未定
⑪レース用ICカード(ドライ、ウエット)	'94	価格未定	⑪リアスプロケット34T~46T	'88~'93	¥8,000	OP トランスミッションセットB	'94	価格未定
⑫は、ライセンス、廃車証、ICカードNo.が必要です。			※'90~'93は⑫が必要です。			OP レーシングバックステップKIT	'88~'89	¥49,000
⑬レース用ワイヤーハーネス	'94	価格未定	⑬リアスプロケット35T~45T	'94	¥8,000	OP レーシングバックステップKIT	'94	¥49,000
⑭キャブBOX KIT	'88~'89	¥21,000	※コンプリートは2枚も選択です。			OP レーシングフロントステップKIT	'90~'93	¥49,000
⑮キャブBOX KIT	'90~'93	¥21,000	⑭リアスプロケット取付KIT	'90~'93	¥3,000	OP レーシングフルカウル	'90~'93	¥48,000
⑯キャブBOX KIT	'94	価格未定	⑮フロントスプロケット16T	'88~'94	¥4,500	OP レーシングフルカウル	'94	¥48,000
※⑭~⑯は、フレッシュエアホース付です。			⑯レーシングスクリーン	'90~'93	¥15,000	OP レーシングシングルシート	'90~'93	¥36,000
⑰オイルキャッチタンク	'88~'94	¥2,000	⑰レーシングスクリーン	'94	価格未定	OP レーシングシングルシート	'94	¥36,000
⑱ガソリンキャッチタンク	'88~'94	¥2,000	⑱フロントスタンド	'88~'94	¥12,000	OP 軽量ローターダイナモ	'90~'94	価格未定
⑲ラジエターキャッチタンク	'88~'94	¥2,000	⑲リアスタンド	'88~'93	¥12,000			
⑳盲検KIT(KIC、オイルポンプ)	'88~'93	¥4,000	⑳リアスタンド	'94	価格未定			
㉑盲検KIT(KIC、オイルポンプ)	'94	価格未定	㉑レーシングOIL、フルードKIT		¥8,000			
㉒穴あきドレンボルトSET	'88~'94	¥2,500	㉒純正ヘッド、ベースガスケットSET各6枚	'90~'94	価格未定			
㉓レーシングステップバーSET	'88~'94	¥9,600	㉓SSフクシマ切文字ステッカーSET2種類各2枚		¥5,000			
㉔フロントゼッケンプレート	'88	¥4,500	㉔ハンドルロック取外し盲板	'94	価格未定			

※価格未定の商品は、MFJライティングを参照して下さい。

DOG FIGHTチャンバー **NEW** ※93年度MFJ騒音規制レギュレーション(99dB以下)対応。

<p>NEW</p> <p>75ps以上 1000rpm</p> <p>'90~'93 NSR250R 1型 ¥88,000</p>	<p>NEW</p> <p>75ps以上 1000rpm</p> <p>'90~'93 NSR250R JMCA ¥98,000</p>	<p>NEW</p> <p>75ps 1000rpm</p> <p>'88,'89NSR250R 1型 ¥88,000</p>	<p>NEW</p> <p>75ps 1000rpm</p> <p>'88,'89NSR250R JMCA ¥98,000</p>
<p>高圧ヘッド・DOG FIGHTチャンバーSET ¥130,000 高圧ヘッド ¥30,000</p> <p>32中山選手権NSR125 チャンピオン大野秀明選手</p> <p>32同選手権 NSR125クヌス選手 小野秀明選手</p> <p>'91~'92 RS125R ¥98,000</p>	<p>32同選手権第1期 優勝 山口一選手</p> <p>75,5ps以上 1000rpm以上</p> <p>'91~'93 TZR250R & SP ¥98,000 ('93SP除く)</p>	<p>32同選手権SP125チャンピオン 野澤文選手</p> <p>75,5ps以上 1000rpm以上</p> <p>'89~'90 TZR250 ¥88,000</p>	<p>32同選手権SP125チャンピオン 野澤文選手</p> <p>75,5ps以上 1000rpm以上</p> <p>'86~'88 TZR250 ¥88,000</p>
<p>RG125 I' ¥48,000</p>	<p>'87~'92 TZR125 ¥48,000 JMCA ¥53,000</p>	<p>'90~'92 TZR50 1型 ¥38,000 新発売 '93 TZR50R ¥43,000</p>	<p>NSR50 ¥38,000 NS-1 ¥38,000</p>

購入される方に

●お電話・お問合わせはTELにてお願い致します。手紙、ハガキでのお問い合わせは一切出来ません。ご了承ください。
●レーシングクラブは主催者の公認車検はできません。●レーシングクラブの仕様、及び価格は改良のため予告なく変更することがあります。●商品によっては1ヶ月間のキャンセルが可能な場合があります。ご購入の際は必ず納期をご確認ください。●上記のレーシング競技用品として製作されたスチールパーツですので保証の対象にはなりません。又、レース用品の保管後のクリーム商品は開封後下す。

通販御希望の方に

全国通販OK、TELにて在庫及び納期をご確認の上、ご希望の商品名、住所、氏名、電話番号を明記し、価格に消費税3%を加えた金額を現金書留にて、下記の通販申込書をお送りください。なお、お金の振替が3万円以上の場合は、送料はサービスさせていただきます(但し、北海道、九州は¥1,000、沖縄は¥2,000に増徴させていただきます)。

通販申込券MFJ

HRC特約店 RC-SUGO特約店 YAMAHA RSS

信濃市野上、ワッドライダー **JMCA**
全日本選手権大会会場

スポーツショップ フクシマ

〒273 千葉県船橋市夏見1-14-35 営業時間 AM9:00~PM7:00
TEL0474-22-8198代 FAX0474-22-6185 毎週水曜定休

20万円以上クレジットOK、頭金ナシ/60回まで/御気軽に御相談ください

振込口座: 住友銀行船橋支店 普通326007(南) スポーツショップフクシマ

キズついたたら直します。

MFJ規則により、過度に損傷のあるスーツや
 ガムテープ処理したスーツでは、
 レースに参戦できません。



自分を守るスーツ、そのままいいのですか。クシタニは常にベストな状態でレザースーツを愛用していただくために、転倒などによる傷/破れ/ほつれなどのリペア(修理)サービスを行っています。

レザー/ニット/シャーリング/パッド部の損傷はもちろん、
 ネーム入れ/寸法直しに至るまでご要望にお応えし、スーツをまるごともおりに直します。
 リペアは2週間前後で対応。クシタニ製品以外のスーツも修理、お受け致します。
 スーツの修正/修理のご要明は、お気軽にクシタニショップへ。

第2回クシタニ賞

クシタニ賞はロードレースの地方選手権に参戦中のクシタニ製レーシングスーツ着用ライダーのうち、'94シリーズ1位から3位のタイトル獲得者に贈られます。

《応募規定》

MFJ公認地方選手権4クラス出場ライダー
 [SP250-SP400-NBGP(25-NBGP250)]
 クシタニのレーシングスーツを着用し、大会に出場したライダーであること。クシタニ賞に期日までにエントリー登録したライダーであること。クシタニ賞登録証明のステッカーをマシンに貼ってあること。シリーズ終了時、シリーズポイント各クラス1〜3位獲得者であること。

《登録方法》

'94年3月31日までにクシタニ賞事務局まで下記資料提出
 (当日消印有効)
 ●氏名 ●住所 ●TEL ●生年月日
 ●年齢 ●職業 ●参戦選手権名 ●参戦クラス
 ●スーツ着用写真 ●着用スーツ品番
 ●スーツ購入先及び購入日

《賞品》

各クラスのシリーズランキング1〜3位獲得者に贈呈。
 1位 クシタニレーシングスーツ(オーダー)・ブーツ(オーダー)・グローブ
 2位 ブーツ(オーダー)・グローブ
 3位 ブーツ・グローブ
 (レーシングスーツには契約フットペグを取り付けます。)

《申請》

'94シリーズ終了後、リザルト簿ランキングを証明するもの(本参戦中の写真(スーツ着用)を'94年12月20日までにクシタニ賞事務局宛に送付。(当日消印有効))

《クシタニ事務局》

〒430 静岡県浜松市三島町231 TEL.053(441)2671
 株式会社クシタニ クシタニ賞事務局 担当 中野

3クラス新編 クシタニチャンピオンズスーツキャンペーン '93年12月3日(金)〜'94年2月28日(月) レザースーツ購入の方にメンテナンスフリーパスをプレゼント!



安全の世界を創造します。

株式会社クシタニ

静岡県浜松市三島町231 電話053(441)2251

JMCA 信頼しなす。クッドライダー

「NBライダーも応募可能」第2回クシタニ賞エントリー開始。詳しくは本社クシタニ賞事務局(053-441-2671)まで。

クシタニアフターメンテナンスも完全。他メーカーのレザースーツの修理も受け付けます。

SHOP LINE-UP

- 川口店 05482-55-9290
- 横浜店 045-312-3022
- 京都店 075-811-5737
- 岡山店 082-230-0912
- 入野店 0479-32-7204
- 上野店 045-904-1711
- 東京店 070-35-1991
- 福岡店 092-561-8389
- 千葉店 043-242-8363
- 甲府店 0463-21-1990
- 奈良店 072-22-4105
- 新潟店 025-22-2016
- 群馬店 028-22-2016
- 三重店 059-379-1752
- 宇都宮店 0287-63-7200
- 横浜店 045-363-7681
- 新潟店 025-62-0749
- 岐阜店 057-62-9033
- 徳島店 087-47-5315
- 高松店 0273-43-2785
- 松山店 083-3429-2261
- 名古屋店 052-62-9033
- 神戸店 078-871-7515
- 岐阜店 0585-24-2294
- 三河店 053-3784-2292
- 岐阜店 0583-70-0186
- 岐阜店 05794-47-6333
- 岐阜店 058-649-2914
- 岐阜店 0423-69-3599
- 京都店 075-573-1301
- 岐阜店 05862-25-8330



レースがあれば。



NEW
GETTAR 008

レーシングレベルのグリップ性を確保しながら、
耐摩耗性をもあわせて向上。

スーパースポーツ・ツアラー、GETTAR 008新登場。

SIZE ● FRONT ● 110/70R17 54H ● REAR ● 150/60R17 66H-160/60R17 69H
120/60R17 55H 150/60R18 67H-140/70R17 66H
110/80R17 57H 140/70R18 67H

新開発ハイスポートコンパウンドを採用。あの「フルバンクグリップ」007Aの、強大なドライグリップを受け継ぐと同時に、耐摩耗性をも大きくアップ。さらに、高い直進排水性を発揮するV字型方向性センターブロック。側バンク時の排水性を高め、ウェットコーナリング性能を大きく向上させるアーメン型スラントグループなど、排水メカニズムを徹底的にシミュレートした、YOKOHAMA独自のパターンテク/ロジックをフィーチャー。GETTAR 008。それはサーキット直系のコーナリング性能を、そして優れたウェット性・耐久性を併しはまにする、進化型スポーツ・ツアラー。

スーパースポーツリアル
プロダクションレース用

007A

RACING SLICK 600

RACING RAIN 610



HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTORSPORT

GETTAR

The Winning Spark

驚異のパワー



プラチナ
VXプラグ



コールド・チャンバー
EGVプラグ

NGK **V**シリーズプラグ

火花が閃いた瞬間、眠るマシンに力がみなぎる。レスポンスを捉え、果敢にスピードに挑戦する凄腕。その名はNGK Vシリーズプラグ。Vパワーが加速を制覇する。



日本特殊陶業

チャンピオン 競輪 週刊 1992年1月1日(第1)部 北五十四年三月二十日第三巻 発行所 日本モーターサイクルスポーツ協会 東京都中央区東日本橋一丁目一七番(三三六五八四四) 電話 〇〇〇〇三三六五



SCOTT RUSSELL

スコット・ラッセル

- '92 DAYTONA SUPERBIKE CHAMPION
- '92 AMA SUPERBIKE SERIES CHAMPION
- '93 WORLD SUPERBIKE SERIES CHAMPION
- '93 SUZUKA 8 HOURS ENDURANCE CHAMPION

TAKAHIRO "TIGER" SOHWA
宗和 孝宏



MUZZY'S POWER

92年デイトナ優勝。おなじく92年AMAスーパーバイクシリーズチャンピオン獲得。93年ワールドスーパーバイクシリーズチャンピオン獲得。そして93年の鈴鹿日時間耐久ロードレースでの優勝と、数々の輝かしい実績を築きあげたライダー、スコット・ラッセル。そして、そのラッセルの活躍を支えてきたロブ・マジー。彼らは、4ストロークマシンによるレースの全ての栄冠を手中にしてきたのです。この事実こそが、マジー・パワーそしてマジー・マジックの証明なのです。そのマジー・テクノロジーの全てが今、日本に上陸しました。エディ・ローソン、ウェイン・レイニー、ダグ・チャンドラー、スコット・ラッセルそして宗和孝宏と多くのチャンピオンライダーを送り出したマジー・テクノロジーが日本のモーターサイクルシーンに新たな旋風を呼び起こす事でしょう。私たちは、日本のモーターサイクルファンにロブ・マジーの多くの実績から生み出されたエキゾーストシステムをはじめとしたモーターサイクル、モータースポーツアイテムを提供いたします。ご期待ください。



●MUZZY'S 製品に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

■MUZZY'S 総輸入元 / MUZZY'S JAPAN

㈱ティーバード MS事業本部 / 〒371群馬県前橋市西片貝町1-300-5 TEL.0272-34-3270代